様式第７号

事業報告書

令和６年４月２６日

（あて先）千葉市長　様

所在地　千葉市中央区千葉寺町１２０８番地２
指定管理者の名称　社会福祉法人千葉市社会福祉協議会
代表者氏名　会　長　　初　芝　　勤　　印

地方自治法第２４４条の２第７項及び千葉市療育センターの管理に関する基本協定書第２４条第２項の規定により、下記のとおり提出します。

記

１　施設の名称　　千葉市療育センター
２　事業報告書（令和５年度）　　別紙のとおり

（注）経費決算書（様式第８号）を添付すること。

事 業 報 告 書
（令和５年度）

千葉市療育センター

目　　次

１　管理業務の実施体制に関すること
（１）基本理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
（２）事業名等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
（３）組織図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
（４）職務分掌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
（５）勤務体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６
（６）会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７
（７）研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５
（８）安全管理（危機管理）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３６
（９）苦情解決・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３９
（１０）個人情報保護・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３９
（１１）施設の社会化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４１
（１２）関係機関との連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４６

２　管理業務の実施に関すること
（１）目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５０
（２）令和５年度利用実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５１
（３）事業内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６０
（４）健康管理（保健衛生）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８３
（５）給食・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８５
（６）保護者(家族)との連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８５
（７）感染症対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８７
（８）身体拘束等の禁止及び虐待防止・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８８
（９）広報その他の使用促進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８９
（１０）使用料の確実な徴収（滞納防止）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９０

３　維持管理の実施計画に関すること
（１）建築物の保守管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９５
（２）設備・備品の保守管理に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９５
（３）警備に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９８
（４）清掃に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９８
（５）植栽等の維持管理に関すること　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９９
（６）駐車場の管理に関すること　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９９
４　利用者アンケート調査の実施方法等に関すること　・・・・・・・・・・・・・・・・・１０１
５　管理経費の縮減　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６３
６　自主事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６３
７　年度の総括(評価)　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６４

1　管理業務の実施体制に関すること

（1）基本理念

ア　療育相談所

（ア）すべてのご利用児（者）をかけがえのない存在として尊重し、ご利用児（者）にとって最善の利益を最優先するよう努めました。

（イ）ご利用児（者）の人権を擁護し、自己実現できるよう支援しました。その職務を遂行する過程で知り得たプライバシーを保護しました。

（ウ）専門的知識や技術の研鑽に常に励み、最良のサービスを提供するよう努めました。

（エ）医療、保健、教育その他児童福祉に関連する機関等と積極的に連携し、協力して児童を支援しました。

イ　すぎのこルーム

（ア）すべてのご利用児（者）をかけがえのない存在として尊重し、ご利用児（者）にとって最善の利益を最優先するよう努めました。

（イ）ご利用児（者）の人権を擁護し、自己実現できるよう支援しました。その職務を遂行する過程で知り得たプライバシーを保護しました。

（ウ）専門的知識や技術の研鑽に常に励み、最良のサービスを提供するよう努めました。

（エ）医療、保健、教育その他児童福祉に関連する機関等と積極的に連携し、協力して児童を支援しました。

ウ　やまびこルーム

（ア）すべてのご利用児（者）をかけがえのない存在として尊重し、ご利用児（者）にとって最善の利益を最優先するよう努めました。

（イ）ご利用児（者）の人権を擁護し、自己実現できるよう支援しました。その職務を遂行する過程で知り得たプライバシーを保護しました。

（ウ）専門的知識や技術の研鑽に常に励み、最良のサービスを提供するよう努めました。

（エ）医療、保健、教育その他児童福祉に関連する機関等と積極的に連携し、協力して児童を支援しました。

エ　相談支援事業ぱれっと

（ア）すべてのご利用児（者）をかけがえのない存在として尊重し、ご利用児（者）にとって最善の利益を最優先するよう努めました。

（イ）ご利用児（者）の人権を擁護し、自己実現できるよう支援しました。その職務を遂行する過程で知り得たプライバシーを保護しました。

（ウ）専門的知識や技術の研鑽に常に励み、最良のサービスを提供しました。

（エ）医療、保健、教育その他児童福祉及び障害者福祉に関連する機関等と積極的に連携し、協力して障害児（者）を支援しました。

オ　いずみの家

（ア）一人ひとりの主体性を尊重し、ご利用者本位の施設運営に努めました。

（イ）社会の一員として働く喜びと働く機会を提供しました。

（ウ）地域で安心した生活が送れるように社会参加の機会を設け、地域生活の支援を行いました。

カ　ふれあいの家

（ア）ご利用者の社会参加を推進し、生きがいを感じる活動の充実に努めました。

（イ）障害者福祉の増進を図り、ご利用者のさまざまなニーズに応えるよう努めました。

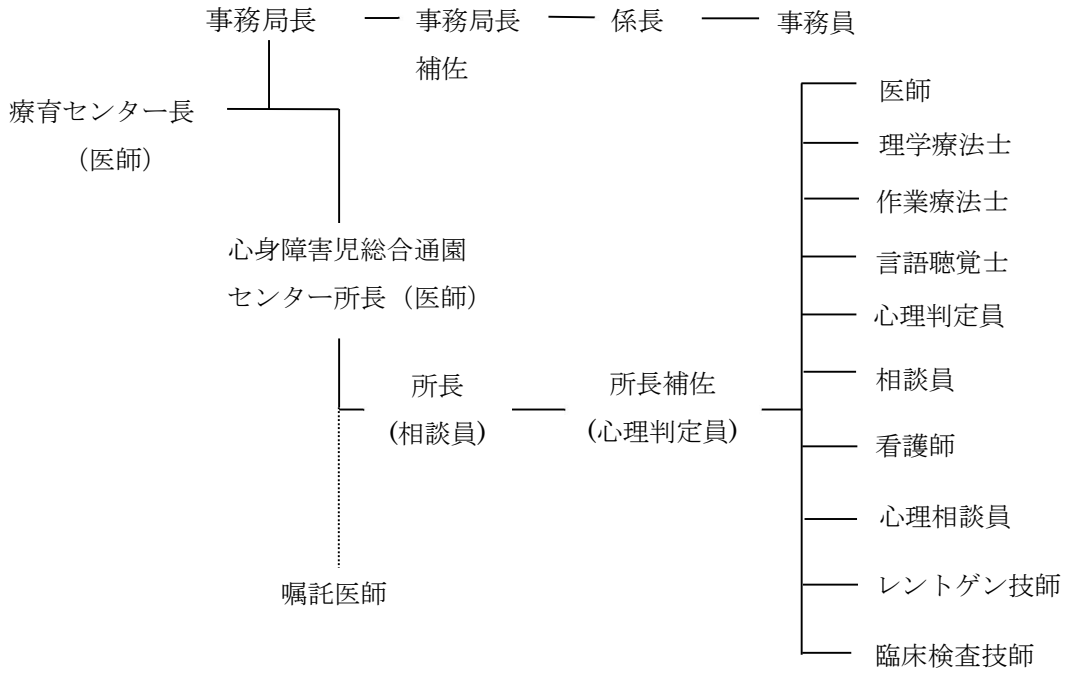
（ウ）医療・保健・介護その他障害者福祉に関連する機関等や地域住民等と積極的に連携し、最良のサービスの提供に努めました。

（２）事業名等

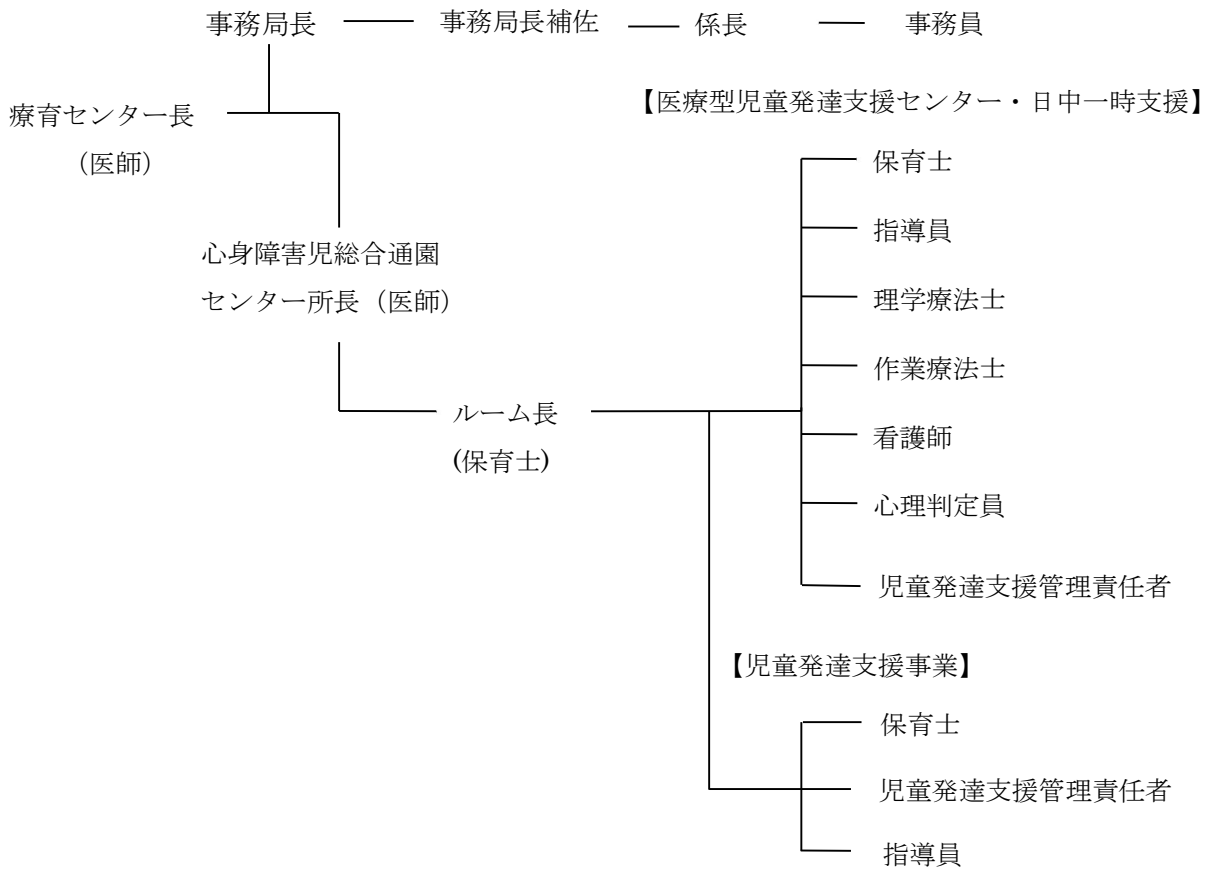
施設名	事　　業	関　係　法　令	定員
療育相談所	外来診療	医療法第７条第１項	―
すぎのこルーム	医療型児童発達支援センター	児童福祉法第６条の２の２第３項	10 人
	児童発達支援事業	児童福祉法第６条の２の２第２項	10 人
	日中一時支援事業	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第77条第３項	１人
やまびこルーム	福祉型児童発達支援センター	児童福祉法第６条の２の２第２項	20 人
相談支援事業所ぱれっと	特定相談支援事業及び障害児相談支援事業	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第５条第16項及び児童福祉法第６条の２第６項	―
いずみの家	就労移行支援事業	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第５条第13項	６人
	就労継続支援Ｂ型事業	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第５条第14項	34 人
	日中一時支援事業	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第77条第３項	３人
ふれあいの家	身体障害者福祉センターB型事業	身体障害者福祉法第31条	―

（3）組織図

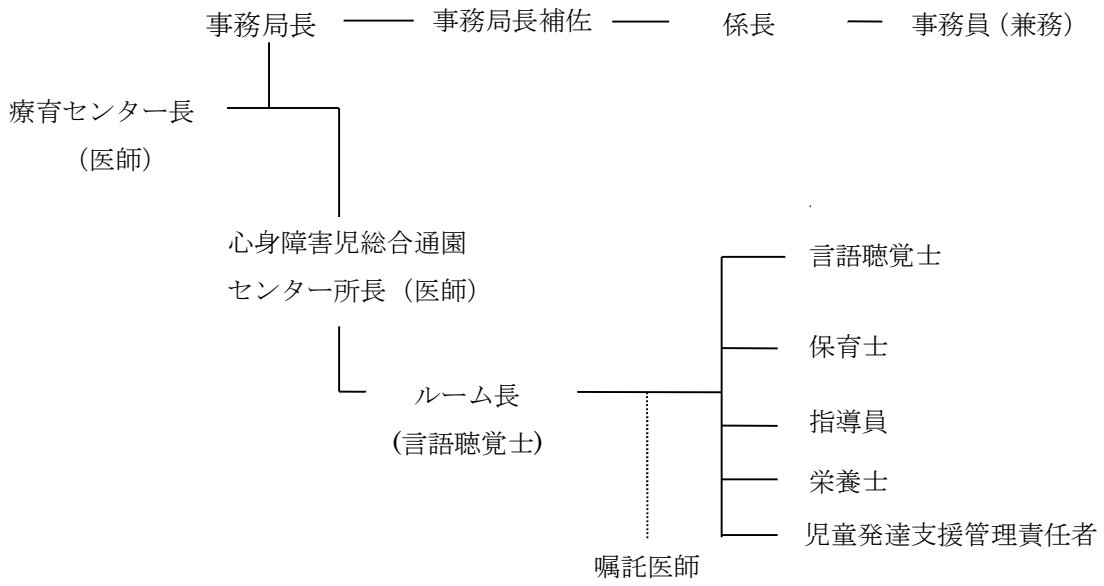
ア　療育相談所



イ　すぎのこルーム

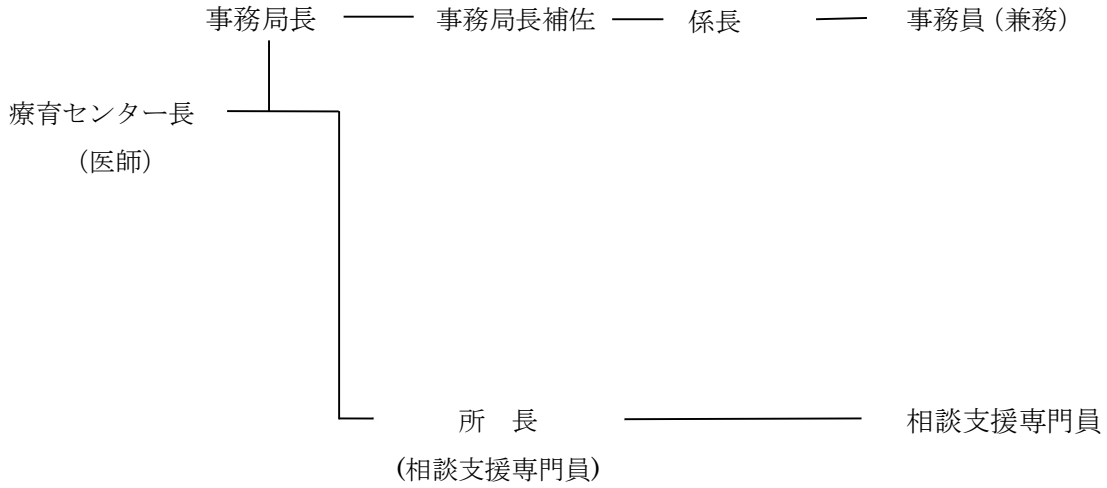


ウ　やまびこルーム

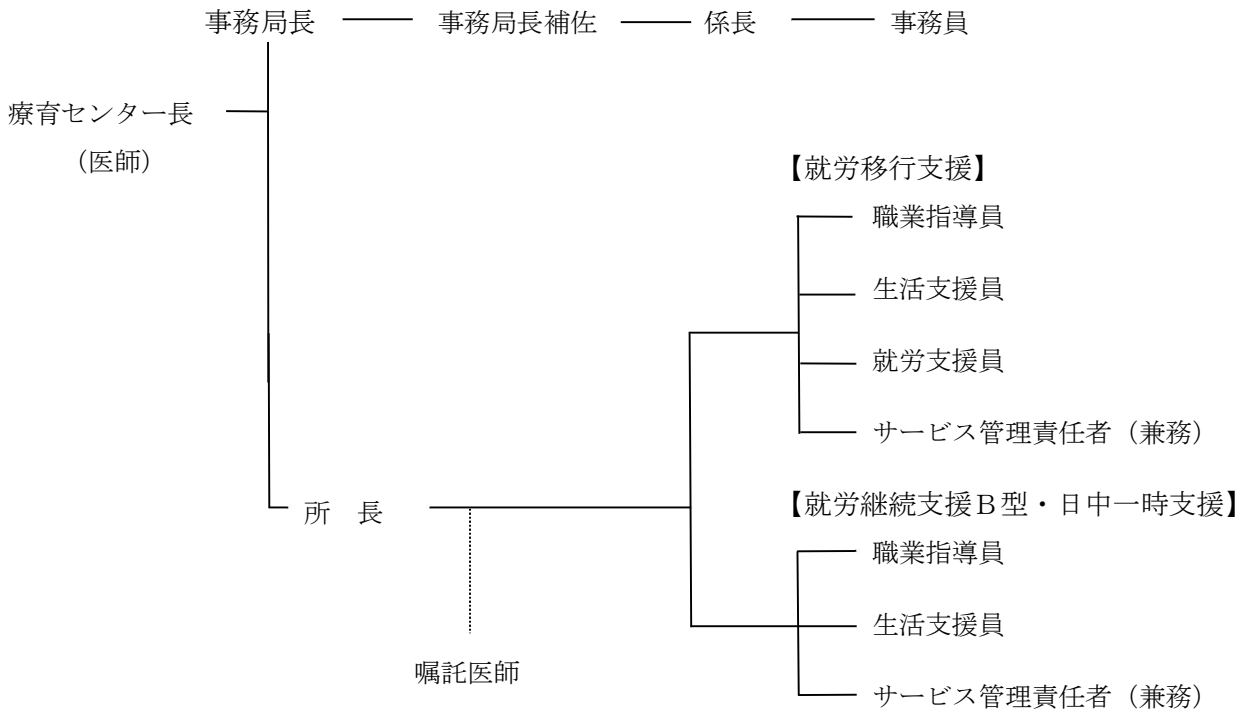


※栄養士は「すぎのこルーム」「いずみの家」の給食業務も担当します。

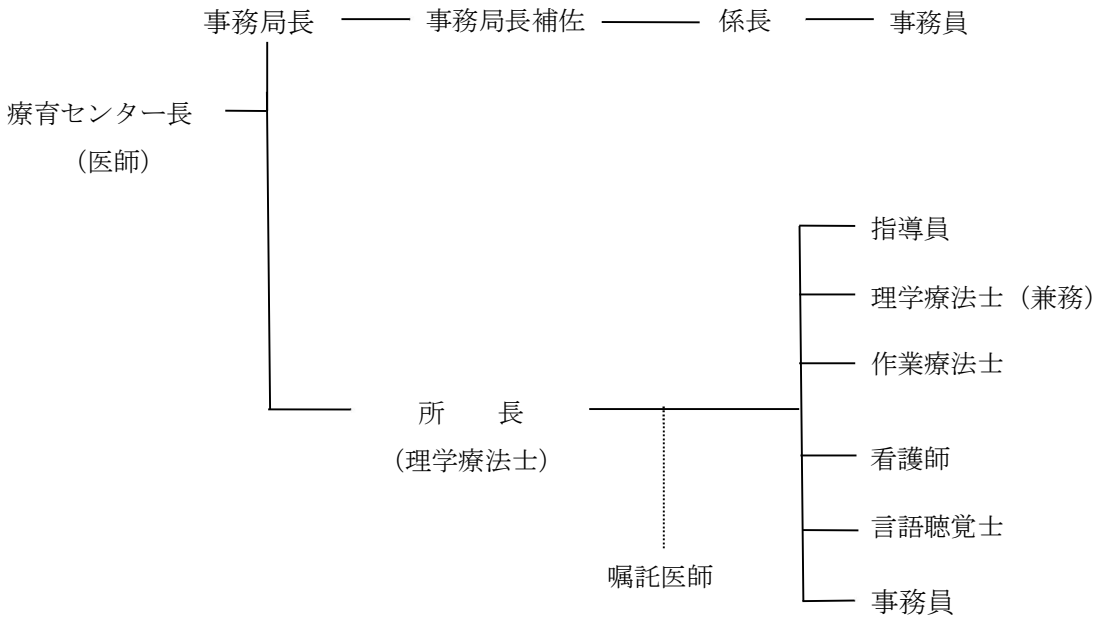
エ　相談支援事業所ぱれっと



オ　いずみの家



カ　ふれあいの家



※組織図上の職員が退職等により欠員が生じた場合には、求人を行い補充しましたが、難しい場合は代替職員等で対応しました。

（4）職務分掌

ア　療育相談所

職　　名	事　　務　　分　　掌
センター長	・療育センター全体の統括に関すること ・保健医療機関としての医療に関する統括管理
事務局長	・療育センター事務局の総括に関すること ・療育センターの基本的な計画に関すること ・労務、人事管理に関すること ・嘱託医師等の連絡調整に関すること ・防火管理責任者に関すること
事務局長補佐	・療育センター各施設の調整に関すること ・公印管理に関すること ・文書管理に関すること ・予算・決算のとりまとめに関すること ・消防計画の作成及び訓練の実施に関すること ・嘱託医師等の雇用に関すること ・各種職員表彰事務に関すること ・施設運営連絡会議の開催に関すること
庶務係長	・係の総括に関すること ・運営方針・事業概要のとりまとめに関すること ・指定管理関係事務に関すること ・全体予算の執行及び調整に関すること ・事務職会議の開催に関すること ・３６協定の認可申請事務に関すること ・担当施設の事務に関すること
所長 （相談員兼務）	・業務の総括に関すること ・業務の基本的な計画に関すること ・業務に関して所属職員の指揮監督に関すること ・施設の維持管理及び営繕に関すること ・関係機関との連絡調整に関すること ・苦情に関すること
所長補佐 （心理判定員兼務）	・所長業務の補佐に関すること ・所属職員の指揮指導に関すること
小児科医師 嘱託小児科医師 嘱託小児神経科医師	・小児科診療及び療育指導に関すること ・リハビリテーション診療計画書に関すること ・児の健康に関すること ・医療記録に関すること ・医薬品の処方、管理及び医療機器、備品に関すること
嘱託耳鼻咽喉科医師	・耳鼻咽喉科診療及び療育指導に関すること ・リハビリテーション診療計画書に関すること

嘱託整形外科医師	・整形外科診療及び療育指導に関すること ・リハビリテーション診療計画書に関すること
嘱託精神科医師	・精神科診療及び療育指導に関すること ・リハビリテーション診療計画書に関すること
非常勤脳波検査技師	・脳波検査に関すること
嘱託レントゲン技師	・レントゲン撮影に関すること
理学療法士	・医師の指示のもと理学療法評価及び指導に関すること ・リハビリテーション診療計画に関すること ・地域支援に関すること ・実習生指導に関すること
作業療法士	・医師の指示のもと作業療法評価及び指導に関すること ・リハビリテーション診療計画に関すること ・地域支援に関すること ・実習生指導に関すること
言語聴覚士	・医師の指示のもと言語・聴覚の評価及び指導に関すること ・リハビリテーション診療計画に関すること ・聴力検査機器の調整に関すること ・地域支援に関すること ・実習生指導に関すること
心理判定員	・医師の指示のもと心理発達評価及び指導に関すること ・個別指導計画に関すること ・地域支援に関すること ・実習生指導に関すること
相談員	・電話や面接による相談の受理に関すること ・診療・検査・療育等の調整に関すること ・心理・社会的問題の相談に関すること ・福祉制度等の情報提供に関すること ・他機関との連携に関すること ・地域支援に関すること
看護師	・診療に関すること ・診療に関する文書管理 ・衛生管理に関すること ・感染症予防・管理に関すること
事務員	・予算執行及び管理に関すること ・診療窓口業務及び診療報酬請求事務に関すること ・会計及び金庫管理に関すること ・出勤簿の管理及び勤務状況報告に関すること ・旅費及び諸手当事務に関すること ・施設及び備品等の維持管理に関すること

イ　すぎのこルーム

職　　名	事　　務　　分　　掌
ルーム長	・業務の総括に関すること ・業務の基本的な計画に関すること ・業務に関して所属職員の指揮監督に関すること ・施設の維持管理及び営繕に関すること ・関係機関との連絡調整に関すること ・苦情に関すること ・医療型児童発達支援センター、児童発達支援事業及び日中一時支援事業の管理運営に関すること ・児童の入退所に関すること ・通所給付費、給食費、医療費会計に関すること ・児童の名簿に関すること ・統計簿、出席簿の作成及び記入に関すること ・利用契約に関すること ・諸会議に関すること ・個別支援計画の作成及び説明に関すること ・児童の検査評価・指導・記録に関すること ・リハビリテーション計画作成に関すること ・見学及び利用希望者への相談業務に関すること
児童発達支援管理責任者	・利用契約に関すること ・個別支援計画の作成及び説明に関すること
医師	・診察及び医療に関すること ・ケース会議に関すること ・健康診断に関すること ・文書作成に関すること ・リハビリテーション計画作成に関すること
保育士	・療育および生活指導に関すること ・個別支援計画の作成及び説明の補助に関すること ・日常生活に関する保護者支援に関すること ・療育等の記録、保存に関すること ・行事に関すること ・児童の送迎に関すること ・家庭支援相談に関すること ・就学及び移行児に関すること ・日中一時支援事業に関すること ・実習生の受け入れに関すること ・ボランティアの受け入れに関すること ・文書作成に関すること ・諸会議に関すること

	・苦情に関すること
指導員	・療育及び生活指導に関すること ・個別支援計画の作成及び説明の補助に関すること ・日常生活に関する保護者支援に関すること ・療育等の記録、保存に関すること ・利用契約に関すること ・行事に関すること ・児童の送迎に関すること ・家庭支援相談に関すること ・就学及び移行児に関すること ・日中一時支援事業に関すること ・実習生の受け入れに関すること ・文書作成等に関すること ・諸会議に関すること
理学療法士	・児童の姿勢と運動を中心とした個別指導に関すること ・日常生活に関する保護者支援に関すること ・評価・療育目標設定・記録に関すること ・児童の使用する日常生活用具・補装具の評価、作成、メンテナンスに関すること ・児童の家庭で使用する日常生活用具・補装具の相談及び評価、作成に関すること ・個別支援計画作成の補助に関すること ・行事に関すること ・児童の送迎に関すること ・実習生の受け入れに関すること ・文書作成に関すること ・諸会議に関すること ・リハビリテーション計画作成に関すること ・児童発達支援事業に関すること
作業療法士	・児童の日常生活と遊びを中心とした個別指導に関すること ・日常生活に関する保護者支援に関すること ・評価・療育目標設定・記録に関すること ・個別支援計画作成の補助に関すること ・児童の使用する日常生活用具・補装具の評価、作成、メンテナンスに関すること ・児童の家庭で使用する日常生活用具・補装具の相談及び評価、作成に関すること ・行事に関すること ・食形態・アレルギーに関すること ・実習生の受け入れに関すること

	・児童の送迎に関すること ・文書作成に関すること ・リハビリテーション計画作成に関すること ・諸会議に関すること ・児童発達支援事業に関すること
心理判定員	・児童の検査評価・指導・記録に関すること ・日常生活に関する保護者支援に関すること ・個別支援計画の補助に関すること ・行事に関すること ・児童の送迎に関すること ・児童発達支援事業に関すること ・文書作成に関すること ・諸会議に関すること ・児童発達支援事業に関すること
看護師	・児童の健康管理および記録に関すること ・診察補助 ・日常生活に関する保護者支援に関すること ・保護者の保健指導に関すること ・環境・予防衛生に関すること ・食物アレルギーに関すること ・行事に関すること ・諸会議に関すること ・応急処置に関すること ・個別支援計画作成の補助に関すること ・分離時の医療的ケアに関すること
事務員	・予算執行及び管理に関すること ・通所給付費請求事務に関すること ・会計及び金庫管理に関すること ・出勤簿の管理及び勤務状況報告に関すること ・旅費及び諸手当事務に関すること ・施設及び備品等の維持管理に関すること

ウ　やまびこルーム

職　　名	事　　務　　分　　掌
ルーム長 （言語聴覚士兼務）	・業務の総括に関すること ・業務の基本的な計画に関すること ・業務に関して所属職員の指揮監督に関すること ・施設の維持管理及び営繕に関すること ・関係機関との連携に関すること ・苦情処理に関すること

	・利用契約に関すること ・個別支援計画の作成及び説明に関すること ・見学希望及び利用希望者への相談業務に関すること ・関係文書の作成及び保存に関すること ・嘱託医師の連絡調整に関すること ・保護者支援に関すること ・療育の記録および、児童の言語・聴覚の評価及び指導・記録に関すること ・諸会議に関すること
児童発達支援管理責任者	・利用契約に関すること ・個別支援計画の作成及び説明に関すること ・見学希望及び利用希望者への相談業務に関すること
嘱託医師 （耳鼻咽喉科）	・医療に関すること ・診察に関すること
言語聴覚士	・個別療育及び集団療育の指導計画立案および記録に関すること ・言語・聴覚の評価及び指導・記録に関すること ・保護者支援に関すること ・行事に関すること ・個別支援計画の作成及び説明の補助に関すること ・関係機関との連携に関すること ・卒園児の支援に関すること ・設備の安全点検に関すること ・備品の衛生と安全管理に関すること ・通園バスに関すること ・諸会議に関すること ・実習の受け入れに関すること ・苦情受付に関すること
指導員	・児童の出欠の記録及び統計に関すること ・集団療育の指導計画立案及び記録に関すること ・個別支援計画の作成及び説明の補助に関すること ・保護者支援に関すること ・保育・行事に関すること ・設備の安全点検に関すること ・備品の衛生と安全管理に関すること ・通園バスに関すること ・諸会議に関すること ・ボランティアに関すること ・在園児の健康管理に関すること ・給食業務に関すること

保育士	・集団療育の指導計画立案及び記録に関すること ・個別支援計画の作成及び説明の補助に関すること ・保育・行事に関すること ・保護者支援に関すること ・設備の安全点検に関すること ・備品の衛生と安全管理に関すること ・通園バスに関すること ・諸会議に関すること
事務員	・予算執行及び管理に関すること ・通所給付費請求事務に関すること ・会計及び金庫管理に関すること ・出勤簿の管理及び勤務状況報告に関すること ・旅費及び諸手当事務に関すること ・施設及び備品等の維持管理に関すること
栄養士	・やまびこルーム、すぎのこルーム、いずみの家の給食に関すること ・献立の作成に関すること ・調理盛りつけ指導に関すること ・食品の購入検品及び食材管理に関すること ・保護者への栄養指導に関すること ・嗜好調査の実施に関すること ・アレルギー食・特別配慮食に関すること ・給食委託業者の指揮・監督に関すること ・給食会議の実施に関すること

エ　相談支援事業ぱれっと

職　　名	事　　務　　分　　掌
所長 （相談支援専門員兼務）	・業務の総括に関すること ・業務の基本的な計画に関すること ・業務に関して所属職員の指揮監督に関すること ・施設の維持管理及び営繕に関すること ・関係機関との連絡調整に関すること ・苦情処理に関すること ・利用契約に関すること ・サービス利用計画作成に関すること ・モニタリングに関すること ・サービス担当者会議に関すること ・月次報告に関すること
相談支援専門員	・利用契約に関すること ・サービス利用計画作成に関すること

	・モニタリングに関すること ・サービス担当者会議に関すること
事務員	・予算執行及び管理に関すること ・相談支援給付費の請求事務に関すること ・会計及び金庫管理に関すること ・出勤簿の管理及び勤務状況報告に関すること ・旅費及び諸手当事務に関すること ・施設及び備品等の維持管理に関すること

オ　いずみの家

職　　名	事　　務　　分　　掌
所長	・業務の総括に関すること ・業務の基本的な計画に関すること ・業務に関して所属職員の指揮監督に関すること ・施設の維持管理及び営繕に関すること ・関係機関との連絡調整に関すること ・苦情処理に関すること ・保護者会との連携に関すること
サービス管理責任者	・就労移行及び就労継続支援Ｂ型における個別支援目標の設定と個別支援計画の作成及び説明に関すること ・利用契約に関すること
指導員 （就労支援員） （生活支援員） （職業指導員）	・就労移行支援に関する実務及び総括 ・就労に関する関係各機関との連絡調整及びジョブコーチ支援 ・生活・作業等支援に関すること ・個別支援目標の設定と個別支援計画の作成及び説明の補助に関すること ・情報提供と相談支援に関すること ・健康管理に関すること ・就労に関すること ・就労後のアフターケアに関すること ・ご家族との連絡調整に関すること ・苦情受付に関すること ・工賃支給に関すること ・ボランティアの受け入れに関すること ・他機関からの実習等受入に関すること
事務員	・予算執行及び管理に関すること ・障害福祉サービス訓練等給付費の請求に関すること ・会計及び金庫管理に関すること ・出勤簿の管理及び勤務状況報告に関すること

	・旅費及び諸手当事務に関すること ・施設及び備品等の維持管理に関すること

カ　ふれあいの家

職　　名	事　　務　　分　　掌
所長 （理学療法士兼務）	・業務の総括に関すること ・業務の基本的な計画に関すること ・業務に関して所属職員の指揮監督に関すること ・施設の維持管理及び営繕に関すること ・関係機関との連絡調整に関すること ・苦情処理に関すること
指導員	・更生相談事業に関すること ・社会適応訓練事業に関すること ・創作活動事業に関すること ・ボランティア養成等事業に関すること ・スポーツ、レクリエーション事業に関すること ・サークル活動に関すること ・声の市政だより事業に関すること ・講習会等事業推進会議に関すること ・苦情受付に関すること ・統計事務に関すること ・福祉情報の収集、提供、研究に関すること ・障害者啓発活動に関すること ・施設、備品の管理に関すること ・福祉バス、ゆうあい号利用申請・貸出に関すること ・施設貸出に関すること
理学療法士	・機能訓練事業に関すること ・更生相談事業に関すること ・社会適応訓練事業に関すること ・巡回機能訓練事業に関すること ・講習会等の会場設営、補助、片付け等 ・創作・スポーツ、レクリエーション事業を通した理学療法に関すること ・サークル活動を通じた理学療法に関すること ・講習会等事業推進会議に関すること ・福祉情報の収集、提供、研究に関すること ・障害者啓発活動に関すること

看護師	・更生相談、機能訓練（巡回を含む）に関すること ・利用者の健康管理に関すること ・創作・スポーツ・レクリエーション事業実施に伴う利用者の健康管理に関すること ・医療情報の収集 ・講習会等の会場設営、補助、片付け等
事務員	・予算執行及び管理に関すること ・会計及び金庫管理に関すること ・出勤簿の管理及び勤務状況報告に関すること ・旅費及び諸手当事務に関すること ・休暇処理に関すること ・施設（図書館関係、備品等含む）の利用受付に関すること ・講習会等の会場設営、補助、片付け等 ・声の市政だよりＣＤ整理他事務補助 ・来所者の対応に関すること ・施設及び備品等の維持管理に関すること ・福祉バス、ゆうあい号利用申請・貸出に関すること ・施設貸出に関すること ・統計事務に関すること
言語聴覚士（嘱託）	・機能訓練事業(言語訓練)に関すること ・更生相談事業に関すること ・社会適応訓練事業に関すること ・創作・スポーツ、レクリエーション事業を通した言語聴覚療法に関すること ・福祉情報の収集、提供、研究に関すること ・障害者啓発活動に関すること ・講習会等の会場設営、補助、片付け等
作業療法士（嘱託）	・機能訓練事業(作業療法)に関すること ・更生相談事業に関すること ・社会適応訓練事業に関すること ・創作・スポーツ、レクリエーション事業を通した作業療法に関すること ・福祉情報の収集、提供、研究に関すること ・障害者啓発活動に関すること ・講習会等の会場設営、補助、片付け等
医師（嘱託）	・医学的相談に関すること ・判定に関すること

（5）勤務体制

施設	職種	R5.4.1人員		R6.3.31現在		増減		備考
		常勤	非常勤嘱託	常勤	非常勤嘱託	常勤	非常勤嘱託	
療育相談所	医師	1	10	1	10			センター長　常勤嘱託1
	理学療法士	1		1				
	作業療法士	2		2				
	言語聴覚士	5	2	5	2			
	心理判定員	5		5				欠員1
	指導員（相談員）	4		4				所長 常勤1
	看護師	1	4	1	4			
	レントゲン技師		1		1			
	臨床検査技師		1		1			
	事務員	4	1	4	1			
すぎのこルーム	保育士	4	2	3	2	△ 1		ルーム長　常勤1、欠員1
	指導員	1	1	1	1			
	心理判定員	1				△ 1		欠員1
	理学療法士	1		1				
	作業療法士							欠員1
	看護師	1		1				
	事務員		1		1			
やまびこルーム	言語聴覚士	5		5				ルーム長　常勤1
	保育士		2		2			
	指導員	1		1				
	栄養士	1		1				
	医師		3		3			
	事務員		1		1			
相談支援事業所	指導員（相談支援専門員）	5		5				所長 常勤1
ぱれっと								
いずみの家	指導員（職業・生活・就労指導員）	6	7	7	7	1		所長 常勤1
	事務員	1		1				
	医師		1		1			
ふれあいの家	指導員	3	2	3	2			
	理学療法士	1		1				所長 常勤1
	看護師		2		2			
	言語聴覚士		1		1			
	作業療法士		1		1			
	医師		2		2			
	事務員	1	1	1	1			
計		55	46	54	46	△ 1		

（人）

職　　種	勤　務　時　間	
事務員	A	８：３０～１７：１５
	B	９：００～１７：４５
センター長・所長・ルーム長・看護師・理学療法士・作業療法士・心理判定員・指導員（相談員・支援員・相談支援専門員）・言語聴覚士・保育士・栄養士	８：４５～１７：３０ ※いずみの家の日直当番 （８：３０～１７：１５）	

（６）会議

ア　療育相談所

（ア）職員連絡会議　（研修報告会の開催を月１回含む）

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	5日	12日	19日	26日			4	所長、看護師、相談員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、心理判定員
5月	10日	17日	24日	31日			4	
6月	7日	14日	21日	24日			4	
7月	5日	12日	19日	26日			4	
8月	2日	9日	16日	23日	30日		5	
9月	6日	13日	20日	27日			4	
10月	4日	11日	18日	25日			4	
11月	1日	8日	15日	22日	29日		5	
12月	6日	13日	20日	27日			4	
1月	10日	17日	24日	31日			4	
2月	7日	14日	21日	28日			4	
3月	6日	13日	19日	27日			4	
計							50	

（イ）ケース会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	7日	14日	21日	28日			4	医師、所長、看護師、相談員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、心理判定員
5月	2日	12日	19日	26日			4	
6月	2日	9日	16日	23日	30日		5	
7月	7日	14日	21日	28日			4	
8月	4日	10日	18日	25日			4	
9月	1日	8日	15日	22日	29日		5	
10月	6日	13日	20日	27日			4	
11月	2日	10日	17日	24日			4	
12月	1日	8日	15日	22日	29日		5	
1月	5日	12日	19日	26日			4	
2月	2日	9日	16日	22日			4	
3月	1日	8日	15日	22日	29日		5	
計							52	

イ　すぎのこルーム

（ア）運営会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	4日	10日	17日	24日			4	ルーム長、看護師、理学療法士、作業療法士、保育士、指導員、心理判定員
5月	1日	8日	15日	22日	29日		5	
6月	5日	12日	19日	26日			4	
7月	3日	24日					2	
8月	15日	21日					2	
9月	4日	11日	25日				3	
10月	2日	23日					2	
11月	6日	13日	27日				3	
12月	4日	11日	18日	25日			4	
1月	15日	22日					2	
2月	5日	19日	26日				3	
3月	4日	11日	18日	25日			4	
計							38	

（イ）ケース会議（医療型児童発達支援センター）

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	10日						1	ルーム長、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、保育士、指導員、心理判定員
6月	9日	22日					2	
7月	26日						1	
8月	4日						1	
9月	28日						1	
10月	5日	12日					2	
12月	12日	13日	20日	27日			4	
1月	31日						1	
2月	27日						1	
計							14	

（ウ）個別支援計画会議

開催回数：児童１人に対して年２回（前期・後期）実施しました。

参加職種：ルーム長、看護師、理学療法士、作業療法士、保育士、指導員、心理判定員

（エ）リハビリテーション計画会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	24日						1	ルーム長、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、心理判定員、保育士、指導員
5月	8日	15日					2	
6月	5日	12日	26日				3	
7月	3日						1	
8月	15日						1	
9月	11日	19日					2	
10月	2日	10日	12日	23日			4	
11月	20日						1	
12月	12日	21日					2	
1月	4日	10日	23日	24日	31日		5	
2月	5日	6日	9日	14日			4	
3月	1日	5日	14日	26日			4	
計							30	

（オ）ヒヤリハット会議

開催日：毎日１５時３０分よりヒヤリハット事項について報告し、対応を検討しました。

参加職種：ルーム長、看護師、理学療法士、作業療法士、保育士、指導員、心理判定員

（カ）給食会議（すぎのこルーム、やまびこルーム、いずみの家）

委託者会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	11日						1	栄養士、委託職員、すぎのこルーム担当者、やまびこルーム担当者、いずみの家担当者
5月	9日						1	
6月	13日						1	
7月	11日						1	
8月	8日						1	
9月	12日						1	
10月	10日						1	
11月	14日						1	
12月	12日						1	
1月	16日						1	
2月	13日						1	
3月	12日						1	
計							12	

（キ）児童発達支援事業グループ別療育会議

開催回数：１日２回（９：３０～１０：００　１４：００～１４：３０）実施しました。

参加職種：ルーム長、保育士、指導員、心理判定員

（ク）児童発達支援事業調整会議（すぎのこルーム、療育相談所、大宮学園たけのこルーム）

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
8月	25日						1	医師、園長、ルーム長、保育士、指導員、療育相談所関係職員
2月	16日						1	
計							2	

（ケ）児童発達支援事業ケース会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
5月	19日						1	医師、ルーム長、保育士、指導員、心理判定員、療育相談所関係職員
6月	2日	16日					2	
10月	5日	12日	13日				3	
11月	10日	17日					2	
12月	25日						1	
1月	12日						1	
3月	31日						1	
計							11	

ウ　やまびこルーム

（ア）運営会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	6日	10日					2	ルーム長、児童発達支援管理責任者、保育士、指導員、言語聴覚士
5月	1日	8日	22日				3	
6月	5日	19日	26日				3	
7月	3日	10日	11日	24日	31日		5	
8月	1日	7日	8日	14日	21日	28日	6	
9月	4日	11日	25日				3	
10月	2日	16日	30日				3	
11月	6日	13日	20日	27日			4	
12月	4日	11日	18日	25日			4	
1月	15日	22日	26日	29日			4	
2月	2日	5日	15日	19日	26日	28日	6	
3月	4日	11日	18日	25日	26日		5	
計							48	

（イ）ケース会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	28日						1	ルーム長、児童発達支援管理責任者、保育士、指導員、言語聴覚士
6月	30日						1	
8月	25日						1	
9月	22日						1	
10月	27日						1	
12月	21日						1	
1月	26日						1	
2月	19日						1	
3月	26日						1	
計							9	

（ウ）個別支援計画作成会議

開催日：児童１人に対して年２回（前期・後期）実施しました。

参加職種：ルーム長、言語聴覚士　保育士、指導員

（エ）ヒヤリハット会議

開催日：毎日１６時４５分よりヒヤリハット事項について報告し、対応を検討しました。

参加職種：ルーム長、言語聴覚士、保育士、指導員

（オ）グループ会議

開催日：グループ活動終了後、グループ活動開始前など、随時実施しました。

参加職種：ルーム長、児童発達支援管理責任者、保育士、指導員、言語聴覚士

エ　相談支援事業所ぱれっと

（ア）運営会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	6日						1	所長、相談支援専門員
5月	22日						1	
6月	16日						1	
7月	21日						1	
8月	18日						1	
9月	22日						1	
10月	20日						1	
11月	20日						1	
12月	18日						1	
1月	19日						1	
2月	16日						1	
3月	15日						1	
計							12	

（イ）サービス担当者会議

利用児（者）が使用する福祉サービス提供事業所の担当者と利用計画等についての連絡調整を随時行いました。

オ　いずみの家

（ア）運営会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	5日						1	所長、サービス管理責任者、指導員
5月	10日						1	
6月	6日						1	
7月	4日						1	
8月	1日						1	
9月	5日						1	
10月	3日						1	
11月	8日						1	
12月	5日						1	
1月	8日						1	
2月	6日						1	
3月	5日						1	
計							12	

（イ）支援会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	18日						1	所長、サービス管理責任者、指導員
5月	23日						1	
6月	20日						1	
7月	18日						1	
8月	15日						1	
9月	15日						1	
10月	17日						1	
11月	21日						1	
12月	19日						1	
1月	23日						1	
2月	20日						1	
3月	18日						1	
計							12	

（ウ）サービス検討会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	27日						1	所長、サービス管理責任者、指導員
5月	30日						1	
6月	27日						1	
7月	25日						1	
8月	22日						1	
9月	26日						1	
10月	24日						1	
11月	28日						1	
12月	26日						1	
1月	30日						1	
2月	28日						1	
3月	26日						1	
計							12	

（エ）個別支援計画検討会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	27日						1	所長、サービス管理責任者、指導員
5月	8日	9日	15日	16日	19日	23日	10	
	24日	26日	29日	31日				
6月	1日	6日					2	
10月	3日	6日	10日	17日	19日	24日	8	
	25日	30日						
11月	6日	13日					2	
計							23	

（オ）ヒヤリハット会議

開催日：毎日８時４５分より、前日のヒヤリハット事項について報告し、対応を検討しました。

参加職種：所長、サービス管理責任者、指導員

カ　ふれあいの家

（ア）職員連絡会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	12日						1	所長(兼理学療法士)、指導員、作業療法士、言語聴覚士、看護師、事務職員
5月	19日						1	
6月	23日						1	
7月	21日						1	
8月	23日						1	
9月	20日	22日					2	
10月	24日						1	
11月	22日						1	
12月	8日						1	
1月	12日						1	
2月	14日	16日					2	
3月	22日						1	
計							14	

（イ）ケース会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	5日	26日					2	所長(兼理学療法士)、指導員、作業療法士、言語聴覚士、看護師
5月	10日						1	
6月	2日	14日					2	
7月	12日	28日					2	
8月	18日						1	
9月	8日						1	
10月	11日	19日					2	
11月	24日						1	
12月	13日	27日					2	
1月	10日	26日					2	
2月	9日	28日					2	
3月	8日	15日					2	
計							20	

（ウ）講習会等推進会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
8月	25日						1	所長、指導員、講習会関係団体
3月	15日						1	
計							2	

（エ）身体障害者福祉センター連携会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
5月	19日						1	所長(兼理学療法士)、指導員
12月	19日						1	
3月	26日						1	
計							3	

（オ）リスクマネジメント会議

開催日：第３金曜午前職員会議終了後、ヒヤリハット事項について報告し、必要に応じ会議にて対応と再発防止策を検討しました。

参加職種：所長、指導員、看護師、作業療法士、言語聴覚士、事務員

キ　その他

（ア）心身障害児総合通園センター運営会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	20日						1	センター長、総合通園センター所長、事務局長、大宮学園長、療育相談所長、すぎのこルーム長、やまびこルーム長、ひまわりルーム長、たけのこルーム長、ぱれっと所長
5月	18日						1	
6月	15日						1	
7月	20日						1	
8月	17日						1	
9月	14日						1	
10月	19日						1	
11月	16日						1	
12月	21日						1	
1月	18日						1	
2月	15日						1	
3月	21日						1	
計							12	

（イ）施設運営連絡会議（療育センター全体）

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	13日						1	事務局長、療育相談所長、すぎのこルーム長、やまびこルーム長、いずみの家所長、ふれあいの家所長、ぱれっと所長、発達障害者支援センター所長、事務局長補佐、センター庶務係長、大宮園長、大宮学園庶務係長
6月	8日						1	
8月	10日						1	
10月	12日						1	
12月	7日						1	
2月	8日						1	
計							6	

（ウ）衛生委員会（療育センター全体）

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	20日						1	産業医、衛生管理者、事務局長、療育相談所長、すぎのこルーム長、やまびこルーム長、いずみの家所長、ふれあいの家所長、ぱれっと所長、発達障害者支援センター所長、庶務係長
5月	18日						1	
6月	15日						1	
7月	20日						1	
8月	17日						1	
9月	14日						1	
10月	19日						1	
11月	16日						1	
12月	21日						1	
1月	18日						1	
2月	15日						1	
3月	21日						1	
計							12	

（エ）感染症予防委員会

開催日：令和５年４月１３日、令和５年６月８日

内　容：「感染症・食中毒の予防及びまん延防止に関する指針」の確認、新型コロナウイルス感染症第５類に移行後の対応、食中毒注意報発令に伴う対応について検討しました。

参加職員：療育ｾﾝﾀｰ（大宮学園含む）の各施設委員及び事務局長、事務局長補佐

（オ）虐待防止委員会

開催日：令和５年６月８日

内　容：「虐待防止に関する指針」の周知徹底等及び事例報告を行いました。

参加職員：療育センター（大宮学園含む）各施設長及び事務局長、事務局長補佐、各係長

（カ）身体拘束適正化検討委員会

開催日：令和５年６月８日

内　容：「身体拘束等の適正化のための指針」の周知徹底等等を行いました。

参加職員：療育センター（大宮学園含む）各施設長及び事務局長、事務局長補佐、各係長

（ク）専門職会議（千葉市社会福祉協議会施設福祉部門専門職）

職種	開催日					回数
指導員	5/24	8/30	2/7			3
看護師	7/5	10/10	1/16			2
栄養士	6/23	10/18				2
心理判定員	5/23	10/31	3/5			3
言語聴覚士	6/22	3/6				3
理学療法士	4/25	6/27	9/26	1/30		4
作業療法士	4/12	7/4	10/25	1/17	3/21	5
保育士	8/2	10/18	2/13			3
社会福祉士	6/1	12/7				2
計						27

（７）研修

常に新しい知識・情報を共有できるよう研修会に積極的に参加しました。

ア　療育相談所

研修名	内容	対象職種	受講人数	実施日	備考
明治安田こころの健康財団主催発達障害専門講座	保護者と心理専門職の協労を考える	心理判定員	１人	5/22	オンライン
WISC-Ⅴ公開講座	WISC-Ⅴの実施・支援・解釈についての解説	心理判定員	１人	6/3	

主体的にコミュニケーションを図ろうとする力をはぐくむ吃音指導	吃音指導の実際、言葉の教室でできる事	言語聴覚士	１人	7/31	
側音化構音をもつ児童の舌づくりを中心とした指導	指導方法や工夫について、成功事例を交えた研修	言語聴覚士	１人	7/31	
『ペアレントトレーニングと家族支援・心理教育プログラム』導入・実践のための講習会－	保護者に対するペアレントトレーニングについて学ぶ	心理判定員	１人	9/9・9/10	
ことばの教室：言語障害通級指導教室の飽くなき闘いと、学校医に出来る事	検見川小学校と松ヶ丘小学校、耳鼻科　小松 Dr からの講演	学校保健に関わる会員及び職員,教育関係者	２人	9/14	
実践から考える神経発達症の理学療法	神経発達症の基礎知識、理学療法評価・支援、臨床の展開	理学療法士	１人	9/24	オンライン
発達協会　ウェビナー	発達障害児の運動や食事指導に関する知識	作業療法士	１人	10/2・11/16	
千葉市主催　社会福祉施設等を対象とした感染症予防講習会	施設等の集団生活における感染症対策	看護師	１人	10/4	
構音障害のある児童の評価と指導	事例や舌運動訓練の演習を交えての講義	言語聴覚士	１人	10/20	
令和５年度　ハラスメント対策研修	各ハラスメントの定義や動向等についての知識	看護師,相談員	３人	10/24	
DCD の病態理解とニューロリハビリテーション	DCD の病態について、具体的なアプローチ方法の紹介など	理学療法士	１人	11/12	オンライン
上野一彦先生から学ぶ WISC 報告書の書き方―事例を通して	上野先生の臨床経験から学ぶ	心理判定員	１人	11/18	
千葉市障害者虐待防止研修	国の動向等の最新の情報を共有し、日々の支援を振り返る	虐待係	１人	3/14	オンライン
2023 年度 WISC-Ⅴ研修会	WISC-Ⅴの基礎とⅣとの違い、Ⅴの理論的枠組みについて学ぶ	心理判定員	４人	3/20	オンライン
千葉市障害者虐待防止研修	千葉市障害者虐待防止研修の伝達研修	全職員	１７人	3/18	

イ　すぎのこルーム

研修名	内容	対象職種	受講人数	実施日	備考
医療的ケア看護師研修会	医療的ケアについて関する知識と技術の向上	看護師	１人	4/22	
ペアレントトレーニング基礎研修会	ペアレントトレーニングの実践	保育士,理学療法士	２人	5/11	オンライン
障害児虐待予防研修	通所支援事業所内の不適切な対応や予防について	保育士	１人	5/16	オンライン
千葉県通園施設連絡協議会	令和５年度計画、予算について	ルーム長	１人	5/26	
県立千葉特別支援学校見学会	学校の概要	保育士	１人	6/13	
袖ケ浦特別支援学校　学校公開	学校の概要説明・学校見学	保育士,理学療法士	２人	6/27	
AED 心肺蘇生法研修	救命講習会	保育士,指導員	２人	7/10 11/16	
発達協会 2023 年夏のセミナー	基礎から学ぶ発達障害・知的障害領域別指導の実際	保育士	１人	7/29 7/30	
発達協会 2023 年夏のセミナー	行動の問題の見方と対応の実際	指導員	１人	8/4 8/5	
千葉県通園施設協議会 PT/OT 部会研修会	工房見学、質疑応答（最近のバギー、座位保持装置等）	理学療法士	１人	8/31	
医療的ケア児のための保育所等の看護師及び保育士研修会	医療的ケア児の理解、実技研修	看護師	１人	9/2.16	
ペアレントトレーニングと家族支援等について	保護者連携・家族支援を学ぶ	心理判定員	１人	9/9.10	
社会福祉施設等を対象とした感染予防	施設等の集団生活における感染症対策	看護師	１人	10/4	
医療的ケア看護師講習会	呼吸障害、経管栄養について	看護師	１人	10/7	
発達境界 2023 年秋のセミナー	困る行動への理解と対応	保育士	１人	10/15	
令和５年度　療育支援研修会	障がいのある子どもたちの遊びと姿勢援助コミュニケーション	保育士,指導員	２人	10/21	
発達協会 2023 年秋のセミナー	遊びを通して発達を促す	指導員	１人	11/3	

発達協会 2023 年秋のセミナー	発達障害・知的障害のある子の「感覚」への対応	理学療法士	１人	11/5	
改正障害者差別解消法に関わる説明会	内閣府行政説明、障害者差別解消法について	ルーム長	１人	11/15	
千葉県通園施設連絡協議会 第２回　保健部会	ペアレントトレーニングについて	看護師	１人	11/22	
発達協会 2023 年秋のセミナー	対人関係やコミュニケーションが苦手な子の理解と支援	保育士	１人	11/23	
福祉サービス　苦情解決研修会	苦情解決ガイドライン応用編	保育士	１人	11/27	
社会福祉施設等　ボランティアコーディネーター研修会	新たな層のボランティアの開拓	指導員	１人	12/5	
医療的ケア児者等受け入れ事業所交流会	医療的ケア児者の受け入れについて	ルーム長, 保育士	２人	12/5	
支援者を伸ばす実践セミナー	様々な視点・実践を学ぶ	保育士	１人	12/9	
市立第２養護学校公開・関係機関等との合同研修会	授業参観と分科会	保育士, 指導員	２人	12/12	
ペアレントトレーニング基礎講習会	ペアレントトレーニングの５つの基本プログラム	指導員	１人	1/12	オンライン
千葉県通園施設連格協議会 第２回 PT/OT 部会	他施設との同職種連携について	理学療法士	１人	1/16	
第８回　障害児支援セミナー	子どもの発達段階に応じた支援	保育士	１人	1/30	
千葉県通園施設協議会 施設長会議	研究大会について、他施設との情報交換等	ルーム長	１人	1/31	
千葉県通園施設協議会 第３回保健部会	各施設の情報交換	看護師	１人	2/1	
障害者歯科に関する集団講話	①窒息と誤嚥性肺炎 ②補食の大切さと咀嚼機能　③食環境・食内容の大切さ	理学療法士, 保育士	２人	2/５～12 2/19～26 3/４～１１	
千葉県通園施設協議会 第２回療育部会	障害児と音楽	指導員	１人	2/13	
てんかん治療を巡る多様な側面	てんかんの基礎知識と最新外科治療	看護師	１人	2/17	
第１回　難病患者支援者交流会	難病患者に対する各種制度について	指導員	１人	3/16	

【内部研修】 虐待防止について	障害者虐待防止に関する指針	全職種	7 人	8/28	
【内部研修】 医療的ケアについて	医療的ケアについて（呼吸障害、姿勢について）	全職種	7 人	8/28	
【内部研修】 心肺蘇生法について	心肺蘇生法の流れ、AED の使い方	全職種	7 人	8/28	
【内部研修】 児童虐待について	児童虐待の定義など	全職種	7 人	8/28	
【内部研修】 研修報告	心理療法（ポーテージポログラム）とその活用	全職種	9 人	1/12	
【内部研修】 感染症について	排泄物、嘔吐物の処理等	全職種	9 人	1/12	
【内部研修】 研修報告	集団における感染症対策	全職種	9 人	1/12	

ウ　やまびこルーム

研修名	内容	対象職種	受講人数	実施日	備考
千葉聴覚障害教育研究会　令和 5 年度春の例会	きこえの教室における ICT の活用　他	言語聴覚士	1 人	5/13	オンライン
千葉県特別支援教育研究連盟聴覚障害教育研究部会　令和 5 年度　第 1 回研修会	一側性難聴・軽中等度難聴への理解と支援	言語聴覚士	2 人	6/6	オンライン
千葉県特別支援学級・通級指導教室　難聴・言語障害専門部会令和 5 年度全体研修会	きこえ・言葉の教室の担当者が大切にしたいこと	言語聴覚士	2 人	6/7	オンライン
こども中心のインリアルアプローチ	インリアルアプローチについて	言語聴覚士	1 人	6/19	オンライン
千葉県立千葉聾学校　学校公開	学校概要、授業参観	言語聴覚士	1 人	6/24	
フォナック補聴器勉強会	補聴器、補聴援助システム、補聴器調整について	全職種	全員	6/28	
夏休み人工内耳勉強会	聞こえの仕組みと人工内耳、なぜ小児人工内耳前後の療育が重要なのかを考える	ルーム長, 言語聴覚士	３人	7/22	オンライン会場参加
国リハ式＜S-S 法＞言語発達遅滞検査(改訂第 4 版)講習会	国リハ式＜S-S 法＞言語発達遅滞検査(改訂第 4 版)の実施方法	言語聴覚士	1 人	7/23	オンライン

第 52 回全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会　全国大会	ことばの教室経営と他機関との連携	言語聴覚士	1 人	7/27.28	
令和 5 年度きこえとことばの基礎講座(千葉聾学校)	きこえについて、通級による指導、外国語活動他	言語聴覚士,指導員,保育士	5 人	7/27 または 28	オンライン会場参加
令和 5 年度西日本児童発達支援センター職員研修会	聴覚障害児施設で働く職員のためのエンゲージメント	言語聴覚士	1 人	7/29	オンライン
教育オーディオロジーセミナー 2023	聞き取り困難/聴覚情報処理障害の研究と当事者の活動等	言語聴覚士	1 人	8/19.20	
口蓋裂の構音障害・訓練編	口蓋裂の構音障害・訓練	言語聴覚士	1 人	8/27	オンライン
筑波大学附属聴覚特別支援学校小学部学校公開	学校概要説明、授業参観	ルーム長,言語聴覚士	2 人	9/23	
日本言語聴覚士会　加齢性難聴支援研究会	加齢性難聴と認知症他	言語聴覚士	1 人	9/24	オンライン
第 68 回日本音声言語医学会学術講演会	よくわかる聞き取り困難症/聴覚情報処理障害他	言語聴覚士	1 人	10/6、7	
2023 年度フォローアップ研修家族支援	支援側の視点と当事者側の視点のズレに気づく	指導員	1 人	11/1	
フォナック専門家向け聴覚体験講座	補聴器の基礎、基本的な調整、微調整他	言語聴覚士	2 人	11/19	
令和 5 年度筑波大学附属聴覚特別支援学校　授業公開研修会	幼稚部、小学部～高等部公開授業および情報交換	言語聴覚士	2 人	11/22	
補聴器フィッティングの基礎から近年の動向まで	補聴器の種類、近年の動向、補聴器の調整	言語聴覚士	1 人	1/21	オンライン
2023 年度第 2 回東京都言語聴覚士会・埼玉県言語聴覚士会共催聴覚領域研修会	人工内耳装用児における医療・療育の連携	言語聴覚士	1 人	2/4	オンライン
令和 5 年度千葉市かかりつけ医等発達障害対応力向上研修	特別支援教育と医療の連携	指導員	1 人	3/28	オンライン
【内部研修】 令和 5 年度千葉県合同夏季研修会　聴覚障害部会	小学校と中学校の連携	全職種	全員	9/10	資料回覧
【内部研修】 巨大地震に備える	地震への事前の備え	全職種	全員	11/2	資料回覧
【内部研修】 虐待研修	障害者虐待防止法の概要	全職種	全員	1/18	

【内部研修】 嘔吐処理研修	嘔吐処理の実際の動きについて	全職種	全員	1/24	
【内部研修】 療育相談所　言語聴覚士によるスーパーバイズ	言語評価および個別指導内容について	言語聴覚士	3 人	6～2 月 計 15 回	

エ　ぱれっと

研修名	内容	対象職種	受講人数	実施日	備考
基幹相談支援センター合同研修	65 歳介護保険への移行について～基礎から学ぼう介護保険～	全職種	5 人	5/11	オンライン
小児在宅歯科医療講習会 IN 千葉	小児在宅歯科医療について	全職種	1 人	5/14	
ヘビークレーム・カスタマーハラスメント対策	ヘビークレームの実態・対応	所長	1 人	6/16	
神経難病「疫学」について	神経難病「疫学」について	指導員	1 人	6/23	
強度行動障害支援者養成研修（基礎）	強度行動障害支援について	指導員	1 人	6/29、30	
基幹相談支援センター合同研修	児童相談所の役割について	所長・指導員	2 人	7/13	オンライン
千葉市中央区基幹相談支援センター研修	8050 問題の基本理解と支援者連携について	全職種	5 人	7/28	オンライン
相談支援に関する意見交換会（中央区）	実践報告（1 報告）	指導員	1 人	8/10	
基幹相談支援センター合同研修	相談支援専門員が知っておきたい資源について	指導員	1 人	9/14	オンライン
2023 年度相談援助技術研修	相談支援専門員の知識・面接技術につて	指導員	1 人	10/26	
家族支援の理論と実際	家族支援について	指導員	1 人	11/1	
基幹相談支援センター合同研修	精神障害者の地域移行支援について	指導員	1 人	11/9	オンライン
千葉市発達障害者支援センター	発達障害者の“はたらく”を考える	指導員	1 人	11/10	オンライン
コミュニケーション実践研修	アドラー心理学に基づく勇気づけワークアート	指導員	1 人	11/21	
千葉市地域生活支援拠点	千葉市の地域生活支援システムについて	全職種	5 人	12/8	オンライン

千葉市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業	地域の暮らしを支えるために私たちができること	指導員	1 人	12/9	オンライン
強度行動障害支援者養成研修（基礎）	強度行動障害支援について	指導員	1 人	12/14,15	
強度行動障害支援者養成研修（実践）	強度行動障害支援者養成（資格取得）	所長・指導員	2 人	12/21,22,25,26	
千葉県障害者グループホーム講座	医療的ケアがあっても地域で暮らせるために	指導員	1 人	1/9	オンライン
基幹相談支援センター合同研修	相談援助スキル～アセスメントについて～	所長・指導員	2 人	1/11	オンライン
若葉区児童系通所シンポジウム	育ちの支援を必要とする子どもと家族、支援者とのかかわりについて	所長・指導員	1 人	1/23	
千葉市社会福祉協議会 CSW 事例検討会	事例報告（1 報告）	指導員	1 人	2/2	オンライン
美浜区児童系通所シンポジウム	事例報告（3 報告）	所長・指導員	3 人	2/27	
強度行動障害のある方の支援者の対する研修	実践報告会について	指導員	1 人	3/9	
虐待防止研修	虐待について	指導員	1 人	3/14	オンライン

オ　いずみの家

研修名	内容	対象職種	受講人数	実施日	備考
AED 研修	AED を用いた心肺蘇生法等の救命処置を学ぶ	指導員	2 人	7/10	
【内部研修】 虐待防止研修①	虐待の倫理要綱・行動指針を確認し、虐待の防止と対応を学ぶ	指導員	6 人	7/25	
障害者の福祉的就労と日中サービスの支援のあり方について	就労継続支援 B 型、生活介護の多様な支援と役割についての実践を学ぶ	指導員	1 人	10/4	オンライン
【内部研修】 虐待防止研修②	虐待の倫理要綱・行動指針を確認し、虐待の防止と対応を学ぶ	指導員	8 人	11/28	
令和 5 年度　障害者虐待防止マネジャー研修	虐待を生まない支援のあり方や体制構築につなげるた	指導員	1 人	2/13	オンライン

	めの知識、実践的なスキルを学ぶ				
千葉市障害者支援センター 発達障害講座「基礎からわかる発達障害」	発達障害の理解を深めるとともに支援の根拠となる正しい知識を学ぶ	指導員	2 人	2/17	
千葉市知的障害者福祉施設等連絡協議会研修会	建て替え工事完了後のエルピザの里を見学すると共に、生活の場としての暮らし、安全性の向上に関する支援課題の解決・実践方法を学ぶ	指導員	3 人	2/27	
【内部研修】 虐待防止研修③	虐待の倫理要綱・行動指針を確認し、虐待の防止と対応を学ぶ	指導員	6 人	3/26	

カ　ふれあいの家

研修名	内容	対象職種	受講人数	実施日	備考
AED 研修	AED を用いた心肺蘇生法等の救命処置を学ぶ	指導員, 作業療法士, 言語聴覚士	4 人	7/12、11/16, 17	
【内部研修】 たいよう号申込受付業務研修	たいよう号の利用受付に関する業務内容の把握	全職員	8 人	8/25	
【内部研修】 ふれあいの家施設概要について	ふれあいの家の施設概要、事業についての確認	全職員	11 人	2/16	

キ　センター事務局

研修名	内容	対象職種	受講人数	実施日	備考
安全運転管理者等法定講習	安全運転管理者等に必要な知識や基本的業務	事務局長	1 人	4/25	
防火管理再講習	適切な防火管理業務の徹底	事務局長	1 人	5/23	
ヘビークレーム・カスタマーハラスメント対策	ヘビークレームへの対応手順・体制づくり	事務局長補佐	1 人	6/16	
入札談合等関与行為防止法等研修会	入札談合防止に向けて	係長	1 人	6/8	
社会福祉法人におけるインボイス制度と電子帳簿保存法の対応研修	インボイス制度と電子帳簿保存法の対応	事務	3 人	7/7, 10, 11	

インボイス研修	インボイスについて	事務局長補佐, 庶務係長, 事務	5 人	9/7・9/13	
障害児医療的ケア児の親と就労	取り残される障害児医療的ケア児の親たち	事務局長補佐	1 人	10/21	
管理監督職のためのメンタルヘルス研修	職場の精神衛生における役割と心の健康	係長	1 人	10/19	
更新時集団指導	保険医療機関における保険診療の理解	事務	1 人	10/24	
災害ボランティアフォローアップ講座	災害ボランティアセンター開設・運営訓練の実施	事務局長, 事務局長補佐, 事務	5 人	12/3	
食の安全に関する講演会・意見交換会	食品添加物の安全性とその役割	栄養士	1 人	2/1	

ク　センター共通

研修名	内容	対象職種	受講人数	実施日	備考
第 65 回日本小児神経学会学術大会	先端研究と臨床的洞察の融合に向けて	センター長	1 人	5/25～27	
第 124 回日本医史学会学術大会	歴史から学ぶ感染症への視点	センター長	1 人	6/3・4	
医療安全講習会	診断に対する医療安全的アプローチ	センター長	1 人	6/29	
令和 5 年度千葉県 サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者　更新研修	サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者の資格更新	所長、作業療法士	3 人	9 月～11 月	
令和 5 年度千葉県 サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者　基礎研修	サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者の資格取得	指導員	1 人	10 月～12 月	
令和 5 年度千葉県 相談支援従事者　初任者研修	相談支援専門員の知識・技術の確認・（演習）	指導員	1 人	7 月～11 月	
千葉市社会福祉協議会 新任職員研修	各施設見学（基本的知識を習得、適応性を養う）	指導員, 保育士, 言語聴覚士	6 人	4/4	
千葉市社会福祉協議会 新任職員研修未受講者研修	社協の概要・新人スキルアップ研修	事務	1 人	8/25	

千葉市社会福祉協議会 階層別 e-ラーニング研修 初任者	「仕事の心がまえコース」「レジリエンスの鍛え方基本コース」「未来を作るキャリアデザインコース」「ビジネスマナー基本コース」「仕事の覚え方基本コース」	令和 4 年度から 5 年度に採用された職員	8 人	10/20～3/31	オンライン
千葉市社会福祉協議会 階層別 e-ラーニング研修 中堅職員	「チームマネジメント基本コース」「今からはじめるキャリアベーシックコース」「未来を作るキャリアデザインコース」	中堅職	1	10/20～3/31	オンライン
千葉市社会福祉協議会 階層別 e-ラーニング研修 係長・リーダークラス職員	「リーダー・マネジャーのための課題解決基本コース」「リスクマネジメント基本コース」	各施設全職種のうち係長相当職	3 人	10/20～3/31	オンライン
千葉市社会福祉協議会 階層別 e-ラーニング研修 新任管理者	「マネジメントの基本コース」「労務管理の基本的な考え方」「労務管理の健康確保対応編」「労務管理と職場環境づくり」	新任管理職	1 人	10/20～3/31	オンライン
千葉市社会福祉協議会 階層別 e-ラーニング研修 管理者	「上級管理者コース」「リスクマネジメントコース」「パワーハラスメント」	管理職	6 人	10/20～3/31	オンライン
千葉市社会福祉協議会 人事考課研修	人事考課の目的、事例検討等	管理職	6 人	11/2	
千葉市社会福祉協議会 情報セキュリティ運用責任者向け研修	情報セキュリティ対策の遂行にあたり、必要な知識を習得する	情報セキュリティ責任者	1 人	3/26	オンライン
千葉市社会福祉協議会 情報セキュリティ非管理者向け研修	今、その先にある脅威～組織を狙うランサムウェア攻撃	全職種	全員	3 月	オンライン

（８）安全管理（危機管理）

ア　災害対策の内容

（ア）緊急時対応に関する基本的な考え方

千葉市社会福祉協議会で統一した災害対応マニュアルを整備し、災害時に備えました。

災害レベル別の配備計画

	配備時期の目安	配備体制
警戒配備	市内に地震、風水害等の警報が発令された場合。	施設長は情報収集に努め、職員は速やかに次の段階の体制がとれるように、緊急役割分担の再確認（夜間・休館日は自宅待機）を行って、準備を整える。
第1配備	事業実施に支障はない程度の災害が発生、またはその恐れがある場合。もしくは、市内に震度 5 強程度の地震が発生した場合。	初期対応班が必要な対応を行い、状況を施設長に報告する。施設長は必要に応じて、総務企画課および千葉市に報告する。 夜間・休館日の場合は、警備委託会社からの連絡を受け、施設長が必要と認める場合は、担当職員を施設へ配備する。
第2配備	施設で災害が発生し、今後の事業実施に影響を及ぼす状況である場合。または、市内に震度 6 弱程度の地震等が発生した場合。	緊急連絡体制により、災害対応マニュアルに沿った対応を行い、施設長は、総務企画課および千葉市に報告する。夜間・休館日の場合は、警備委託会社からの連絡を受け、施設長が必要と認める、担当職員を施設へ配備する。
第3配備	施設で災害が発生し、事業実施が困難な状況である場合。または、市内に震度 6 強以上の地震等が発生した場合。	緊急連絡体制にのっとって、災害対応マニュアルに沿った対応を行い、初期対応が落ち着き次第、施設長は、総務企画課および千葉市に報告する。また、施設の閉鎖および近隣住民のための開放などについて、千葉市と相談し対応を図る。

（イ）災害を想定した消防・防災訓練の実施

消防計画に基づき、火災、地震等の災害を想定し、避難訓練を実施しました。また、療育センター全体での防災訓練（総合）を実施しました。なお、防災訓練（総合）のうち一回は、厚生労働省からの指示に基づき「水害・土砂災害の場合」を想定した訓練を実施しました。※「総合」とは通報・消火・避難等の総合防災訓練

a　全体

月	日	内容			参加者	備考
		避難	消火	総合		
5 月	26 日			○	83 人	センター全体訓練参加
8 月	29 日			○	76 人	センター全体訓練参加
11 月	16 日	○			26 人	３階からの車いす利用者の避難訓練

b　すぎのこルーム

月	日	内容			参加者	備考
		避難	消火	総合		
4 月	14 日	○	○		11 人	
5 月	23 日	○	○		13 人	
5 月	26 日			○	16 人	センター全体訓練参加
6 月	13 日	○	○		14 人	
7 月	4 日	○	○		10 人	
8 月	2 日	○	○		10 人	
8 月	29 日			○	17 人	センター全体訓練参加
9 月	7 日	○	○		14 人	
10 月	31 日	○	○		14 人	
11 月	16 日	○		○	21 人	センター全体訓練参加
11 月	29 日	○	○		13 人	
12 月	21 日	○	○		13 人	
1 月	25 日	○	○		15 人	
2 月	19 日	○	○		12 人	
3 月	11 日	○	○		13 人	

c　やまびこルーム

月	日	内容			参加者	備考
		避難	消火	総合		
4 月	18 日	○	○		7 人	
5 月	26 日			○	1 人	センター全体訓練参加
6 月	23 日	○	○		9 人	
7 月	11 日	○	○		7人	
8 月	24 日	○	○		7人	
	29 日			○	1 人	センター全体訓練参加
9 月	15 日	○	○		10 人	
10 月	6 日	○	○		19 人	
11 月	6 日	○	○		13 人	
	16 日	○			10 人	センター全体訓練参加
12 月	6 日	○	○		11 人	
1 月	31 日	○	○		10 人	
2 月	1 日	○	○		12 人	
3 月	5 日	○	○		8 人	

d　いずみの家

月	日	内容			参加者	備考
		避難	消火	総合		
4 月	24 日	○			37 人	火災想定
5 月	26 日			○	36 人	センター全体訓練参加
6 月	28 日	○			38 人	火災想定
7 月	20 日	○			34 人	地震、火災想定
8 月	29 日	○			35 人	センター全体訓練参加
9 月	25 日	○	○		37 人	地震、火災想定
10 月	17 日	○			44 人	火災想定
11 月	16 日	○			3 人	センター全体訓練参加
12 月	13 日	○			36 人	地震、火災想定
1 月	16 日	○	○		40 人	火災想定
2 月	16 日	○			36 人	火災想定
3 月	6日	○			26 人	地震、火災、津波想定

e　ふれあいの家

月	日	内容			参加者	備考
		避難	消火	総合		
5 月	26 日			○	1 人	センター全体訓練参加
8 月	29 日	○			1 人	センター全体訓練参加
9 月	2 日	○			22 人	はまのわ全体訓練参加
11 月	16 日	○			4 人	３階からの車いす利用者の避難訓練
1月	19 日	○			31 人	はまのわ全体訓練参加

（ウ）その他

・千葉市から「拠点的福祉避難所」の指定を受けており、災害時に備えました。

・「自然災害発生時における療育センター事業継続計画」を策定しました。

イ　事故発生時の報告体制

（ア）緊急時対応に関する基本的な考え方

千葉市社会福祉協議会で危機管理計画を策定し、これに基づく「事故対応マニュアル」を整備し事故発生時に備えました。

（イ）事故発生時の対応

事故が発生した場合は、利用者の安全確保を最優先に迅速に対応しました。また、事故後リスクマネジメント会議を開催し、事故が発生した要因を把握するとともに、事故の再発を防止するための改善策について検討しました。

（ウ）事故発生時および緊急時の連絡

災害等による被害や建物、設備についての事故はありませんでした。

（９）苦情解決

当協議会苦情解決事業実施要綱（社会福祉法第８２条の規定に基づく）で定められている苦情受付担当者や苦情解決責任者への苦情の申し出については、ありませんでした。また、センター事務所の窓口に常時設置されているご意見箱には意見・苦情等は寄せられておりませんでした。

ア　苦情解決責任者

施設名	職名	氏名
療育相談所	所長	加瀬　幹生
すぎのこルーム	ルーム長	渡辺　弘子
やまびこルーム	ルーム長	斉藤　伸子
いずみの家	所長	大川　泰芳
ぱれっと	所長	五十嵐　久美
ふれあいの家	所長	高橋　忍

イ　苦情受付担当者

施設名	職名	氏名
療育相談所	主任相談員	早坂　俊枝
すぎのこルーム	副主任保育士	鈴木　愛
やまびこルーム	言語聴覚士	西田　久美子
いずみの家	指導員	鈴木　信哉
ぱれっと	主任指導員	田中　久美子
ふれあいの家	主任指導員	谷部　雄大

ウ　第三者委員

水谷　洋子（民生委員・児童委員）、五藤　里子（元保育所長）、木澤　康男（元中学校長）

電話番号　０４３－２０９－８８１５（千葉市社会福祉協議会総務企画課）

エ　その他

施設で話し合って解決しないときは、「千葉県運営適正化委員会」に申し出ることができる体制を整えました。

所在地　千葉市中央区千葉港４番５号　電話番号　043-246-0294

（１０）個人情報保護

個人情報保護への取組

個人情報保護法や千葉市個人情報保護条例に沿って、「個人情報に関する基本方針（プライバシーポリシー）」を制定しており、当協議会のホームページや各施設内で掲示するとともに、これを遵守できるように、下記のような取り組みを行いました。

ア　個人情報に関する基本方針

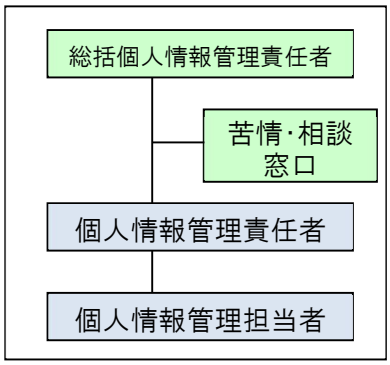
①個人の人格尊重の理念の基に関係法令等を遵守し、個人情報を慎重に取り扱います。
②個人情報を適法かつ適正な方法で取得します。
③個人情報の使用目的をできる限り限定し、その使用目的の範囲でのみ個人情報を使用し

ます。
④あらかじめ明示した範囲及び法令等の規定に基づく場合を除き、個人情報を事前に本人の同意を得ることなく外部に提供しません。
⑤個人情報を正確な状態に保ち、漏えい、滅失、き損などを防止するため、適切な措置を講じます。
⑥自己の個人情報について、開示・訂正・削除等の申出があった場合には速やかに対応します。
⑦個人情報の取扱いに関する苦情があったときは、適切かつ速やかに対応します。
⑧個人情報保護に関する適切な管理体制を講じるとともに、職員の意識啓発に努めます。
⑨この方針を実施するため、個人情報保護規程を職員に周知徹底し、確実に実施します。

イ　個人情報保護に関する体制の整備

個人情報の適正な管理を推進するため、当協議会に、総括個人情報管理責任者を配置するとともに、個人情報に関する苦情・相談窓口を設置しています。

また、各施設においても、個人情報保護を遵守し、個人情報の取り扱いに関する苦情に速やかに対応できるように、施設ごとに個人情報管理責任者を配置するとともに、個人情報の管理担当者を施設内に掲示し利用者等に明確にして対応しています。



a　個人情報管理責任者

施設名	職種	氏名
療育相談所	所長	加瀬　幹生
すぎのこルーム	ルーム長	渡辺　弘子
やまびこルーム	ルーム長	斉藤　伸子
いずみの家	所長	大川　泰芳
ぱれっと	所長	五十嵐　久美
ふれあいの家	所長	高橋　忍

b　個人情報管理担当者

施設名	職種	氏名
療育相談所	主任理学療法士	中島　ゆりか
すぎのこルーム	副主任保育士	鈴木　愛
やまびこルーム	言語聴覚士	関口　聡美
いずみの家	指導員	鈴木　信哉
ぱれっと	主任指導員	田中　久美子
ふれあいの家	主任指導員	谷部　雄大

ウ　個人情報保護に関する体制の整備

①利用者の氏名や病歴、家族構成などの個人情報は、施錠できる書庫や金庫に格納し、カギの管理を徹底しています。
②利用者の個人情報を収集する際、施設使用中の不慮の事故などによる医療機関や消防署等への個人情報の開示等を想定し、「個人情報使用同意書」をご提出いただきました。

③パソコン等には、ＩＤ、パスワードを設定し、インターネットに接続するパソコンは、ファイヤーウォールの設定やウイルス対策等を講じました。
④個人情報の持出しを原則として禁止しています。やむを得ず持出しする場合は個人情報管理責任者の許可を受けることとし、持ち出す情報の内容・保護方法等の厳しいチェックを行いました。
⑤職員に対して個人情報保護に関する研修を実施するとともに、実習生を含む個人情報に触れる機会のある全スタッフに対して「個人情報に関する誓約書」の提出をしてもらいました。
⑥委託業者との契約締結に伴う契約書に「個人情報取り扱い特記事項」を記載することにより、委託業者に対しても、適正な個人情報の取扱いを徹底しました。

エ　特定個人情報への取り組み

特定個人情報を取り扱う事務の範囲やセキュリティ等、特定個人情報取扱規程に基づき適正かつ厳重に取り扱いました。

（１１）施設の社会化

ア　療育相談所

（ア）実習生の受け入れ

施設機能を生かし、後進の育成を目的として学校等の専門職学生実習を積極的に受け入れて来ましたが、令和５年度については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、実習の受け入れを中止しました。

（イ）ボランティアの受け入れ

地域の方々にボランティア活動の場として活用し、障害についての理解を深めていただけるよう、毎年、保護者支援『ヒポポの会』の開催時の児童託児を実施しています。令和５年度は久しぶりに対面開催となったため、ボランティア受入を行いました。

ボランティア受入担当者　　主任理学療法士　中島　ゆりか

（ウ）保護者支援

療育相談所および児童発達支援事業を利用している保護者の方を対象に、集団選択についての情報提供を行いました。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、例年実施している講義形式とは異なり、ＺＯＯＭによるオンライン形式で実施しました。

実施日	内容	参加人数
令和５年 ６月 27 日	テーマ：集団選択について 千葉市の幼稚園・保育所等についての現状 障害児の受け入れ状況や集団選択に向けてのアドバイス 千葉市の福祉サービスに関する情報提供	11 人

イ　すぎのこルーム

（ア）実習生の受け入れ

後進を育成するため、学校等の学生実習を積極的に受け入れました。

実習名	期間	人数	学校名
保育実習	令和５年８月２日～８月 18 日	１人	千葉大学
介護等体験	令和５年８月 21 日～８月 25 日	１人	二松学舎大学
保育実習	令和５年８月 24 日～９月８日	１人	東京家政大学

介護等体験	令和５年８月 28 日～9 月１日	１人	法政大学
看護実習	令和５年９月５日	１人	東京情報大学
看護実習	令和５年９月６日	１人	東京情報大学
介護等体験	令和５年９月 11 日～9 月 15 日	１人	了徳寺大学
介護等体験	令和５年９月 11 日～9 月 15 日	１人	東京未来大学
介護等体験	令和５年９月 25 日～9 月 29 日	１人	聖徳大学
介護等体験	令和５年９月 25 日～9 月 29 日	１人	麗澤大学
介護等体験	令和５年 10 月２日～10 月６日	１人	千葉経済大学短期大学
看護実習	令和５年 10 月３日	１人	東京情報大学
看護実習	令和５年 10 月５日	１人	東京情報大学
介護等体験	令和５年 10 月 16 日～10 月 20 日	１人	敬愛大学
看護実習	令和５年 11 月 21 日	１人	東京情報大学
介護等体験	令和５年 12 月４日～12 月８日	１人	法政大学
介護等体験	令和５年 12 月 18 日～12 月 22 日	１人	國學院大學
保育実習	令和６年１月 15 日～1 月 27 日	１人	千葉明徳短期大学
保育実習	令和６年２月 13 日～2 月 29 日	１人	共立女子大学

（イ）ボランティアの受け入れ

地域の方々にボランティア活動の場として活用いただくため、ボランティア受入担当者を決めて積極的に行い、障害についての理解を深めていただけるように努めました。

ボランティア受入担当者　　主任指導員　中村　るみ

内容	人数
兄弟姉妹預かり事業の託児（通園児童の兄弟・姉妹の託児）	24 人
制作	５人
家族参観（7 月・令和５年１月）（通園児童の兄弟姉妹の託児）	４人
運動会（用具の出し入れ、片付け等）	４人
クリスマス会 ※地域の方（イオングループ）に参加して頂きました。	５人
豆まき会　※地域の方（イオングループ）に参加して頂きました。	４人

（ウ）交流保育

高洲第３保育所との交流会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から中止しました。

（エ）千葉市地域生活支援事業（日中一時支援事業）

保護者の疾病その他の理由により家庭において介護を受けることが一時的に困難になった小学校３年生までの肢体不自由児をお預かり（定員１人）し、必要な支援を実施しました。

※　実績は「２管理業務の実施計画に関すること（２）令和５年度利用実績」を参照

（オ）通園児兄弟・姉妹一時預かり事業

「通園児兄弟・姉妹一時預かり事業実施要領」により利用児の兄弟・姉妹等が幼稚園や学校の長期休みの時に、保護者が兄弟・姉妹等を見なければならず、園児がすぎのこルームに登園できない場合の対応として、兄弟・姉妹等の受入体制を整備し、園児が必要な療

育を受けられるよう支援しました。

内容	実人員	延人員
すぎのこルーム 通園児兄弟・姉妹一時預かり事業	18 人	36 人

ウ　やまびこルーム

（ア）実習生の受け入れ

後進を育成するため、学校等の学生実習を受け入れました。その他に特別支援学校教員「3 年目研修」を 8 月に 1 人、受け入れました。

実習名	期間	人数	学校名
言語聴覚士実習	令和 5 年 6 月 19 日～8 月 3 日	1 人	国際医療福祉大学成田保健医療学部
言語聴覚士実習	令和 5 年 9 月 4 日～22 日	1 人	国立障害者リハビリテーション学院

（イ） 施設見学の受け入れ

難聴児療育の現場を知ってもらうため、保育士養成校より 1 人、他の難聴児療育に携わる児童発達支援センター職員（言語聴覚士）２人の施設見学を受け入れました。

（ウ）言語聴覚士養成校との連携

国際医療福祉大学成田保健医療学部言語聴覚学科の依頼を受け、就職説明会、オープンキャンパスで、やまびこルームにおける言語聴覚士の業務の説明を行いました。

（エ）ボランティアの受け入れ

地域の方々にボランティア活動の場として活用いただくため、ボランティア受入担当者を決めて積極的に行い、障害についての理解を深めていただけるように努めました。

ボランティア受入担当者　　指導員　佐久間　一毅

内容	人数
兄弟姉妹預かり事業の託児（通園する児童の兄弟・姉妹の託児）	6 人
音楽会（会場準備・片付け、活動の補助）	6 人
お楽しみ会（会場準備・片付け、活動の補助等）	1 人
クリスマス会（活動の補助等）	5 人
卒園式（兄弟・姉妹の託児）	1 人

（オ）通園児兄弟・姉妹一時預かり事業

「通園児兄弟・姉妹一時預かり事業実施要領」により利用児の兄弟・姉妹等が幼稚園や学校の長期休みの時に、保護者が兄弟・姉妹等を見なければならず、園児がやまびこルームに登園できない場合の対応として、兄弟・姉妹等の受入体制を整備し、園児が必要な療育を受けられるよう支援しました。

内容	実人員	延人員
やまびこルーム 通園児兄弟・姉妹一時預かり事業	5 人	14 人

エ　いずみの家

（ア）実習生の受け入れ

学校等の学生実習を積極的に受け入れました。

実習名	期間	人数	学校名
産業現場実習	令和５年６月５日～16 日	1	千葉県立千葉特別支援学校
産業現場実習	令和５年６月 12 日～23 日	1	千葉県立千葉特別支援学校
産業現場実習	令和５年６月 19 日～29 日	1	千葉県立千葉特別支援学校
産業現場実習	令和５年７月３日～14 日	1	千葉県立千葉特別支援学校
その他実習	令和５年７月 31 日～８月２日	1	淑徳大学
介護等体験実習	令和５年 10 月２日～６日	1	帝京平成大学
産業現場実習	令和５年 10 月２日～13 日	1	千葉県立千葉特別支援学校
介護等体験実習	令和５年 10 月 16 日～20 日	1	日本大学
産業現場実習	令和５年 10 月 16 日～27 日	1	千葉県立千葉特別支援学校
その他実習	令和５年 10 月 16 日～17 日	4	千葉県立千葉特別支援学校
その他実習	令和５年 10 月 17 日～18 日	3	千葉県立千葉特別支援学校
介護等体験実習	令和５年 10 月 23 日～27 日	1	帝京平成大学
介護等体験実習	令和５年 11 月 13 日～17 日	1	法政大学
アセスメント実習	令和６年１月 16 日～18 日	1	千葉県立千葉特別支援学校
アセスメント実習	令和６年１月 24 日～26 日	1	千葉県立千葉特別支援学校
アセスメント実習	令和６年１月 29 日～２月１日	1	千葉市立高等特別支援学校

（イ）ボランティアの受け入れ

地域の方々にボランティア活動の場として活用いただくため、ボランティア受け入れ担当者を決めて積極的に行い、障害についての理解を深めていただけるように努めました。

また､ボランティアセンターを通じた募集や学生の受け入れなどを積極的に行いました。

ボランティア受入担当者　　指導員　中村　春香

内容	人数
第１、第２、第３作業室の作業支援	登録者 18 人　（活動延べ 338 人）

（ウ）他施設との交流

５月の千葉市ゆうあいピック及び２月の千葉市ゆうあいピックマラソン・駅伝大会に参加し、他施設との交流を図りました。

（エ）千葉市地域生活支援事業（日中一時支援事業）

日中、障害者を見守る方がいない場合、一時的にお預かり（定員３人）し、必要な支援を実施しました。

※実績は「２管理業務の実施計画に関すること（２）令和５年度利用実績」を参照

（オ）土日余暇活動支援

市内在住の障害者を対象とした事業を休日に開催し、余暇活動の機会を提供しました。広く募集を行うために広報に市政だよりを活用しました。

事業名	日程	開催回数（回）	参加延人数（人）
①健康ウォーキング ②カラオケ ③DVD 鑑賞 ④体を動かすレクリエーション	①令和５年 11 月 19 日（日） ②令和５年 12 月 16 日（土） ③令和６年１月 13 日（土） ④令和６年２月４日（日）	4	26

※令和４年度実績：事業名「健康ウォーキング」「レクリエーション（2 回）」「ビデオ鑑賞」開催回数４回　参加延人数 19 人

オ　ふれあいの家

（ア）実習の受け入れ

令和５年度の実習の受け入れはありませんでした。

（イ）ボランティアの受け入れ

地域の方々にボランティア活動の場として活用いただくため、ボランティア受入担当者を決めて積極的に行い、障害についての理解を深めていただけるように努めました。

ボランティア受入担当者　　指導員　石黒　太陽

内容	人数
パソコン教室	１人（延べ 18 人）
卓球教室	４人（延べ 60 人）
点字講習会	５人（延べ 33 人）
陶芸教室	１人（延べ９人）
視覚障害者バス旅行	６人（延べ 11 人）

（ウ）小学校生徒の体験学習

千葉市立高洲第３小学校と連携し、体験学習の受け入れを行っていましたが、令和５年度は小学校からの依頼がなく、実施できませんでした。

カ　その他

（ア）見学の受け入れ

学校・関係機関等の見学を積極的に受け入れました。

見学団体名等	見学日	人数	対象施設
児童発達支援事業所ジョイーレ稲毛	令和５年４月 27 日	１人	すぎのこルーム
千葉県こども病院	令和５年５月 12 日	１人	療育センター全体
県立千葉盲学校	令和５年７月６日	１人	すぎのこルーム
ナーサリーホーム稲毛海岸	令和５年７月 13 日	１人	すぎのこルーム
県立袖ケ浦特別支援学校	令和５年７月 24 日	１人	すぎのこルーム
ぶりんぐあっぷ ちば子ども発達センター	令和５年９月 29 日	１人	すぎのこルーム

子育て支援館	令和５年11月 21 日	20 人	療育相談所他
千葉メディカルセンター	令和5年１１月13日	２人	療育相談所他

（イ）その他

千葉県赤十字血液センターに協力し、移動採血車による献血を年２回行いました。職員だけでなく、地域の方も献血に協力していただきました。

会場	実施日	人数
療育センター玄関ロビー	令和５年９月 29 日	14 人受付し 13 人献血
療育センター玄関ロビー	令和６年１月 26 日	21 人受付し 16 人献血

（１２）関係機関との連携

ア　療育相談所

保健所・地域医療機関・教育機関・保健福祉センター・福祉機関・児童相談所等と情報交換、連携を図ることにより、地域での療育支援、見守り等が円滑に行えるよう努めました。また、施設の役割として発達障害児支援の啓発に努めました。

（ア）保健福祉センター、児童相談所

利用児に関して、共通理解や共通認識が必要な場合に連携会議等に参加しました。

（イ）幼稚園、保育所

幼稚園協会主催の事例研究会に年３回参加しました。また、保護者に同意が得られた利用者に対して、園での、利用児との具体的な関わり方法について等の情報交換を適宜実施しました。

（ウ）養護教育センター

千葉市特別支援連携協議会（年１回）、特別支援連携協議会実務担当者会議（年２回）、養護教育センター・大宮学園・療育センターの教育相談連携会議（年２回）に参加しました。

（エ）発達障害者支援センター

子育てアシストに年４回参加しました。

（オ）各機関との連絡会議

双方の施設・機関の現状報告および支援内容等を確認しました。

会議名	実施日
千葉市特別支援連携協議会実務担当者会議	令和５年７月３日、９月 12 日、 令和６年２月６日
子育て支援ネットワーク会議	令和５年 11 月 21 日

（カ）各担当者電話相談対応

保護者からの相談内容に合わせて、各担当者が電話にて助言、支援等の相談対応を行う他、保護者の同意のもと、対象児が通う幼稚園または保育所等の職員へ対象児の支援法や特性などの助言、情報交換を行いました。

イ　すぎのこルーム

医療機関・児童相談所・保健福祉センター・保育所・幼稚園・学校・養護教育センター等

との連携を図りました。

（ア）利用児が併行通園している幼稚園、保育所

児童発達支援事業では、対象児が通う千葉盲学校の職員が見学された件数は１件、幼稚園や保育所、学校等に職員が訪問した件数は４件でした。対象児の支援方法や特性等について、情報交換を行いました。

（イ）特別支援学校等教育機関

桜が丘特別支援学校の入学式、運動会、桜翔祭等行事への参加や訪問、見学会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。なお、学校見学会の中止に伴い、就学担当の先生と保護者が直接電話にて相談できるよう変更しました。

また、桜が丘特別支援学校の「開かれた学校運営協議会」に委員として、年３回参加しました。

（ウ）医療機関

千葉リハビリテーションセンターやこども病院等の関係者と情報交換を行いました。

（エ）その他

千葉リハビリテーションセンターや他の児童発達支援事業所との連携会議に年２回参加し、情報交換や今後の方針等について話し合いを行いました。

ウ　やまびこルーム

医療機関・児童相談所・保健福祉センター・保育所・幼稚園・学校・養護教育センター等との連携を図りました。

（ア）医療機関

千葉県こども病院、小張総合病院、国際医療福祉大学成田病院等と利用児の情報共有を図るため、電話・文書等での連携や訪問しての連絡会議、見学研修などを実施しました。

医療機関名等	実施日
千葉県こども病院連絡会	令和６年３月５日
国際医療福祉大学三田病院見学	令和６年２月９日

（イ）教育機関及び他の療育機関、聾学校との連携

機関名等	実施日
早期支援聴覚担当者連絡会（オンライン） 千葉聾学校ぱんだルーム、筑波大学附属聴覚特別支援学校けやきルーム	令和５年７月６日 令和６年２月１日
千葉県聴覚障害教育ネットワーク推進協議会（うさぎねっと）	令和５年６月８日、10月３日 令和６年２月13日
全国盲ろう難聴児施設協議会	令和５年６月５～６日
横浜・さいたま・千葉児童発達支援センター（難聴児）連絡協議会	令和５年９月13日
うさぎクラブ（児童発達支援事業所）（難聴）視察	令和５年８月28日
エント（児童発達支援事業所）（難聴）視察	令和５年９月27日
千葉市立高洲第三小学校きこえの教室　見学	令和５年12月12日
八千代市立新木戸小学校難聴通級指導教室　見学	令和６年１月31日
千葉聾学校との引継ぎ	令和５年８月10日

千葉市立高洲第三小学校きこえの教室との引継ぎ	令和６年３月 21 日

※この他に、就学に際して、上記２校以外の他市（浦安市、習志野市、船橋市、四街道市、いすみ市、松戸市、八千代市）の教育委員会、難聴学級、東京都立葛飾聾学校と電話にて引継ぎを行いました。

（ウ）保育園・幼稚園・児童発達支援事業所、児童発達支援センター等との連携

訪問、電話等で、情報交換、環境調整への助言など、延べ 136 件の連携を行いました。

（エ）公開療育

１１月１７日に利用児の通う幼稚園・保育園、児童発達支援事業所、児童発達支援センター、相談支援事業所を対象に公開療育を実施し、集団における難聴児への支援について説明し、情報交換を行いました。１８施設１９人の参加がありました。

（オ）その他

関係機関で実施された研修会に講師として参加し、難聴児療育、難聴への理解等について、説明しました。

機関名等	実施日
船橋市特別支援教育研究連盟聴覚・言語障害教育研究部会研修会	令和５年８月 10 日
第２回言語障害･難聴通級指導教室担当者研修会（千葉市）	令和５年 12 月５日
第 19 回聴覚障害早期教育公開研修会	令和６年２月 16 日
国際医療福祉大学成田保健医療学部　オープンキャンパス	令和６年３月 17 日

エ　相談支援事業所ぱれっと

医療機関･保健福祉センター・他市の障害関係課・福祉サービス事業所等との連携を図りました。

（ア）医療機関

医療機関との連携では、主にこども病院、千葉県リハビリテーションセンター、下志津病院、桜木園等と連携を図りました。

（イ）保健福祉センター

各区高齢障害支援課とは常に連絡を取り、障害福祉サービス受給者証等に関わる事務手続き等の相談を実施しました。

（ウ）福祉サービス事業所

障害福祉サービス事業所・障害児通所支援事業所とは連絡調整・情報交換を行うとともに、事業所訪問時にサービス提供時モニタリングを実施しました。

（エ）相談支援事業所

相談支援事業所との連携では、千葉市障害者基幹相談支援センター（各区）の意見交換会や研修にオンライン開催も含めて月１から２回程度参加しました。

オ　いずみの家

関係施設・関係機関との連絡調整・情報交換などの連携を図りました。

（ア）千葉県障害者就労事業振興センター

障害者福祉施設向けの作業や役務などの依頼や発注に関する情報を提供していただき

ました。

（イ）千葉障害者キャリアセンター（障害者就業・生活支援センター）

就労移行のご利用者と面談をして就職への助言や、障害者雇用の求人情報をしていただきました。

（ウ）千葉障害者職業センター

就労移行のご利用者について、就労先の会社からの依頼により重度知的障害者判定をしていただきました。

（エ）ハローワーク千葉

就労先、求人情報の提供や就労した方の職場定着に関する相談を受けていただきました。

（オ）特別支援学校等教育機関

進路を考える機会として依頼を受け、実習生を受け入れました。

（カ）相談支援事業所

利用における利用計画書作成やご家族状況も含めた情報提供にご協力いただきました。

（キ）就職先の関係企業

就労が定着するように就職先企業の訪問などを行いました。

（ク）施設連絡協議会

県内施設間の情報交換や会議、研修会への参加を行いました。

カ　ふれあいの家

千葉市障害者福祉センター、千葉市身体障害者福祉連合会、千葉市中途失聴難聴者協会、市内医療機関、千葉市ボランティアセンター、ぶりんぐあっぷ ちば子ども発達センター等との連携を図りました。

（ア）関係機関

千葉市身体障害者連合会をはじめとする関係団体とは、各事業の運営協力（千葉市聴覚障害者協会、千葉市中途失聴・難聴者協会、千葉県視覚障害者福祉協会、千葉県聴覚障害者協会、声の市政だより協力会）の他、千葉市障害者作品展への出展、千葉市障害者社会参加推進協議会（２回）、講習会等事業推進会議（２回）での意見交換、情報共有、各事業開催の広報など連携を図りました。

千葉市障害者福祉センターとは、連携会議（1 回）にて意見交換、情報共有しました。

（イ）医療機関等

市内の医療機関、福祉施設、あんしんケアセンターと更生相談、機能訓練、社会適応訓練において連携し、各区保健センター、公民館、コミュニティーセンター、近隣商店、自治会、学校、千葉市ボランティアセンター、千葉市民活動支援センターと各事業開催の広報、ボランティア募集について連携を図りました。

（ウ）はまのわ内施設

はまのわ内施設の Bring up ちば子ども発達センター、市立稲毛高等学校附属中学校とは、日常の施設管理での連携を図りました。

２　管理業務の実施に関すること

（１）目的

ア　療育相談所

（ア）心身障害児及びその疑いのある児に対する、医学的診断及び検査を行うとともに、その障害に応じた療育訓練を行いました。

（イ）障害児通所支援の支給決定に係る意見書発行業務を行いました。

イ　すぎのこルーム

（ア）医療型児童発達支援センター

上肢、下肢、または体幹に機能障害のある就学前の幼児に対し、心身の健やかな発達と集団生活に適応できる基礎作りを目的とした療育を行いました。

（イ）児童発達支援事業

通所給付費の支給決定を受けた就学前の児童に対し、日常生活における基本的動作の指導及び集団生活への適応訓練を行いました。

ウ　やまびこルーム

通所給付費の支給決定を受けた就学前の聴覚に障害のある児童が保護者とともに通園し、専門スタッフによる聴覚・言語の指導を行い、コミュニケーション能力を育てる支援を行いました。

エ　相談支援事業所ぱれっと

障害福祉サービスや障害児通所支援支給決定の申請・変更を希望する障害者若しくは障害児の保護者に対し、サービス等利用計画もしくは障害児支援利用計画の作成や一定期間ごとのモニタリングを行うなどの支援を行いました。

オ　いずみの家

（ア）就労移行支援事業

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、就労を希望する６５歳未満で、通常の事業所に雇用されることが可能と見込まれ、通所できる知的障害のある方に、一般就労へ向けた支援を実施しました。

（イ）就労継続支援Ｂ型事業

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、６５歳未満で雇用契約を締結する通常の事業所に雇用されることが困難な通所できる知的障害のある方に就労継続の支援を実施しました。

カ　ふれあいの家

身体障害者の各種相談・福祉教室・機能訓練等、社会との交流の促進及びスポーツ、レクリエーションのための機会や施設を提供し、障害者の福祉の増進を図り、多様な障害者ニーズに応えました。

（２）令和５年度利用実績

ア　療育相談所

月別利用状況

（人）

月別	開所日数（日）	相談状況						
		新規相談	来所相談	受理面接	再相談	他機関連携・調整	他機関への訪問	計
令和5年4月	20	59	1	58	204	44	0	366
5月	20	75	0	76	218	43	5	417
6月	22	67	0	60	264	39	1	431
7月	20	86	0	55	252	71	1	465
8月	22	80	1	58	205	61	1	406
9月	20	68	1	54	271	73	4	471
10月	21	72	0	57	266	83	1	479
11月	20	82	0	51	219	82	0	434
12月	20	76	0	50	221	71	0	418
令和6年1月	19	66	0	44	253	57	0	420
2月	19	89	0	56	260	50	1	456
3月	20	75	1	49	257	67	0	449
計	243	895	4	668	2,890	741	14	5,212
月平均	20.3	74.6	0.3	55.7	240.8	61.8	1.2	434.3
前年度実績	243	1,005	21	554	2,320	833	25	4,758
前年度月平均	20.3	83.8	1.8	46.2	193.3	69.4	2.1	396.5

月　別	診療状況　（　）は新規									
	小児科		整形外科		精神神経科		耳鼻咽喉科		計	
令和5年4月	331	(58)	5	(2)	23	(6)	15	(6)	374	(72)
5月	349	(72)	2	(0)	17	(10)	27	(14)	395	(96)
6月	363	(51)	8	(2)	14	(10)	24	(12)	409	(75)
7月	404	(53)	5	(0)	15	(6)	31	(9)	455	(68)
8月	467	(59)	4	(0)	21	(7)	26	(7)	518	(73)
9月	383	(49)	4	(2)	18	(5)	29	(13)	434	(69)
10月	451	(57)	4	(1)	16	(4)	32	(11)	503	(73)
11月	413	(50)	1	(1)	24	(5)	29	(5)	467	(61)
12月	446	(49)	2	(0)	24	(6)	26	(9)	498	(64)
令和6年1月	408	(38)	1	(0)	23	(6)	28	(9)	460	(53)
2月	445	(46)	－	(0)	17	(6)	28	(11)	490	(63)
3月	445	(43)	2	(1)	20	(4)	43	(13)	510	(61)
計	4,905	(625)	38	(9)	232	(75)	338	(119)	5,513	(828)
月平均	408.8	(52)	3.2	(1)	19.3	(6)	28.2	(10)	459.4	(69)
前年度実績	4,689	(513)	51	(6)	269	(77)	332	(98)	5,341	(694)
前年度月平均	390.8	(42.8)	4.3	(0.5)	22.4	(6.4)	27.7	(8.2)	445.1	(57.8)

月　別	訓練・評価					検査				
	理学療法	作業療法	聴能・言語	心理	計	X線	脳波	一般	意見書	計
令和5年4月	15	27	50	60	152	0	0	47	0	47
5月	15	24	51	60	150	0	0	20	0	20
6月	14	32	53	74	173	1	0	86	0	87
7月	17	37	55	83	192	0	0	0	0	0
8月	23	29	70	105	227	0	0	0	0	0
9月	17	32	52	97	198	0	0	46	0	46
10月	20	37	63	106	226	0	0	17	0	17
11月	21	49	83	97	250	0	0	3	0	3
12月	22	42	79	89	232	0	0	1	0	1
令和6年1月	25	38	74	92	229	0	0	131	0	131
2月	23	42	74	99	238	0	0	0	0	0
3月	20	48	76	88	232	0	0	0	3	3
計	232	437	780	1,050	2,499	1	0	351	3	355
月平均	19.3	36.4	65.0	87.5	208.3	0.1	0.0	29.3	0.3	29.6
前年度実績	217	221	780	1,134	2,352	10	0	382	15	407
前年度月平均	18.1	18.4	65.0	94.5	196.0	0.8	0.0	31.8	1.3	33.9

年間	再相談	他機関連携・調整	他機関への訪問	計
理学療法	1	3	0	4
作業療法	0	3	11	14
聴能・言語	11	68	13	92
心理	31	23	0	54
計	43	97	24	164
月平均	3.6	8.1	2.0	13.7
前年度実績	30	48	2	80
前年度月平均	2.5	4.0	0.2	6.7

新規患者主訴別状況

区分	人数(人)
運動発達の遅れ	47
言葉の遅れ	359
発音不明瞭	117
吃音	35
聞こえの問題	9
対人関係の問題	41
情緒行動の問題	128
集団行動の問題	191
発達障害疑い	2
他機関のすすめ	7
その他	121
計	1,057

※重複あり

新規患者年齢別利用状況

年齢	人数 (人)
0 歳	3
1 歳	22
2 歳	127
3 歳	204
4 歳	148
5 歳	138
6 歳	26
7 歳	0
8 歳	0
9 歳	0
10 歳	0
11 歳	0
12 歳	0
13歳～	0
計	668

※前年度人数　554人

イ　すぎのこルーム（医療型児童発達支援センター・児童発達支援事業）

月別利用状況

月別	開所日数（日）	医療型児童発達支援センター 定員10人		児童発達支援事業 定員10人		日中一時支援事業 定員1人	
		実人員（人）	延べ人員（人）	実人員（人）	延べ人員（人）	実人員（人）	延べ人員（人）
令和5年4月	20	19	101	40	91	0	0
5月	20	16	106	41	104	0	0
6月	22	15	107	39	116	0	0
7月	20	18	95	42	97	1	1
8月	22	18	98	41	104	0	0
9月	20	17	99	44	112	0	0
10月	21	20	136	45	122	0	0
11月	20	20	104	43	127	0	0
12月	20	21	111	47	116	0	0
令和6年1月	19	24	107	49	130	0	0
2月	19	18	94	49	137	0	0
3月	20	24	127	49	108	1	1
計	243	—	1,285	—	1,364	—	2
月平均	—	19.2	107.1	44.1	113.7	0.2	0.2
前年度実績	243	—	1,231	—	1,466	—	3
前年度月平均	—	20.8	102.6	53.0	122.2	0.3	0.3

ウ　やまびこルーム（福祉型児童発達支援センター）

月別利用状況

月別	開所日数（日）	福祉型児童発達支援センター 定員20人	
		実人員（人）	延べ人員（人）
令和5年4月	20	41	69
5月	20	45	86
6月	22	50	97
7月	20	52	98
8月	22	47	109
9月	20	51	103
10月	22	51	144
11月	20	48	113
12月	20	47	117
令和6年1月	19	47	111
2月	19	48	108
3月	20	49	126
計	244	—	1,281
月平均	—	48.0	106.8
前年度実績	245	—	1,637
前年度月平均	—	54.2	136.4

保護者支援

事業名	日付	テーマ	人数(人)
保護者セミナー	令和5年　5月	お子さんのことばを育てる上で大切なこと	4
保護者セミナー	5月	難聴のお子さんを育てる家庭でできること	11
保護者セミナー	6月	コクレア人工内耳に関する最新情報・Q&A	2
保護者セミナー	6月	3～5歳児保護者懇談会(集団生活について)	5
保護者セミナー	6月	大学における難聴学生への情報保障	6
保護者セミナー	7月	フォナック補聴器について	5
保護者セミナー	7月	ロジャーシステムについて	8
保護者セミナー	8月	難聴大学生の学校生活についてQ&A	14
保護者セミナー	8月	早稲田大学における難聴学生支援	9
保護者セミナー	8月	楽しく手話を学ぼう！	6
保護者セミナー	9月	千葉聾学校小学部保護者お話会	4
保護者セミナー	9月	長野県サマライズセンターの取り組み	7
保護者セミナー	10月	船橋市保護者お話会OB保護者(小2)2名	11
保護者セミナー	10月	合理的配慮についてー幼稚園の立場から	7
保護者セミナー	10月	伝音難聴・千葉市保護者お話会	5
保護者セミナー	11月	千葉市難聴学級先生お話会	11
保護者セミナー	12月	市川市・八千代市保護者お話会	10
保護者セミナー	令和6年　1月	聴覚障害当事者お話会	13
保護者セミナー	1月	難聴学級所属卒園児保護者お話会	5
保護者セミナー	2月	聴覚障害当事者お話会	6
保護者セミナー	2月	聴覚障害当事者お話会	6
保護者セミナー	3月	聴覚障害当事者お話会	7
保護者勉強会	7月	就学前の難聴児の子育てで大切にしたいこと	22
保護者懇談会	11月	異年齢児保護者懇談会(保育園でのできごと等)	3
保護者懇談会	12月	人工内耳装用児の保護者の懇談、情報交換	3
計			190
前年度実績			105

エ　相談支援事業所ぱれっと

月別契約者数

月別	開館日数	新規契約者数			契約解除者数			契約者数		
		障害児相談	計画相談	計	障害児相談	計画相談	計	障害児相談	計画相談	計
令和5年4月	20	3	0	3	1	0	1	575	103	678
5月	20	3	0	3	3	1	4	575	102	677
6月	22	3	0	3	2	1	3	576	101	677
7月	20	2	0	2	4	0	4	574	101	675
8月	22	2	0	2	6	0	6	570	101	671
9月	20	1	0	1	4	3	7	567	98	665
10月	21	3	0	3	3	0	3	567	98	665
11月	20	4	0	4	6	0	6	565	98	663
12月	20	2	0	2	3	1	4	564	97	661
令和6年1月	19	3	0	3	7	0	7	560	97	657
2月	19	1	0	1	4	1	5	557	96	653
3月	20	0	0	0	15	2	17	542	94	636
計	243	27	0	27	58	9	67	―	―	―
月平均	―	2.3	0.0	2.3	4.8	0.8	5.6	―	―	―
前年度実績	243	22	0	22	62	8	70	―	―	―
前年度月平均	―	1.8	0	1.8	5.2	0.7	5.9	―	―	―

月別利用状況

月別	開館日数	新規相談			計画書(案)作成			計画書作成		
		障害児相談	計画相談	計	障害児相談	計画相談	計	障害児相談	計画相談	計
令和5年4月	20	3	0	3	41	4	45	38	10	48
5月	20	3	0	3	31	3	34	39	9	48
6月	22	3	0	3	45	3	48	34	7	41
7月	20	2	0	2	55	7	62	54	8	62
8月	22	2	0	2	51	7	58	37	1	38
9月	20	1	0	1	42	3	45	22	3	25
10月	21	3	0	3	47	3	50	43	5	48
11月	20	4	0	4	49	6	55	38	3	41
12月	20	2	0	2	54	4	58	58	4	62
令和6年1月	19	3	0	3	51	5	56	69	1	70
2月	19	1	0	1	39	6	45	49	3	52
3月	20	0	0	0	73	11	84	112	25	137
計	243	27	0	27	578	62	640	593	79	672
月平均	―	2.3	0.0	2.3	48.2	5.2	53.4	49.4	6.6	56.0
前年度実績	243	22	0	22	586	70	656	598	78	676
前年度月平均	―	1.8	0.0	1.8	48.8	5.8	54.6	49.8	6.5	56.3

月別	開館日数	モニタリング報告書作成			サービス提供時モニタリング			合計		
		障害児相談	計画相談	計	障害児相談	計画相談	計	障害児相談	計画相談	計
令和5年4月	20	33	18	51	15	0	15	130	32	162
5月	20	26	5	31	16	0	16	115	17	132
6月	22	20	17	37	5	0	5	107	27	134
7月	20	47	14	61	16	0	16	174	29	203
8月	22	36	12	48	3	0	3	129	20	149
9月	20	37	15	52	10	0	10	112	21	133
10月	21	64	14	78	12	0	12	169	22	191
11月	20	50	11	61	19	0	19	160	20	180
12月	20	50	4	54	28	0	28	192	12	204
令和6年1月	19	62	8	70	18	0	18	203	14	217
2月	19	40	18	58	14	0	14	143	27	170
3月	20	69	27	96	2	0	2	256	63	319
計	243	534	163	697	158	0	158	1,890	304	2,194
月平均	―	44.5	13.6	58.1	13.2	0.0	13.2	157.5	25.3	182.8
前年度実績	243	537	144	681	159	5	164	1,902	297	2,199
前年度月平均	―	44.8	12	56.8	13.3	0.4	13.7	158.5	24.8	183.3

月別職員動向

月別	開館日数	利用者／家族,関係機関等との相談及び調整等電話			関係機関等訪問		
		障害児相談	計画相談	計	障害児相談	計画相談	計
令和5年4月	20	763	52	815	128	14	142
5月	20	729	41	770	170	19	189
6月	22	759	46	805	181	20	201
7月	20	796	39	835	138	15	153
8月	22	743	42	785	154	17	171
9月	20	757	43	800	153	17	170
10月	21	758	37	795	159	18	177
11月	20	763	37	800	152	17	169
12月	20	782	43	825	172	19	191
令和6年1月	19	774	36	810	140	16	156
2月	19	783	47	830	186	21	207
3月	20	801	49	850	144	16	160
計	243	9,208	512	9,720	1,877	209	2,086
月平均	－	767	42.7	810	156.4	17.4	173.8
前年度実績	243	8,473	576	9,049	1,849	201	2,050
前年度月平均	－	706.1	48	754.1	154.1	16.8	170.9

オ　いずみの家（就労移行支援事業・就労継続支援Ｂ型事業）

月別利用状況

月別	開所日数（日）	就労移行支援 定員6人		就労継続支援B型 定員34人		日中一時支援事業 定員3人	
		実人数（人）	延人数（人）	実人数（人）	延人数（人）	実人数（人）	延人数（人）
令和5年4月	20	1	18	29	509	1	3
5月	20	1	15	29	523	0	0
6月	22	0	0	29	577	5	40
7月	20	0	0	29	507	2	8
8月	22	0	0	29	526	2	4
9月	20	0	0	29	523	0	0
10月	21	0	0	29	538	6	55
11月	20	0	0	29	512	0	0
12月	20	0	0	28	501	0	0
令和6年1月	19	0	0	28	485	5	15
2月	19	0	0	26	449	1	1
3月	20	0	0	26	477	0	0
計	243	—	33	—	6,127	—	126
月平均	—	0.2	2.8	28.3	510.6	1.8	10.5
前年度実績	243	—	276	—	6,320	—	103
前年度月平均	—	1.3	23.0	29.2	526.7	1.4	8.6

カ　ふれあいの家

月別利用状況

月別	開所日数	生活・訓練・健康相談（人）	機能回復訓練（人）	巡回訓練		福祉バス			福祉カー	
				日数（日）	人数（人）	日数（日）	団体数（団体）	人数（人）	日数（日）	人数（人）
令和5年4月	25	90	33	0	0	4	4	122	14	28
5月	23	78	36	0	0	9	9	263	7	14
6月	26	75	34	0	0	6	6	160	21	56
7月	25	65	35	0	0	5	5	124	19	54
8月	26	70	26	0	0	2	2	40	13	26
9月	24	80	37	0	0	9	8	256	7	14
10月	25	61	40	0	0	16	16	380	8	47
11月	24	80	41	0	0	19	18	460	5	18
12月	24	76	44	3	3	10	10	230	2	10
令和6年1月	23	20	40	4	4	14	14	338	7	32
2月	22	56	40	6	6	12	12	311	0	0
3月	26	53	36	4	4	14	14	367	8	48
計	293	804	442	17	17	120	118	3,051	111	347
月平均	―	67.0	36.8	1.4	1.4	10.0	9.8	254.3	9.3	28.9
前年度実績	293	1,168	421	0	0	81	78	1,533	75	322
前年度月平均	―	97.3	35.1	0.0	0.0	6.8	6.5	127.8	6.3	26.8

月別	ヒアリングループ		声の市政だより		体育室		その他の施設利用		その他利用※
	団体数（団体）	日数（日）	日数（日）	部数（部）	団体数（団体）	人数（人）	団体数（団体）	人数（人）	人数（人）
令和5年4月	1	1	1	71	36	746	138	1,182	136
5月	1	1	1	71	31	432	113	903	182
6月	4	10	1	72	40	752	125	1,103	171
7月	3	11	1	69	38	545	148	1,122	129
8月	2	6	1	68	34	638	94	728	91
9月	1	6	1	67	36	599	119	987	133
10月	2	7	1	66	32	612	132	1,058	217
11月	0	0	1	66	32	510	133	1,066	182
12月	1	1	1	65	32	697	105	922	138
令和6年1月	0	0	1	65	31	586	101	820	102
2月	0	0	1	67	30	424	120	927	127
3月	0	0	1	66	37	706	118	907	113
計	15	43	12	813	409	7,247	1,446	11,725	1,721
月平均	1.3	3.6	1.0	67.8	34.1	603.9	120.5	977.1	143.4
前年度実績	11	34	12	863	408	6,549	1,721	11,770	－
前年度月平均	0.9	2.8	1.0	71.9	34.0	545.8	143.4	980.8	－

※教室等の付添、図書利用等の個人利用は令和４年度までは「その他の施設利用」に含まれていましたが、令和５年度より「その他の利用」として計上するように変更しています。

（ア）創作的活動事業

事業名	期間	開催回数（回）	参加延人数（人）
書道教室	4～3月	18	181
パソコン教室	4～3月	18	151
アートDEふれあい教室	4～3月	18	74
組紐教室	4～3月	18	157
絵手紙教室	4～3月	10	92
陶芸教室	4～3月	10	98
音楽療法教室	4～3月	10	69
写真撮影会	5月、10月	2	10
写真講評会	5月、10月	2	8
おしゃべりサロン（言語聴覚士）（短期）	6月、11月	2	12
字幕付与（短期）	3月	1	10
計	―	109	862
前年度実績	―	107	1,128

事業名	期間	開催回数（回）	出品作品数（点）
千葉市障害者作品展	10月6～11日	1	54
ふれあいの家作品展	2月1～29日	1	86
計	―	2	140
前年度実績	―	2	163

（イ）社会適応訓練

事業名	期間	開催回数（回）	参加延人数（人）
聞こえにくくなった方の勉強会	5～7月	10	67
視覚障害者バス旅行	6、11月	2	22
肢体・内部・聴覚障害者バス旅行代替え	7、11月	2	29
介護予防勉強会	6、7月	2	10
介護技術勉強会	9、11月	2	9
計	―	18	137
前年度実績	―	18	120

（ウ）ボランティア養成事業

事業名	期間	開催回数（回）	参加延人数（人）
要約筆記講習会	5～7月	10	27
音訳講習会	9～12月	10	111
初級手話講習会	9～11月	24	826
中級手話講習会	12～3月	24	722
手話講習会応用編	3月	6	142
点字講習会	1～3月	10	54
計	―	84	1,882
前年度実績	―	84	1,817

（エ）スポーツ・レクリエーション事業

事業名	期間	開催回数(日)	参加延人数(人)
卓球教室	4～3月	18	243
ボッチャ教室	4～3月	10	161
サウンドテーブルテニス教室	4～2月	10	60
ふれあいレク教室	4～3月	18	278
ビームライフル教室(短期)	6月～8月	3	13
ヨガ教室(短期)	9、11、1月	6	37
サークル発表会	10月	1	185
地域交流会(モルック)	7月	1	20
ふれあいフェスティバル	2月	1	153
計	―	68	1,150
前年度実績	―	71	1,225

月別施設利用人数集計

月別	相談・訓練事業利用人数		施設貸出利用人数		主催事業参加人数		その他利用	計	
	団体数(団体)	人数(人)	団体数(団体)	人数(人)	団体数(団体)	人数(人)	人数(人)	団体数(団体)	人数(人)
令和5年4月	－	123	179	2,078	－	117	136	179	2,454
5月	－	114	154	1,612	－	215	182	154	2,123
6月	－	109	175	2,071	－	247	171	175	2,598
7月	－	100	194	1,845	－	197	129	194	2,271
8月	－	96	132	1,432	－	33	91	132	1,652
9月	－	117	164	1,856	－	479	133	164	2,585
10月	－	101	182	2,097	－	695	217	182	3,110
11月	－	121	183	2,054	－	485	182	183	2,842
12月	－	123	148	1,859	－	345	138	148	2,465
令和6年1月	－	64	146	1,776	－	396	102	146	2,338
2月	－	102	162	1,662	－	534	127	162	2,425
3月	－	93	169	2,028	－	288	113	169	2,522
計	－	1,263	1,988	22,370	－	4,031	1,721	1,988	29,385
月平均	－	105.3	165.7	1,864.2	－	335.9	143	165.7	2,448.8
前年度実績	－	1,589	2,218	20,174	－	4,290	－	2,218	26,053
前年度月平均	－	132.4	184.8	1,681.2	－	357.5	－	184.8	2,171.1

※相談・訓練事業利用人数

月別利用状況のうち、「生活・訓練・健康相談」「機能回復訓練」「巡回訓練」の人数計

※施設貸出利用人数（団体数）

月別利用状況のうち、「福祉バス」「ヒアリングループ」「体育室」「その他の施設利用」の団体数

※施設貸出利用人数（人数）

月別利用状況のうち、「福祉バス」「福祉カー」「体育室」「その他の施設利用」の人数計

※主催事業参加人数

「創作的活動事業」「社会適応訓練事業」「ボランティア養成事業」「スポーツ・レクリエーション事業」の人数計

（３）事業内容

ア　療育相談所

心身障害児に対し、相談・検査・評価・医学的診断・指導を行う外来診療機能と障害児通所支援の支給決定に係る意見書発行業務を行いました。

【外来診療】

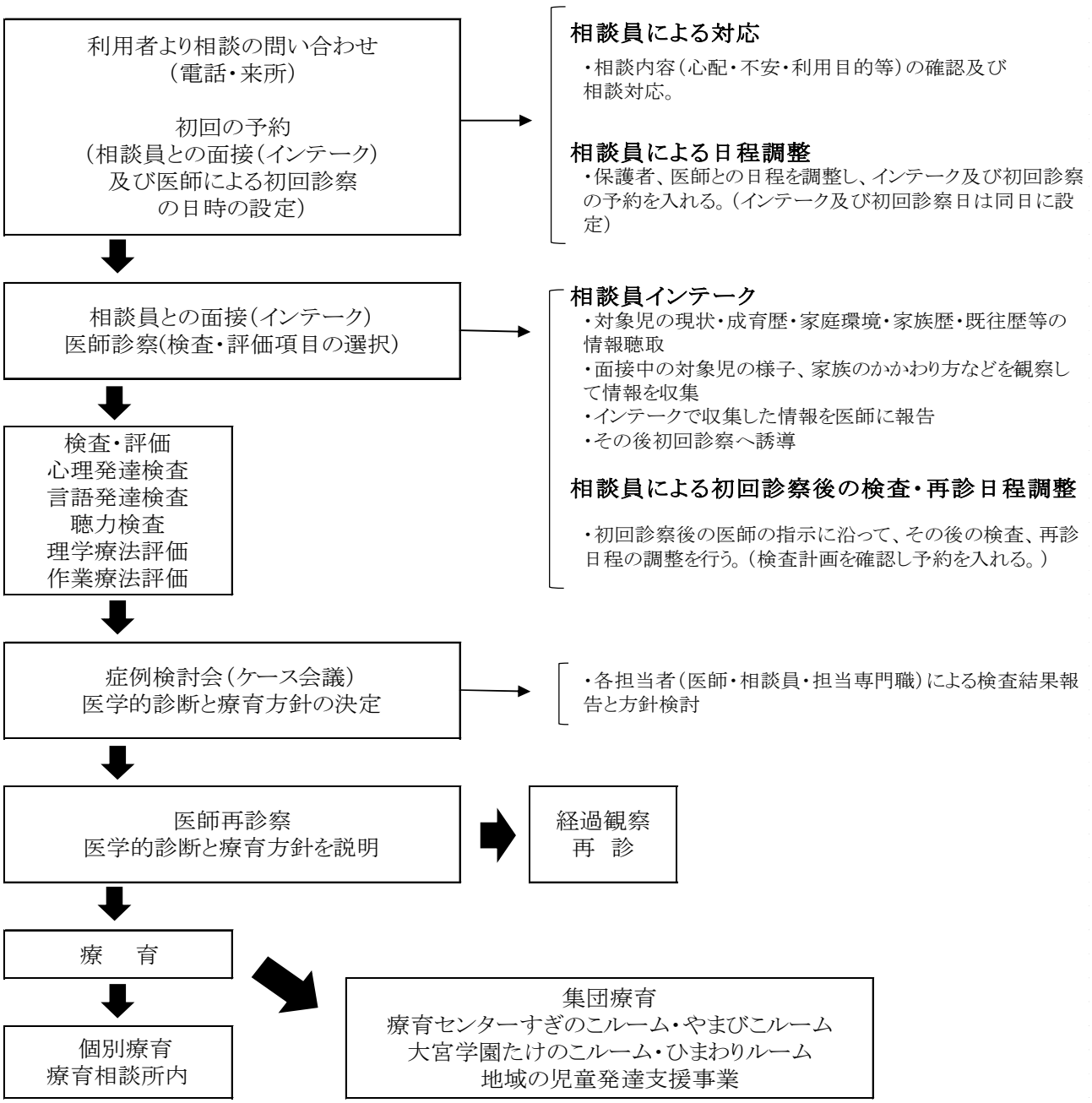
（ア）対象児

対象児は、０歳から１８歳未満までの、心身の発達に心配や障害がある児童です。

（イ）利用料

健康保険法に基づく保険医療機関として認可されており、保険診療の自己負担額を徴収します。診療・訓練をともなわない相談は無料です。

【利用の流れ】



（ウ）相談

電話や面接により、児童や家族が抱える問題について相談に応じ、適切な支援に繋げました。必要に応じて、福祉制度や社会資源についての情報提供を行いました。関係機関と連携し適切な支援が受けられるようにしました。

（エ）診療科

小児科・小児神経科	ことばや運動の発達に心配や問題のある児童の診察を行い、医学的診断を行いました。
整形外科	骨格・関節・筋肉・神経など運動器系統に心配や問題のある児童の診察を行い、医学診断や補装具等の相談・処方を行いました。
耳鼻咽喉科	聞こえや発音について心配や問題のある児童の診察を行い、医学的診断や補聴器等の相談・処方を行いました。
精神科	発達の遅れや行動面に心配や問題のある児童の診察を行い、医学的診断を行いました。

（オ）診察予定表

	午前		午後	
	診療科・医師名		診療科・医師名	
月	小児科	杉田　克生 木下　裕実	小児科	木下　裕実 遠藤　真美子
火	小児科 （小児神経科）	杉田　克生 久保　美保	小児科	杉田　克生 髙橋　明子（第 1,3,5） 杉田　記代子（第 1, 3）
水	小児科 耳鼻咽喉科	木下　裕実 吉井　祥子 （第 1,3,5） 齋藤　千尋（第 2,4） 嶋田　耿子（第 2,3,4）	小児科 児童精神科 整形外科	木下　裕実 林　瑤子 村田　淳（第 1,3）
木	小児科	杉田　克生 久保　美保	小児科 耳鼻咽喉科	杉田　克生 小松　健祐（第 2,4）
金	小児科	木下　裕実 髙橋　明子（第 2,4） 杉田　記代子（第 1,3）	小児科	木下　裕実 杉田　克生

（カ）検査／評価

医師の指示のもと検査／評価を行いました。

理学療法	運動発達の遅れや身体を動かすことに心配や問題のある児童に対し臨床観察評価：姿勢（臥位・座位・立位など）・移動手段（ずり這い・四つ這い・歩行など）毎に姿勢・運動の状態を評価しました。
作業療法	運動発達、精神発達の遅れや日常動作に心配や不安のある児童に対し、運

	動機能・感覚統合機能・認識機能・社会機能・摂食機能等の評価を行いました。
言語療法	言語発達の遅れ、発音の問題、聞こえの問題、吃音などの言語の障害やコミュニケーション関係に問題を持つ児童に対し、対象児の状態や年齢を考慮し、言語発達遅滞検査・言語能力・会話・コミュニケーション能力・構音・吃音・聴力検査等を行いました。
心理判定	発達に何らかの心配や問題のある児童に対し、対象児の年齢、状態に応じた発達検査・知能検査・行動観察等を行いました。

（キ）療育

医師の診断に基づき療育が必要と判断した場合は、保護者の理解のもと適切な療育支援を行います。対象児の障害及び程度を考慮しながら対象児に適した療育方法を検討し、個別指導療育もしくは児童発達支援事業に繋げました。

個別療育	医師の診断、各専門職の評価の中で個別の療育が必要と判断された児童に対し、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・心理判定員による、必要に応じた専門職の個別指導を行いました。 対象児個々の目標を設定し、指導内容・指導回数等を検討しながらリハビリテーション実施計画（個別支援計画）を立案し、保護者の了承のもと計画に沿って個別指導を実施しました。支援計画については対象児童の発達や成長に応じて、定期的に見直しを行いました。

（ク）千葉市の乳幼児健診への協力

乳幼児精密健康診査指定機関として精密健康診査を行いました。

三歳児耳鼻科二次健診派遣：千葉市健康支援課保健衛生事業に言語聴覚士を派遣し、検査を行いました。

実施日	派遣先
千葉市障害者相談センター	6 月 8 日・9 月 7 日・12 月 7 日・3 月 14 日 計 4 回

（ケ）職員の派遣

研修主催および内容	派遣日	派遣講師職員	参加者人数
千葉市幼稚園協会　事例研究会 「特別支援教育事例研究会」	6 月 14 日 10 月 18 日	療育相談所長 （講師）	市内幼稚園教諭 毎回 40 人参加

【意見書発行】

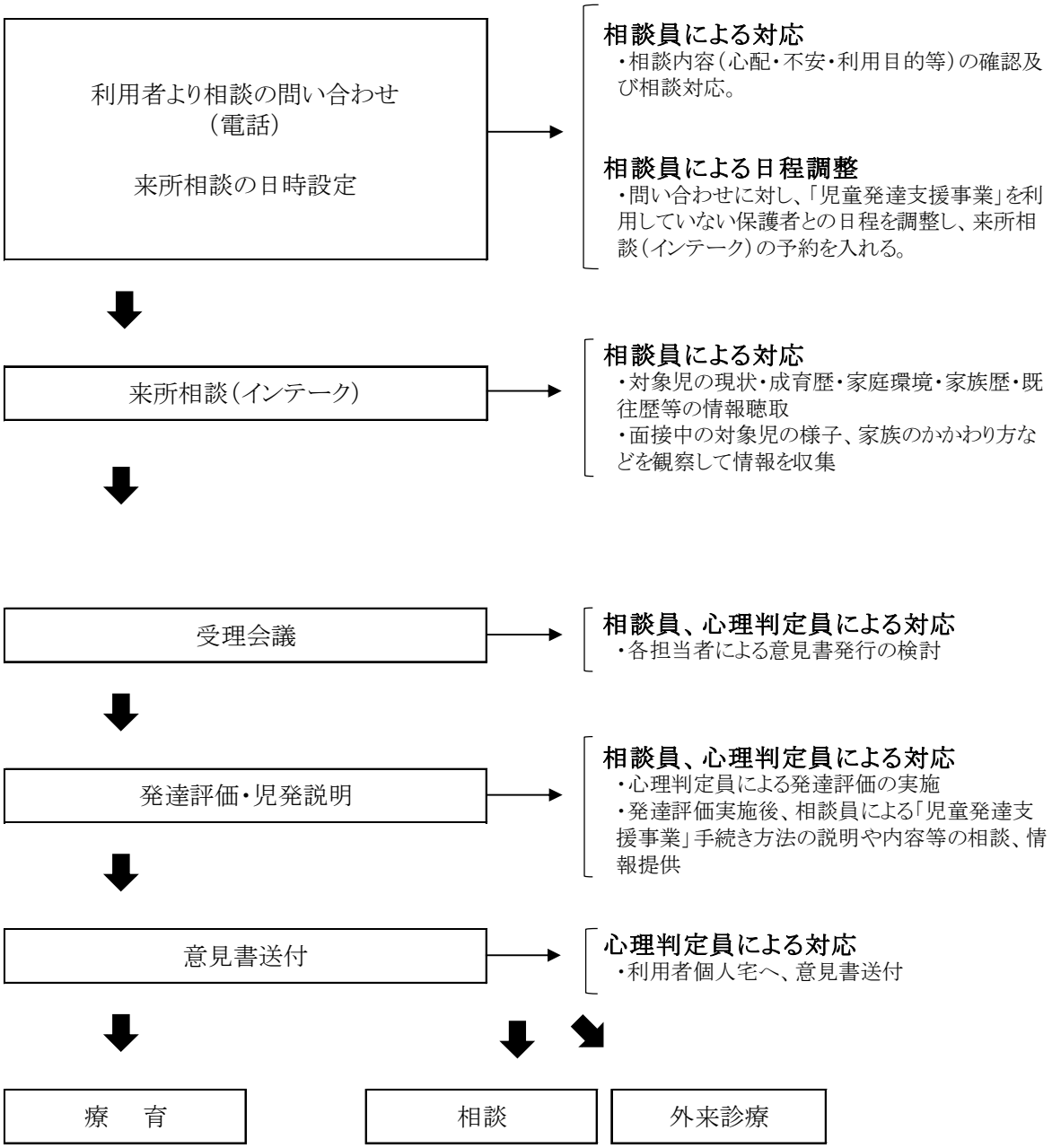
（ア）対象児

対象児は、0 歳から 6 歳までの、心身の発達に心配がある未就学前の児童です。

（イ）利用料

意見書発行にかかわる心理発達評価及び相談は無料です。

【意見書発行利用の流れ】



（ウ）相談

電話や面接により、児童や家族が抱える問題について相談に応じ、適切な支援に繋げました。必要に応じて、福祉制度や社会資源についての情報提供を行いました。関係機関と連携し適切な支援が受けられるようにしました。

イ　すぎのこルーム

【医療型児童発達支援センター】

（ア）療育

a　目　標

・様々な遊びを経験する中で、自発性を育てるよう支援しました。 ・人や物への関わりを広げ、自己表現力を育てるよう支援しました。 ・生活リズムを整え、基本的な生活習慣を身につけるよう支援しました。 ・保護者が主体性をもって子育てに取り組めるように育児支援を行いました。 ・利用児が健康に生活していくための基礎作りを、保護者と共に行いました。 ・個別支援計画･リハビリテーション計画に基づき、個々の発達に応じた個別指導を行いました。

b　個別支援計画

利用児の課題と保護者の意向を把握し、個別支援計画を作成しました。この個別支援計画は、保護者に説明し同意を得たうえで作成しました。

c　療育内容

保育	①生活リズムの調整、基本的な生活習慣（食事、排泄、衣服の着脱など）の援助や利用児が持っている力を発揮できるように取り組みました。 ②家庭以外の生活の場として集団生活に向けての基礎作りを行いました。 ③様々な遊びを経験し、意欲や自発性、積極性等を育てるよう支援しました。 ④保護者と共に通園することにより、対人関係の基となる親子関係を育み、様々な発達段階にある児童に応じた療育を行いました。	
保育形態	グループ保育	保育士、指導員が担当し、グループ保育を行いました。
	分離保育	母親以外の人とも過ごせるようになること等を目的として、年齢に応じた回数で分 離保育を行いました。
	遊び別グループ保育	利用児の目的に応じたグループ編成を行い、２週に１回実施しました。
	個別保育	集団での療育を基本とした上で、より個々に合わせた支援を行いました。

d　医師による診察及びリハビリテーション計画説明、発達評価・個別指導

医師による診察、相談を行い、診察後、医師の指示により各専門職員よる評価を行いリハビリテーション計画に基づき個別指導を行いました。

理学療法	・姿勢や運動面のよりよい発達を促すための援助及び保護者支援を行いました。 ・発達に合った日常生活用具の調整、補装具、車椅子作成および相談に応じました。
作業療法	・日常生活に密着した遊び、生活動作等についての援助及び保護者支援を行いました。 ・発達に合った日常生活用具の調整、補装具、車椅子作成および相談に応

	じました。 ・利用児の状態に応じた食形態の指導、相談を行いました。
心理判定	・発達検査での行動観察を通して利用児の発達段階や発達課題を把握し、保護者支援を行いました。

（イ）日課表

時　間	内	容
10:00	登園　朝の集まり　生活指導	個別指導 診察
10:20	保育	
11:20	給食準備 給食指導	
11:40	帰りの集まり	
12:50	生活指導	個別指導 診察
13:00	保育	
13:20	生活指導	
14:00 14:30	帰りの集まり　　降園	

（ウ）各種行事

季節に応じた行事やレクリエーション等を実施いたしました。また、利用児の保護者等に対しては個別支援の他に勉強会や交流の場を設けて支援を実施しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
新年度オリエンテーション	令和5年4月21日	「運営方針」に基づいて、当年度の療育体制について保護者に説明。	6人
園外療育（千葉市動物公園）	令和5年5月25日	園児の生活経験を広げ、保護者が園児を連れて外出するきっかけとなるよう親子で楽しむ。	12人
就学指導（学校見学）	新型コロナウィルス感染症拡大防止のため中止		
保護者勉強会	令和5年6月7日	ＯＢ体験談（桜が丘特別支援学校・園生小学校支援級）	8人
音楽療法	令和5年6月23日	音楽のもつリラックス効果などを利用して、より豊かな生活を送ることができるようにアプローチする。	8人
家族参観	令和5年7月8日	園児の療育を家族に見てもらい、子供とルームへの理解を深め、他の家族との交流の場とした。	34人

保護者勉強会	令和5年9月14日	千葉県歯科医師会訪問摂食嚥下指導(第1回)	6人
音楽療法	令和5年9月22日	音楽のもつリラックス効果などを利用して、より豊かな生活を送ることができるようにアプローチする。	12人
運動会	令和5年10月14日	場所：３階体育室 生活経験の拡大、集団行動経験、家族交流等	41人
音楽鑑賞会	令和5年10月18日	親子でバイオリン演奏を楽しみ、身近な楽器をつくる経験をする。	14人
保護者勉強会	令和5年10月23日	福祉サービスについて理解を深める。	10人
芋掘り遠足	令和5年11月1日	通常の療育ではできない芋掘りを体験することにより、園児の生活経験を広げた。 於：農政センター	14人
保護者勉強会	令和5年11月28日	腸内細菌について理解を深める。	6人
保護者勉強会	令和5年12月7日	千葉県歯科医師会訪問摂食嚥下指導(第2回)	7人
クリスマス会	令和5年12月15日	親子ゲームや職員の出し物、サンタクロースとの交流を通して季節の行事としてクリスマスを楽しんだ。	20人
保護者勉強会	令和6年1月11日	千葉県歯科医師会訪問摂食嚥下指導(第3回)	4人
家族参観日	令和6年1月27日	日々の療育を積み重ねてきた園児の成長をひとつの劇を通して発表する場を設けた。	52人
音楽療法	令和6年2月9日	音楽のもつリラックス効果などを利用して、より豊かな生活を送ることが出来るようにアプローチした。	8人
卒園式	令和6年3月22日	年度の変わり目を感じるとともに、卒園する児童をルーム全体でお祝いする。	39人
お別れ会	令和6年3月29日	親子ゲームや職員の出し物等を行うことで卒園児と在園児が共に楽しめる機会とした。	20人

【児童発達支援事業】

（ア）療　育

a　プレ集団グループ（３グループ）

幼稚園や保育所など一定の集団にまだ所属していない児童を対象に、親子で様々な経験を積み、基本的な生活習慣を身につけるための援助や支援を行いました。

日　課　表

第１グループ（週２回　火・金の１グループ、週１回　月の１グループ）

時　間	内　　容
１０：００	身支度　自由遊び　保護者との話し
１０：２０	体操、親子遊び
	集まり(呼名･ペープサート等)、トイレ・水分補給
	設定保育
１１：４０	給食
１２：１５	歯磨き　　身支度
１２：３０	おかえり

第２グループ（週１回　水の１グループ）

時　間	内　　容
１０：００	身支度　自由遊び　保護者との話し
１０：２０	体操、親子遊び
	集まり(呼名･ペープサート等)、トイレ・水分補給
	設定保育
１１：３０	おやつ　身支度
１２：００	おかえり

ｂ　集団参加児グループ　（６グループ）

幼稚園や保育所など一定の集団にすでに所属している児童やまだ集団に所属していない児童を対象に、小集団での様々な経験を積み重ね、集団生活や社会への適応が出来るように支援を行いました。なお、年長児グループにおいては保護者への就学支援を行いました。

日　課　表

第１グループ（週１回　木の１グループ）

時　間	内　　容
１０：００	身支度　自由遊び　保護者との話し
１０：２０	リズム体操
	集まり(呼名･ペープサート等)
	トイレ・水分補給
	設定保育
１１：４０	給食
１２：１５	歯磨き　身支度
１２：３０	おかえり

第２グループ（毎週　月・火・水・木・金曜日の５グループ）

時　間	内　　容
１４：３０	身支度　自由遊び　保護者との話し
１４：５０	リズム体操
	集まり(呼名･ペープサート等)
	トイレ・水分補給
	設定保育
	身支度
１６：３０	おかえり

ｃ　発達障害児グループ　（３グループ）

知能の発達はノーマル域にある発達障害児を対象に、小集団での活動を通して、社会的コミュニケーション能力を身につけ所属集団への適応を促す支援を行い、また、必要に応じて所属集団との連携を図りました。なお、年長児グループにおいては保護者へ就学支援を行いました。

日　課　表

火、金曜日の隔週グループ

時　間	内　　容
１５：００	身支度　　自由遊び
１５：２０	集まり(呼名･ペープサート、活動の説明等)
	設定保育
１６：１５	紙芝居　　シール貼り　身支度
１６：３０	おかえり

ウ　やまびこルーム

【福祉型児童発達支援センター】

（ア）療　育

ａ　個別支援計画の作成

児童の課題と保護者の意向を反映し、年２回個別支援計画を作成しました。この個別支援計画は、保護者に説明して同意を得たうえで作成しました。

ｂ　療育内容

個々の利用児の身体及び精神発達、聴覚・言語発達に応じて療育を行いました。また、保護者に対して、助言及び情報交換等を実施しました。

聴覚・言語及びコミュニケーションの指導	集団指導と個別指導を有機的に関連させながら、療育プログラムを実施しました。個別療育では、定期的に聴力検査を実施し、適宜、補聴器の調整と装用指導を行いました。また、個々の児童の発達状況に合わせた遊びや体験活動、課題学習等を通して、ことばや聴く力、人と関わる力を保護者とともに取り組みました。
集団生活の適応支援	集団療育では、児童同士の関わりのなかで、社会性やコミュニ

	ケーションの力を身につけられるよう取り組みました。
聴覚面の健康管理	耳鼻科医による定期的な診察と言語聴覚士による聴力検査を行い、聴覚面の健康管理に努めました。
家庭での実践	個別支援計画に基づいて保護者支援を行い、家庭で実践できるよう支援しました。

c　療育形態

区　分	対　　象　　児		形　　態	
親子通園	聴覚障害児	0～2 歳児	集団療育　（午前親子療育）	個別療育
		3～5 歳児	集団療育（保護者と分離で行う）	個別療育

d　集団療育

様々な活動を通してコミュニケーション関係、及び言語や聴く力を育てる指導を行いました。また保護者に対しては、年齢に応じた親子のコミュニケーションの持ち方、育児及び聴覚障害の認識、受容などについて話し合い、助言しました。

【集団療育の日課表】

０・１・２歳児

時　間	主な活動	指　　導　　内　　容
10：30	登園 親子活動	朝の集まり：おはようの歌、お名前呼び 体操・遊戯 紙遊び、パラバルーン、ボール遊び、楽器遊び、散歩など 手遊び歌、ふれあい遊び
11：20	保護者支援	難聴について理解を深め、お子さんと適切に関われるよう、説明や話し合いを行う。
12：00	降園	

３～５歳児

時　間	主な活動	指　　導　　内　　容
14：00	登園 集まりからは保護者と分離	シール張り 集まり あいさつ、名前呼び、カレンダーワーク、 絵日記発表、体験活動、ごっこ遊び、劇遊び、伝承遊び、歌、制作活動、ルールのある遊びなど ＊児童同士の関わりを支援する。
	保護者支援	前半は活動を別室から見学。後半は職員が入り、活動の振り返りと、難聴や言葉の発達についての助言を行う。また、幼稚園等集団の様子を話し合うなどトピックを決めた話し合いを行う。
15:30	降園	

e　個別療育

個々の児童の年齢、聴力レベル、発達に合わせて、言語・コミュニケーション指導、及び聴力検査、補聴器の調整と補聴器・人工内耳の装用指導を行いました。保護者に対しては、家庭療育や育児、遊び、障害の認識などについて話し合い助言しました。

f　オンラインによる個別療育

新型コロナウイルス感染症感染拡大の中、来所を控える利用者に対して、オンラインによる個別指導（通常と同じ１時間）を実施しました。

（イ）保護者支援

保護者が子どもとの関わり方を理解し、日常生活の中で子どもの気持ちに共感しながら、豊かなコミュニケーションができるよう、個別・グループ指導の中で支援をしました。年長児の保護者に対しては、就学に向けた情報提供を行い、適宜相談、助言をしました。

また、対面による講師を招いてのセミナー（補聴器、人工内耳の勉強会、卒園児保護者のお話しを聞く会）保護者懇談会など、保護者支援を昨年度の計 11 回を上回る計 25 回実施しました。

a　保護者セミナー

	日付	テーマ及び講師	参加者数
第 1 回	令和 5 年 5 月 8 日	お子さんのことばを育てる上で大切なこと やまびこルーム言語聴覚士	4 人
第 2 回	令和 5 年 5 月 25 日	難聴のお子さんを育てる家庭でできること やまびこルーム言語聴覚士	11 人
第 3 回	令和 5 年 6 月 5 日	コクレア人工内耳に関する最新情報・Q&A 日本コクレア担当者	2 人
第 4 回	令和 5 年 6 月 8 日	3～5 歳児保護者懇談会(集団生活について) やまびこルーム言語聴覚士	5 人
第 5 回	令和 5 年 6 月 22 日	大学における難聴学生への情報保障 筑波大学ヒューマンエンパワメント推進局担当者	6 人
第 6 回	令和 5 年 7 月 3 日	フォナック補聴器について ソノヴァ・ジャパン担当者	5 人
第 7 回	令和 5 年 7 月 6 日	ロジャーシステムについて ソノヴァ・ジャパン担当者	8 人
第 8 回	令和 5 年 8 月 3 日	難聴大学生の学校生活について Q&A 筑波大学に通う難聴大学生	14 人
第 9 回	令和 5 年 8 月 17 日	早稲田大学における難聴学生支援 早稲田大学障がい学生支援室担当者	9 人
第 10 回	令和 5 年 8 月 24 日	楽しく手話を学ぼう！ 立教大学日本手話兼任講師　佐沢静枝様	6 人
第 11 回	令和 5 年 9 月 4 日	千葉聾学校小学部保護者お話会	4 人

		OB 保護者（小 2・小 5）2 人	
第 12 回	令和 5 年 9 月 7 日 オンライン	長野県サマライズセンターの取り組み NPO 法人長野サマライズセンター代表　小笠原様	7 人
第 13 回	令和 5 年 10 月 3 日	船橋市保護者お話会 OB 保護者（小 2）2 人	11 人
第 14 回	令和 5 年 10 月 5 日	合理的配慮について一幼稚園の立場から 千葉市幼稚園協会会長　愛隣幼稚園　園長	7 人
第 15 回	令和 5 年 10 月 18 日	伝音難聴・千葉市保護者お話会 OB 保護者（小 2）1 人	5 人
第 16 回	令和 5 年 11 月 29 日	千葉市難聴学級先生お話会 高洲第三小　鷲沢先生	11 人
第 17 回	令和 5 年 12 月 8 日	市川市・八千代市保護者お話会 OB 保護者（小 1・2）3 人	10 人
第 18 回	令和 6 年 1 月 29 日	聴覚障害当事者お話会 補聴器装用・軽度難聴の大学生(20 代)	13 人
第 19 回	令和 6 年 1 月 30 日	難聴学級所属卒園児保護者お話会 OB 保護者（小 1）2 人	5 人
第 20 回	令和 6 年 2 月 2 日	聴覚障害当事者お話会 一般企業勤務の人工内耳装用の方(20 代)	6 人
第 21 回	令和 6 年 2 月 22 日	聴覚障害当事者お話会 ろう当事者でろう学校教員をしている方(20 代)	6 人
第 22 回	令和 6 年 3 月 6 日	聴覚障害当事者お話会 補聴器装用・高度難聴の方(20 代)	7 人

ｂその他

教室名	日付	テーマ	参加者数
保護者勉強会	令和 5 年 7 月 23 日 オンライン	就学前の難聴児の子育てで大切にしたいこと KIDS*FIRST 認定言語聴覚士 藤吉先生（岡山県児童発達支援事業所）	22 人
保護者懇談会	令和 5 年 11 月 13 日	異年齢児保護者懇談会（保育園でのできごと等）	3 人
保護者懇談会	令和 5 年 12 月 18 日	人工内耳装用児の保護者の懇談、情報交換	3 人

（ウ）卒園後支援

やまびこルーム卒園後、就学する児童については、切れ目のない支援が受けられるよう就学先や難聴学級と連携をとり、引継を行いました。

（エ）地域支援

やまびこルームに在籍する児童の並行通園先の幼稚園や保育園、居住する市町村の発達支援センターや児童発達支援事業所、相談支援事業所を対象とした公開療育を行い、やま

びこルームの療育を知ってもらうとともに、難聴児への関わり方についての情報提供を行いました。また、在園児が併行通園している幼稚園、保育園、児童発達支援事業所等と訪問、電話、オンライン等で連携を行いました。

地域支援	開催日	内容	参加数数
公開療育 オンライン	令和５年 11 月 17 日	利用児の併行通園先の幼稚園・保育園、居住する地域の発達支援センター、相談支援事業所、児童発達支援事業所等に、やまびこルームの療育について説明し、地域連携の強化を図った。	18 施設 19 人
関係機関との連携	令和５年４月 ～令和６年３月	併行通園している幼稚園、保育園、児童発達支援事業所、市町村の発達支援センター、病院などへ訪問、電話、オンライン等で連携をはかった。（卒園児支援も含む）	延べ 136 件

（オ）行事

令和５年度は、運動会、秋祭りは年齢別グループ活動の中で実施、クリスマス会は異年齢交流グループ活動として実施、ご家族も参加できる全体行事を体育館で実施しました。音楽活動に特化したグループ活動を新しく実施しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
音楽会	令和５年８月９日	場所：3 階体育館 夏休みのご兄弟も参加し、バイオリン演奏を聞いたり、音楽に合わせて身体を動かし音楽を楽しむ。	園児　12 人 保護者　13 人 兄弟　6 人
お楽しみ会	令和５年 10 月 22 日	場所：3 階体育館 サーカスのパフォーマンスを見たり、親子で工作をして楽しむ	園児　23 人 保護者 37 人 兄弟　14 人
クリスマス会	令和５年 12 月 14 日	場所：2 階やまびこルーム指導室 クリスマスの雰囲気の中で、制作やライト遊び、身振りのある歌や楽器を楽しむ。	園児　21 人 保護者　21 人
音楽隊	令和６年 1 月 18 日 2 月 15 日 3 月 21 日 3 月 29 日	場所：2 階やまびこルーム指導室 色々な年齢のお子さんたちと一緒にリトミックや手遊び、楽器遊びを楽しむ。異年齢児の保護者の交流の場とする。	延べ 園児　22 人 保護者　22 人
令和５年度 卒園式	令和６年３月 26 日	場所：３階体育館 令和５年度卒園児を送る。	園児　13 人 保護者　15 人

エ　相談支援事業ぱれっと

（ア）対象者

受給者証の更新児（者）を中心に可能な限り新規の計画作成及びモニタリングを行いました。

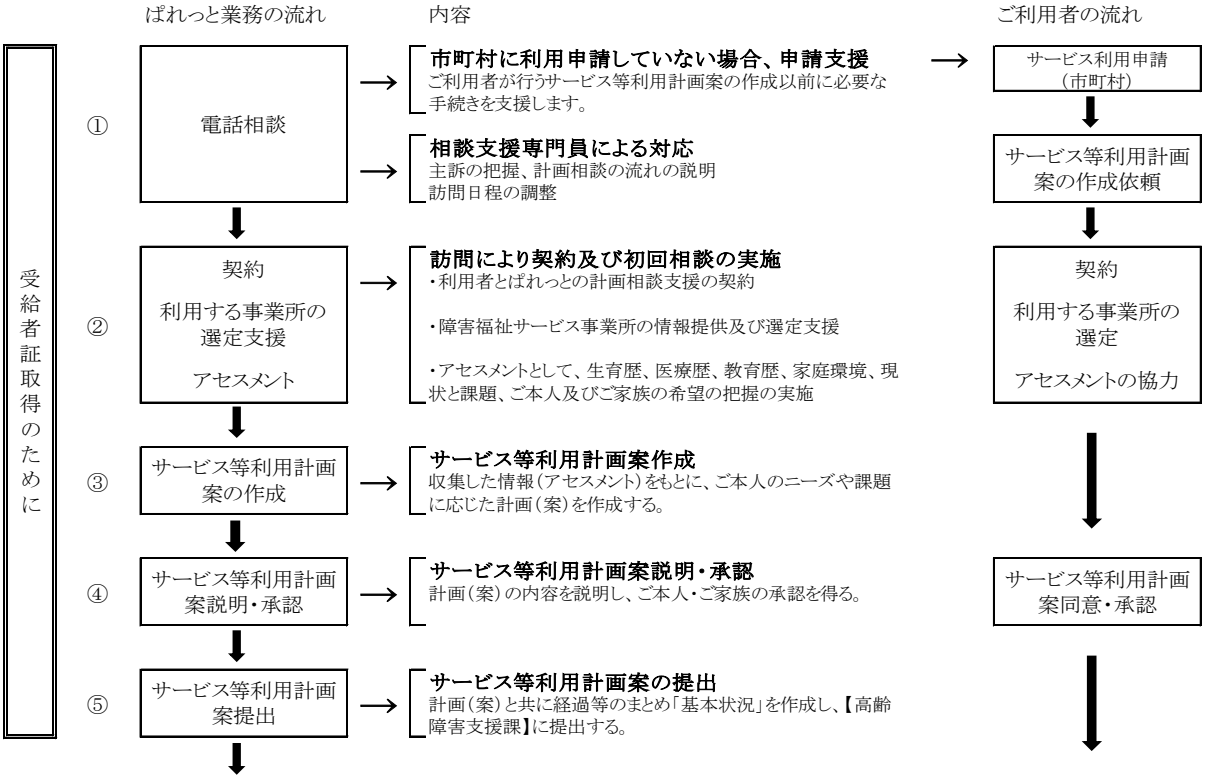
（イ）利用料

無料

（ウ）利用の流れ

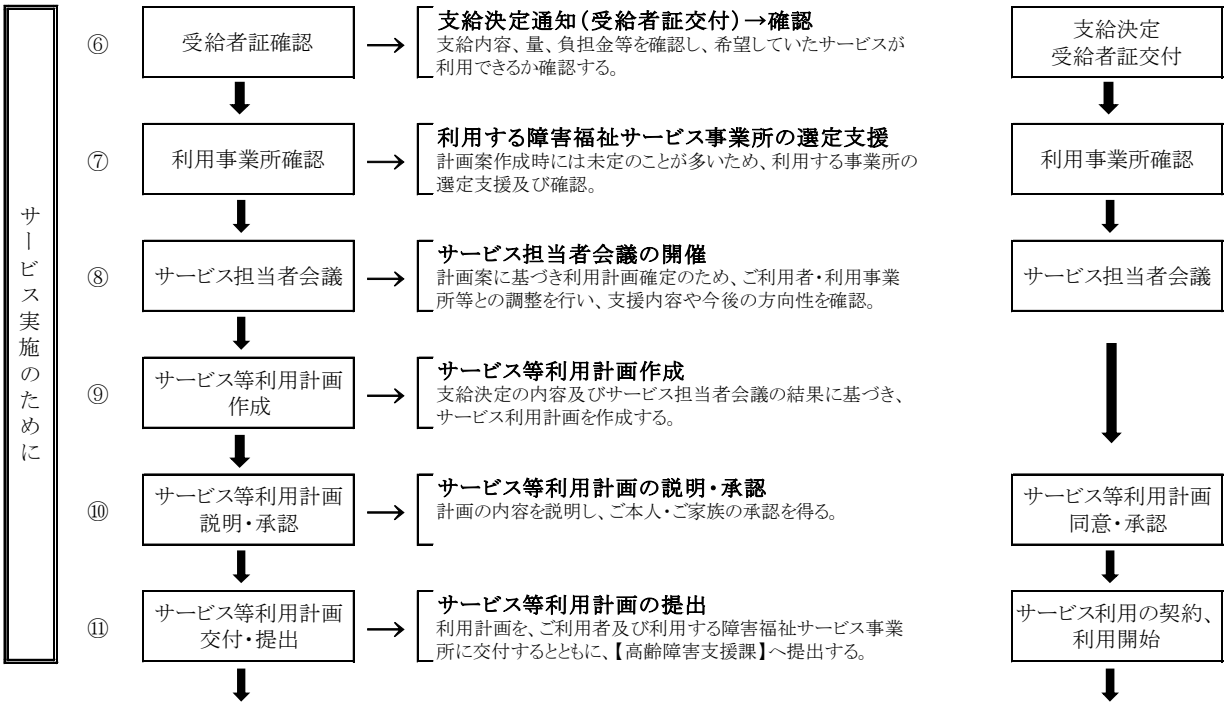
a　受給者証取得のために

利用契約	計画の作成やその後のモニタリングをするための契約を締結しました。
アセスメント	ご本人の様子や日常生活の状況、利用者及び保護者の意向等を確認しました。
計画案作成	面談を通じて「サービス等利用計画案」「障害児支援利用計画案」を利用者及び保護者の同意のもと作成しました。



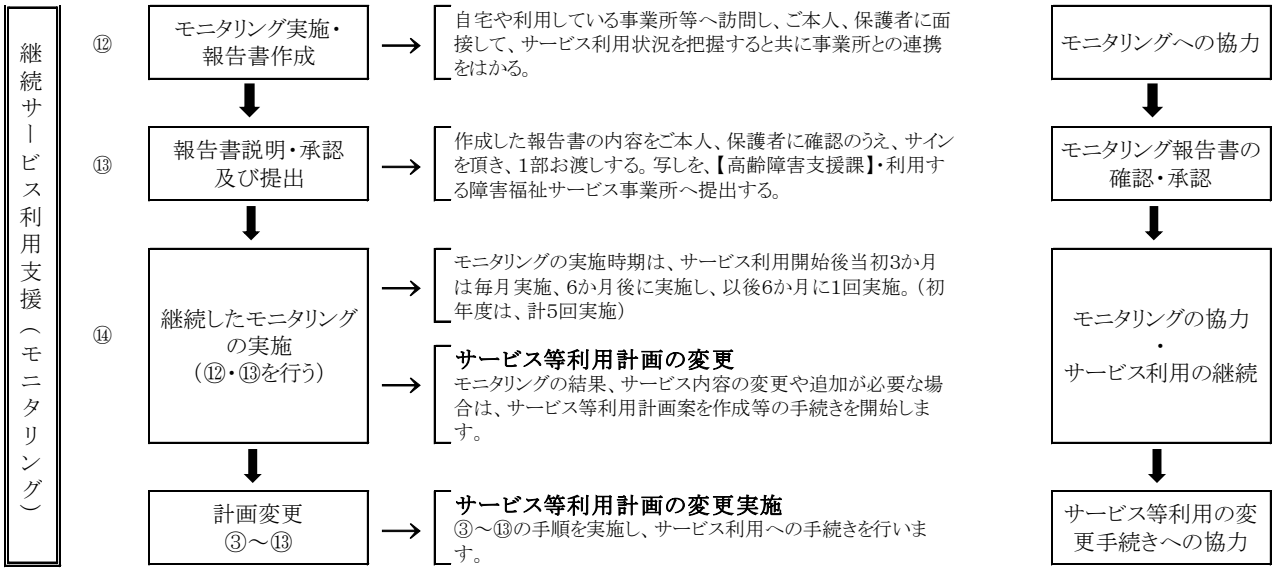
b　サービス実施のために

サービス利用調整・計画作成	支給決定を踏まえ、サービス担当者会議の開催等により、計画案の内容を事業所の担当者に説明すると共に専門的な意見を求めました。また、計画作成は利用者及び保護者の同意のもと作成しました。



c　継続サービス利用支援（モニタリング）

モニタリング	作成した計画の実施状況について定期的（受給者証に記載されている期間ごと）に把握（モニタリング）しました。また、モニタリングの結果、必要に応じて計画の変更を行いました。
サービス提供時モニタリング	その他に適時、自宅や事業所でのサービス提供時にモニタリングを実施しました。



※適宜実施　　サービス提供時モニタリング、担当者ケース検討会議

d　その他

ご利用者・ご家族からの相談への対応や事業所との連絡を随時行いました。

オ　いずみの家

【就労移行支援】

（ア）個別支援計画

a　個別支援計画作成

就労移行の個別支援計画作成に関する考え方	個別支援計画は、施設を利用する上での基本計画であるため、利用者のニーズや要望を十分に把握し、利用者や保護者に説明して同意を得たうえで作成しました。 就労移行支援においては、利用者の適性や長所を知ることと、評価をフィードバックすることを重視して個別支援計画を作成し、就労支援のみならず、生活全体の支援を行いました。 また、計画内容は３ヶ月ごとに適宜見直すことで、利用者の希望が実現できる支援を行いました。
作成体制と支援の流れ	個別支援計画を作成するにあたっての、支援ステップ（就労移行支援プログラム）は次項のとおりで、基本的に２年以内での就労を目指しました。

b　支援プログラム

（ａ）支援プログラムのポイント＞

・基礎体力、理解力、作業能力等の向上
・持続力、集中力等の労働習慣と意欲の向上
・職場における協調性の向上
・職場規律・社会規律の遵守
・職場への定着力の向上

（ｂ）支援プログラム

<table>
<tr><th>期間</th><th colspan="2">支援ステップ
（就労移行支援プログラム）</th><th>個別支援計画の
作成・反映の流れ</th><th>支援者</th></tr>
<tr><td rowspan="3">利用
開始前</td><td colspan="2">・面談・アセスメント（初期評価）</td><td></td><td>サービス
管理責任者</td></tr>
<tr><td colspan="2">・課題抽出</td><td></td><td>生活支援員
職業指導員</td></tr>
<tr><td colspan="2">・就労移行個別支援計画作成</td><td rowspan="4">⇔
⇔
個別支援計画
（適宜見直し）</td><td>サービス
管理責任者</td></tr>
<tr><td>0～6
ヶ月</td><td rowspan="2">対人力
生活力</td><td>・労働スキル向上
プログラム</td><td rowspan="2">就労支援員
生活支援員
職業指導員</td></tr>
<tr><td>7～9
ヶ月</td><td>・求職活動スキル向上
プログラム</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>10～12ヶ月</td><td rowspan="2">向上
プログラム</td><td>・現場実習
プログラム</td><td rowspan="4">⇔
⇔
⇔
⇔
個別支援計画
（適宜見直し）</td><td></td></tr>
<tr><td>13～
18ヶ月</td><td>・求職活動</td><td rowspan="4">就労支援員等</td></tr>
<tr><td>19～
24ヶ月</td><td colspan="2">・就職
・職場定着プログラム</td></tr>
<tr><td>24ヶ月</td><td colspan="2">・地域生活移行プログラム</td></tr>
</table>

（ｃ）工賃

就労支援プログラムは基本的に工賃支給対象ではありません。

また、企業等外部での実習の場合は交通費等もご利用者の負担となりますが、施設内でのプログラムで生産活動に従事した場合には、就労継続支援の「工賃支給要綱」に準じて支払いました。

（イ）就労支援

a　就労準備支援

就労するための基礎知識及びマナー等の習得に向けた支援を行いました。

・履歴書の作成及び模擬面接を行いました。 ・ビジネスマナー（電話のかけ方や身だしなみ等）の習得に努めました。

b　実習

体験を目的とした実習	実習を通して、職場や職場環境等への理解を深め、将来の進路を決める際に役立つよう支援しました。
就労に向けた実習	実習を通して、利用者・ご家族ともに企業で働くことの理解を深め、採用後安心して働けるよう支援しました。
実習先	企業での実習を行うことにより実際の作業経験等をとおして支援しました。

c　求職活動

求職活動を様々な方法で行うと共に、就労意欲を高める環境作りに努めました。

・ハローワーク・障害者職業センター・キャリアセンターとの連携を図りました。 ・多岐にわたる求人情報の収集に努めました。

d　就労移行後の継続的な支援

就労後、6 か月間は定期的に就労先の企業へ訪問し、職場の定着を支援しました。また、6 か月以降については就労定着支援事業所または障害者就業・生活支援センター等の関係機関への引継ぎ及び連携を図り切れ目のない支援を行いました。

・年に 1 度、就労した利用者に対する職場定着支援として情報交換会開催していましたが、参加者の高齢化や参加者を知る職員の異動・退職などによる参加率の低下などにより、開催の必要性が低下したことから終了する判断に至りました。 ・就労先訪問による企業支援を行いました。 ・本人・家族からの相談に応じました。

（ウ）生活支援

a　日常生活習慣の向上

施設内での様々な活動経験の積み重ねにより、利用者のできることを増やし、日常生活力の向上を支援しました。

清掃	毎日の施設内清掃や、ゴミ捨て等を行いました。また、施設内外の環境整備も併せて行いました。
日直当番	当番制により昼食準備や後片付けを行いました。
地域清掃他	近隣の歩道の清掃など地域貢献に積極的に努めました。

b　社会生活習慣の向上

コミュニケーション力や基本的なマナー知識の習得を支援しました。

c　自律的な関係支援

施設内の活動を利用者同士で話し合い、お互いの考えを伝える自治活動などの機会を設けました。

（エ）年間行事予定

基本的には後述の就労継続事業と同じです。

（オ）日課表

時　間	項　　目	備　　考
	登　　所	更衣・作業準備・身だしなみチェック
９：００	朝　　礼	
	就労演習	就労支援プログラム
１１：３０	運　　動	体操・ウォーキング
１２：００	昼　　食	
	休　　憩	
１３：００	就労演習	就労支援プログラム
		休憩（15 分）
１５：４５	終　　礼	
	清　　掃	更衣
	降　　所	

（カ）就労移行

a　生活習慣及び労働習慣の確立のための支援の実施

生活基盤を確立するために家事手伝いや金銭管理等の支援プログラムを実施する一方で、基本的労働習慣（１日を通しての立ち仕事を行う体力や集中力、時間管理等）やビジネスマナー（挨拶・返事・報告等）を身につけるため就労継続支援Ｂ型事業と連携し、包括的な支援を実施しました。

b　見学・実習・就労

労働に対する自発性、持続性を養うため、ハローワークや障害者職業センター等と連携して求職活動を行い、必要に応じ一般企業での実習を行い就労へとつなげていきました。

職場見学・体験

職場見学・体験先	見学・体験日	人数
令和５年度は実績なし		

職場実習

職場実習先	実習期間	人数
千葉大学環境整備グループ	令和５年５月９日～5月 11 日	１人
千葉大学環境整備グループ	令和５年５月 16 日～5月 18 日	１人

就労実績

性別	年齢	就職日	就職先事業所名（業務内容）	令和６年３月 31 日現在の状況
令和５年度は就労実績なし				

※　令和４年度就労実績　４人

【就労継続支援Ｂ型】

（ア）個別支援計画

ａ　個別支援計画作成

就労継続支援Ｂ型の計画作成に関する考え方	個別支援計画は、利用者の希望を把握し、働く環境や生活のあり方について家族も交えて検討し作成しました。 なお、就労継続支援事業を利用している方であっても、一般就労の意欲のある方へは、就労移行につながるよう支援しました。また、計画内容は６ヶ月ごとに適宜見直すことで、利用者の希望が実現できる支援を行いました。
作成体制と支援の流れ	個別支援計画を作成するにあたっての、支援ステップ（就労継続支援プログラム）は下表「支援プログラム」のとおりです。

ｂ　支援プログラム

期間 １年間	支援ステップ （就労継続支援プログラム）	個別支援計画の 作成・反映の流れ	支援者
利用 開始前	・面談・アセスメント（初期評価）		サービス 管理責任者
	・課題抽出	⇔	生活支援員 職業指導員
	・就労継続個別支援計画作成	⇔	サービス 管理責任者
0～ ６ヶ月	・面談（計画の説明と合意形成）	⇔	サービス 管理責任者
	・モニタリング	⇔	全職員
	・評価	←	全職員

個別支援計画

（適時見直し）

7～ 12 ヶ月	・課題抽出	→		生活支援員 職業指導員
	・就労継続支援計画改訂	⇔	個別支援計画 （適時見直し）	サービス 管理責任者
	・面談（計画の説明と合意形成）	⇔		サービス 管理責任者
	・モニタリング	⇔		全職員
	・評価			全職員

（イ）生産活動及び工賃

・作業に集中できる環境を作り、ひとりひとりが「自分の仕事」として責任を持って取り組むことができるよう支援しました。
・自主製品の販路拡大や共同受注作業の開拓等により工賃向上に努めました。
・作業によって得られた収入は必要経費を除いて全て工賃として支給しました。

（ウ）受注生産活動

・ギフト用箱作り・タオル箱詰め（㈱スダトモ他）
・手提げ袋・レントゲン袋等制作（㈱明巧他）
・保冷材箱詰め・値札付け（アイスジャパン他）
・ハンガー組立等（㈱グローベル）

（エ）自主生産活動

・ビニール袋製造・販売
・プリント製品の製造・販売

（オ）委託業務活動

・観賞用メダカ飼育
・教材資料仕分け配布

（カ）生活支援

a　日常生活習慣の向上

施設内での様々な活動経験の積み重ねにより、利用者のできることを増やし、日常生活力の向上に努めました。

清掃	毎日の施設内清掃や、ゴミ捨て等を行いました。また、施設内外の環境整備も併せて行いました。
日直当番	当番制により昼食準備や後片付けを行いました。

b　社会生活習慣の向上

コミュニケーション力や基本的なマナー知識の習得を支援しました。

c　自律的な関係支援

施設内の活動を利用者で話し合い、お互いの考えを伝える自治活動などの機会を設けました。

d　将来を見据えた支援

生活習慣病の予防と健康管理を行っていくと共に加齢による機能低下がみられた方には個別的なプログラムを実施します。また家庭を離れ地域で生活できるようグループホーム等の福祉サービスを紹介し、安心、継続して働けるよう支援していきます。

（キ）行事・レクリエーション

a　全体活動

利用者の希望をふまえた内容により全体での活動支援を行いました。

社会研修	社会のルール、マナーなどの見識を広げる目的で実施しました。
一泊旅行	宿泊体験活動を通して、見識と社会経験を豊かにし、親睦を図る機会とする目的で実施しました。

b　小グループ活動

利用者個々の参加希望によりグループでの活動支援を行いました。

余暇活動	スポーツ・娯楽等グループ活動
所外活動	自主的な行動を促し、社会性を養うよう所外での活動を支援しました。

（ク）行事

行事名	開催日	内容	参加者数
新年度体制説明会（利用者）	令和５年４月１日	新年度運営方針等説明	28 人
新年度体制説明会（家族）	令和５年４月 26 日	新年度運営方針等説明	22 人
ゆうあいピック	令和５年５月 17 日	陸上競技、フライングディスク	36 人
社会研修	令和５年６月 30 日	行先：カップヌードルミュージアム	42 人
一泊旅行	令和５年９月７日 ～9 月８日	中禅寺湖、東武ワールドスクエア他	36 人
所外活動･第１班	令和５年 10 月 31 日	行先：上野動物園	19 人
所外活動･第２班	令和５年 11 月７日	行先：上野動物園	21 人
新年会 お楽しみ外食	令和６年１月 19 日	行先：ららぽーと TOKYO-BAY →千葉ポートタワー	40 人
ゆうあいピック駅伝マラソン大会	令和６年２月２日	場所：青葉の森公園 マラソンと駅伝に参加	38 人

（ケ）活動日課表

時　間	項　　目	備　　考
９：００	登　　所 朝　　礼 作　　業	更衣・作業準備
１１：３０	運　　動	体操・ウォーキング
１２：００	昼　　食	

１３：００ １６：００	休　　憩 作　　業 終　　礼 清　　掃 降　　所	 休憩（15 分） 更衣

【工賃向上】※就労移行支援、就労継続支援Ｂ型共通

（ア）受注作業

a　従来の取引先企業との実績による受注量のアップに加え、新しい取引先の開拓及び利用者の技術の向上により、工賃向上を目指しました。

b　迅速で正確かつ丁寧な製品づくりと納期厳守に努めたことにより、企業との信頼関係が構築でき、また、ご利用者と目標をかかげ効率的な取組みをして安定的な受注を目指しました。

（イ）自主生産作業

ポリ袋の生産・販売に加え、ポロシャツ、タオル等に刺繍やプリントを施した二次加工品といった製品により販路を広げ、工賃向上を目指しました。

（ウ）委託業務作業

年間を通した花見川終末処理場メダカ飼育作業や教材資料の仕分け、配布業務を受託し、受注作業に依存しない取り組みを行いました。

（エ）令和５年度平均工賃額

	就労継続支援Ｂ型事業	就労移行支援事業
年間工賃支払額	8,128,145 円	42,764 円
年間利用実人数	339 人	1 人
平均工賃額（従来算出方法）	23,976 円／月	21,382 円／月
平均工賃額（新算出方法※）	26,879 円／月	25,918 円／月
参考）令和４年度平均工賃額	23,943 円／月	21,126 円／月

令和５年度の就労継続支援Ｂ型の作業収入額は、令和４年度の１，８７２万円より１１０万円減の１，７６２万円でした。作業収入額が減少しましたが必要経費も減少したため、令和４年度平均工賃額を比較するとはほぼ横ばいでした。

※令和６年度障害福祉サービス報酬改定に伴い、令和５年度以降の平均工賃額算出方法が変更となりました。比較のため、両算出方法による平均工賃額を表記しました。

カ　ふれあいの家

（ア）更生相談事業

身体障害者の更生に必要な福祉、生活等、各種の相談及び聴覚の身体障害者手帳の取得のための判定を受付けました。

（イ）機能訓練事業

生活機能や社会参加を拡げることや日常の生活を過ごしやすくするため理学療法・作業療法・言語訓練による「施設内訓練」と、通所困難な方を対象とした理学療法士による「巡

回訓練」を行いました。

また、日常生活における心配事や不安、悩みに対し、相談、助言を行いました。

下記により必要に応じ医学的相談も行いました。

（診察日）・神経内科…第１、３水曜日（午前）

・耳鼻咽喉科…第２水曜日（午後）

（ウ）社会適応訓練事業

社会参加への意欲を喚起し、社会適応能力の増進を図りました。

事業名	開催日等
聞こえにくくなった方の勉強会	令和５年５月～7 月　毎週火曜日
視覚障害者バス旅行	令和５年　6 月 9 日　きさらづ八天堂 令和５年 11 月 10 日　海ほたる・道の駅「うまくたの里」
肢体不自由者・内部・聴覚障害者バス旅行	令和５年　7 月 14 日　千葉市科学館 令和５年 10 月 20 日　海ほたる・道の駅「うまくたの里」
介護予防勉強会	令和５年７月７日・7 月 20 日
介護技術勉強会	令和５年９月 15 日・10 月６日

（エ）創作的活動事業

身体障害者の余暇活動の充実と社会参加及び文化・教養の向上、並びにリハビリテーションの一環として各種文化系教室を開催しました。

（オ）スポーツ・レクリエーション事業

事業名	内容
各種スポーツ系教室	スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の少ない身体障害者に対し、個々の障害に応じた種目を用意し、体力の増強やリハビリテーション、豊かな生活や仲間作り等を目的として各種スポーツ系教室を開催しました。
ふれあいフェスティバル	令和６年２月 18 日　参加者 266 人 ふれあいの家利用者の方だけでなく市民の方も参加できる形で実施しました。

（カ）ボランティア養成事業

障害者福祉やその取り巻く環境及び障害者に対する基本的な知識と正しい理解を深めるとともに、手話、点字等の技術習得を目的とした講習会を開催しました。

（キ）施設貸出、その他の事業

事業名	内容
部屋の貸出	障害者及びボランティア等に対するサークル活動等の会場提供をしました。また、施設利用に関しての利用者との意見交換会を開催しました。
たいよう号 ゆうあい号の貸出	社会参加の促進等を図るため福祉バス「たいよう号」の運行と福祉カー「ゆうあい号」の貸出を行いました。
声の市政だよりの発送	視覚障害者に対する情報提供事業として「声の市政だより」の発送事業を行いました。

書籍の貸出	障害関係図書（点字図書）をはじめ、小説、児童向け絵本等の貸出を行いました。
ヒアリングループの貸出	障害者の社会活動への参加を促進するため、携帯用ヒアリングループの貸出を行いました。

（ク）行事

行事名	開催日	内容	出品数
ふれあいの家作品展	令和６年 ２月 1～29 日	ふれあいの家を利用している身体障害者及び障害者サークル会員の作品を展示し交流を図る。	68 品

（４）健康管理（保健衛生）

ア　健康管理

（ア）すぎのこルーム

【医療型児童発達支援センター】

利用児の障害や健康状態を把握し、体力増進および健康管理に努めました。

項目	内容	実施日
定期健康診断	尿検査	令和５年５月 令和５年 11 月
	内科健診	令和５年６月 令和５年 12 月
口腔衛生指導・歯科検診	口腔検診による疾病の早期発見・早期治療と、保護者へのブラッシング指導や健康教育を行いました。	令和６年 ２月 29 日
個々の健康管理	利用児の登園時及び療育中の健康状態の把握に努めました。	毎日
身体測定	体重測定	月１回
	身長測定	月１回
	頭囲・腹囲測定など	適宜
保健だよりの発行	月１回発行する保健だよりにより、保健行事・感染症予防対策・健康管理情報の提供を行いました。	毎月
病気・けがの対応	感染症発生時や体調不良への対応、応急処置等を実施しました。	適宜
保育の環境管理	各部屋の温度・湿度・換気・採光などに配慮し、園庭や砂場、プールの水質などの安全管理に努めました。	適宜

【児童発達支援事業】

項目	内容	実施日
保育の環境管理	各部屋の温度・湿度・換気・採光などに配慮し、園庭や砂場、プールの水質などの安全管理に努めました。また、健康管理に必要な情報等の提供を随時行いまし	適宜

	た。	
病気・けがの対応	感染症発生時や体調不良への対応、応急処置等を実施しました。	適宜

（イ）やまびこルーム

項目	内容	実施日
定期健康診断	耳鼻科健診	月３回実施
	内科健診	令和５年６月 令和６年１月
	尿検査	令和５年６月 令和６年１月

（ウ）いずみの家

項目	内容	実施日
定期健康診断	尿便（保菌・潜血）検査	令和５年６月 令和６年１月
	内科健診	令和５年７月 令和６年２月
	血液検査	令和６年１月
	レントゲン撮影	令和６年１月

イ　衛生管理

（ア）給食

すぎのこルーム、やまびこルーム、いずみの家では、利用者に給食を提供しており、食材の保管・調理、調理器具、厨房内環境等について「大量調理施設衛生管理マニュアル」に従い管理しました。また、飲料水については、年１回水道法に定める簡易専用水道検査を実施しました。

（イ）施設内環境

a　各部屋の温度・湿度・喚起・採光などに十分配慮しました。また、園庭や砂場、プール療育時の水質・安全管理及び事故防止に努めました。

b　施設内の整理・整頓・清潔・清掃など環境を整備し、利用者に快適な環境での療育を提供するとともに、転倒等の事故防止につなげました。

c　施設内の害虫等防除を年２回（分館は特定建築物の基準に基づき年６回）実施しました。また、使用殺虫剤名等の調査を実施し千葉市に報告しました。

施設	内容	実施日	実施事業者
療育センター本館	貯水槽清掃・水質検査	令和５年 10 月７日	パナソニック産機システム㈱
	簡易専用水道検査	令和５年５月１日	（一財）千葉県薬剤師会検査センター
	ネズミ・衛生害虫等防除業務	令和５年６月４日 令和５年 10 月 14 日	協和ビル管理㈱
	貯水槽清掃・水質検査	令和５年６月 12 日	協和ビル管理㈱

療育センター分館	簡易専用水道検査 飲料水水質検査	令和5年12月14日 令和5年12月25日	協和ビル管理㈱
	ネズミ・衛生害虫等防除業務	令和5年4月17日 令和5年6月19日 令和5年8月21日 令和5年10月16日 令和5年12月18日 令和6年2月19日	協和ビル管理㈱

（5）給食

ア　すぎのこルーム・やまびこルーム

（ア）給食について

食生活を通して心身の健康を図ると共に、日々の食事に充実感を味わえるよう、また衛生管理を徹底し安全な給食提供を行いました。

・利用児の必要栄養量を満たしました。
・行事や季節感を楽しめるように旬の食材を積極的に取り入れる工夫をしました。
・料理の組み合わせ（和・洋・中）のバランスを考え提供しました。
・不足しがちな栄養素（カルシウム・鉄分・食物繊維）をできるだけ多く摂取できるように献立作成を行いました。

（イ）食形態について

利用児の口腔機能に合わせた食形態を提供しました。

（ウ）食物アレルギー対応について

食物アレルギーのある児童に対し、「給食アレルギー対応食マニュアル」に従い、アレルギー対応の給食を提供していますが、対象となる利用児はおりませんでした。

イ　いずみの家

利用者の希望に合わせ、昼食を各自でご用意いただくか、給食の提供を行うか、あるいは仕出し弁当の取り次ぎを行う体制を整えました。

（ア）給食の提供

希望者に給食の提供を行いました。

栄養管理面だけでなく嗜好調査を定期的に実施し、利用者にあった献立を工夫するとともに、リクエスト等も取り入れました。なお、アレルギー食対応の利用者はおりませんでした。

（イ）仕出し弁当の取次ぎ

仕出し弁当の取次ぎ体制は常に整えておりましたが、実際の利用はありませんでした。

（6）保護者（家族）との連携

ア　すぎのこルーム

保護者が障害を持つ我が子を理解し、よりよい子育てができるよう支援するとともに個別相談にも、随時対応し支援しました。

（ア）医療型児童発達支援センター

個別面談	・個別支援計画書に基づき保護者の意見を汲み取りながら面接を行いました。 ・個別目標を基に利用児の療育、育児についてルームと家庭との相互理解を深めました。
家庭訪問	病気、入院等の理由で長期欠席が続いた場合などに家庭訪問を実施することにしています。
保護者勉強会	職員や外部の講師による勉強会などを行い、必要な情報や知識を提供しました。
行事	家族参観、運動会、季節の行事に家族で参加して頂き、児童への理解を深める機会を作りました。
おたよりの発行	月１回ルームより行事予定等のお知らせをしました。
進路についての支援	・4・5 歳児の保護者に対し、特別支援学校の見学会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。 ・卒園した保護者を招き、学校での体験談や様子を聞く機会を設けました。 ・保育所・幼稚園などに移行を希望の保護者に対し、相談・面談を行いました。 ・就学にあたっては、地区の特別支援学校と連携を図りました。 ・その他、随時個別の相談に応じました。
保護者への情報提供	・年度当初に運営方針に基づき施設の基本方針について説明を行い、共通理解を図りました。 ・福祉に関する様々な情報を、随時お知らせしました。

（イ）児童発達支援事業

個別支援計画	児童の課題と保護者の意向を把握し、児童の個別支援計画を前期・後期に分けて作成しました。また、個別支援計画を保護者に説明し、同意を得て実施しました。
相談や情報提供	・保護者のニードを把握した上で随時相談に応じました。 ・就園、就学に向けての情報提供および福祉制度等の相談に応じました。 ・卒園した保護者を招き、学校での体験談や様子を聞く機会を設けました。 ・他の福祉施設などの機関誌、広報誌の案内等を紹介しました。

イ　やまびこルーム

早期発見された聴覚障害児を持つ保護者に対して、適切な養育が出来るよう支援に努めました。保護者が我が子の障害及び現状を理解し、よりよい子育てができるように全職員が保護者からの相談に随時応じました。

個別面談	年２回、個別支援計画書に基づき保護者の意見を聞きながら面接を行いました。個別に立てた目標をもとに利用児の療育、育児についてルームと家庭と

	の相互理解を深めました。
保護者セミナー 保護者勉強会	難聴児を育てた保護者や卒園生の体験談および外部講師による講演会などを行い、難聴に関する情報や知識を提供しました。（再掲）
進路相談	・保育所・幼稚園及び他の教育機関の選択について相談に応じました。 ・保護者に対し、就学についての情報提供、支援を行いました。 ・就学にあたっては、地域の教育委員会及び教育機関と連携を図りました。
保護者への情報提供	・年度当初の運営方針に基づき、施設の基本方針について説明を行い、共通理解を図りました。 ・「やまびこだより」を発行し、行事予定やルームの指導内容についてお知らせいたしました。 ・児童福祉法及び関係省令について随時お知らせしました。 ・福祉サービスの情報提供をお知らせしました。 ・他の福祉施設などの機関誌、広報誌の案内等を閲覧して紹介しました。

ウ　いずみの家

・新年度体制説明会について、４月に利用者向けに開催した後、家族向けにも開催しました。昨年度の運営状況を説明するとともに今年度の運営方針を伝達し、併せて意見聴取や質疑応答の機会を設けました。
・個別支援計画に基づき、就労移行で年１回（年４回実施するところ、利用者が在籍していた期間のみ実施）、就労継続で年２回の機会を捉え、利用者及び家族との面談による情報交換を図りました。その他必要に応じ利用者及び家族との面談を実施しました。
・連絡帳により家族との連携を図りました。
・主な行事予定や施設の動向、連絡事項等を家族にお知らせするため、「いずみだより」を毎月１回発行しました。

（７）感染症対策

ア　感染症の予防対策

（ア）療育センターを利用している児童等は、感染症に対する抵抗力の弱い方が少なくないため、心身障害児総合通園センター内施設では、「健康管理の方針」を定め利用者に配布し、感染症の予防や対応について周知をいたしました。

（イ）感染症予防及び感染症発生時には、「感染症・食中毒の予防及びまん延防止に関する指針」に従い対応しました。

（ウ）療育センター内に消毒液や手洗い石けんを設置するとともに、利用者及び職員に手洗い・うがいを徹底しました。また感染症流行時にはマスクを着用しました。

（エ）職員は、インフルエンザワクチンを接種し、インフルエンザ予防と利用者への感染防止に努めました。また、Ｂ型肝炎予防として抗体検査を行い抗原・抗体が陰性であった職員には、ワクチン接種を行いました。

内容	実施月	実施業者
B 型肝炎ワクチン接種	令和 5 年 5 月～3 月	ちば県民保健予防財団

インフルエンザ予防接種	令和５年 11 月	療育センター

イ　感染症発生時の対応

（ア）感染症に感染した者（利用者・職員）は、施設内の立ち入りを禁止し、自宅療養をお願いしました。

（イ）感染症に感染した者が出た場合には、速やかに施設長に報告し、施設長から利用者や保護者への情報提供を行いました。

ウ　新型感染症の対応

新型コロナウイルス感染症は令和５年５月に第５類感染症に移行となりましたが、今後も同様の感染症が発生する可能性があります。今回の感染症の経験を踏まえ、感染状況や政府の対策によって、当センターが迅速かつ柔軟に対応できるよう、業務継続計画（ＢＣＰ）を令和５年度に策定しました。感染症の予防・発生・まん延の対応について、必要な措置を講じるとともに、国の通知等最新情報の把握に努め、適切且つ迅速に対応します。

（８）身体拘束等の禁止及び虐待防止

千葉市療育センター全体で「虐待防止に関する指針」及び「身体拘束等の適正化のための指針」を定め、センター全体で障害児（者）の虐待防止や養護者に対する支援に取り組むとともに、下記のとおり実施しました。

ア　身体の拘束の禁止

千葉市療育センターでは、児童福祉法及び障害者虐待防止法に定めのある「身体拘束等の禁止」に当該利用児（者）又は他の利用児（者）の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束その他利用児（者）の行動を制限する行為（身体拘束）の禁止を実施しました。

（ア）身体的拘束を取らずに支援できるよう事前準備（ケース会議等）を以下のように具体的に実施しています。

- 緊急な身体拘束の可能性のある利用児（者）をひとつのグループに集まらないよう配慮し、グループ編成を行いました。
- 利用児（者）の身体拘束の可能性のある利用児（者）には１対１の職員配置を実施するなど、身体拘束を行わず支援できるような取り組みを行いました。
- 突発的な行動があった場合でも行動を制限せず支援が出来るよう各部屋の安全性確保（棚の固定・突起部分の削除・柱等への保護材の設置等）の取り組みを行っています。

（イ）やむを得ず身体拘束を行う場合は、切迫性、非代替性、一時性のある事例のみに制限します。利用児（者）本人または、他の利用児（者）の生命、又は身体が危険にさらされる可能性があり、緊急やむを得ない状況で身体拘束を行った場合、「身体拘束等の適正化のための指針」に基づき対応します。

なお、令和５年度は身体拘束を行っていません。

（ウ）職員に対し、身体拘束について研修や勉強会を実施し理解を深めるとともに、意識・関心を深めました。

イ　虐待防止

虐待防止に関する取り組みは、障害児（者）の人権の尊重や権利擁護の具現化につながることのみならず、利用者及び保護者に安心と安全を提供するサービスの質の向上という観点からも意義のある実践と考えています。千葉市療育センターでは、以下の基本的な考え方で「虐待等の防止」の取り組みにあたりました。

（ア）家庭での虐待の早期発見等

・虐待を発見しやすい立場にあることを自覚し、虐待に関する内部研修を実施するなど虐待の早期発見が出来るよう取り組みました。
・虐待の予兆や発生に対する気づきを高めるため、日々のサービス提供（健康チェック時等）において「身体的虐待」・「心理的虐待」等に対し着眼点を定め把握に努めました。
・職員が支援中に虐待の事実を発見した場合、千葉市及び関係各機関に報告するなどの必要な措置を講ずるよう取り組みました。

（イ）施設内での虐待防止対策（具体的な実施内容）

・利用児（者）の人格を尊重し威圧的な態度・命令口調等にならないよう、行動規範を定め、職員へ周知徹底しました。
・過度な支援内容にならないよう、本人または保護者の理解を得て支援計画を実施しました。
・職員に対し虐待防止に関する研修や学習を実施しました。
・職員の虐待防止に関する意識・関心を高めるための掲示物等を掲出しました。
・施設が閉鎖的にならないよう、職員以外の外部のボランティアや実習生を積極的に受け入れました。
・苦情相談窓口を設置し、利用者等に分かりやすく案内をしました。

（９）広報その他の使用促進

ア　ホームページによる情報提供

ホームページに、事業内容、利用方法、交通アクセス等を詳しく掲載しました。また、療育センター各施設での活動の様子や療育（訓練）等の特色、行事参加の募集、ボランティアの募集などを紹介し、地域社会への情報発信を行いました。

イ　広報誌の発行

各施設とも定期的に「施設の広報誌」を発行し、季節の行事やボランティアの活動状況の報告及び募集、職員の紹介、法改正等の情報提供、福祉相談の利用促進等を行いました。また、「給食だより」を発行し、栄養に関する知識の普及と献立の工夫等を紹介しました。

ウ　関係機関への働きかけ

医療・教育・福祉機関等へパンフレットの設置を依頼するなど広く地域への情報提供をしました。

（１０）使用料の確実な徴収（滞納防止）

ア　医療費

医療費については、通常の病院同様診察、訓練終了後窓口について現金で支払いをしていただきました。また、徴収した現金は安全確実な方法で保管の上、翌日千葉市へ納付しました。

イ　施設利用料等

利用料については毎月１０日までに利用者に請求書を送付し、月末までに現金もしくは口座引落にて徴収しました。また徴収結果を「請求額内訳書」にて千葉市に報告し、１ヶ月分まとめて千葉市に納付しました。

施設名　　千葉市療育センター　療育相談所

ｻｰﾋﾞｽ種別　　診療

	請求額内訳（指定管理受託者）			徴収額内訳（指定管理受託者）		
	使用料	手数料	計	使用料	手数料	計
４月	100,500	20,900	121,400	100,500	20,900	121,400
５月	123,230	18,700	141,930	123,230	18,700	141,930
６月	110,830	20,900	131,730	110,830	20,900	131,730
７月	138,610	35,200	173,810	138,610	35,200	173,810
８月	153,580	45,100	198,680	153,580	45,100	198,680
９月	106,140	29,700	135,840	106,140	29,700	135,840
１０月	125,840	18,700	144,540	125,840	18,700	144,540
１１月	151,860	34,100	185,960	151,860	34,100	185,960
１２月	133,810	25,300	159,110	133,810	25,300	159,110
１月	121,910	14,300	136,210	121,910	14,300	136,210
２月	131,550	18,700	150,250	131,550	18,700	150,250
３月	125,960	17,600	143,560	125,960	17,600	143,560
計	1,523,820	299,200	1,823,020	1,523,820	299,200	1,823,020

施設名　　千葉市療育センター　すぎのこルーム

ｻｰﾋﾞｽ種別　　医療型児童発達支援センター

	請求額内訳（指定管理受託者）				徴収額内訳（指定管理受託者）			
	利用料	医療費	給食費	計	利用料	医療費	給食費	計
４月	21,264	5,720	20,860	47,844	21,264	5,720	20,860	47,844
５月	18,981	4,620	19,470	43,071	18,981	4,620	19,470	43,071
６月	18,450	5,020	20,300	43,770	18,450	5,020	20,300	43,770
７月	18,076	3,900	18,400	40,376	18,076	3,900	18,400	40,376
８月	17,997	2,400	19,370	39,767	17,997	2,400	19,370	39,767
９月	16,133	4,060	20,710	40,903	16,133	4,060	20,710	40,903
１０月	17,872	3,180	24,910	45,962	17,872	3,180	24,910	45,962
１１月	16,083	3,020	16,410	35,513	16,083	3,020	16,410	35,513
１２月	16,388	2,400	18,020	36,808	16,388	2,400	18,020	36,808
１月	19,165	2,870	17,690	39,725	19,165	2,870	17,690	39,725
２月	19,857	3,460	14,920	38,237	19,857	3,460	14,920	38,237
３月	20,127	4,080	25,520	49,727	20,127	4,080	25,520	49,727
計	220,393	44,730	236,580	501,703	220,393	44,730	236,580	501,703

施設名　　千葉市療育センター　すぎのこルーム

ｻｰﾋﾞｽ種別　　児童発達支援事業

	請求額内訳（指定管理受託者）			徴収額内訳（指定管理受託者）		
	利用料	給食費	計	利用料	給食費	計
４月	8,137	7,040	15,177	8,137	7,040	15,177
５月	8,811	10,560	19,371	8,811	10,560	19,371
６月	8,811	11,840	20,651	8,811	11,840	20,651
７月	11,694	10,880	22,574	11,694	10,880	22,574
８月	11,918	10,240	22,158	11,918	10,240	22,158
９月	14,473	11,200	25,673	14,473	11,200	25,673
１０月	18,705	13,120	31,825	18,705	13,120	31,825
１１月	26,807	12,800	39,607	26,807	12,800	39,607
１２月	23,462	15,040	38,502	23,462	15,040	38,502
１月	26,596	16,000	42,596	26,596	16,000	42,596
２月	23,257	15,040	38,297	23,257	15,040	38,297
３月	19,031	12,800	31,831	19,031	12,800	31,831
計	201,702	146,560	348,262	201,702	146,560	348,262

施設名　　千葉市療育センター　すぎのこルーム
ｻｰﾋﾞｽ種別　　日中一時支援（日中預かり型）

	請求額内訳（指定管理受託者）			徴収額内訳（指定管理受託者）		
	利用料	給食費	計	利用料	給食費	計
４月	0	0	0	0	0	0
５月	0	0	0	0	0	0
６月	0	0	0	0	0	0
７月	238	230	468	238	230	468
８月	0	0	0	0	0	0
９月	0	0	0	0	0	0
１０月	0	0	0	0	0	0
１１月	0	0	0	0	0	0
１２月	0	0	0	0	0	0
１月	0	0	0	0	0	0
２月	0	0	0	0	0	0
３月	238	230	468	238	230	468
計	476	460	936	476	460	936

施設名　　千葉市療育センター　やまびこルーム
ｻｰﾋﾞｽ種別　　福祉型児童発達支援センター

	請求額内訳（指定管理受託者）			徴収額内訳（指定管理受託者）		
	利用料	給食費	計	利用料	給食費	計
４月	12,149	0	12,149	12,149	0	12,149
５月	19,171	0	19,171	19,171	0	19,171
６月	19,173	0	19,173	19,173	0	19,173
７月	29,944	0	29,944	29,944	0	29,944
８月	33,821	0	33,821	33,821	0	33,821
９月	26,819	0	26,819	26,819	0	26,819
１０月	37,767	0	37,767	37,767	0	37,767
１１月	34,014	0	34,014	34,014	0	34,014
１２月	33,313	0	33,313	33,313	0	33,313
１月	31,964	0	31,964	31,964	0	31,964
２月	28,871	0	28,871	28,871	0	28,871
３月	34,914	0	34,914	34,914	0	34,914
計	341,920	0	341,920	341,920	0	341,920

施設名　　千葉市療育センター　いずみの家
ｻｰﾋﾞｽ種別　　就労移行支援事業

	請求額内訳（指定管理受託者）			徴収額内訳（指定管理受託者）		
	利用料	給食費	計	利用料	給食費	計
４月	0	4,140	4,140	0	4,140	4,140
５月	0	2,760	2,760	0	2,760	2,760
６月	0	0	0	0	0	0
７月	0	0	0	0	0	0
８月	0	0	0	0	0	0
９月	0	0	0	0	0	0
１０月	0	0	0	0	0	0
１１月	0	0	0	0	0	0
１２月	0	0	0	0	0	0
１月	0	0	0	0	0	0
２月	0	0	0	0	0	0
３月	0	0	0	0	0	0
計	0	6,900	6,900	0	6,900	6,900

施設名　　千葉市療育センター　いずみの家
ｻｰﾋﾞｽ種別　　就労継続支援Ｂ型事業

	請求額内訳（指定管理受託者）			徴収額内訳（指定管理受託者）		
	利用料	給食費	計	利用料	給食費	計
４月	0	113,390	113,390	0	113,390	113,390
５月	0	109,250	109,250	0	109,250	109,250
６月	0	124,430	124,430	0	124,430	124,430
７月	0	115,460	115,460	0	115,460	115,460
８月	0	107,870	107,870	0	107,870	107,870
９月	0	114,310	114,310	0	114,310	114,310
１０月	0	116,610	116,610	0	116,610	116,610
１１月	0	110,860	110,860	0	110,860	110,860
１２月	0	111,320	111,320	0	111,320	111,320
１月	0	100,740	100,740	0	100,740	100,740
２月	0	96,140	96,140	0	96,140	96,140
３月	0	104,650	104,650	0	104,650	104,650
計	0	1,325,030	1,325,030	0	1,325,030	1,325,030

施設名　　千葉市療育センター　いずみの家
ｻｰﾋﾞｽ種別　　日中一時支援事業（日中預かり型）

	請求額内訳（指定管理受託者）			徴収額内訳（指定管理受託者）		
	利用料	給食費	計	利用料	給食費	計
４月	0	690	690	0	690	690
５月	0	0	0	0	0	0
６月	5,202	10,880	16,082	5,202	10,880	16,082
７月	3,120	3,940	7,060	3,120	3,940	7,060
８月	1,230	690	1,920	1,230	690	1,920
９月	0	0	0	0	0	0
１０月	11,070	12,650	23,720	11,070	12,650	23,720
１１月	0	0	0	0	0	0
１２月	0	0	0	0	0	0
１月	2,460	2,760	5,220	2,460	2,760	5,220
２月	3,780	0	3,780	3,780	0	3,780
３月	0	0	0	0	0	0
計	26,862	31,610	58,472	26,862	31,610	58,472

3　維持管理の実施に関すること

（1）建築物の保守管理

ア　基本的な考え方

建物の維持管理について、施設建物の機能を最大限発揮し、利用者が安心かつ快適に支援を受けられるよう点検・保守・修繕を実施し記録しました。

イ　点検・保守

（ア）屋根・外壁・外構・玄関・廊下・階段・居室・事務室・和室・便所・洗面所については「市有建築物維持管理マニュアル」のチェックポイントに従い定期的にチェックしました。

ウ　修繕

長期にわたって良好な状態が継続できるよう、修繕（改修）を行いました。修繕の実施に当たっては可能な限り利用者に影響の少ない時間帯、方法等を考慮し実施しました。

修繕箇所	修繕内容	実施日	実施事業者
はまのわ １・２階	パトライト用バッテリー交換	4 月 26 日	(株)関東消防機材
誘導灯１個 （はまのわ）	誘導灯ﾊﾞｯﾃﾘｰ交換	6 月 9 日	(株)関東消防機材
車庫ガラス交換	バス車庫の窓ガラス交換	8 月 4 日	(株)トヨクラメント
屋上防水シート	体育館屋上の防水シート修復修繕	9 月 15 日	(株)トヨクラメント
地下倉庫 2 か所	地下倉庫の扉 2 か所の鍵交換	9 月 15 日	(株)トヨクラメント
正面出入口	シリンダー調整	10 月 31 日	(有)エルテック
いずみの家	冷温水蛇口交換	11 月 27 日	(有)エルテック
たいよう号	サスペンションのスプリング交換・エア漏れ修繕	1 月 13 日	宮園バス(株)
車庫内シャッター修繕	シャッター水切り板交換	2 月 14 日	(株)トヨクラメント
正面入口	正面入口コンクリート張替・グレーチング交換	2 月 23 日	(株)トヨクラメント
ふれあいの家入口手摺修繕	ふれあいの家入口手摺加工	3 月 25 日	(株)トヨクラメント

（2）設備・備品の保守管理に関すること

ア　設備管理の基本的な考え方

設備機器の性能及び機能を最大限発揮し、良好な状態が長期に渡り維持できるよう、法令等を遵守し保守管理を実施しました。

（ア）設備の管理方法

専門的技術等を必要とすることから、下記の要件に基づき適切な業務委託により管理を行いました。

責任者	設備管理業務における必要な資格を有し、実務実績のある責任者を配置しました。
監視方法	法令に基づき設備管理計画を作成し、設備が適正に管理され稼動してるか記録を作成しました。
点検方法	日常点検巡視業務計画書を作成し、点検を実施しました。

（イ）点検設備名と点検状況

点検・保守項目	実施日	結果	実施事業者
エレベーター点検	4 月 27 日	適	三菱電機ビルソリューションズ㈱
簡易専用水道検査	5 月 1 日	適	(一財)関東電気保安協会
消防設備点検	5 月 11 日	不適	㈱関東消防機材
自家用電気工作物	5 月 11 日	適	(一財)関東電気保安協会
電話交換機保守	5 月 19 日	適	㈱大崎コンピュータエンヂニアリング
エレベーター点検	5 月 22 日	適	三菱電機ビルソリューションズ㈱
自動ドア点検	5 月 31 日	適	ナブコシステム（株）
自家用電気工作物点検（はまのわ）	6 月 16 日	適	(一財)関東電気保安協会
エレベーター点検	6 月 21 日	適	三菱電機ビルソリューションズ㈱
ばい煙測定	7 月 3 日	適	中外テクノス㈱
空調点検	7 月 6 日	適	パナソニック産機システムズ(株)
自家用電気工作物点検	7 月 6 日	適	(一財)関東電気保安協会
エレベーター点検	7 月 18 日	適	三菱電機ビルソリューションズ㈱
冷却塔点検	7 月 19 日	適	パナソニック産機システムズ(株)
電話交換機保守	7 月 19 日	適	㈱大崎コンピュータエンヂニアリング
冷温水機保守点検	8 月 2 日	適	パナソニック産機システムズ(株)
エレベーター定期検査（はまのわ）	8 月 7 日・21 日	適	三菱電機ビルソリューションズ㈱
消防点検	8 月 19 日	適	㈱関東消防機材
自家用電気工作物点検	8 月 25 日	適	(一財)関東電気保安協会
電話交換機保守点検	9 月 14 日	適	㈱大崎コンピュータエンヂニアリング
自家用電気工作物点検	9 月 15 日	適	(一財)関東電気保安協会
エレベーター点検	9 月 15 日	適	三菱電機ビルソリューションズ㈱
自動ドア点検	9 月 27 日	適	ナブコシステム(株)
受水槽・貯湯槽清掃	10 月 7 日	適	パナソニック産機システムズ(株)
エレベーター点検	10 月 16 日	適	三菱電機ビルソリューションズ㈱

FAX 回線切り替え	10 月 16 日	適	NTT 東日本・㈱大崎コンピュータエンジニアリング
サーバー保守点検	11 月 6 日	適	リコージャパン（株）
電話交換機保守点検	11 月 6 日	適	㈱大崎コンピュータエンジニアリング
自家用電気工作物点検	11 月 24 日	適	(一財)関東電気保安協会
消防用設備点検	11 月 24 日	不適	㈱関東消防機材
冷温水機点検	11 月 30 日	適	パナソニック産機システムズ(株)
警備設備定期点検	12 月 9 日	適	㈱協和警備保障
自家用電気工作物(はまのわ)	12 月 12 日	適	㈱関東消防機材
小荷物専用エレベーター点検	12 月 26 日	適	三菱電機ビルソリューションズ㈱
電話交換機点検	1 月 16 日	適	㈱大崎コンピュータエンジニアリング
自家用電気工作物点検	1 月 19 日	適	(一財)関東電気保安協会
ばい煙測定	1 月 22 日	適	中外テクノス㈱
エレベーター点検	1 月 23 日	適	三菱電機ビルソリューションズ㈱
自動ドア点検	1 月 24 日	不適	ナブコシステム(株)
自家用電気工作物点検(はまのわ)	2 月 22 日	不適	(一財)関東電気保安協会
消防設備点検	2 月 22 日	適	㈱関東消防機材
エレベーター点検	2 月 22 日	適	三菱電機ビルソリューションズ㈱
電話交換機点検	3 月 4 日	適	㈱大崎コンピュータエンジニアリング
自家用電気工作物点検	3 月 7 日	適	(一財)関東電気保安協会
エレベーター点検	3 月 12 日	適	三菱電機ビルソリューションズ㈱

※不適内容

点検日	対応
11 月 24 日 消防設備点検	はまのわの非常電源装置の燃料噴射ポンプにエアーが入ってしまい、エンジンが回らないことがある。部品交換の見積等は千葉市へ提出済み。
1 月 24 日 自動ドア点検	部品２か所に亀裂有。令和６年度修繕予定。
2 月 22 日 消防設備点検	はまのわ非常電源装置のディーゼルエンジン動作不良。一部燃料漏れしてる箇所がある。令和６年度に千葉市が非常用電源装置交換予定。

イ　備品の管理

備品の不調・不具合の早期発見に努め、破損・劣化や故障があった場合は使用に支障を来さぬよう、迅速に対応を図りました。

（ア）備品の管理方法

a　当協議会経理規程に基づき、千葉市の貸与備品と他の備品を品名で分類した備品台帳を作成し、品名・メーカー・金額・購入年月日・耐用年数・配置場所等を明記し、当該備品にシールを貼付し管理しました。

b　長期の有効使用に資するため破損・消耗の度合いを定期的に確認し、必要な場合は迅

速に修理しました。また、備品を廃棄する場合は、関係法令、当協議会の経理細則に基づき処理しました。

（イ）備品の効率的な活用について

当協議会の施設間で貸出可能な備品の共有化を図ることで購入コストを削減し、効率的な運用を図りました。

（３）警備に関すること

ア　基本的な考え方

施設の秩序維持、盗難・破壊等の犯罪の防止、火災などの災害の防止及び財産の保全を目的とし、利用者に安心・安全な施設環境を提供するため、施設職員が不在の際は業務委託による機械警備を基本とし、アラーム等により異常を感知した場合は委託業者による巡回警備を実施しました。

イ　警備業務の内容

（ア）機械警備の時間帯

職員が退所後から翌日出所までの時間帯および施設が完全休館となる年末年始（１２月２９日～１月３日）及び国民の祝日に関する法律に規定する休日

はまのわについては、ふれあいの家及びぶりんぐあっぷ ちば子ども発達センターの利用時間に応じてエリアごと又は全館の機械警備を実施しました。

（イ）異常時の対応

異常通報があった場合、委託業者は速やかに施設に急行し現状確認と初期対応を行うと共に、施設の緊急連絡網により施設長へ報告し指示を受け、状況に応じて警察・消防への通報を行う体制としました。

委託名	委託業者
機械警備業務	協和警備保障㈱

ウ　施設の対応

施設職員が勤務中においては日常の定期巡回を実施し、施設の安全維持及び犯罪・災害等の防止に努め、利用者に快適かつ安定したサービスを提供しました。具体的な施策としては以下のとおりです。

（ア）施設内部、敷地内周辺に不審物や廃棄物等が放置されていないかを巡回確認しました。

（イ）各部屋の設備・備品等を目視や音で点検し、安全と性能維持を確認しました。

（ウ）閉館時は各トイレをはじめとして各部屋の点検及び施錠等の確認をしました。

（エ）施設周辺において不審なこと（不審者の目撃等）が無かったか等の状況収集と確認に努めました。

（４）清掃に関すること

ア　基本的な考え方

利用者に良質な施設環境を提供するにあたり、常に清潔で快適な状態で過ごせるような環境を維持するため、業務委託による日常・定期清掃を基本とし、「管理運営の基準」に基づいた業務実施計画を作成し、労働安全衛生規則等を遵守して清潔かつ衛生的な環境維持に努めました。

イ　内容と方法

（ア）日常清掃

日常清掃の範囲は駐車場を含む敷地内全域とし、随時作業を行うものとします。各部屋等の日常的に使用される部屋の床清掃（掃き・水拭き）は全開館日実施しました。

（イ）定期・特別清掃

本館

内　　容	年回数	内　　容	年回数
床面清掃（塩ビ・Ｐタイル部分）	6 回	フィルター清掃（114 台）	2 回
カーペット・ジュータン清掃	2 回	吹き出し口清掃（114 台）	1 回
ガラス清掃	3 回	アネモ清掃（22 基）	1 回
ガラスサッシ清掃	1 回	体育館フィルター（1 台）	1 回
厨房消毒	2 回	側溝桝清掃	3 回
害虫駆除作業	2 回	溜桝清掃	2 回
グリストラップ清掃	2 回	厨房ｽﾃﾝﾚｽﾌｰﾄﾞ	2 回

分館（はまのわ）

内　　容	年回数	内　　容	年回数
床面清掃（塩ビ部分）	12 回	換気扇等フィルター清掃	2 回
カーペット・ジュータン清掃	2 回	空調フィルター清掃	2 回
ガラス清掃	3 回	害虫駆除作業	2 回
ガラスサッシ清掃	1 回	グリストラップ清掃	2 回

ウ　清掃状況の確認方法

（ア）準備：業務実施計画書に基づき作業箇所を確認しました。

（イ）終了：履行結果について、作業従事者より作業報告書の提出を受けました。

（ウ）確認：履行状況を確認し、不備があれば再履行を依頼しました。

（5）植栽等の維持管理に関すること

ア　基本的な考え方

「管理運営の基準」に従い、植栽を適切に保護、育成、処理し良好な自然環境の維持等に努めました。

イ　内容と方法

（ア）樹木消毒

薬剤投与を年２回予定していましたが、捕殺防除や風通しを良くし病害虫が発生しないように樹木の剪定を行うことで、薬剤を使用せず害虫防除に努めました。

（イ）樹木剪定

歩道沿いの樹木や近隣に面している樹木について、美観上もしくは歩行者等に迷惑が掛かる場合については、職員もしくは委託業者による剪定作業を実施するため、定期に確認をいたしました。

（ウ）雑草除去

園庭、築山周辺の雑草及び芝については、機械を用いて定期的に除去し、機械が使用できない場所や簡単な雑草除去については、日常清掃時に随時実施しました。

（6）駐車場の管理に関すること

ア　基本的な考え方

利用者及び地域住民の安全を確保し、近隣及び療育センター駐車場の不法駐車を防止するなど「管理運営の基準」に従い駐車場の管理をしました。

イ　内容と方法

（ア）通園バスの運行をしていない時間帯においては、運転員が誘導を行い、駐車スペース

の確保及び事故防止に努めました。

（イ）健常者には、自家用車での来所をご遠慮していただくようお願いし、車椅子利用者等障害をお持ちの方を優先しました。

（ウ）駐車スペースに限りがあるため、第２駐車場の管理を含め必要な場合は、使用施設、氏名、車種、ナンバーを確認するなど必要な措置を講じました。

（エ）はまのわの駐車場については、ぶりんぐあっぷ ちば子ども発達センターとの共用であることから連絡・連携をとりながら適切な利用が出来るよう管理を行いました。また、身障者用の駐車スペースに他施設の利用者を含めて健常者の駐車がないように案内し、身障者の方の利用に不便がないよう努めました。

（オ）館内掲示板を使用し、駐車場の使用案内や注意事項を喚起しました。

４　利用者アンケート調査の実施方法等に関すること

利用者のご意見、ご要望等を把握し、業務に反映させるため、施設ごとに以下のアンケート調査を実施しました。

また、アンケート調査を集計し、分析や考察をした上でアンケート実施の翌々月までに千葉市へ報告するとともに、館内掲示やお便りにより利用者・保護者等に報告いたしました。

（１）療育相談所

実施月	アンケート内容	配布数	回収数
６月	令和５年度ヒポポの会「集団選択について」	11	11

ア　令和５年度ヒポポの会「集団選択について」実施後アンケート

実施日時：　令和5年6月28日（火）　　10:00～12:00
参加者：　10組　11名の保護者
アンケート配布数：　11　　回収数：　11　　回収率：100%

＜アンケート結果＞

１　講演会の内容について

よく理解できた	理解できた	普通	少し理解できなかった	理解できなかった
7人	4人	0人	0人	0人
64%	36%	0%	0%	0%

２　集団選択を考える上で

とても参考になった	参考になった	どちらともいえない	やや参考にならなかった	参考にならなかった
7人	4人	0人	0人	0人
64%	36%	0%	0%	0%

３　講演時間について

長すぎる	少し長い	適当	少し短い	短い
0人	0人	9人	2人	0人
0%	0%	82%	18%	0%

４　今後取り上げて欲しい内容など

・どこの園で受け入れをしてくれるのかなど、具体的な幼稚園の名称が知りたい。
・今回のような就園についての話をまた聞きたい。
・もう少し多くの先生の話を聞いてみたい。
・児童発達支援について聞きたい。

５　全体のご意見・ご感想をお聞かせください

①講演会の内容について
・色々分からなかったことが聞けて良かった。
・色々な話を聞けて良かった。
・参加してよかった。

・参加できてよかった。
・聞きたいことをほぼお話してくださったので有難い。
・３人の先生方のお話を大変楽しく聞かせて頂いた。
②講演会は集団選択を考える上で
・先生方の話を聞けて参考になった。
・とても参考になり、楽しかった。
・知っていることも含めて、知らなかったことをたくさん聞けて参考になった。
・勉強になった。
③講演時間について
　特記事項なし
④その他
・（先生方と）個別でお話しができる機会があるといいと思った。
・お話しして下さる先生に、机を一台用意された方がよいと思った。

（２）すぎのこルーム

実施月	アンケート内容	配布数	回収数
８月	令和５年度前期 保護者等からの事業所評価（医療型児童発達支援センター）	22	20
８月	令和５年度前期 保護者アンケート（医療型児童発達支援センター）	22	20
８月	令和５年度前期 保護者等からの事業所評価（児童発達支援事業）	43	40
８月	令和５年度前期 保護者アンケート（児童発達支援事業）	43	40
８月	令和５年度前期 保護者等からの事業所評価（児童発達支援事業・発達）	1	1
８月	令和５年度前期 保護者アンケート（児童発達支援事業・発達）	1	1
２月	令和５年度後期 保護者等からの事業所評価（医療型児童発達支援センター）	25	23
２月	令和５年度後期 保護者アンケート（医療型児童発達支援センター）	25	23
２月	令和５年度後期 保護者等からの事業所評価（児童発達支援事業）	49	45
２月	令和５年度後期 保護者アンケート（児童発達支援事業）	49	45
２月	令和５年度後期 保護者等からの事業所評価（児童発達支援事業・発達）	1	1
２月	令和５年度後期 保護者アンケート（児童発達支援事業・発達）	1	1

ア　前期保護者アンケート（医療型児童発達支援センター）

令和５年度

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

保護者等数(児童数)　22人　回収数　20人　回収率　91%

区分	番号	チェック項目	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	お子さんの活動等のスペースが十分に確保されていますか	18	2	0	0	0	0	100%	・自由に遊んでも危険なく動ける。	
	2	職員の配置数や専門性は適切だと思いますか	7	8	3	2	0	0	75%	・作業療法士と心理判定員の常勤の先生がいらっしゃれば、日頃の療育の中でさらに良いアドバイスがいただけるのではないかと思います。 ・OT ではなく、ST に摂食はみてもらうべきかと。 ・OTやSTの先生がいたらさらに専門的なことが聞けると思うのでご検討をお願いします。 ・保護者が席を外す時に先生方に見てもらっていると思うのですが、１対１で見なくても大丈夫な気がします(臨機応変に対応してもらえれば大丈夫です）。	・作業療法士と心理判定員が不在の状況となり、ご迷惑をおかけしております。常時募集をかけております。ご了承ください。 ・言語聴覚士(ST)はすぎのこルームには配属されておりません。摂食指導については作業療法士(OT)が摂食指導の研修を受けて指導に当たっております。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※１になっていますか。また、事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮がなされていますか	11	8	0	0	0	1	100%	・本人は自分で移動ができないため、評価不可とさせて頂きます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、お子さん達の活動に合わせた空間となっていますか	17	3	0	0	0	0	100%	・感染対策も続けており、換気もできている。	

適切な支援の提供	5	お子さんと保護者等のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画※２が作成されていますか	16	3	0	0	0	1	100%	・成長にあわせてみてくれている。	
	6	個別支援計画には、児童発達支援ガイドライン※３の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」※４、「家族支援」※５、「地域支援」※６で示す支援内容からお子さんの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか	11	6	1	0	0	2	94%	・発達・本人の興味にあったのを考えてくれてある。	
	7	個別支援計画に沿った支援が行われていますか	9	6	2	1	0	2	83%	・あまり登園する機会が多くないため、こちらの事情で十分な支援を受けることは難しい状況です。 ・ペープサートを用いて、色や数字などを学べているとは思います。身辺自立面でのサポートがもっと積極的であって欲しい…（排泄時に手伝うとか？）。	・お忙しい毎日かと存じますが、ご都合がついた際には、ぜひご参加ください。お待ちしております。 ・ご不安なことなどありましたら、職員までお声がけください。
適切な支援の提供	8	活動プログラム※7が固定化しないよう工夫されていますか	11	5	1	0	0	3	94%	・いつもおどろきです！ ・色んなのが体験出来ている。 ・あまり登園する機会が多くないため、こちらの事情で十分な支援を受けることは難しい状況です。	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がありますか（新型コロナウイルス感染症予防のため辞し出来ていません）	1	0	0	0	2	17	33%	・感染症が落ち着くまで実施しなくてもよいと思います。	
	10	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされていますか	12	7	0	0	0	1	100%	・必要な所はちゃんと説明してもらえた。	

保護者への説明等	11	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか	12	7	0	0	0	1	100%		
	12	保護者等に対して家族支援プログラム（お子さんの支援や関わり方、勉強会等）が行われていますか	9	6	1	0	1	3	88%		
	13	日頃からお子さんの状況を保護者等と伝え合い、お子さんの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか	12	4	2	0	1	1	84%	・色々聞いてくれます。 ・1人の先生にお話ししたことを他の先生にも情報共有してもらい、子供の事を色んな先生に理解してもらえて大変助かります。 ・母子通園だが、保護者で話す時間はあまりなく、母子通園の意味があるのか？？と考えます。	・親子通園のため、活動中は親子での関わりに重点を置いていただいております。保護者同士での交流については、「保護者自主活動」の時間や昼食の時間などをご活用ください。
	14	定期的に、保護者等に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていると思いますか	11	4	2	2	0	1	79%		
	15	保護者同士の連携が支援されていますか	10	5	3	0	1	1	79%		
	16	お子さんや保護者等からの相談やご意見について、対応の体制を整備するとともに、お子さんや保護者等に周知・説明し、相談や意見等があった際に迅速かつ適切に対応されていると思いますか	10	7	0	0	0	3	100%		
	17	お子さんや保護者等との意思の疎通や社会資源等を含めた情報伝達のための配慮がなされていると思いますか	10	8	0	0	0	2	100%	・メールで届くので、休んでいてもお知らせがわかる。	
	18	お子さんや保護者等に必要なお知らせや活動・行事予定、連絡体制（メールシステム）等の情報や保護者アンケートの結果等が発信されていると思いますか	11	8	1	0	0	0	95%	・月間予定を月初めに行けないと、なかなかわかりにくい。 ・お知らせは紙のお手紙のため、お休みが続くと次月の予定がわからなかったり、提出物の存在を知らなかったりします。 ・保護者アンケートの開示は必要なのでしょうか？	・今年度より行事のお便りなどはメールでもお知らせさせていただいております。また、お休みが長く続いた場合は郵送も行っております。なかなか登園が難しい場合には活動予定表をお知らせすることもできますので、ご希望の際はご連絡ください。他にもご心配なことなどがありましたらご連絡ください。 ・保護者アンケートについては開示することが規定されております。ご了承ください。

	19	個人情報の取り扱いに十分注意されていると思いますか	14	6	0	0	0	0	100%		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者等に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されているのをご存知ですか	13	6	0	0	0	1	100%		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	15	4	0	0	0	1	100%	・訓練も急でも実施していたので参加できた。	
満足度	22	お子さんは通所を楽しみにしていますか	11	6	2	0	0	1	89%	・久しぶりでも楽しそうにあそべてる。	
	23	事業所の支援に満足していますか	11	7	0	1	0	1	95%	・感謝しかありません！ ・ペープサート、活動の内容は満足しています！！	

令和5年度　すぎのこルーム
医療型児童発達支援センターアンケート（前期）　集計結果（掲出）

配布日　　令和5年　8月　7日　　提出期限　令和5年　9月　15日

保護者等数（児童数）　22人	回収数　20人	回収率　91%

《通園方法》
お子さんの施設への交通手段について、当てはまるもの全てに〇をして下さい

自家用車	通園バス	徒歩	自転車	その他	わからない	該当しない
13人	5人	0人	0人	1人	1人	

《療育関係》
1．療育内容は、お子さんが楽しめるように工夫されていますか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
11人	8人	0人	0人	0人	1人	0人	100%

2．遊び別保育の内容はお子さんに合っていますか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
6人	6人	2人	0人	0人	4人	2人	86%

3．〈3・4・5歳児の保護者様にお聞きします〉　分離保育では、お子さんを安心して預けられていますか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
4人	1人	0人	0人	0人	1人	14人	100%

4.個別保育の内容はお子さんに合っていますか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
4人	3人	0人	0人	0人	4人	9人	100%

5.個別支援計画は、保護者様の意向を取り入れて作成されていますか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
14人	4人	0人	0人	0人	1人	1人	100%

6．個別指導（PT・OT)はリハビリテーション計画に基づいて行われ、お子さんの状態が十分説明されていますか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
14人	4人	0人	0人	0人	1人	1人	100%

7. <参加された方にお聞きします> 夏季に行ったプール遊びはご満足いただけましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
6人	1人	0人	0人	0人	0人	13人	100%

《行事》

1. 5月25日（木）の園外療育はご満足いただけましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
2人	1人	0人	0人	0人	0人	17人	100%

2. <参加された方にお聞きします> 6月7日（水）保護者勉強会（桜が丘特別支援学校・特別支援学級OBからのお話）は、参考になりましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
5人	2人	0人	0人	0人	0人	13人	100%

3. <参加された方にお聞きします> 6月23日（金）音楽療法は、ご満足いただけましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
2人	1人	0人	0人	0人	0人	17人	100%

4. <参加された方にお聞きします> 7月8日（土）家族参観は、ご満足いただけましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
8人	0人	0人	0人	0人	0人	12人	100%

《その他》

1. 給食の内容は、ご満足いただけていますか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
10人	3人	0人	0人	0人	1人	6人	100%

《通園方法に関するご意見》

1	（通園バス利用） 本当にありがとうございます。
2	（自家用車利用） 駐車場はあいているので、大丈夫な事がほとんど。
3	（通園方法） 電車と通園バスです。

《療育に関するご意見》

1	（療育内容について） はい。母もとても楽しいです。
2	（療育内容について） 何をやっても色々な顔がみれてる。
3	（療育内容について） しっかりフォローして下さるので、本人もたのしそうにしています。
4	（遊び別保育について） 参加したことがなく、すみません。
5	（3・4・5歳児分離保育について） 安心安全です。ありがとうございます。
6	（3・4・5歳児分離保育について） まだ実施したことがない。
7	（3・4・5歳児分離保育について） でも、たまに預けることに”申し訳ないな…”と感じさせられることがある。 《回答》 保護者のみなさまがお子さんを預けることに対して、安心、安全で楽しめる環境を提供できるように職員配置をしております。ご不安なことなどありましたら、お声がけください。
8	（個別保育について） まだ実施したことがない。
9	（個別保育について） 参加したことがなく、すみません。

《個別指導に関するご意見》

1	OT、STの先生が専属でいらっしゃるとより良いと思います。
	《回答》 作業療法士、心理判定員が不在となっており、ご迷惑をおかけしております。常時募集をかけております。ご了承ください。
2	PTもなかなか出来ないが、普段の動きでアドバイスもらえてます。
3	参加したことがなく、すみません。

《プールに関するご意見》

1	プールが小さいので、保護者はプールサイドで見守る感じではダメ？なのでしょうか？水着も持っていない人は準備が必要だったり…。保護者が入るかは有・無で選択できると嬉しい。 《回答》 ご意見ありがとうございます。初めてプールに入るお子さんもいらっしゃいますので、安心・安全、そして楽しい活動の場となるように保護者のみなさまにもご協力いただいております。体調面等でのご不安なことがある場合には遠慮なく、職員までご相談ください。

《行事に関するご意見》

1	（5月25日園外療育：千葉市動物公園遠足について） うちだけなのに、バスを出してもらって申し訳なかったです。でも、とっても楽しかったです！娘さんはずっと寝てましたが…。次回はもっとたくさん来てくれるといいですね！
2	（5月25日園外療育：千葉市動物公園遠足について） 楽しかった！売店利用など、その辺も自由だと嬉しい。 《回答》 次年度は自由時間での活動について検討させていただきます。
3	（6月7日保護者勉強会：桜が丘特別支援学校・特別支援学級OBからのお話について） 次回は〇〇君（地域の小学校へ進学）の学校のお話も聞きたいですね！ 時間が足りなかった気が…。 《回答》 時間が足りず、申し訳ありませんでした。お聞きになりたいこと等がありましたら、職員から講師の方に伺うこともできますので、お気軽にお知らせください。また、次年度も勉強会は継続してまいりますので、講師についても検討を重ねてまいります。
4	（6月23日音楽療法について） 少し展開が早くて、うちの子には向いてないのかな～？と思いました。 動ける子向き？なのかな～…。

《給食に関するご意見》

1	とってもとっても満足です！！　１日１食分買いたいぐらいですー！ 夜ごはんー　お金払いますー！！！
2	いつも完食です。家で食べられないのを食べてもらえるから、本人の好みを発見できる。
3	いつもバランスの良い美味しいご飯ありがとうございます。

《その他に関するご意見》

保護者等からのご意見・ご要望

1	OT、STの先生が専属でいらっしゃるとより良いと思います。 《回答》 ご不便をお掛けしまして申し訳ありません。現在、言語聴覚士(ST)についてはすぎのこルームには配属となっておりません。作業療法士については募集をかけております。ご了解ください。
2	いつか、叶うのなら、バス停でバイバイしたいです。1日分離の半分でも…2回とか…。 《回答》 親子通園の施設ですので、登降園については保護者の付き添いが必要となります。一日分離の場合でも、お子さんの体調などを保護者の方と確認してからお預かりしております。お子さんが楽しめるためにもご協力をお願いいたします。
3	麦茶チャレンジ、本当にありがとうございました！ あれがなかったら、いつまでも　めんどうだからと　ジュレだけに頼るところでした。
4	いつも子どもたちが楽しめる工夫をいただき、ありがとうございます。にぎやかな楽しい雰囲気にとても良い刺激を受けています。
5	親子共々、いつも楽しく通園させて頂いております。まだまだ本人は朝はすごく静かですが、これからもっと自分を出せるように頑張れたらいいです。

6	通っている期間や日数が少ないため、評価が難しいですが、全体として満足していて、通ってみてよかったと思っています。〇〇（個人名）の個別性に合わせた支援がされているという実感はあまりないのですが、先生方の関わりや活動によって、短時間でできなかったことができるようになったり、楽しむことができるようになったり、子供の変化を感じることができ、私（親）自身が子供のことをよく知れる時間になっています。 全体の活動やリハビリ、個別保育等、いろいろなものに参加させて頂き、さらに変化や気づきを得ることができたら嬉しいです。
7	先生方にはいつもたくさんのご配慮、気持ちの温かい対応をいただき、感謝しかありません。 いつも本当にありがとうございます。
8	月１か月２で、OTができたらと思っています。 《回答》 大変ご迷惑をお掛けしております。常時募集をかけておりますが、現在は他施設（療育相談所）からの派遣を受けて行っております。ご迷惑をお掛けいたしますが、ご了承ください。
9	子供が嫌がったり泣いたりしても強制することなく、出来る範囲で対応してもらえるので、いつも安心して楽しく通うことが出来ます。いつもありがとうございます。
10	もともと多く出席できていたわけではありませんが、保育園に通い始めてからはさらに伺う機会がなく、残念ではあります。また、そんな状況のため、「アレルギー対応食」のご手配頂くのもむずかしく、厳しい基準が設けられているのは安心で良いことである半面、もう少し緩和されると有難いなとも思います。 他、PT・OTさんのリハも受けてみたいところですが、やはり出席が少ないと諸々の手続きが進まず、また、少々通園にも時間がかかるため、少しずつの不便は重なっているかなと感じています。 《回答》 ご不便をお掛けし、申し訳ありません。安心で安全な給食の提供を目指して対応しております。そのためにお時間をいただくことになっておりますが、ご了解いただければと思います。 また、PTやOTの個別訓練については登園された際にご利用いただければと思います。登園日の予定と合わせてお声をかけてください。
11	いつも温かく関わって下さり、ありがとうございます。まだ泣いてしまうことも多いですが、少しずつ安心して過ごせるようになり、成長を感じます。泣いて嫌がり、遊びに参加できない時も、別の遊び方を提案して少しでも楽しめるよう配慮して下さり、とても感謝しています。”こんなことすると喜ぶんだ”と、私自身も発見があり、参考にさせて頂いています。
12	あと数回しかいけないと思いますが、〇〇（園児名）はすぎのこに行くのをとても楽しみにしているので、できる限り連れていってあげたいです。

イ　前期保護者アンケート（児童発達支援事業）

令和５年度

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

保護者等数（児童数）　43人　回収数　40人　回収率　93%

区分	番号	チェック項目	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	お子さんの活動等のスペースが十分に確保されていますか	31	9	0	0	0	0	100%	・いつものびのびと走り回っている。	
	2	職員の配置数や専門性は適切だと思いますか	25	14	1	0	0	0	98%	・専門の職員さんが充分にいるので安心。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※1になっていますか。また、事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮がなされていますか	27	12	0	0	0	1	100%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、お子さん達の活動に合わせた空間となっていますか	27	13	0	0	0	0	100%	・全体的に暗い雰囲気に感じるので、明るくなったらいいなと思います。	
適切な支援の提供	5	お子さんと保護者等のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画※2が作成されていますか	27	13	0	0	0	0	100%		
	6	個別支援計画には、児童発達支援ガイドライン※３の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」※４、「家族支援」※５、「地域支援」※６で示す支援内容からお子さんの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか	24	14	2	0	0	0	95%		
	7	個別支援計画に沿った支援が行われていますか	22	16	2	0	0	0	95%	・細かく丁寧。	

適切な支援の提供	8	活動プログラム※7が固定化しないよう工夫されていますか	16	19	4	0	0	1	90%	・「むっくりくまさん」とっても楽しかったです！ ・見通しが立たないと不安な子のため、ある程度の固定化は必要ですが、色々活動があるので良いと思います。 ・毎回異なった活動を行う工夫をしてくださっています。	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会は設けていませんが、保護者のご希望があれば連携を図っていますか	13	13	6	0	0	8	81%		
保護者への説明等	10	支援の内容、利用者負担（利用料）等について丁寧な説明がなされていますか	27	13	0	0	0	0	100%		
	11	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか	28	11	1	0	0	0	98%	・今後の課題、達成できた事への評価が分かりやすい。 ・わかりやすく説明してくださっています。	
	12	保護者等に対して家族支援プログラム（お子さんの支援や関わり方、お話会等）が行われていますか	21	17	2	0	0	0	95%	・毎回 相談していただいています。	
	13	日頃からお子さんの状況を保護者等と伝え合い、お子さんの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか	23	16	1	0	0	0	98%		
	14	定期的に、保護者等に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていると思いますか	21	16	2	0	0	1	95%	・会話から始まり、相談にのってもらい、一緒に対策を考えていただいています。	
	15	保護者同士の連携が支援されていますか	9	14	9	1	1	6	68%	・相変わらず、バタバタしていて自由遊びの時はゆっくりお話しする時間は少ないが、少しお話しできると安心する。 ・親子一緒なので良い。	・保護者様同士が、自由遊び以外で新たに交流できる場など検討していきます。

保護者への説明等	16	お子さんや保護者等からの相談やご意見について、対応の体制を整備するとともに、お子さんや保護者等に周知・説明し、相談や意見等があった際に迅速かつ適切に対応されていると思いますか	20	17	1	0	0	2	97%	・軽食を冷蔵庫で保管したい旨を相談したら、すぐに検討してくださり、対応してくださった。ありがとうございます。	
	17	お子さんや保護者等との意思の疎通や、社会資源等を含めた情報伝達のための配慮がなされていると思いますか	20	15	2	0	0	3	95%		
	18	お子さんや保護者等に必要なお知らせや行事予定、連絡体制（メールシステム）等の情報や保護者アンケートの結果等が発信されていると思いますか	20	14	3	0	0	3	92%		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されていると思いますか	25	13	1	0	0	1	97%		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者等に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されているのをご存知ですか	14	13	5	0	0	8	84%		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	10	12	5	1	0	12	79%		
満足度	22	お子さんは通所を楽しみにしていますか	22	16	1	1	0	0	95%	・毎回活動をとても楽しんでいる。 ・集団の活動が苦手だが、通所を楽しみにしています。	
	23	事業所の支援に満足していますか	24	15	1	0	0	0	98%	・ありがとうございます。	

令和5年度　すぎのこルーム
児童発達支援事業アンケート（前期）　集計結果（掲出）

配布日	令和5年　8月　7日	提出期限	令和5年　9月　15日		
保護者等数（児童数）	43人	回収数	40人	回収率	93%

《通園方法》
お子さんの施設への交通手段について、当てはまるもの全てに〇をして下さい

自家用車	通園バス	徒歩	自転車	その他	わから ない	該当しない
21人	0人	4人	8人	7人	0人	

《療育関係》
1．療育プログラム（体操、親子遊び、集まり、課題遊びなど）は、お子さんにとって適切でしたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
17人	21人	2人	0人	0人	0人		95%

2．〈B、C、Eグループを利用されている方に伺います〉給食の内容はご満足いただけましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
7人	2人	1人	0人	0人	0人	30人	90%

3．〈年長（5歳児）の方に伺います〉保護者支援（就学についての情報提供等）は参考になりましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
10人	2人	0人	0人	0人	0人	28人	100%

4．〈3～5歳児の参加された方に伺います〉5月29日（月）：保護者勉強会（普通学級について）は参考になりましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
7人	1人	1人	0人	0人	1人	30人	89%

5．〈年長（5歳児）の参加された方に伺います〉6月8日（木）：保護者勉強会（支援学級と支援学校について）は参考になりましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
7人	3人	0人	0人	0人	0人	30人	100%

《通園方法に関するご意見》

1	すぎのこルームと主要駅間の送迎バスがあるととても助かります…。(真夏だけでも)
2	通園バスがあると良い。
1，2	《回答》 通園方法につきましては、ご迷惑をおかけしております。児童発達支援事業の契約上、現状で送迎サービスを行うことは難しくなっております。今後、主要駅間だけでも行うことが可能か、千葉市と検討していきます。
3	晴の日は自転車、雨の日はバス。雨の日は通所が大変ですが、公共機関を使うため、マナーの練習になり良い。

《療育に関するご意見》

1	実際に支援級、特支に通われている親御さんのお話を間近で聞けて良かった。
2	体操や集まりの内容が毎回同じため、子どもが飽きているように感じます。内容の工夫がしてほしいです。 《回答》 ご意見ありがとうございます。繰り返し行うことでお子さんが覚えることができ、自信につながって一緒に歌ったり、見通しを持って安心して活動に参加できるようになることを目的にしています。新たなものを取り入れつつ行っていきたいと思います。ご理解のほど、よろしくお願いします。
3	家でも思い出して歌ったりしています。
4	集団が苦手ながら、1つ1つの活動は楽しんでいます。

《給食に関するご意見》

1	楽しく給食食べています。

《その他に関するご意見》

保護者等からのご意見・ご要望

1	分らない事や、自分の気持ちをうまく伝えられるようにしたいです。はずかしがりで、うまく表現出来ない事があるので少しでも出来るようになれたら嬉しいです。 《回答》 その時のお子さんの気持ちを汲み取りながら、表現する見本(身ぶりや言葉)を大人が伝えていき、思いを共感しながら楽しく過ごしていきたいと思います。
2	並行して通園している学校ともすぐに連携していただき、今まで以上に過ごしやすい環境になったことにとても感謝しています。家庭で困っていることについても、相談できず帰宅した際にはお電話で聞いてくださることもあり、悩み事をためずにいられることもありがたいです。
3	通園バスがあると良いと思います。いつもありがとうございます。
4	先生方とお話しする時間がとれなくても、子どもの様子、発達、どんな支援が必要かよく見て下さって、声をかけて下さることに感謝しています。ありがとうございます。
5	色々と伸びてきた部分を実感している。今後も焦らず、本人のペースで見守っていきたいと思う。
6	ハサミを使った工作などがあるとありがたいです。 《回答》 お子さん達の成長やグループの雰囲気も見ながら、製作活動に取り入れていきたいと思います。

7	就学に向けて、色々と相談に乗っていただき、とても心強かったです。今までの子どもの様子など、ずっと見ていただいた上でアドバイスを頂けるので助かりましたし、通っていてよかったなと思いました。
8	先生方が息子と向き合ってくださっているので楽しみに通っています。支援計画もわかりやすくて時々見直しています。ありがとうございます。
9	4月から幼稚園がスタートして体調を崩してばかりいたので、前期はお休みしてしまうことが多かったですが、すぎのこルームに来て先生方の顔を見ると親子共々安心することができました。いつも温かく迎えて下さり、相談に乗って下さり、感謝しています。
10	いつもありがとうございます！
11	いろいろな情報提供があり、とても参考になりました。
12	体を動かす遊びをしたり、歌を歌ったり、パズル・ぬりえ・お絵かき・ひらがなを書くなど、これからも他に様々な事をやって頂けると子供も楽しんで取り組んでいるので期待しています。 教室が広いので参加するとおもいっきり走り回れるのが嬉しいみたいです。 終わった後はいつも楽しかったと言っています。
13	6/8に実施された支援学校についてのお話をもっとお伺いする機会があればと思います。
14	今年度は体調不良であまり通えていませんが、あと半年は月１、２回通えるように予定を組みたいと思っています。 保護者勉強会は学校の様子や困ったことを聞けて来年に向けて準備ができるのでとても助かります。 年長の保護者に向けて、何回か勉強会があると参考になると思います。
13,14	《回答》 ご参加いただいた保護者様からのご意見もふまえて、今後も行えるように検討していきます。

ウ　前期保護者アンケート（児童発達支援事業・発達）

令和５年度

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

保護者等数（児童数）　1人　回収数　1人　回収率　100%

区分	番号	チェック項目	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	お子さんの活動等のスペースが十分に確保されていますか	1	0	0	0	0	0	100%		
	2	職員の配置数や専門性は適切だと思いますか	1	0	0	0	0	0	100%		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※1になっていますか。また、事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮がなされていますか	1	0	0	0	0	0	100%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、お子さん達の活動に合わせた空間となっていますか	1	0	0	0	0	0	100%		
適切な支援の提供	5	お子さんと保護者等のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画※2が作成されていますか	1	0	0	0	0	0	100%		
	6	個別支援計画には、児童発達支援ガイドライン※３の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」※４、「家族支援」※５、「地域支援」※６で示す支援内容からお子さんの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか	1	0	0	0	0	0	100%		
適切な支援の提供	7	個別支援計画に沿った支援が行われていますか	1	0	0	0	0	0	100%		
	8	活動プログラム※7が固定化しないよう工夫されていますか	1	0	0	0	0	0	100%		
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会は設けていませんが、保護者のご希望があれば連携を図っていますか	1	0	0	0	0	0	100%		

保護者への説明等	10	支援の内容、利用者負担（利用料）等について丁寧な説明がなされていますか	1	0	0	0	0	0	100%		
	11	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか	1	0	0	0	0	0	100%		
	12	保護者等に対して家族支援プログラム（お話会や保護者勉強会等）が行われていますか	0	0	1	0	0	0	0%		
	13	日頃からお子さんの状況を保護者等と伝え合い、お子さんの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか	1	0	0	0	0	0	100%		
	14	定期的に、保護者等に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていると思いますか	1	0	0	0	0	0	100%		
保護者への説明等	15	保護者様同士の連携は支援されていますか	0	0	1	0	0	0	0%		
	16	お子さんや保護者等からの相談やご意見について、対応の体制を整備するとともに、お子さんや保護者等に周知・説明し、相談や意見等があった際に迅速かつ適切に対応されていると思いますか	1	0	0	0	0	0	100%		
	17	お子さんや保護者等との意思の疎通や、社会資源を含めた情報伝達のための配慮がなされていると思いますか	1	0	0	0	0	0	100%		
	18	お子さんや保護者等に必要なお知らせや行事予定、連絡体制（メールシステム）等の情報や保護者アンケートの結果等が発信されていると思いますか	1	0	0	0	0	0	100%		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されていると思いますか	1	0	0	0	0	0	100%		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者等に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されているのをご存知ですか	0	0	1	0	0	0	0%		

非常時等の対応	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	0	0	1	0	0	0	0%		
満足度	22	お子さんは通所を楽しみにしていますか	0	0	0	1	0	0	0%		
	23	事業所の支援に満足していますか	1	0	0	0	0	0	100%		

令和5年度　すぎのこルーム
児童発達支援事業アンケート（前期）　集計結果（掲出）

配布日　令和5年　8月　7日　提出期限　令和5年　9月　15日

保護者等数（児童数）	1人	回収数	1人	回収率	100%

《通園方法》
お子さんの施設への交通手段について、当てはまるもの全てに〇をして下さい

自家用車	通園バス	徒歩	自転車	その他	わからない	該当しない
1人		0人	0人	0人	0人	

《療育関係》
1．療育プログラムの自由遊び（運動や机上活動）は、お子さんにとって適切でしたか

とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思うの全体（わからないを除く）に対する割合
1人	0人	0人	0人	0人	0人		100%

2．療育活動のお集まり（SST等）は、お子さんにとって適切でしたか

とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思うの全体（わからないを除く）に対する割合
1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	100%

3．療育プログラムのメイン活動は、お子さんにとって適切でしたか

とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思うの全体（わからないを除く）に対する割合
1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	100%

《その他に関するご意見》
保護者等からのご意見・ご要望

1	活動に参加している様子はとても楽しそうだが、直前になると行きたくないと言う。先生方には色々と工夫していただき助かっています。 《回答》 ご意見ありがとうございます。

エ　後期保護者アンケート（医療型児童発達支援センター）

令和５年度

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

保護者等数（児童数）　25人　回収数　23人　回収率　92%

区分	番号	チェック項目	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	お子さんの活動等のスペースが十分に確保されていますか	21	2	0	0	0	0	100%		
	2	職員の配置数や専門性は適切だと思いますか	8	9	5	0	1	0	74%	・作業療法士と心理判定員が常在すれば、今以上により良い療育になると思います。 ・OTの先生が常勤でいてくれるとよい。 ・OTの先生がいると良いと思います。	・作業療法士と心理判定員が不在の状況となり、ご迷惑をおかけしております。常時募集をかけております。ご了承ください。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※１になっていますか。また、事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮がなされていますか	14	7	1	0	0	1	95%	・本人は歩行など移動を介助なしでできないため。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、お子さん達の活動に合わせた空間となっていますか	16	6	1	0	0	0	96%		
適切な支援の提供	5	お子さんと保護者等のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画※２が作成されていますか	15	7	0	0	0	1	100%	・まだ目を通していない為。	・ご意見ありがとうございます。ご不明な点等ございましたら、職員までお声がけ下さい。

適切な支援の提供	6	個別支援計画には、児童発達支援ガイドライン※3の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」※4、「家族支援」※5、「地域支援」※6で示す支援内容からお子さんの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか	11	9	1	1	0	1	91%		
適切な支援の提供	7	個別支援計画に沿った支援が行われていますか	10	9	3	0	0	1	86%	・登園日数が少ないこともありますが、全体のプログラムを運用しながら、先生方から個別の支援を受けることが難しいように感じています。「遊び別」や「個別保育」などで、支援をうけている部分はできていると思います。衣類の着脱などの支援についてはオムツ交換などの際、サポートに入って頂いたり、アドバイスを頂けたりできるとうれしいです（支援のしかたなど）。全体のプログラムを動かしていると忙しそうな気がしますが、こちらからお声かけすることも必要なのかなと思いました。 ・利用回数が少ないため、そのなかで感じる限りの回答。	・ご意見、ありがとうございます。全体に目を配りながら声をかけさせていただいておりますが、状況によっては個別対応を行うことが難しい場面もあります。お子さんとの関わりの中で対応にお困りの時はいつでもお気軽にお声をかけていただければと思います。職員に対して声をかけにくい雰囲気とならないよう、今後も注意をしてまいります。
	8	活動プログラム※7が固定化しないよう工夫されていますか	13	7	2	0	0	1	91%	・利用回数が少ないため、そのなかで感じる限りの回答。	
適切な支援の提供	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がありますか	0	0	3	0	2	12	0%		

保護者への説明等	10	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされていますか	15	7	1	0	0	0	96%		
	11	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか	17	4	1	0	0	1	95%		
	12	保護者等に対して家族支援プログラム（保護者勉強会等）が行われていますか	12	7	1	1	0	2	90%	・勉強会が毎回「知りたい！」と思える内容で、テーマの設定がとても良いです。	・ご意見ありがとうございます。これからもみなさまのご期待に沿えるよう取り組んでまいります。
	13	日頃からお子さんの状況を保護者等と伝え合い、お子さんの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか	15	8	0	0	0	0	100%		
保護者への説明等	14	定期的に、保護者等に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていると思いますか	12	7	2	1	0	1	86%		
	15	保護者同士の連携が支援されていますか	8	10	3	0	1	1	82%	・親だけの昼食や行事の家族参加など「支援」という感じではないですが、そういう機会を作って頂いていると思います。	・ご意見ありがとうございます。保護者が自由に活動していただける「保護者自主活動」の時間を定期的に設定しております。関係を深める機会としてご活用ください。
	16	お子さんや保護者等からの相談やご意見について、対応の体制を整備するとともに、お子さんや保護者等に周知・説明し、相談や意見等があった際に迅速かつ適切に対応されていると思いますか	14	5	2	0	0	2	90%	・利用回数が少ないためわからないところですが、おそらくしっかりと対応してくれていると感じる。	・ご意見ありがとうございます。今後もご不安なこと等、いつでもご相談ください。
	17	お子さんや保護者等との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか	11	9	2	0	0	1	91%		
保護者への説明等	18	お子さんや保護者等に必要なお知らせや行事予定、連絡体制（メールシステム）等の情報や保護者アンケートの結果等が発信されていると思いますか	14	9	0	0	0	0	100%		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されていると思いますか	20	2	0	0	0	1	100%		

非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者等に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されているのをご存知ですか	12	9	0	1	0	1	95%		
非常時等の対応	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	17	6	0	0	0	0	100%		
満足度	22	お子さんは通所を楽しみにしていますか	13	9	0	0	0	0	100%	・まだ慣れていないけど、行けばとても楽しそうにしている。	・ご意見ありがとうございます。お子さんが登園を楽しみにしてくださるよう、今後も取り組んでまいります。
	23	事業所の支援に満足していますか	15	6	1	0	0	0	95%		

令和5年度　すぎのこルーム
医療型児童発達支援センターアンケート（後期）　集計結果（掲出）

配布日	令和6年1月22日	提出期限	令和6年2月16日		
保護者等数（児童数）	25人	回収数	23人	回収率	92%

《通園方法》
お子さんの施設への交通手段について、主たるものに〇をして下さい

自家用車	通園バス	徒歩	自転車	その他	わからない	該当しない
16人	4人	0人	0人	2人	0人	

《療育関係》
1．療育内容は、お子さんが楽しめるように工夫されていますか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
20人	2人	0人	0人	0人	0人	1人	100%

2．遊び別保育の内容はお子さんに合っていますか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
7人	10人	2人	0人	0人	3人	1人	89%

3．〈3・4・5歳児の保護者様にお聞きします〉　分離保育では、お子さんを安心して預けられていますか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
4人	2人	0人	0人	0人	1人	16人	100%

4.個別保育の内容はお子さんに合っていますか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
3人	6人	1人	0人	0人	5人	8人	90%

5.個別支援計画は、保護者様の意向を取り入れて作成されていますか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
15人	4人	0人	0人	0人	2人	2人	100%

6．個別指導（PT・OT)はリハビリテーション計画に基づいて行われ、お子さんの状態が十分説明されていますか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
15人	4人	0人	0人	0人	2人	2人	100%

《行事》

1．9月22日（金）の音楽療法はご満足いただけましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
4人	1人	0人	0人	0人	0人	18人	100%

2．10月14日（土）の運動会は、ご満足いただけましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
8人	1人	0人	0人	0人	0人	14人	100%

3、10月18日（水）の音楽会は、ご満足いただけましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
7人	0人	0人	0人	0人	1人	15人	100%

4．10月23日（月）の保護者勉強会（社会福祉制度について）は、参考になりましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
4人	4人	0人	0人	0人	0人	15人	100%

5．11月1日（水）の芋ほり遠足は、ご満足いただけましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
5人	2人	0人	0人	0人	0人	16人	100%

6．11月28日（火）の勉強会（腸内細菌と健康について）は、参考になりましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
3人	2人	1人	0人	0人	0人	17人	83%

7．12月7日（木）、1月11日（木）の保護者勉強会（摂食嚥下について）は、参考になりましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
7人	1人	1人	0人	0人	0人	14人	89%

8．12月15日（金）のクリスマス会は、ご満足いただけましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
9人	2人	0人	0人	0人	0人	12人	100%

9．1月27日（土）の家族参観（劇発表）は、ご満足いただけましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対
12人	0人	0人	0人	0人	0人	11人	100%

《その他》

1．給食の内容は、ご満足いただけましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対
10人	3人	0人	1人	0人	0人	9人	93%

《療育に関するご意見》

1	（療育内容） ・その日にいる子のレベルでも考えて工夫して下さっていた。
2	（遊び別保育） ・いつも同じ内容なので、少しの変化は欲しい。 《回答》 ・「プーさんグループ」の活動については、前半足湯などで身体を温めながらほぐすことで、次の活動に繋げることを目的としています。また「ミッキーグループ」の活動については、同じ活動を積み重ねることでお子さんの自発性や情緒の安定をねらいとしています。今後も目標に応じた内容に努めて参ります。
3・4	（遊び別保育） ・（よく知っていない）
	（遊び別保育） ・利用したことがない。 《回答》 ・ご意見ありがとうございます。月に1～2回で設定しております。活動は「ミッキーグループ」と「プーさんグループ」に分かれて目標に応じた活動を行います。ぜひご参加ください。
5	（遊び別保育） ・発達にもあっていたと思う。
6	（個別保育） ・次にどんなことを目指したらいいのか指標になります。先生から提示してもらえることが、とてもありがたいです。
7・8	（個別保育） ・（よく知っていない）
	（個別保育） ・利用したことがない。 《回答》 ・ご意見ありがとうございます。「個別保育」は午前や午後に設定している活動とは異なり、お子さんに合わせた活動を設定された時間内で保育士や指導員が提供するものとなります。毎月初めに、当月の個別保育の希望枠を黒板前に掲示しておりますので、ご希望の場合は希望日時の枠にお名前をご記入ください。ぜひ、ご活用ください。
9	（個別指導） ・利用したことがない。 《回答》 ・ご意見ありがとうございます。個別指導については契約後、小児科初診時に診察、相談を行い診察後、医師のオーダーにより、各専門スタッフによる評価を行い、リハビリテーション計画に基づき、個別指導を行います。不明な点は職員までお声がけ下さい。

《行事に関するご意見》

1	（保護者勉強会）11月28日：腸内細菌と健康 ・とても参考になりました。うんちもりもりです。
2	（クリスマス会） ・すごく楽しかったです。
3	（音楽療法） ・子供がすごく喜んでいるので、定期的、継続して開催していただきたいです。 《回答》 ・ご意見ありがとうございます。次年度も継続して開催を予定しております。日程については詳細が決定次第、お伝えさせていただきます。
4・5・6	（音楽会：バイオリン） ・継続して開催していただきたいです。
	（音楽会：バイオリン） ・こどもが思った以上に楽しんでいた。楽しめる工夫もされていた。
	（音楽会：バイオリン） ・またお願いします。 《回答》 ・ご意見ありがとうございます。次年度も継続して開催できるようにしていきたいと思います。
7	（芋ほり遠足） ・都合がつかず、今年は不参加。
8	（保護者勉強会：摂食嚥下） ・気になっていた事＋αを勉強できました。
9	（家族参観：劇発表） ・こどもの成長を感じることができました。
10	（家族参観：劇発表） ・子どものレベルと本をあわせて、みんなの成長が伝わりました。

《給食に関するご意見》

1	・メニューの偏りが気になります。前年度の方が良かった。 《回答》 ・メニューだけでなく、食材と栄養バランスについても偏りが無いように今後も気を付けて参ります。ご意見ありがとうございます。
2	・本人の好き嫌いも出てきたが、味や作り方とかも参考になりました。 《回答》 ・ご意見ありがとうございます。今後も給食のレシピをお知りになりたいメニューがありましたら、お気軽に職員までお声をかけてください。

《その他に関するご意見》
保護者等からのご意見・ご要望

1	・いつも個別の成長具合、できる・できないに配慮したカリキュラム及び保護者への声がけ、ありがとうございます。安心して通える施設を作りあげていただき、感謝しています。
2	・年2回しか来れていないのに、行事に参加させて下さり、ありがとうございました！

3	・父親懇談会が苦手なので参加したくないのですが。（さよなら後に希望者だけ残ってやるのでも） 《回答》 ・ご意見ありがとうございます。「父親懇談会」は普段なかなかお会いできないお父様方の交流ができる場として開催いたしました。お子さんと関わる中での不安や疑問などを話せる場所やその機会となればと思っております。お父様方が気軽に参加しやすい内容や雰囲気となるよう、今後も努めてまいります。
4	・先生達にはいつも感謝しています。相談や愚痴を聞いてくれてありがたいし、前向きになれます。
5	・いつも楽しい療育、温かいご指導、本当にありがとうございます。
6	・子供の好きな遊び、苦手なことなどを理解してもらえているので安心して楽しく通えています。行事も子供たちが（親も）楽しめるように工夫されていて、いつも楽しく参加することが出来ました。
7	・入ったばかりで参加できていない事や、まだ分からない事ばかりで、アンケート回答もあいまいな事が多いですが、これからたくさんの経験をしていけたらと思っています。
8	・いつも娘共々、大変お世話になっております。楽しく通園させて頂いています。 緊張しがちですが、帰りの車では「先生、先生（しぇんしぇい）」と言ったり、習ったお歌や手遊びを家ですぐやっています。これからもどうぞ宜しくお願い致します。
9	・今年はイベントでの人数制限がなくなり、家族全員で普段のすぎのこでの子供の様子を見る事ができてとても嬉しかったです。また、皆で楽しめる音楽会、音楽療法など、一緒に体験できて親も子も楽しめるものがさらに増えるといいなと思います。
10	・洗面、お手洗い等（子供用）、いつも清潔にされていて安心して使うことができています。
11	・給食についてですが、5月より登園していて開始予定が2月になっています。 　先日、OTの先生による食形態チェック指導があり、とても勉強になったので、もっと早く受けたかったというのが正直なところです。 　アレルギーが完全解除になる前から給食をスタートさせるお話で書類の提出もしていましたが、その後、何に時間がかかっているかわからずに待っていることが多かったです。こちらからも何度かお声かけさせて頂きました。 　また、担当の先生以外はその状況を知らない様子（アレルギー解除後に始まると思ってた？）でした。こまかいことまで1人1人の状況を共有するのは難しいと思いますが、給食がスタートしていないことを他の先生も気づいて頂けたらありがたかったです（何度もこちらから言うのも気がひけたので）。 　①給食開始までのスムーズな対応もしくは十分な説明、②複数の先生によるかかわり　以上2点、改善されていくとうれしいです。 《回答》 ・長い間お待たせしてしまい大変申し訳ございませんでした。十分な説明が出来ず、ご不安な思いをさせてしまい申し訳ございませんでした。今後は、アレルギー対応食提供までの流れが分かるように文章を用いてご説明します。また、職員間でも情報共有しながら、スムーズに進められるように努めてまいります。
12	・もう数ヶ月前から通えたら、まだ時間によゆうがあって、通う頻度も多くとれたと思うのですが…。アンケートの内容が薄くなってしまい申し訳ありません。
13	・通園の機会がほとんどなく、数ヶ月お会いできていないにも関わらず、ずっと気に掛けて頂き、お声掛け下さることに感謝しています。先生方は優しく、とても信頼できる方ばかりです。可能なら今後とも利用させて頂きたいと思っています。よろしくお願い致します。
14	・いつもすぎのこに行くのを楽しみにしています。 　また先生方には色々相談に乗って頂き、幼少期を何とか過ごすことができています。まもなく卒業になるのが寂しいですが、感謝の気持ちでいっぱいです。
15	・1年間ありがとうございました。いろいろな遊びを経験することができ、とても楽しい時間でした。また、いすに座ることに慣れ、関わりやすくなりました。今後も、発達の状態に合わせて、アドバイスなどを頂けたらと思います。
16	・こちらの都合にあわせて説明や受診とか合わせてくれていて、いつも安心して来て、相談も出来ています。

17	・土・日以外の祝日等も開園して下さったら、とてもありがたいです。 《回答》 ・ご意見ありがとうございます。千葉市の方針に沿って、開園しております。いただいた内容を千葉市に報告させていただきます。
18	・職員の方の熱意が素晴らしく、いつも親切、親身になって対応していただき、感謝しております。すぎのこルームで聴いた音楽、歌を家で聴かせると喜んで歌っているので、通園していて良かったです。初めは寝ていたり、泣いてばかりでしたが、最近は笑顔が見れて楽しそうにしているのを見れて嬉しく思います。

オ　後期保護者アンケート（児童発達支援事業）

令和５年度

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

保護者等数(児童数)　49人　回収数　45人　回収率　92%

区分	番号	チェック項目	とても そう思う	そう思う	どちらとも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	お子さんの活動等のスペースが十分に確保されていますか	35	10	0	0	0	0	100%	・適当に隠れる場所もあり、それが良い。	
	2	職員の配置数や専門性は適切だと思いますか	26	16	2	1	0	0	93%		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※1になっていますか。また、事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮がなされていますか	30	15	0	0	0	0	100%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、お子さん達の活動に合わせた空間となっていますか	32	13	0	0	0	0	100%	・トイレが寒いのが気になります。 ・入口向かって右側の水道の水の出がとても悪いが、改善されない。すぎのこ(療育センター)改修時には直してほしいです。	・不快な思いをさせてしまい、申し訳ありません。トイレに空調設備がついていない為、ご不便をおかけしますが、ご理解の程よろしくお願いします。 ・ご不便をおかけし、申し訳ありません。改修工事の時に直してもらえるように、市に依頼したいと思います。
適切な支援の提供	5	お子さんと保護者等のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画※2が作成されていますか	32	13	0	0	0	0	100%		
	6	個別支援計画には、児童発達支援ガイドライン※3の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」※4、「家族支援」※5、「地域支援」※6で示す支援内容からお子さんの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか	27	18	0	0	0	0	100%		
	7	個別支援計画に沿った支援が行われていますか	25	17	3	0	0	0	93%		

適切な支援の提供	8	活動プログラム※7が固定化しないよう工夫されていますか	22	18	4	1	0	0	89%	・製作日が体を動かすよりも多い気がする。体を使った遊びが増えると嬉しい。 ・成長する時期に合わせた取り組みをしていると思います。	・申し訳ありません。体を使った遊びが増えるように、活動内容を検討していきます。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会は設けていませんが、保護者のご希望があれば連携を図っていますか	16	20	2	0	0	7	95%	・今まで交流の機会がなかったので、今後あると良いと思う。 ・連携はまだやったことはないけれど、その時々の悩みや相談はのってくれている。	・今後、交流できる機会を検討していきます。
	10	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされていますか	31	13	1	0	0	0	98%		
保護者への説明等	11	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか	30	14	0	0	0	1	100%		
	12	保護者等に対して家族支援プログラム（お話会や保護者勉強会等）が行われていますか	27	14	1	1	0	2	95%		
	13	日頃からお子さんの状況を保護者等と伝え合い、お子さんの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか	26	17	2	0	0	0	96%	・家での様子を相談しやすい環境はありますが、相談したい他の保護者もいる中、時間も限られるため、お話しできず、また翌週には子どもの様子が変わってしまう…ということがあります。	・グループ日だけでは時間を確保することが難しいこともあり、ご迷惑をおかけして申し訳ありません。グループ日とは別日にお話しをする事業所内相談などもご利用いただければと思います。何かありましたら、職員にお声かけください。
	14	定期的に、保護者等に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていると思いますか	27	14	2	0	1	1	93%	・就学のことや、育児の悩み事等も親身になって話を聞いてもらえています。	
	15	保護者同士の連携が支援されていますか	19	13	8	2	2	1	73%	・保護者同士でもっと話せる機会があったら情報とか交換できたのかなーと思いました。人数が少ないので、あまり話したくないなって人も中にはいるのかなと思うところも。 ・保護者の交流会等あれば良いなと思う。 ・保護者さんと話す時間がない。作っていただけると嬉しい。	・保護者様同士の交流会などが持てるように、検討していきたいと思います。

保護者への説明等	16	お子さんや保護者等からの相談やご意見について、対応の体制を整備するとともに、お子さんや保護者等に周知・説明し、相談や意見等があった際に迅速かつ適切に対応されていると思いますか	24	17	2	0	0	1	95%	・重複しますが、話せて安心したりしています。	
	17	お子さんや保護者等との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか	25	17	2	0	0	1	95%		
	18	お子さんや保護者等に必要なお知らせや行事予定、連絡体制（メールシステム）等の情報や保護者アンケートの結果等が発信されていると思いますか	27	15	2	0	0	1	95%		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されていると思いますか	29	14	1	0	0	1	98%		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者等に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されているのをご存知ですか	16	17	4	3	0	5	83%		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	14	14	7	2	0	8	76%		
満足度	22	お子さんは通所を楽しみにしていますか	33	11	1	0	0	0	98%	・すぎのこの話をすると次いつ行くの？と楽しみにしている様子です。 ・嬉しくて走り回ってお仕度できないほど… ・慣れるまで時間はかかったが、すぎのこへ来るのを楽しみにしています！	
	23	事業所の支援に満足していますか	28	16	1	0	0	0	98%	・非常に満足です。 ・大変満足です！	

令和5年度　すぎのこルーム

児童発達支援事業アンケート（後期）　集計結果（掲出）

配布日	令和6年 1月 22日	提出期限	令和6年　2月　16日		
保護者等数（児童数）	49人	回収数	45人	回収率	91.84%

《通園方法》
お子さんの施設への交通手段について、当てはまるもの全てに〇をして下さい

自家用車	通園バス	徒歩	自転車	その他	わからない	該当しない
25人	0人	4人	10人	6人	0人	0人

《療育関係》
1．療育プログラム（体操、親子遊び、集まり）は、お子さんにとって適切でしたか

とても そう思う	そう思う	どちらとも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除
27人	15人	2人	0人	0人	1人	0人	95%

2．療育プログラム（メイン活動）は、お子さんにとって適切でしたか

とても そう思う	そう思う	どちらとも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除
27人	17人	0人	0人	0人	1人	0人	100%

3．〈Bグループを利用されている方に伺います〉 歯科医師による摂食のお話会は参考になりましたか

とても そう思う	そう思う	どちらとも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除
7人	3人	2人	0人	0人	2人	31人	83%

4．〈年長（5歳児）の方に伺います〉分離の保護者支援（就学についての情報提供等）は参考になりましたか

とても そう思う	そう思う	どちらとも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除
10人	1人	0人	0人	0人	1人	33人	100%

5．〈全グループの中で参加された方に伺います〉　イベント（お祭り、クリスマス会）は楽しめましたか。

とても そう思う	そう思う	どちらとも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除
26人	9人	0人	0人	0人	1人	9人	100%

6．〈B、Dグループを利用されている方に伺います〉給食の内容はご満足いただけましたか

とても そう思う	そう思う	どちらとも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除
12人	1人	2人	0人	0人	1人	29人	87%

《通園方法に関するご意見》

1	稲毛海岸駅から徒歩

《療育に関するご意見》

1	就学についてわからないことや保護者の方が使っているクリップや筆箱を見せてくれたのでとても参考になりました。
2	お祭りもそうですが、お餅つきごっこが本人は初体験でとても良かったです。
3	広い室内でのプログラム、ノビノビと良い、と感じます。
4	クリスマス会とても喜んでいました。
5	体を動かすことが好きな分、運動系の時間が短く感じます。 《回答》 活動内容を検討していきます。
6	もう少し時間が長いと良いと思う。（自由遊び時間を短めに…）
7	今年度の先生はとても親身に答えて下さり話も面白い。

《給食に関するご意見》

1	いつも完食しています。
2	家で食べないものも挑戦できるようになり、大変助かっています。

《その他に関するご意見》
保護者等からのご意見・ご要望

1	母子ともに毎週の登園を楽しみにしています。 家でもすぎのこルームで習った歌や踊りで体を動かしているのを見ると通園を始めて本当によかったなと思います。私自身も家での接し方の勉強になるので助かっています。
2	のびのびと成長を伸ばせたことに感謝しています。
3	母が仕事をしているため、なかなか毎週は難しい部分があったのですみません。感染症もあるため行こうと思っていた日に行けなくなってしまったり…。 心配事や困り事を相談すると的確な答えをくれるのでとても助かりました。ありがとうございました。
4	イベントなどもあり、子どもも楽しく通園することができました。集団生活で必要な事やルールを教えて頂きありがとうございます。
5	以前はできていなかったことが沢山出来るようになりました。 挨拶をはじめ、友達に意見を言ったり、聞いたり、靴下を1つにしてまとめたり、体温を測ったり、本人も出来るようになった時はすごく嬉しそうです。入学に向けて、残りわずかですが少しでも苦手なことを出来るようにしていきたいと思います。 宜しくお願い致します。

6	親も相談しやすい場所を作っていただき助かっています。息子もすぎのこへ行くのを楽しみにしているので、これからもよろしくお願いします。
7	これから年長に向けて(小学校入学準備)、いろいろできるように指導していただけると助かります。 《回答》 年長児の保護者様にはお伝えしていきます。
8	年長クラスになった時に、小学校の予習ができるようなプログラムがあると嬉しいです。 《回答》 長縄や鉄棒などの体を動かす活動や、掃除ごっこなどの活動、鉛筆を使った活動をプログラムに予定しています。
9	いつも楽しみで幼稚園から早く行こう！と毎週言ってます。ありがとうございます。
10	ダンスなどがあると嬉しいです。 ハサミが苦手なので、取り入れて欲しいです。 《回答》 グループのお子さまの成長段階をみて、製作活動の中にハサミを取り入れていきたいと思います。
11	子どもの家での様子、困りごとなどを相談できる先生が限られているように感じます。 そのため、時間も限られている中でお話するタイミングがなく帰宅することがあります。 活動中は子どものそばで見ている(一緒に活動する)ことを優先したいですが、先生方とゆっくりお話できる時間も欲しいなと思う時もあります。 《回答》 グループ中にお話しをする時間の確保が難しい時は、お電話や事業所内相談などもご利用ください。何かあれば、その都度お声掛けください。
12	来年度から時間を長くして下さったり、分離の時間を設けて下さったり等、とても配慮していただけてとてもありがたいです。 また以前のように、色々な就学先に進んだお子さんのお話を親御さんから伺えるとありがたいです。 《回答》 来年度も、保護者勉強会で卒園児の保護者の方のお話しを聞く行事を行いたいと考えています。
13	12時半までという限られた時間の中で、活動内容としてはとても充実はしているが、時間をもう少しだけ伸ばして、もう少しゆったり活動できたらな…と思います。 ですが、いつ行っても温かく迎えて下さる先生方に感謝です！ありがとうございます。 《回答》 療育時間については、来年度1グループのみ時間を長くして行います。 今後、他グループの時間帯についても検討していくべきかどうかを市と検討していこうと思います。
14	毎度、来るたびに変わる悩みを相談にのって頂いたり、時間はかかりましたが、少しずつ輪の中に入ろうとして本人の成長をすごく感じられます！言葉のやりとりも増え、他人に興味も出てきたと思います。 今後とも親子でよろしくお願いします。
15	親が一緒ということで、対応の勉強にもなっています。これからもよろしくお願いします。
16	毎回楽しく充実した時間を親子ですごさせて頂いています。 手押し車のカリキュラムは、体幹が弱い息子にぴったりで家でもやるようにしています。母子分離の時間が加わって、幼稚園に通っているので平気かと思いきやウルウルしていたので、普段頑張っているんだなって実感しました。 新施設への通所も新しい環境を体験する良い機会になりそうで楽しみにしています。いつも温かくサポートして頂き感謝しております。

カ　後期保護者アンケート（児童発達支援事業・発達）

令和５年度

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

保護者等数（児童数）　1人　回収数　1人　回収率　100%

区分	番号	チェック項目	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	お子さんの活動等のスペースが十分に確保されていますか	1	0	0	0	0	0	100%		
	2	職員の配置数や専門性は適切だと思いますか	1	0	0	0	0	0	100%		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※1になっていますか。また、事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮がなされていますか	1	0	0	0	0	0	100%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、お子さん達の活動に合わせた空間となっていますか	1	0	0	0	0	0	100%		
適切な支援の提供	5	お子さんと保護者等のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画※2が作成されていますか	1	0	0	0	0	0	100%		
	6	個別支援計画には、児童発達支援ガイドライン※3の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」※4、「家族支援」※5、「地域支援」※6で示す支援内容からお子さんの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか	1	0	0	0	0	0	100%		

適切な支援の提供	7	個別支援計画に沿った支援が行われていますか	1	0	0	0	0	0	100%		
	8	活動プログラム※7が固定化しないよう工夫されていますか	1	0	0	0	0	0	100%		
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会は設けていませんが、保護者様のご希望があれば連携を図っていますか	1	0	0	0	0	0	100%		
保護者への説明等	10	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされていますか	1	0	0	0	0	0	100%		
	11	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか	1	0	0	0	0	0	100%		
	12	保護者等に対して家族支援プログラム（お話会や保護者勉強会等）が行われていますか	1	0	0	0	0	0	100%		
	13	日頃からお子さんの状況を保護者等と伝え合い、お子さんの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか	1	0	0	0	0	0	100%		
	14	定期的に、保護者等に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていると思いますか	1	0	0	0	0	0	100%		
保護者への説明等	15	保護者様同士の連携は支援されていますか	0	0	1	0	0	0	0%		

保護者への説明等	16	お子さんや保護者等からの相談やご意見について、対応の体制を整備するとともに、お子さんや保護者等に周知・説明し、相談や意見等があった際に迅速かつ適切に対応されていると思いますか	1	0	0	0	0	0	100%		
	17	お子さんや保護者等との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか	1	0	0	0	0	0	100%		
	18	お子さんや保護者等に必要なお知らせや行事予定、連絡体制（メールシステム）等の情報や保護者アンケート結果等は発信されていると思いますか	1	0	0	0	0	0	100%		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されていると思いますか	1	0	0	0	0	0	100%		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者等に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されているのをご存知ですか	1	0	0	0	0	0	100%		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	0	0	1	0	0	0	0%		
満足度	22	お子さんは通所を楽しみにしていますか	0	1	0	0	0	0	100%		
	23	事業所の支援に満足していますか	1	0	0	0	0	0	100%		

※１　「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、お子さん本人にわかりやすくすることです。

※２　「個別支援計画」は、児童発達支援を利用する個々のお子さんについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

※３　「児童発達支援ガイドライン」は、児童発達支援を利用するお子さん本人やその家族に対して質の高い児童発達支援を提供するため、児童発達支援センター及び児童発達支援事業所における児童発達支援の内容や運営及びこれに関連する事項を定めるものです。

※４　「発達支援（本人支援）」は、児童発達支援を利用するお子さんが、家庭や地域社会での生活に活かされるために行われるものであり、保育所等に引き継がれていくものです。

「発達支援（移行支援）」は、児童発達支援を利用するお子さんの発達の状況や家族の意向をアセスメントし、地域において保育・教育等を受けられるように保育所等への支援を行う「後方支援」の役割が求められています。

※５　「家族支援」は、児童発達支援を利用するお子さんを育てる家族に対して、障害の特性に配慮し、子どもの「育ち」や「暮らし」を安定させることを基本に、丁寧な「家族支援」を行うことです。

※６　「地域支援」は、児童発達支援を利用するお子さんの地域社会への参加・包容（インクルージョン）を推進するため、保育所等の子育て支援機関等の関係機関との連携を進め、地域の子育て環境や支援体制の構築を図ることを目的としているものです。

※７　「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。お子さんの障害特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

令和5年度　すぎのこルーム
児童発達支援事業アンケート（後期）　集計結果（掲出）

配布日　令和6年　1月 22日　提出期限　令和6年　2月　16日

保護者等数（児童数）	1人	回収数	1人	回収率	100%

《通園方法》
お子さんの施設への交通手段について、当てはまるもの全てに〇をして下さい

自家用車	通園バス	徒歩	自転車	その他	わからない	該当しない
0人		0人	1人	0人	0人	

《療育関係》
1．療育プログラムの自由遊び（運動や机上活動）は、お子さんにとって適切でしたか

とても そう思う	そう思う	どちらとも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	100%

2．療育活動のお集まり（SST等）は、お子さんにとって適切でしたか

とても そう思う	そう思う	どちらとも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	100%

3．療育活動のメイン活動は、お子さんにとって適切でしたか

とても そう思う	そう思う	どちらとも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	100%

《その他に関するご意見》
保護者等からのご意見・ご要望

1	本人が楽しめるように色々と考えてくださりありがとうございます。

（２）やまびこルーム

実施月	アンケート内容	配布数	回収数
８月	令和５年度前期　保護者等からの事業所評価	54	31
８月	令和５年度前期　やまびこルームアンケート	54	31
２月	令和５年度後期　保護者等からの事業所評価	53	36
２月	令和５年度後期　やまびこルームアンケート	53	36

ア　令和５年度　やまびこルーム　前期アンケート

令和5年度　**保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）**

公表：令和5年10月17日　　事業所名：千葉市療育センター　福祉型児童発達支援センターやまびこルーム

保護者等数（児童数）54　回収数 31　回収率 57.4%

Ⅰ．　事業所評価表

		チェック項目	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	お子さんの活動等のスペースが十分に確保されていますか	11	20	0	0	0	0	100%		
環境・体制整備	2	職員の配置数や専門性は適切だと思いますか	6	17	5	1	1	1	77%	・子どもの数に対して先生が多いので、とても手厚い。 ・専門性は適切だが、人数が少なく、先生一人一人の負担が大きいように感じる。 ・STが少ない。 ・個別やグループの回数が減ってしまったため、十分とは思えない。	・８月に欠員だった指導員が1名入りました。保護者の方からの要望が多い言語聴覚士については、現在、非常勤の募集を行っています。 ・ルームとして、職員の専門性を高め、ご要望を踏まえた上で、適切な療育が行えるよう努めて参ります。
環境・体制整備	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※1になっていますか。また、事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮がなされていますか	10	19	1	0	0	1	97%	・トイレの水道が届かないので、0,1歳児にも届くように工夫があると嬉しいです。	・子どもトイレの手洗い下に、足台を準備しております。ご利用ください。 ・来年度予定されております大規模改修工事にて、子どもトイレは全面改修の予定です。

環境・体制整備	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、お子さん達の活動に合わせた空間となっていますか	12	16	3	0	0	0	90%		
適切な支援の提供	5	お子さんと保護者等のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画※2が作成されていますか	14	17	0	0	0	0	100%		
	6	個別支援計画には、お子さんの支援に必要な内容が具体的に記載されていますか	15	16	0	0	0	0	100%		
	7	個別支援計画に沿った支援が行われていますか	12	17	1	0	0	1	97%		
	8	活動プログラム※３が固定化しないよう工夫されていますか	12	16	1	0	1	1	93%		
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会は設けていませんが、保護者のご希望があれば連携を図っていますか	9	10	4	2	0	6	76%	・現状、言語聴覚士の先生の幼稚園訪問のみなので、他園の子供たちと交流ができれば活動の幅が広がるのではと思います。	・保育園・認定こども園、幼稚園、健聴のお子さんとの交流については、療育体制等を考慮しながら、今後検討していきます。

保護者への説明等	10	支援の内容、利用者負担(利用料)等について丁寧な説明がなされていますか	12	19	0	0	0	0	100%		
	11	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか	16	13	1	1	0	0	94%		
	12	保護者等に対して家族支援※4（勉強会や話し合いなど）が行われていますか	18	11	2	0	0	0	94%		
	13	日頃からお子さんの状況を保護者等と伝え合い、お子さんの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか	12	16	1	0	0	2	97%		
	14	定期的に、保護者等に対して面談※5や、育児に関する助言等の支援が行われていると思いますか	11	17	2	0	0	1	93%		
	15	異年齢交流グループや、通常のグループ活動の後半に行われる保護者懇談等により保護者同士の連携が支援されていますか	7	10	7	0	0	7	71%		

保護者への説明等	16	お子さんや保護者等からの相談やご意見について、対応の体制を整備するとともに、お子さんや保護者等に周知・説明し、相談や意見等があった際に迅速かつ適切に対応されていると思いますか	8	14	3	1	0	5	85%	・雑談の中で、ふと気になったことを聞いたりしますが、いつも分かりやすくご回答いただけています。	
	17	お子さんや保護者等との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか	11	18	0	0	1	1	97%		
	18	保護者等に必要なお知らせや行事予定、アンケートの結果等が発信されていると思いますか	13	18	0	0	0	0	100%		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されていると思いますか	14	15	1	0	0	1	97%		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者等に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されているのをご存知ですか	9	15	4	1	0	2	83%		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	7	12	4	0	0	8	83%		

満足度	22	お子さんは通所を楽しみにしていますか	20	8	1	0	1	1	93%	・手遊び歌や、リトミックが特に好きです。最初にシールを貼るのも楽しみにしているようです。 ・強制されるのを嫌がるため。	・お子様が通所を楽しみにして下さる支援を行うよう努めてまいります。
	23	事業所の支援に満足していますか	13	15	2	1	0	0	90%	・毎回家ではできない遊びをしていただき、たくさんの体験をさせていただいています。壁に貼ったアンパンマンの絵を取って、手元のアンパンマンの絵の上に貼る遊びは、できると思っていなかったので、できることに驚きました。 ・内容は良いが、回数が少ない。せめてグループ活動だけでも月2回に増えればと思います。	指導回数につきましては、ご利用者様の状況、職員体制等を踏まえ、検討してまいります。

※１　「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机の配置やイラストや写真を用いるなど、お子さん本人にわかりやすくすることです。

※２　「個別支援計画」は、児童発達支援を利用する個々のお子さんについて、支援目標や支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、前期と後期の初めにご説明の上、同意書にサインをいただいています。

※3　「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。お子さんの障害特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※4　「家族支援」とは、保護者がお子さんと関わりながら聴覚障害の特性を理解し、遊びや関わり方等を学ぶことにより、お子さんの成長を促すことを目標としています。

※５　「面談」とは、個別支援計画に記載された支援内容についての説明や、個別指導の中での保護者との情報交換、希望者へのルーム長による面談等を含みます。

令和５年度　やまびこルームアンケート（前期）　集計結果

配布日　令和5年8月10日　提出期限　令和5年8月31日

保護者等数（児童数）	54人	回収数	31人	回収率	57.4%

《療育関係》

1. 個別指導の内容はお子さんに合っていますか。

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しないを除く）に対する割合
13人	13人	1人	2人	0人	2人	90%

2. グループ指導の内容はお子さんに適切だと思いますか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しないを除く）に対する割合
6人	14人	2人	1人	0人	0人	8人	87%

3. 聴力検査、補聴器調整はお子さんに適切だと思いますか。

はい	いいえ	「はい」の全体に対する割合
25人	6人	81%

3-1.「いいえ」とお答えした方は下記の選択肢から理由をお選びください。

頻度が少ない	頻度が多い	調整を見直したい	まだやったことがない	月に1度、聴力検査の日や言語について深める日など言語聴覚士ならではの日が欲しい	わかりません	元々持っている疾患に左右される事があるため、明確ではない
2人	0人	0人	1人	1人	1人	1人

4. 耳鼻科診察についてお尋ねします。
耳鼻科診察を受けたことがありますか。

はい	いいえ	「はい」の全体に対する割合
18人	13人	58%

4-1.「はい」とお答えした方は下記の選択肢から受診の理由をお選びください。

聴覚管理（中耳炎の発見など）に役立つから	主治医の定期診察まで、時間があるから	その他
12人	2人	4人

※その他　内訳
気軽にうけられるから（1人）、たまたまタイミングが合ったから（1人）、タイミングが合ったため（1人）
特に希望したつもりはないが受診となった（1人）

4-2.「いいえ」とお答えした方は下記の選択肢から受診しなかった理由をお選びください。

必要ないから	時間が合わないから
3人	10人

≪行事・勉強会≫
5. やまびこ音楽会（8月9日実施）についてお尋ねします。
お子さん、ご家族は楽しく参加できましたか。

とても楽しく参加できた	楽しく参加できた	どちらともいえない	楽しく参加できなかった	全く楽しく参加できなかった	該当しない	「とても楽しく参加できた」と「楽しく参加できた」の全体（該当しないを除く）に対する割合
8人	4人	1人	0人	0人	18人	89%

6. 今後、どのような行事を希望しますか。
（複数回答可）

お祭り	運動会	クリスマス会	レクリエーション	遠足	音楽会	家族参観日	その他
19人	12人	17人	15人	12人	12人	12人	5人

※その他　内訳
同年齢同士の交流、子どもが難聴当事者の成人と会える機会、花見、進級会、散歩、警察or消防音楽隊の演奏会、チーバくんなど地域のキャラクターとのふれあい、豆まき、現状で満足、特になし

7. 行事に対してどのような主旨を希望しますか。
（複数回答可）

お子さんが楽しく参加できる	家族が参加できる	季節を感じる	身体を動かす	遠足	音楽を楽しむ	普段できない体験	異年齢交流	保護者同士の交流	卒園児との交流	その他
30人	13人	14人	11人	8人	9人	17人	9人	9人	6人	1人

※その他　内訳
難聴に特化した催し

≪保護者セミナー・勉強会≫

8. 保護者セミナー・勉強会に参加をしましたか。

参加した	参加していない	「参加した」との全体に対する割合
22人	9人	71%

8-1. 参加した方にお尋ねします。
参加してよかった回をお選びください。
（複数回答可）

5月「お子さんのことばを育てる上で大切なこと」(やまびこST実施)	5月「難聴のお子さんを育てる家庭でできること－聴き取りやすい環境を作るために－」(やまびこST実施)	6月「コクレア人工内耳に関する最新情報」(講師：日本コクレア 山本様)	6月「大学における難聴学生への情報保障－コーディネーターの立場から」(講師：筑波大学 岡野様)	7月「フォナック補聴器について」(講師：ソノヴァ・ジャパン 鈴木様・徳永様)	7月「ロジャーシステムについて」(講師：ソノヴァ・ジャパン 林様・徳永様)	7月「就学前の難聴児の子育てで大切にしたいこと」(講師：医療法人さくら会 KIDS*FIRST 藤吉様)	8月「大学における難聴学生への情報補償－学生の立場から－」(筑波大学所属の難聴大学生)
2人	5人	1人	5人	2人	5人	9人	6人

8-2. 参加していない方にお尋ねします。
下記の選択肢から参加しなかった理由をお選びください。
（複数回答可）

時間の都合があわなかった	興味がなかった	Zoom配信は参加しにくい	会場参加の方がよい	子供を預けられず、託児がないので参加できなかった
11人	1人	1人	1人	1人

8-3. 今後取り上げてほしいテーマについてお尋ねします。
下記の選択肢からお選びください。
（複数回答可）

	ロジャーについて	人工内耳について	幼稚園について	就学について	卒園後の支援について（小、中、高、大学等）	難聴児の子育てについて	地域別懇談会	異年齢懇談会	その他
7人	11人	4人	7人	22人	20人	13人	11人	7人	2人

※その他　内訳

外出時の気をつけてること、家での管理の仕方、ことばのネットワークの実践法

≪自由記述欄へのご意見≫

個別指導（その他意見）

1	・表現が増えているが、その能力を生かしきれないため。

グループ指導（とりあげてほしい内容）

2	・合奏、みんなでなにかひとつのものを作る、やり遂げる(みんなの話聞く姿勢)
3	・言葉でのやりとり

≪保護者の皆様への回答≫

1～3	個別指導・グループ指導について お子様にとって適切な内容になるよう努めてまいります。

グループ指導

3・4・5歳児グループを利用している方にお尋ねします。

日程を選択できるようにしたこと、母子分離にしたことについてご意見がありましたらご記入ください。

4	・親がいない時の様子を見る機会がほとんどないので、遠隔で拝見できるようになりとてもありがたく思っています。
5	・日程変更＋α、時間も選べたらいいなーと思う。母子分離はとてもいいが、保護者のモニタリングのエリアの空調がよろしくない。
6	・うまく予定が合わず、以前のように年間で日にちを決めていただいた方が、私たちには合っていました。
7	・概ね良いです。ただ、制作や発表物が見えにくいのが解消されると嬉しいです。

グループ指導（その他意見）

8	・子どもたちの様子を見ながらの情報交換は、お相手にご迷惑にならないタイミングを計るのがなかなか難しく、毎回苦心しています。子どものトイレ休憩など、気兼ねなく親同士で会話できる時間が区切られているとよいなと思います。
9	・グループの選択肢も個別も曜日がバラバラでややこしい。異年齢交流を入れてもいいのでグループの選択肢、3枠欲しい。
10	・グループ指導の回数がもっと増えたらと思います。

≪保護者の皆様への回答≫

4～10	グループ指導（日程選択・母子分離・その他ご意見について） 施設の空調につきましては、大規模改修工事にて、全面改修の予定です。 ご意見を踏まえ、よりよいグループ運営を目指し、検討してまいります。

やまびこ音楽会

11	・普段バイオリンを聞く機会はなかなかないので、とても貴重な体験になりました。じっとしていられないので、じっとしていなくても大丈夫なスペースがあると嬉しいです。
12	・松原先生だと言うことを事前に知っていたかった。子どもの認識がほわっとしていた。知っていたらもっと楽しめたと思う。ホワイトボードに掲示する写真は文字も欲しかった。 靴下を用いてのマラカスづくりはフェルトを貼るなら事前に知りたかった。お気に入りの靴下を持参したのでなかなか剥がせない。持参しなかった子たちの無地のほうがフェルトが映えますし、持ち帰れて持参組はなんか損。また、制作時の机の下にレジャーシート敷くべき。音楽会の観覧はレジャーシート敷いたり、椅子が用意してあるのに制作エリアは机をぽん、と置いてあるだけで雑だと感じた。制作エリアの机の間隔が近すぎ。隣のエリアの声が聞こえる。今回の催しは難聴児への配慮があまりないと感じた。 レジャーシートにも座っていいよ、や靴を脱いで座ってね、など貼り紙があっても良いと思う。幼児向けではなく小学校低学年向けの催しだった。プログラムは文字と写真があって子は活用していてとてもよかったと感じた。

≪保護者の皆様への回答≫

11～12	<u>やまびこ音楽会</u> ご意見を踏まえ、今後の行事が、お子様やご家族様にとって、よりご満足いただける内容になるよう努めてまいります。

保護者セミナー・勉強会（保護者セミナー・勉強会の内容はご家庭でも活用できましたか。）

13	・とても勉強になり、言葉が発達するうえで、その基礎となる事も考えないといけないことがすごく勉強になりました。
14	・騒音下での聞き取りにくさの音声を聞いて、話しかける場所を気にするようになりました。ロジャーの体験を通して、集団に入る時には用意しようと思いました。
15	・これから本人が身に着けていくことが望ましいスキルの全体像を把握できたので、先の見通しが立ち安心感がありました。
16	・就学に向けて参考になるお話、またその先の事を具体的に考えるきっかけと知識を頂けました。
17	・知識が増えたので、今後の療育に活用できそうです。

≪保護者の皆様への回答≫

13～17	<u>保護者セミナー・勉強会（内容について）</u> ご意見を踏まえまして、これからも、皆様にご満足いただけるようなセミナーを企画・実施できるよう努めてまいります。

保護者セミナー・勉強会（その他意見）

18	・先生方のご負担が大きくなりすぎない程度に、土日の開催が増えると大変ありがたいです。
19	・zoomのとき、顔出しするなら書面に書いて欲しい。zoomなので気を抜いていた。
20	・子供を預けられない時、託児がないと参加できないので　託児があるとありがたいです。

≪保護者の皆様への回答≫

18～20	<u>保護者セミナー・勉強会（その他ご意見）について</u> 皆様のご意見を踏まえて、参加しやすく、有意義なセミナーを企画・実施できるよう努めてまいります。

個別指導、グループ指導のGoogleフォームでの日程調整についてご意見がありましたらご記入ください。

21	・希望する日を入力するのが大変。カレンダー見ながら入力の画面までスクロールしないといけない。入力ではなくてドロップダウンがあれば楽だなぁと思う。
22	・選択式にしてもらいたい。
23	・参加しやすくなりました。個別は振替がきくのも有難いです。

≪保護者の皆様への回答≫

21～23	Googleフォームでの日程調整について ご意見を踏まえ、12月の希望フォームより、選択式の項目を採用しています

その他のご意見

24	・いつもありがとうございます。1人での参加が多い時に、上のグループに混ぜていただいたり、お気遣いいただきとても充実した日々を送れています。また、最近は音が聞こえると耳の横に手を当てる仕草が日常でも見られ、成長を感じています。たくさん刺激を受ける時期をやまびこルームで過ごせてとても嬉しいです。今後ともよろしくお願いいたします。
25	・やまびこの周辺の木々が伸びきっていて横断歩道あたり、視界が危ない。 本棚がぎっしぎし。返却しづらい、取りづらい。幼稚園や保育園の連携は担任だけでなく、園長、学年主任の先生など広げて欲しい。やまびこ主催でzoomで難聴児ってこういう配慮が必要なのよ、こんな風に過ごしてますなど、やまびこ利用児の園が参加出来たり、(利用児がいない園も参加出来ていいと思う)プリントをやまびこが主で作って配布するなど。難聴児が増えていってる今、やまびこ発信も必要だと思う。保護者が伝えてもサラッと流されてしまうことが多い。やまびこ利用児がいろんな園に通えるよう、やまびことしても呼びかけて欲しい。
26	・親子共々　毎回　楽しく参加させていただいています。先生方や他の保護者の方々と　もう少し　お話できる時間があれば嬉しいです。
27	・いつも子どもに寄り添った支援をしていただきありがとうございます。

≪保護者の皆様への回答≫

24～27	その他のご意見について 皆様のご意見・ご要望を踏まえ、よりよい療育を行えるよう努めてまいります。 関係機関との連携、難聴児への理解を拡げていく活動についても、より一層取り組みに努めてまいります。 今年度は、11月に、お子様が並行通園されている幼稚園・保育園・児童発達支援事業所の皆様を対象とした公開療育を実施する予定です。 やまびこ周辺の木々については、中央美浜公園緑地事務所に連絡し、年内に剪定を行う予定です。

イ　令和５年度　やまびこルーム　後期アンケート

令和5年度　保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和6年3月13日　　事業所名：千葉市療育センター　福祉型児童発達支援センターやまびこルーム

保護者等数（児童数）53　回収数 36　回収率 67.9%

Ⅰ．　事業所評価表

		チェック項目	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	お子さんの活動等のスペースが十分に確保されていますか	13	23	0	0	0	0	100%		
	2	職員の配置数や専門性は適切だと思いますか	6	22	4	2	1	1	80%	・専門性は適切。熱意のある先生が多く、頼りにしております。しかし人数が少ないため、療育の日数を減らさざるを得ない状況は変わらず。 ・難聴を対象とした療育なのに、登園者数に対するSTの数が少ない	ご意見ありがとうございます。 今年度、常勤言語聴覚士が1人増え、現在非常勤言語聴覚士１人の募集をしております。皆様のご希望に添えるような療育を行えるよう、安定した職員体制をつくるべく、引き続き努力してまいります。
環境・体制整備	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※1になっていますか。また、事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮がなされていますか	10	23	2	0	0	1	94%	・絵本のある部屋→ぞうの部屋 の認識はあまりようだ。	貸出書籍について、新年度また改めて、やまびこだよりでお伝えし、周知に努めてまいります。ワゴンで移動できるようになっておりますので、場所がわからない場合は、職員にお声かけ下さい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、お子さん達の活動に合わせた空間となっていますか	9	27	0	0	0	0	100%	・靴下での活動なので本児に言っても周りが脱がない雰囲気だと脱がなくなっているので運動遊びの際は先生の方から“靴下だから～”の声掛けをして欲しい。	ご意見ありがとうございます。 安全面からも、運動遊びの際には、職員より声かけを行ってまいります。

適切な支援の提供	5	お子さんと保護者等のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画※2が作成されていますか	13	21	2	0	0	0	94%	・どうしても相談事が多くなり後期はやまびこでの療育が出来なく、こどもに申し訳なかった。 ・計画の話を担当者ではなく管理者とするのが何を意味するのかわからない。 担当者となら現状との擦り合わせが即座に可能なのに管理者（第三者）が必須なのかがわからない	大切なお時間をいただいて、大変申し訳ありません。制度上、個別支援担当者だけでなく、児童発達支援管理責任者（ルーム長兼務）も、お話を伺うことになっております。個別支援計画の内容だけでなく、やまびこルーム全体へのご意見、ご要望等などもうかがえたらと思っております。有意義な時間になるよう、努力いたします。
	6	個別支援計画には、お子さんの支援に必要な内容が具体的に記載されていますか	10	25	1	0	0	0	97%		
	7	個別支援計画に沿った支援が行われていますか	13	21	1	0	0	1	97%		
	8	活動プログラム※３が固定化しないよう工夫されていますか	12	19	3	0	0	2	91%		
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会は設けていませんが、保護者のご希望があれば連携を図っていますか	9	16	2	1	1	7	86%	・コロナなどもあるので仕方ないと割りきっています ・また、園訪問をしていただきたいです。よろしくお願いします。	保育園、幼稚園等、関係機関との連携は、保護者様のご同意を得たうえで、今後も継続してまいります。
保護者への説明等	10	支援の内容、利用者負担(利用料)等について丁寧な説明がなされていますか	10	25	0	1	0	0	97%		
	11	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか	12	24	0	0	0	0	100%		

保護者への説明等	12	保護者等に対して家族支援※4（勉強会や話し合いなど）が行われていますか	15	18	0	1	0	2	97%	・保護者セミナーをよく行ってくださり、不参加でも後日配信などで情報が得られるのでありがたいです。 ・なかなか予定が合わず参加できないので、ライブ配信等して、一定期間でもアーカイブに残してくれると助かります。	ご意見ありがとうございます。 皆様のお役に立つよう、保護者セミナー等の後日配信は、今後も皆様が試聴しやすい方法を検討しながら、継続して行ってまいります。
	13	日頃からお子さんの状況を保護者等と伝え合い、お子さんの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか	11	24	0	0	0	1	100%		
	14	定期的に、保護者等に対して面談※5や、育児に関する助言等の支援が行われていると思いますか	12	23	0	0	0	1	100%		
	15	異年齢交流グループや、通常のグループ活動の後半に行われる保護者懇談等により保護者同士の連携が支援されていますか	10	16	3	2	0	5	84%		
保護者への説明等	16	お子さんや保護者等からの相談やご意見について、対応の体制を整備するとともに、お子さんや保護者等に周知・説明し、相談や意見等があった際に迅速かつ適切に対応されていると思いますか	12	21	1	0	0	2	97%		
	17	お子さんや保護者等との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか	14	20	1	0	0	1	97%		

保護者への説明等	18	保護者等に必要なお知らせや行事予定、アンケートの結果等が発信されていると思いますか	13	23	0	0	0	0	100%	・前期・後期保護者アンケートの結果の発信方法（HPに年度末にまとめて掲載など）も教えていただけるとありがたいです。 ・紙媒体での配布がなくなりメールなって楽になった分、忘れてしまうこともしばしば。送信した内容を掲示板として掲示して頂けると確認にもなるので掲示して欲しい。	・ご意見ありがとうございます。 ・保護者アンケートの結果については、前期は、施設内掲示、後期は、年度末にHP上に公表しております。発表方法、時期などについて、やまびこだより等を通じて、皆様にわかりやすく、アクセスしやすいよう、お知らせしていくようにいたします。 ・配信した内容の掲示について、検討してまいります。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されていると思いますか	17	17	1	0	0	1	97%		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者等に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されているのをご存知ですか	9	22	1	1	0	3	94%		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	11	18	1	1	0	5	94%		
満足度	22	お子さんは通所を楽しみにしていますか	20	14	1	0	0	1	97%		

満足度	23	事業所の支援に満足していますか	14	18	4	0	0	0	89%	・グループ活動が増えてほしかった ・時間帯的にグループ活動になかなか参加できないので遅い時間帯で交流の場などを設けて欲しい。 ・もう少し通う回数が多いと良いです。 ・内容がいいので、もう少し頻度が上がると、積み重ねるだけ本人の力になると思います。	・通園頻度につきましては、ここ数年、毎回ご意見をいただいております。現在の職員体制で、できうる最善の療育を目指してまいります。 ・ご意見ありがとうございます。交流の場の提供については、皆様が参加しやすい時間帯を考慮して、検討してまいります。

※１　「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机の配置やイラストや写真を用いるなど、お子さん本人にわかりやすくすることです。

※２　「個別支援計画」は、児童発達支援を利用する個々のお子さんについて、支援目標や支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、前期と後期の初めにご説明の上、同意書にサインをいただいています。

※3　「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。お子さんの障害特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※4　「家族支援」とは、保護者がお子さんと関わりながら聴覚障害の特性を理解し、遊びや関わり方等を学ぶことにより、お子さんの成長を促すことを目標としています。

※５　「面談」とは、個別支援計画に記載された支援内容についての説明や、個別指導の中での保護者との情報交換、希望者へのルーム長による面談等を含みます。

令和５年度　やまびこルームアンケート（後期）　集計結果

配布日　令和6年2月1日　提出期限　令和6年2月20日

保護者等数（児童数）	53人	回収数	36人	回収率	67.9%

《通園方法》

1.やまびこまでの交通手段をお選びください。

自家用車	電車またはバス+通園バス	最寄り駅まで徒歩または自転車+通園バス	自転車	徒歩
21人	11人	4人	0人	0人

2. 自宅からの通園時間はどのくらいかかりますか。

30分以内	30分～1時間	1時間～1時間30分	1時間30分～2時間	2時間以上
12人	15人	7人	2人	0人

《療育関係》

3. 個別指導の内容はお子さんに合っていますか。

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しないを除く）に対する割合
14人	21人	1人	0人	0人	0人	97%

4. 指導日のご希望になるべく沿えるよう、個別指導を複数のST（言語聴覚士）が担当しております。複数担当はお子さん、保護者の方にとって適切だと思いますか。

適切	適切でない	「適切」の全体に対する割合
32人	4人	89%

5. グループ指導の内容はお子さんに適切だと思いますか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しないを除く）に対する割合
10人	17人	3人	0人	0人	1人	5人	90%

6. やまびこ音楽隊についてお尋ねします。
1月18日（木）より月1～2回やまびこ音楽隊が始まりました。やまびこ音楽隊に参加しましたか。

参加した	参加していない	「参加した」の全体に対する割合
7人	29人	19%

7. 参加した方にお尋ねします。
活動の内容はお子さんにとって適切でしたか。

適切	適切でない	「適切」の全体に対する割合
6人	1人	86%

8.「参加していない」とお答えした方は下記の項目から理由をお選びください。（複数回答可）

興味があったが、日程が合わなかった	興味がなかった	子どもが適齢ではないと感じたため
23人	4人	1人

9. 聴力検査・補聴器調整はお子さんに適切だと思いますか

適切	適切でない	「適切」の全体に対する割合
34人	2人	94%

10. 耳鼻科診察についてお尋ねします。
やまびこルームでは、早期の風邪や中耳炎のチェックのために、月3回定期耳鼻科の診察を行っていますが、受診される方が非常に少ない状況です。
やまびこルームにおける耳鼻科診察は必要だと思いますか。

はい	いいえ	「はい」の全体に対する割合
15人	21人	42%

≪行事・勉強会≫

11. 10月22日（日）実施のお楽しみ会（サーカス芸）についてお尋ねします。
お子さん、ご家族は楽しく参加できましたか。

とても楽しく参加できた	楽しく参加できた	どちらともいえない	楽しく参加できなかった	全く楽しく参加できなかった	該当しない	「とても楽しく参加できた」と「楽しく参加できた」の全体（該当しないを除く）に対する割合
9人	8人	0人	0人	0人	19人	100%

12. 12月14日（木）実施のクリスマス会についてお尋ねします。
お子さん、ご家族は楽しく参加できましたか。

とても楽しく参加できた	楽しく参加できた	どちらともいえない	楽しく参加できなかった	全く楽しく参加できなかった	該当しない	「とても楽しく参加できた」と「楽しく参加できた」の全体（該当しないを除く）に対する割合
7人	9人	0人	0人	0人	20人	100%

13. 今後、どのような行事を希望しますか。
（複数回答可）

お祭り	運動会	クリスマス会	レクリエーション	遠足	音楽会	家族参観日	保育園・幼稚園でやらないこと	花見、探検
24人	18人	21人	14人	15人	12人	9人	1人	1人

14. 行事に対してどのような主旨を希望しますか。
（複数回答可）

家族が参加できる	季節を感じる	身体を動かす	音楽を楽しむ	異年齢交流	卒園児との交流
16人	22人	17人	13人	13人	13人

≪関係機関連携≫
15. 幼稚園・保育園訪問、電話連携、公開療育など、やまびこルームが行った関係機関との連携についてお尋ねします。
関係機関との連携について満足していますか。

はい	いいえ	「はい」の全体に対する割合
31人	5人	86%

16.「いいえ」とお答えした方は下記の項目から理由をお選びください。
（複数回答可）

頻度が少ない	内容が不十分	希望した時期と違った	まだ園に通っていない為
3人	0人	0人	1人

≪保護者セミナー・勉強会≫
17. 保護者セミナー・勉強会に参加をしましたか。

参加した	参加していない	「参加した」との全体に対する割合
20人	16人	56%

18. 参加した方にお尋ねします。
参加してよかった回をお選びください。（複数回答可）

10月「船橋保護者お話会」	10月「合理的配慮について―幼稚園教諭の立場から―」	10月「伝音難聴・千葉市保護者お話会」	11月「千葉市難聴学級の先生よりお話会」	12月「市川市・八千代市 保護者お話会」	1月「当事者お話会 軽度難聴の大学生」	1月「難聴学級設立 保護者お話会」
7人	5人	2人	6人	9人	3人	3人

≪保護者懇談会≫
19. 11月13日（月）異年齢児保護者懇談会、12月18日（月）懇談会「人工内耳っ子あつまれ」を実施しました。
参加した方にお尋ねします。懇談会の内容に満足をしていますか。

はい	いいえ	該当しない	「はい」の全体（該当しないを除く）に対する割合
2人	2人	32人	50%

20. 異年齢児保護者懇談会についてお尋ねします。
今後も開催されたら参加しようと思いますか。

はい	いいえ	「はい」の全体に対する割合
24人	12人	67%

≪保護者支援≫
21. 年長の保護者の方へお尋ねします。
就学に向けてのやまびこルームの支援は役に立ちましたか。

はい	いいえ	該当しない	「はい」の全体（該当しないを除く）に対する割合
11人	0人	25人	100%

22. 就学支援へ必要だと思う内容をお選びください。（複数回答可）

就学の流れ	就学先への情報提供の内容	他の保護者の考えを聞く機会	やまびこから就学先への情報提供（引継ぎ）
20人	22人	14人	23人

≪自由記述欄へのご意見≫

個別指導（質問４にて適切でないと回答した方の理由）

1	・普段と違うSTさんが担当すると子供が不安に感じるようです。
2	・複数担当で対応した事がないのでメリットやデメリットがわからないのが現状です。

≪保護者の皆様への回答≫

1	STの複数担当制について ご意見ありがとうございます。 お子様が不安に感じてしまったことについて、お詫び申しあげます。 担当者が変わる場合は、事前にご連絡するようにいたします。また、担当が変更となる場合は、主な担当者との引継ぎや打ち合わせの時間を十分に設け、安心して療育に参加していただけるよう、努めてまいります。

個別指導（その他意見）

3	・娘の嫌がることは無理矢理させず、楽しいことを重視してくれていると感じます。今の年齢だと訓練より楽しく通い、成長を見つつアドバイスを貰えることがとても重要だと考えていますので、とても有難いです。
4	・指導内容が的確でやる気もあり、信頼関係を築いた現STさんに卒業まで指導をお願いしたいです。
5	・とても満足しています。

≪保護者の皆様への回答≫

3～５	個別指導について ご意見ありがとうございます。 ご期待に添った質の高い療育を継続していけるよう、努めてまいります。

グループ指導（とりあげてほしい内容）

6	・就学に向けて、困った時の対応の仕方などを遊びのなかで学べるといいなと思っています。
7	・体を動かす遊び、ルールのある遊び
8	・行事、季節についても大事だけれど、日常生活においてためになることも取り上げて欲しい
9	・外遊び(季節の探索など)
10	・人前での発表の機会を増やして欲しいです。

グループ指導（その他意見）

11	・季節に合った工作などとても満足しています。
12	・時間が早い…。

≪保護者の皆様への回答≫

6～12	グループ指導について ご意見ありがとうございます。 皆様のご意見を、療育の中に取り入れていくよう、努めてまいります。

やまびこ音楽隊

13	・上の子の帰宅時間と重なってしまうため　参加出来ませんでした。
14	・音楽が好きな娘はとても楽しかったようです。参加以降、お歌やピアノへの興味が増したように感じます。 年上のお兄さんお姉さんによくしてもらい、難易度が高い内容でも周りをキョロキョロしながら合わせてやったり、手を引いて教えてもらったようで、普段の療育ではできない貴重な体験になっています。
15	・「私もやりたい、僕もやりたい」という子が多く、その体験に費やす時間が長すぎたかなぁと感じました。
16	・たっぷり時間があるので保護者がモニターを見ているだけなのがもったいないなと思いました。 保護者だけだとみんな無言で見ているだけなので少し疲れてしまいました。 その時間で先生も含めた懇談会や情報交換、親子で取り組む活動などがあると嬉しいです。 子供たちがとっても楽しそうだったので、また参加させてもらいたいと思います。
17	・異年齢の方々と接する時、子ども達の統率をとっていただきたいです。小さい年齢のお子さんを見ていて、ど一しても年齢が上のお子さんに圧倒され緊張しているようにみえます。 保護者だけ別室に移動しますが、あの時間を有意義にしたいのですがどのようにすればいいのか分かりません。最終的にモニターを観て終わってしまいました。 マイクの音質やビデオの向きも悪く観えない時もあり工夫をお願いしたいです。
18	・子供はリズム感、音感に課題があると思うので是非続けていただきたいです。本人は楽しんでいます。

≪保護者の皆様への回答≫

13～18	音楽隊について ご意見ありがとうございます。 異年齢のお子さんが参加できる活動ですので、ご指摘のあった安全面等も配慮し、参加人数、活動内容について、検討を重ねながら、実施してまいります。 ご意見をいただきました保護者の皆様の時間の過ごし方については検討してまいります。

聴力検査・補聴器調整（適切でないと回答した方の理由）

19	・補聴器の調整はいつどのように調整をするのかわかりません。今のままでいいのか調整が必要なのか不明です。
20	・通院頻度が減っていたので聴力検査があってもよかったかもしれない。

聴力検査・補聴器調整（その他意見）

21	・子どもの興味を引きながら聴力検査に集中させるのに手慣れておられるので、安心してお願いできます。

≪保護者の皆様への回答≫

19～21	聴力検査・補聴器調整について ご意見ありがとうございます。 聴力検査、補聴器調整については、主治医とも連携を取りながら実施しております。 お子様それぞれの個別的な対応になりますので、お気づきの点やご心配な点がございましたら、ルーム長または、担当者までお知らせください。

耳鼻科診察

22	・中耳炎など難聴以外の症状は、自宅近くの一般耳鼻科をかかりつけにしていたため、やまびこでお世話になる機会がほとんどありませんでした。
23	・耳の状態を診たり、鼻水を吸ってくれますが、処方してくれるわけではないので、調子が悪くなったらかかりつけの耳鼻科に行けば良いかな？と思ってしまいます。また、お昼ご飯を食べながら待っている時間に機嫌が悪くなってしまうのが大変だと感じます。
24	・本当は受診したいが家が遠く、仕事もあるため耳鼻科受診のためだけに行くことが難しい。
25	・いつもタイミングが合わず受診できず申し訳ありません。
26	・通園にある程度時間がかかることもあり、耳鼻科診察と個別指導を両方入れると時間の拘束が長くなってしまうので、一度は利用してみようかなと思ってはいますが、なかなか利用できずにいます。
27	・通えるなら通いたいです。しかし日にちや時間帯が合いません。
28	・せめて耳垢を取るなど簡単な処置をしていただけないなら必要ないと思います。ただ耳の中を見るだけなら、最初から他の耳鼻科に行きます。
29	・グループと一緒の日付の耳鼻科診察だと受診しやすいです。

≪保護者の皆様への回答≫

22～29	耳鼻科診察について ご意見ありがとうございます。 定期耳鼻科診察は、「みみ、はな、のどの健康チェック」のために実施しております。 できる行為は、耳垢除去、滲出性中耳炎の定期的なチェック、鼻水の有無（あれば吸う）、のどの炎症の有無のチェック等限られております。（＊特に滲出性中耳炎は、耳の痛みがなく、わかりにくい疾患ですが、罹患すると、聴力低下を引き起こしたり、人工内耳の場合インプラント感染の恐れもあります。） 耳鼻科主治医（千葉県こども病院等）の定期診察までの間や、気になることがあるような場合、ご利用いただければと思います。 今後、皆様のご要望をうかがいながら、頻度の検討なども行っていきたいと思います。 診察時間については、嘱託医の休診日、療育センター外来耳鼻科診察の日程などと調整して設定しております。

お楽しみ会（サーカス芸）

30	・難聴の子の興味に合わせると健聴の親がちょっと退屈…となりがちですが、双方純粋に楽しめる催しで、とてもよかったです。
31	・バルーンアートの風船が突然割れる音を怖がるので、そういった聴覚過敏のお子さんの配慮も大切かなと思いました。
32	・子供が病気になってしまって参加できず、残念でした。またお願いします！

≪保護者の皆様への回答≫

30～32	お楽しみ会（サーカス芸）について 貴重なご意見ありがとうございます。 皆様が楽しく参加できるような行事を、今後も検討してまいります。

クリスマス会

33	・自由にどの部屋でも行っていいという方がいいのか、ある程度人数を分けて時間ごとに楽しんだほうがいいのか難しいところだなと思いました。

≪保護者の皆様への回答≫

33	クリスマス会について ご意見ありがとうございます。 内容を検討しながら、実施してまいります。

関係機関連携

34	・幼稚園や児童発達支援向けに今月はこんな指導をしてますよ、などとお手紙を作って欲しい。言語聴覚士の指導がどういうものなのか、また療育センターってどういうものなのか知るきっかけになると思う。
35	・来年の課題も見えてくるかもしれないので、一年の終わりに振り返り等で園と連絡してくれると嬉しいなと思いました。
36	・千葉市の療育センターなので、やや仕方ないことですが、千葉市の関係機関との連携が多く、千葉市以外から通所している者にとっては、少し情報不足のところがある。
37	・また、年度明けましたら園訪問お願いします。

≪保護者の皆様への回答≫

34～37	関係機関連携について ご意見ありがとうございます。 連携の頻度、時期、また、内容につきましては、それぞれのお子様の状況に合わせて、実施してまいります。 個別指導やモニタリング（ルーム長面談）の中で、ご要望をうかがいながら、機会を設けていきますので、ご意見をいただければと思います。

保護者セミナー・勉強会（どのようなテーマであれば、参加したいと思いますか。）

38	・やまびこ卒業後、通級ではなく民間のSTさんにお願いしている方のお話を聞いてみたいです。
39	・ロジャーを使っている人の話。
40	・人工内耳(メドエル)の会社の方の話。
41	・難聴学級、通級のこと。また社会人当事者のお話はなるべく聞きたいと思っています。もし、難聴学級や通級という形で小学校で過ごしていない（通常級オンリーで過ごしてる）方がいたらその話も聞いてみたいです。

保護者セミナー・勉強会（その他意見）

42	・参加できない場合でも、後日ビデオ配信で視聴できるのがとてもありがたいです。
43	・いつもとても勉強になります。
44	・3階なのか2階なのか開催場所を知らせて欲しい。
45	・平日は仕事があって参加が難しい。適宜、資料・動画共有を希望する。
46	・いつもありがとうございます。テーマはとても興味があります。仕事されている方や突然の病欠で参加できなくなった方などいらっしゃるかと思いますので、ビデオ視聴は続けられると大変嬉しいと思います。先生方にご負担をおかけいたしますが、ご検討いただけければ幸いです。
47	・地域学校（難聴学級、通級）に通うお子さんの保護者の方の話や難聴当事者の方をお呼びしてのセミナーがあるのは千葉県の中ではやまびこだけだと思っています。ありがたいので今後も続けていただきたいです。

≪保護者の皆様への回答≫

38～47	<u>保護者セミナーについて</u> ご意見ありがとうございます。いただきましたテーマについては、今後のセミナーの参考とさせていただきます。 開催場所については、掲示や事前メール等で、わかりやすくお知らせするよう、努めます。 保護者セミナーの後日配信につきましては、今後も皆様のお役に立てるよう、検討を重ねながら、実施してまいります。

異年齢児保護者懇談会

48	・平日は参加が難しいため、土日開催だと助かります。
49	・今回参加できませんでしたが日程が合えば参加します。

≪保護者の皆様への回答≫

48～49	<u>異年齢児保護者懇談会について</u> ご意見ありがとうございます。 ２／３の保護者の方が、参加の意思はお持ちでしたので、開催方法等を検討してまいります。

保護者支援（就学支援に向けてやってほしかったこと、足りなかったこと等）

50	・言語聴覚士さんの支援（小児難聴外来の定期通院を除く）を受ける機会があった方がよいか、その場合どうやって支援にたどり着くかの情報。
51	・地域別の違いを冊子にしたり、閲覧出来るものがあればいいと思う。その年によって情報も違うし地域によって違うことは乳児のときには全く知らなく、幼児になってわりと慌てた部分もあるので個人情報になるかもしれないが利用者で何市に何人利用者がいて、など掲げてもいいと思う。年齢別とはいえ交流にも繋がると思う。
52	・子供達が、自分のお耳について考える、伝える勉強の機会が今よりももう少しあると嬉しいなと思いました。

≪保護者の皆様への回答≫

50～52	<u>就学支援について</u> ご意見ありがとうございます。 今後の就学支援の参考にさせていただきます。

その他のご意見

53	・3年間お世話になりました。ありがとうございました。自分は来年度はもう参加できませんが、今後はグループ活動がもっと増えたらいいなと願っております。
54	・個別の希望システムやグループ活動、またコロナ禍もあり毎年違く、戸惑いもあるが先生方も同じ思いだとは思いますのでいつも子どもたちのために…と感謝の気持ちでいっぱいです。 今年度は例年より言語聴覚士が増え、また勉強会もコロナ禍前みたく開催され、保護者との交流が増え、楽しかったです。数年通ったやまびこが建物ごとお別れは寂しい気持ちです。機会があれば建物バックに記念写真を撮りたいです。
55	・ご多忙の中、色々とご対応いただきありがとうございます。

≪保護者の皆様への回答≫

53～55	<u>その他、ご意見、ご要望について</u> ご意見ありがとうございます。 ご指摘いただきましたように、職員体制、予約システム変更、来年度は大規模修繕工事に伴う仮移転など、やまびこルームを取り巻く環境が、毎年のように変わり、利用者の皆様には、戸惑いも大きいかと思います。皆様には、正確にわかりやすく、いろいろなお知らせをしていくとともに、お願いをしていくことも多くなるかと思いますが、やまびこルームとして療育の充実をはかるよう努めてまいりますので、ご理解・ご協力を重ねてお願い申し上げます。

（３）いずみの家

実施月	アンケート内容		配布数	回収数
３月	満足度アンケート （就労移行支援事業・就労継続支援Ｂ型事業）	（ご利用者）	26	26
		（ご家族）	26	26
		（ボランティア）	2	2

令和5年度 いずみの家満足度アンケート集計結果 詳細
ご利用者

1.職員の対応について

①言葉遣いや身なりはきちんとしていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	17	8	0	0	1
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

②皆さんの話を受け止め、誠実に対応していますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	14	10	2	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			92.3%	

③明るく楽しい雰囲気づくりをしていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	18	7	1	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			96.2%	

1.職員の対応について のご意見
・わからないことを聞くと答えてくれる。 ・明るいと思います。
1.職員の対応について のご意見への回答
・利用者の方にとって毎日通いやすい雰囲気作りをこれからも心掛けていきます。

2.個別支援計画およびモニタリングについて

1.皆さんの意見や希望が入っていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	16	6	3	0	1
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			88.0%	

2.職員からわかりやすい説明がありましたか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	18	6	2	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			92.3%	

3.計画通りの支援を受けていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	15	7	3	0	1
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			88.0%	

2.個別支援計画およびモニタリングについて のご意見
・言われたことを守る。 ・仕事を頑張る。 ・ひよこの仕事を頑張る。
2.個別支援計画およびモニタリングについて のご意見への回答
・いずみの家の作業は利用者の方にとって仕事であり、その仕事や生活が個別支援計画に繋がっていきます。これからも皆さんの意見や希望を伺い、よりよい計画を作成し、支援に繋げていきます。

3.活動内容について（就労継続B型のみ）

①作業内容はどうですか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
継続支援B型利用者	20	6	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

②活動時間（9:00～16:00）はどうですか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
継続支援B型利用者	15	10	1	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			96.2%	

③工賃額はちょうどよいですか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	17	8	1	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			96.2%	

3.活動内容ついて のご意見
・ひよこの平から折るのが楽しい。 ・頑張ってやっています。 ・第1作業室がいいです。
3.活動内容について のご意見への回答
・充実した活動を提供し、それが工賃に繋がるようにこれからも努めていきます。

4.活動内容について(就労移行のみ)は利用者がいないため、なし

5.その他について

①余暇活動(スポーツ・映画鑑賞・カラオケ・調理)に満足していますか?

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	18	6	2	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体(無回答を除く)の割合			92.3%	

②いずみの家はきれいに掃除・整頓されていますか?

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	18	7	1	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体(無回答を除く)の割合			96.2%	

③実習生の受け入れに満足していますか?

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	16	5	4	0	1
	「とても良い」と「良い」の全体(無回答を除く)の割合			84.0%	

④ボランティアの受け入れについて満足していますか?

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	16	6	4	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体(無回答を除く)の割合			84.6%	

⑤美味しい給食の提供がありますか?

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	16	7	1	0	2
	「とても良い」と「良い」の全体(無回答を除く)の割合			95.8%	

5.その他ついて のご意見
・もう少し人がいてほしい。 ・新しい利用者と職員と仲良くしたいです。
5.その他について のご意見への回答
・現在、利用人数が定員よりも少ない状況となっていますが、次年度には新しい方が利用予定です。 新しい方も含め、いずみの家が皆仲良く、明るく過ごせるようにこれからも努めていきます。

6.行事等について

1.ゆうあいピック（陸上、フライングディスク）

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	17	6	2	0	1
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			92.0%	

2.社会研修（カップヌードルミュージアム・みなとみらい散策）

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	20	5	1	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			96.2%	

3.一泊旅行（遊覧船・華厳の滝・鬼怒川観光ホテル・ワールドスクウェア

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	16	6	0	0	4
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

4.所外活動（上野動物園）

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	21	5	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

5.新年お楽しみ外出（ららぽーと・ポートタワー

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	19	6	0	0	1
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

6.ゆうあいピックマラソン・駅伝大会

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	17	8	1	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			96.2%	

6.行事等ついて のご意見
・ヤクルトの工場に行きたい。 ・ひよこの工場に行きたい。 ・楽しいです。 ・一泊旅行に行きたい。 ・新年会をまたやりたいです。 ・上野動物園でパンダを見た。
6.行事等について のご意見への回答
・新型コロナウイルスの流行した時に比べて制限が緩和され、ほぼ通常とおりの行事が実施出来ました。これからも利用者の方々に意見を伺いながら、行事を実施していきます。

7.総合評価（いずみの家全体について）

いずみの家で楽しく（心地よく）過ごせていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	20	6	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

8.いずみの家についてのご意見やご要望
・特になし
8.いずみの家についてのご意見やご要望 への回答
・全体でも高い評価をいただきました。皆さんから頂いたご意見を踏まえながら、これからも、毎日元気に通える施設作りを目指していきます。

令和5年度 いずみの家満足度アンケート集計結果 詳細
ご家族

1.職員について

①職員は十分な知識・専門性を持って支援をしていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	10	12	3	0	1
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			88.0%	

②言葉遣いや身なりはきちんとしていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	11	15	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

③皆さんの話を受け止め、誠実に対応していますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	11	14	1	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			96.2%	

④明るく楽しい雰囲気づくりをしていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	11	14	1	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			96.2%	

⑤職員は安全で丁寧な支援をしていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	11	15	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

⑥電話や連絡帳の対応は適切ですか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	12	14	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

⑦.個人情報は適切に取り扱っていますか？（家族のみの設問）

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	11	14	0	0	1
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

1.職員について のご意見
・子供の様子を見て対応していると思います。 ・こちらからの要望にいつも対応していただき感謝しています。
1.職員について のご意見への回答
・ご自身の気持ちや思いを引き出せるような支援がこれからも行えるように努めていきます。

2.個別支援計画およびモニタリングについて

①.皆さんの意見や希望が入っていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	10	15	1	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			96.2%	

②職員からわかりやすい説明がありましたか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	11	15	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

③計画通りの支援を受けていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	10	14	2	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			92.3%	

2.個別支援計画およびモニタリングについて のご意見
・特に無し

3.環境について

①いずみの家はきれいに掃除・整頓されていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	わからない（無回答）
家族	8	15	1	0	2
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			95.8%	

②掲示物は見やすく適切な内容ですか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	わからない（無回答）
家族	7	13	3	0	3
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			87.0%	

③地震や火事等の防災対策が十分になされていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	わからない（無回答）
家族	6	11	11	0	3
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			60.7%	

3．環境について　のご意見
・改修工事があり、忙しく大変な事と思います。 ・いずみの家に行く事があまりなかったので、環境の細かい所があまりわかりません。 ・この頃はいずみの家へ行くことにあまりないのでわかりません。（2）
3．環境について　のご意見への回答
・年2回の面談時、お時間があればいずみの家を改めてご案内する時間を設けたいと思います。また、面談時だけではなく、いずみだよりでの発信にも力を入れたいと思います。 ・移転につきましてはご利用者、ご家族の不安や心配を軽減出来るように努めていきます。

4．活動内容について

①作業の種類や内容に満足していますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	10	13	2	0	1
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			92.0%	

②いずみの家の開所時間は適切ですか（9時～16時）？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	9	16	1	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			96.2%	

③工賃額は適切ですか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	5	10	8	2	1
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			60.0%	

④実習生やボランティアの受け入れ状況に満足していますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	5	15	3	0	3
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			87.0%	

⑤給食の提供に満足していますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	14	10	1	0	1
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			96.0%	

⑥行事や健康診断の実施に満足していますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	14	11	0	0	1
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

4. 活動内容について のご意見
・健康診断結果票の判定欄が記入されていた方がもっと見やすくなり、ありがたいと思います（特に胸部X線）。 ・皆さん、いい人達ばかりで毎日が楽しいです。 ・いつもいろいろと体験させて頂きありがとうございます。 ・利用者の状況により適切に対処していただき本人も作業しやすいと思います。

4. 活動内容について のご意見への回答
・いずみの家の健康診断結果の判定について、問い合わせを行いました。現在、採血とX線のみを、ちば県民保健予防財団にて行っておりますが、その内容の検査委託先が対応していない為、判定は出せないと回答をいただいております。 ・作業や行事も含め、様々な活動を提供していきたいと思います。

5. 総合評価（いずみの家全体について）

いずみの家の利用について満足していますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	13	13	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

6. いずみの家についてのご意見やご要望
・この時期になると、いつも職員の方々の異動が気になります。利用者さん達の性格を良く理解し対応してくださっている職員の方々が長くいずみの家に在籍してくださる事を願っています。 ・一泊旅行が楽しかったようです。 ・いずみの家利用は丁寧な対応で、日々楽しく通所することが出来、本人共に大満足です。 ・ラインの一斉メールは良かったです。 ・面談の時、作業の様子を見せてもらいたい。 ・いつも子供達についてアドバイスしていただき、ありがとうございます。毎日嫌がらずに喜んで通っているので良かったです。 ・毎日、自分のペースで行動をしている事に、皆様に感謝しています。 ・書類が多く対応が大変に感じています。御丁寧でありがたいですが、資源や手間を考えるともう少し簡略に出来ないか、親がいなくなったときに心配です。よろしくお願いいたします。

6．いずみの家についてのご意見やご要望　への回答
・職員の異動につきましては、毎年アンケートでもご意見を頂いております。組織の活性化を目的としているため、ご理解をいただければと思います。いずみの家を利用されている方々の特性を全職員で共有し、統一した支援が出来るように心掛けていきます。 ・書類に関しましては読みやすさを重視し、今年度より文字のポイントを12で統一し、また書体もユニバーサルデザインに即した書体に変更させていただきました。内容につきましては、公平でわかりやすい情報発信を心掛けているため、どうしても量が多くなってしまう部分がございます。簡潔に出来るように努めてまいります。

令和5年度 いずみの家満足度アンケート集計結果 詳細
ボランティア

1.職員の対応について

①言葉遣いや身なりはきちんとしていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
ボランティア	1	1	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

②皆さんの話を受け止め、誠実に対応していますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
ボランティア	1	1	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

③明るく楽しい雰囲気づくりをしていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
ボランティア	1	1	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

1.職員について のご意見
・指導や仕事が忙しい中でも利用者さんとの会話に優しく対応してとっても良い雰囲気です。皆さん楽しく作業している様子が感じられます。
1.職員について のご意見への回答
・ご利用者と職員だけではなく、ボランティアという外部の方のご協力をいただく事で、メリハリある雰囲気が作れています。これからも、いずみの家に関わる全ての方が気持ちよく活動出来るように努めていきます。

2.活動内容について

①ボランティアの受け入れ対応に満足していますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
ボランティア	0	2	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

②作業（ボランティア）の内容に満足していますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
ボランティア	0	2	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

③活動時間（9:00～16:00）は適切ですか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
ボランティア	0	2	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

④いずみの家はきれいに掃除・整頓されていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
ボランティア	1	1	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

⑤利用者・職員・他ボランティアとの関わりに満足していますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
ボランティア	1	0	0	0	1
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

2．活動内容について　のご意見
・気を使って頂き、楽しくボランティアが出来ています。
2．活動内容について　のご意見への回答
・これからも皆さんが活動しやすい環境作りを心掛けていきます。

3．総合評価（いずみの家全体について

いずみの家で楽しく（心地よく）過ごせていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
ボランティア	1	1	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

4．いずみの家についてのご意見やご要望
・挨拶しない職員（男性）がいる。
4．いずみの家についてのご意見やご要望　への回答
・この件に関しまして、ご不快な思いをさせてしまい誠に申し訳ございませんでした。ボランティアの方々や外部の方含め、挨拶や接遇の徹底を行ってまいります。

（4）ふれあいの家

実施月	アンケート内容	配布数	回収数
11 月	通年講座　音楽療法	8	8
11 月	通年講座　陶芸	11	10
11 月	通年講座　絵手紙	9	9
11 月	通年講座　パソコン	11	10
11 月	通年講座　書道	12	12
11 月	通年講座　組紐	11	11
11 月	通年講座　アート de ふれあい	5	5
11 月	通年講座　ふれあいレク	19	19
11 月	通年講座　卓球	15	15
12 月	通年講座　ボッチャ	18	18
11 月	通年講座　サウンドテーブルテニス	8	8
6 月	短期教室　写真講評会	4	4
6 月	短期教室　おしゃべりサロン	6	6
7 月	短期教室　モルック交流会	18	18
8 月	短期教室　ビームライフル教室	5	4
3 月	短期教室　字幕付与	10	10
6 月	社会適応訓練事業　聞こえにくくなった方の勉強会	6	6
10 月	社会適応訓練事業　介護技術勉強会	9	9
7 月	社会適応訓練事業　介護予防勉強会	10	10
7 月	ボランティア養成講座　要約筆記講習会	3	3
11 月	ボランティア養成講座　手話講習会（初級）　木曜日	36	31
11 月	ボランティア養成講座　手話講習会（初級）　土曜日	25	23
12 月	ボランティア養成講座　音訳講習会	12	11
3 月	ボランティア養成講座　点字講習会	6	5
2 月	ボランティア養成講座　手話講習会（中級）木曜日	32	26
2 月	ボランティア養成講座　手話講習会（中級）土曜日	40	29
3 月	ボランティア養成講座　手話講習会（応用）木曜日	22	20
3 月	ボランティア養成講座　手話講習会（応用）土曜日	28	18
2 月	ふれあい作品展	－	152
10 月	サークル発表会	185	66
2 月	第 14 回ふれあいフェスティバル	－	92
11 月	利用者満足度アンケート	590	537

ア　通年講座

令和　5　年度　　**音楽療法 アンケート実施報告**　　令和5年11月14日

【受講者数、等】　（定員　12　人）（ 全　10　回）

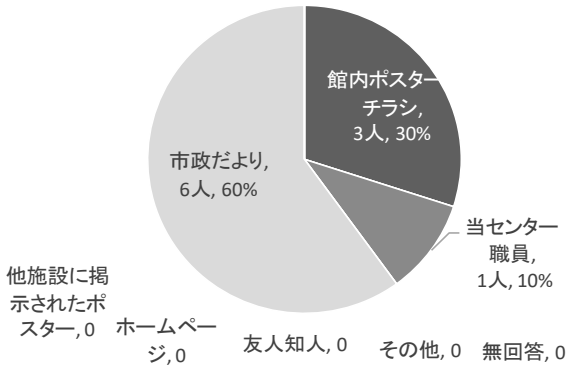
応募者数	12	人	利用者数（応募者-A-B））			10	人
A.補欠、落選者数	0	人	定員充足率	100	%	全回出席者数	2 人
B.途中キャンセル者数	2	人	平均出席者／回	8	人	平均出席率／回	63 %

【アンケート】

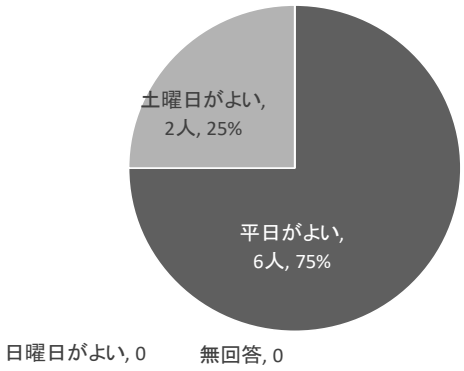
アンケート配布枚数	8 枚	アンケート回答者数	8 枚	回答率	100 %

＜教室についての質問＞

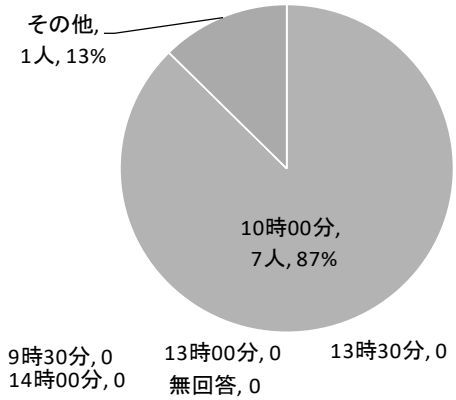
1.今回の催しを何で知りましたか(複数回答可)



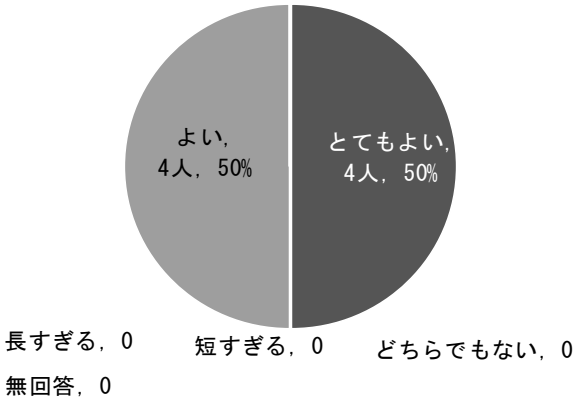
2.日程は何曜日がよいですか



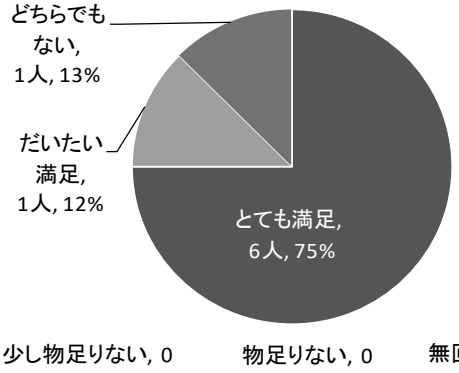
3.開始時間は何時からがよいですか



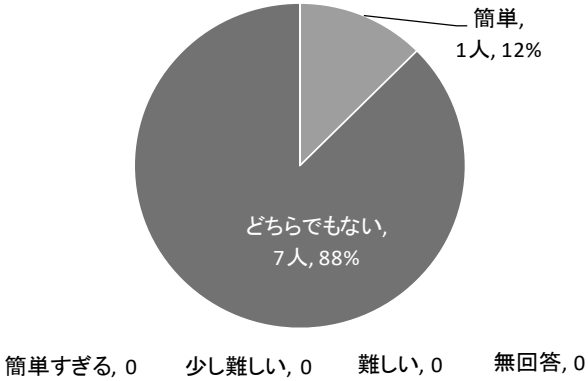
4.開催時間の長さはいかがでしたか

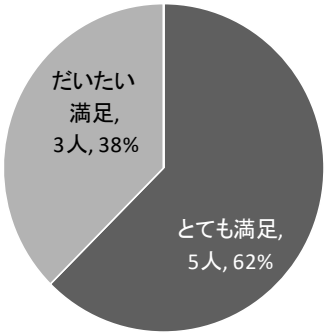
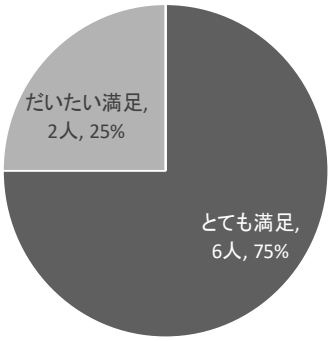


5.内容・プログラムはいかがでしたか



6.内容の難しさはいかがでしたか



7. 講師の対応はいかがでしたか	8. 会場について
 どちらでもない, 0　少しよくない, 0　よくない, 0 無回答, 0	 どちらでもない, 0　少しよくない, 0　よくない, 0　無回答, 0

ご意見、ご感想

・マスク着用無しになれば良い。	1　件
・手拍子や足踏み、ステップなども入るともっと楽しいです。	1　件
・先生が熱心で、声が出なくなってまいりましたので参加させていただいております。	1　件

今後行って欲しい企画

・バドミントン、バレーボール、皆で遊べるもの、紙飛行機大会	1　件

＜考　察＞

　応募者は12人、途中キャンセル2人で、教室の参加人数は10人でした。
音楽療法教室は、開始時間、開催時間、内容、講師の対応と全体的に満足度が高い結果となっています。
　コロナ禍が落ち着き、現在はマスク着用で歌唱ができるようになったので、満足度も上がっていると思われます。手拍子、ステップなど、身体を使った内容などのリクエストも聞かれました。
　新しいプログラム内容などについても講師と話合い、更に楽しい教室となるように努めていきたいと思います。

令和　5　年度

陶芸　アンケート実施報告

令和5年11月28日

【受講者数、等】

（定員　12　人）（ 全　10　回）

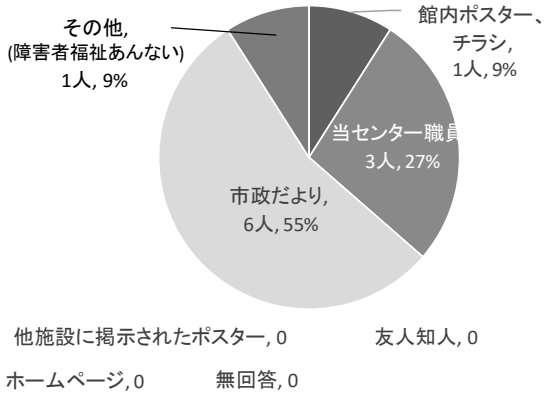
応募者数	15	人	利用者数（応募者-A-B））				11	人
A.補欠、落選者数	3	人	定員充足率	125	%	全回出席者数	5	人
B.途中キャンセル者数	1	人	平均出席者／回	10	人	平均出席率／回	83.3	%

【アンケート】

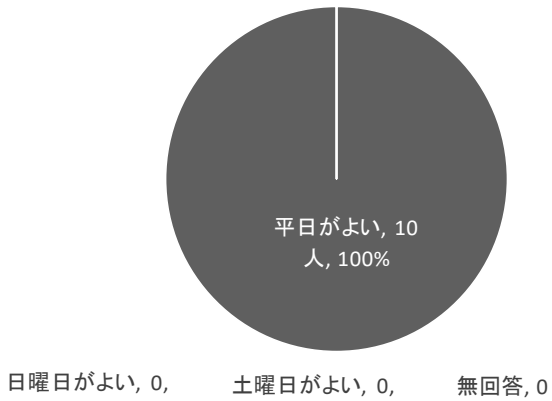
アンケート配布枚数	11	枚	アンケート回答者数	10	枚	回答率	91 %

＜教室についての質問＞

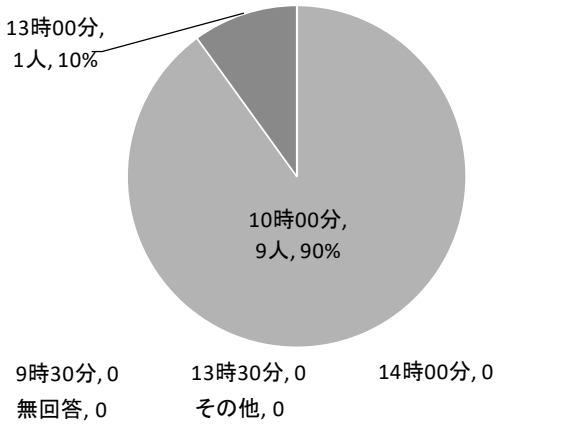
1.今回の催しを何で知りましたか(複数回答可)



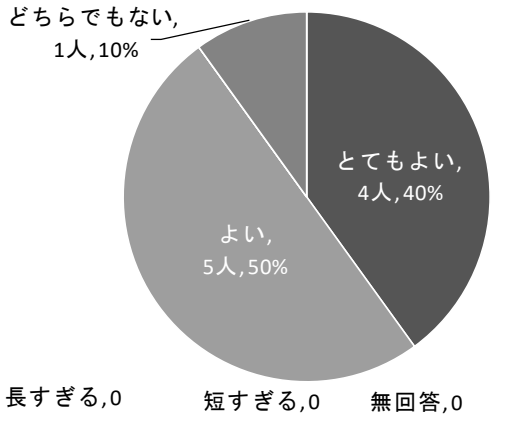
2.日程は何曜日がよいですか



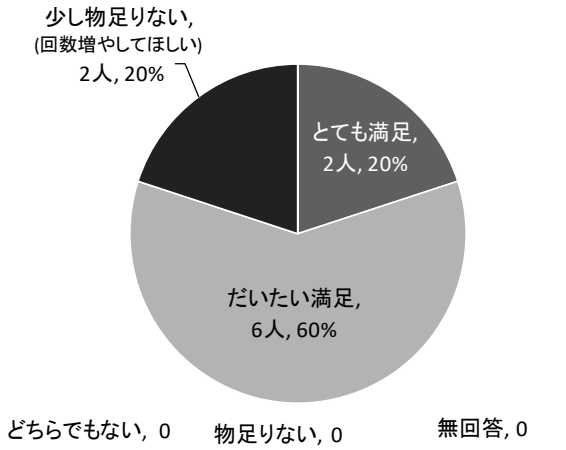
3.開始時間は何時からがよいですか



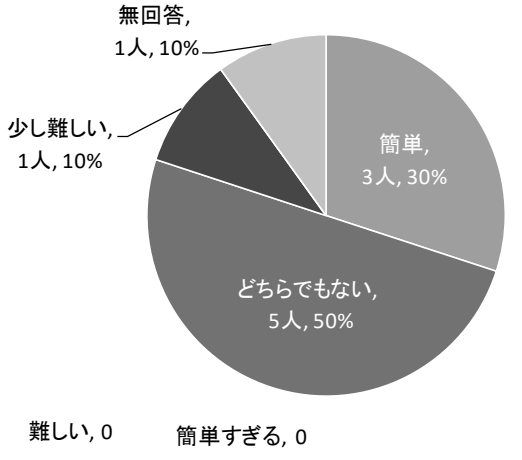
4.開催時間の長さはいかがでしたか

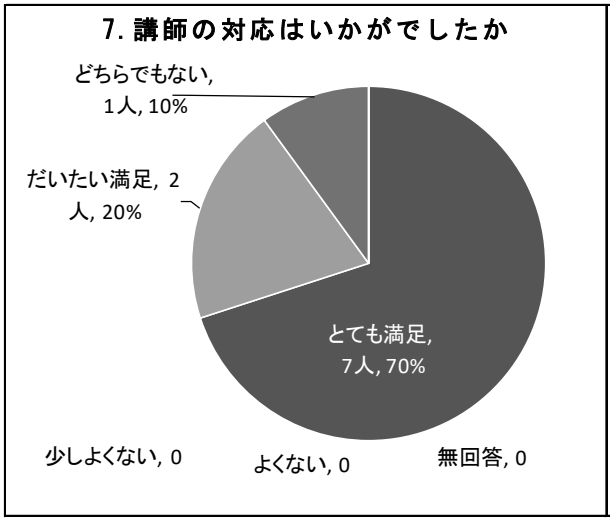


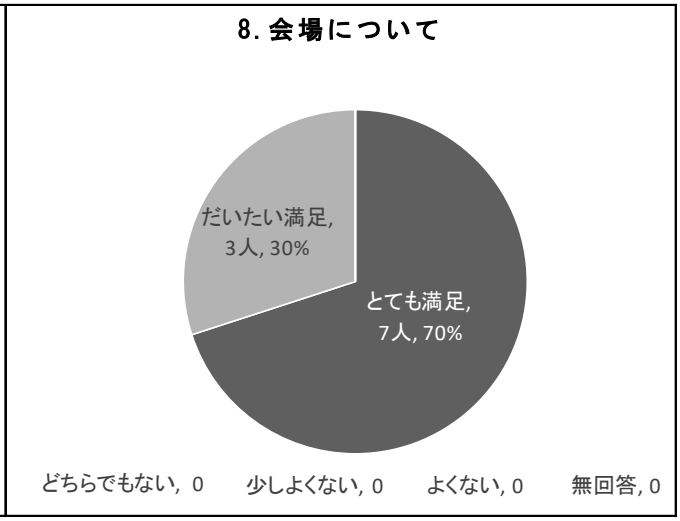
5.内容・プログラムはいかがでしたか



6.内容の難しさはいかがでしたか







ご意見、ご感想

ありがとうございました。	3　件
1年間楽しく出来ました。	2　件
職員が親切で配慮が行き届いていてよかったです。	2　件
先生方の丁寧な説明と職員の気遣いに感謝です。	1　件
展示作品が素晴らしく、見ているだけでパワーをいただけます。	1　件
自分の居場所ができた安心感が大きな支えになりました。	1　件
回数を増やしてほしいです。	1　件
座席は円状に配置したほうが学んでいる者同士の顔や作品が見られて良いと思いました。	1　件

今後行って欲しい企画

ブリッジ	1　件
クッキーづくり	1　件
染物	1　件
編み物	1　件

＜考　察＞

昨年度に引き続き、年間を通して陶芸教室を開催いたしました。申込の時点で、定員充足率125%と人気も高く、各項目の満足度をみても、全体的に高評価だったことが伺えます。

また、内容・プログラムについての項目で「少し物足りない」というご意見がでましたが、これは教室の回数を増やしてほしいという観点から、現状内容自体には満足しており、本人からも、この教室への感謝の声をもらっています。教室回数に関しては、増やしてほしいという意見もいくつか上がっておりますが、来年度は大規模改修による教室(場所)変更も考えられるため、回数は変えず、場所が変わっても利用者の方に楽しんでもらえる教室となるように職員でフォローし、来年度の様子を見ながら再来年度以降、回数を増やすことも視野にいれていけたらと考えます。

令和　5　年度

絵手紙 アンケート実施報告

令和5年11月22日

【受講者数、等】

（定員　12　人）（ 全　10　回）

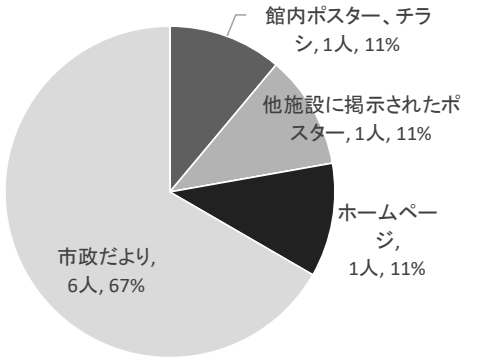
応募者数	13	人	利用者数（応募者-A-B））			12	人
A.補欠、落選者数	1	人	定員充足率	108	%	全回出席者数	4 人
B.途中キャンセル者数	0	人	平均出席者／回	9.5	人	平均出席率／回	80 %

【アンケート】

アンケート配布枚数	9 枚	アンケート回答者数	9 枚	回答率	100 %

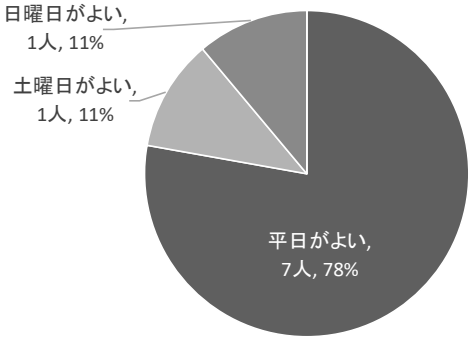
＜教室についての質問＞

1.今回の催しを何で知りましたか(複数回答可)



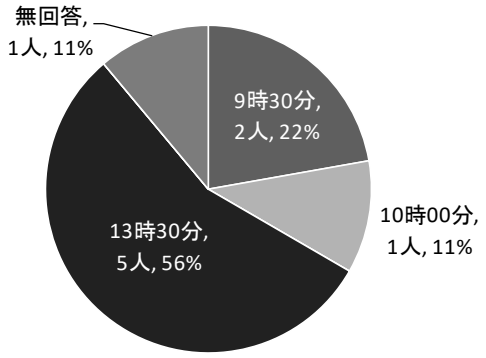
当センター職員,0　友人知人,0　その他,0　無回答,0

2.日程は何曜日がよいですか



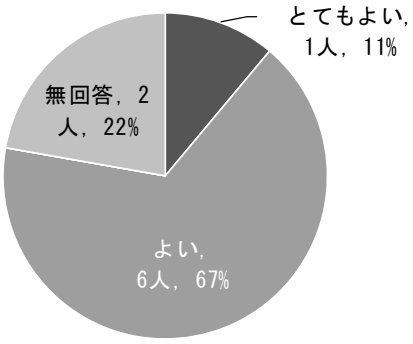
無回答,0

3.開始時間は何時からがよいですか



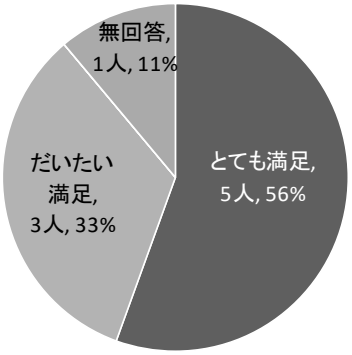
13時00分,0　14時00分,0　その他,0

4.開催時間の長さはいかがでしたか



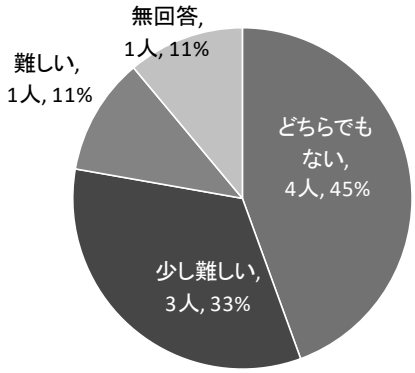
長すぎる，0　短すぎる，0　どちらでもない，0

5.内容・プログラムはいかがでしたか



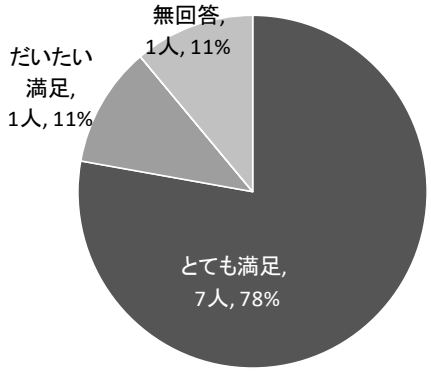
どちらでもない，0　少し物足りない，0　物足りない，0

6.内容の難しさはいかがでしたか



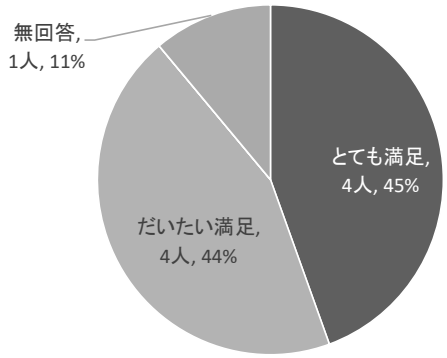
簡単すぎる,0　簡単,0

7. 講師の対応はいかがでしたか



どちらでもない, 0　少しよくない, 0　よくない, 0

8. 会場について



どちらでもない, 0　少しよくない, 0　よくない, 0

ご意見、ご感想

・体調を崩し全く見ておりませんのでご容赦を（アンケート項目5～9は未記入）。	1　件
・大変お世話になりありがとうございます。楽しかったです。	1　件
・大変お世話になりました。皆さんと会えるのも楽しみでした。	1　件
・楽しい時間を過ごしています。ありがとうございます。	1　件

今後行って欲しい企画

	0　件

＜考　察＞

この教室は、毎回季節に応じた題材の絵を描くだけでなく、そこに思い思いの何気ない言葉を添えて表現するという大変奥深い内容です。

定員に対する応募者数の比率を示す定員充足率は100%を超えており、１回あたりの平均出席率は80%という高水準となっています。

さらに、内容については約9割の方が「とても満足」及び「だいたい満足」で、講師の対応についても「とても満足」及び「だいたい満足」で約9割となっており、受講にあたっての満足度が非常に高く、人気の高い教室であることがわかります。

内容の難しさに対する問いについて、約5割近くの方が「難しい」及び「少し難しい」と回答しています。絵を描くこと自体の難しさもあると思いますが、それをいかに、よりやさしく取り組めるよう伝えていくかについて講師と話し合っていきたいと思います。

令和　5　年度　　パソコン アンケート実施報告　　令和5年11月15日

【受講者数、等】　（定員　12　人）（ 全　18　回）

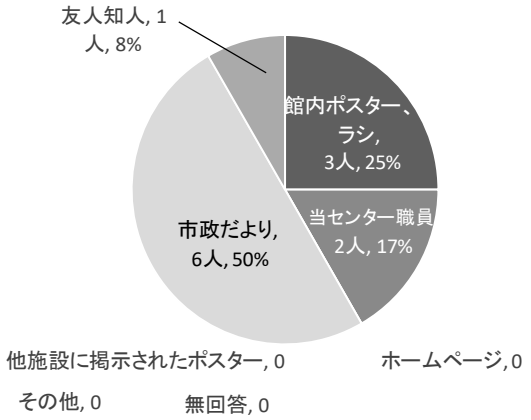
応募者数	15	人	利用者数（応募者-A）				11	人
A.補欠、落選者数	3	人	定員充足率	125	%	全回出席者数	2	人
B.途中キャンセル者数	1	人	平均出席者／回	8.6	人	平均出席率／回	72	%

【アンケート】

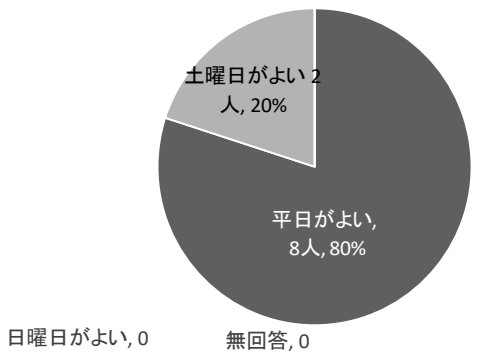
アンケート配布枚数	11 枚	アンケート回答者数	10 枚	回答率	91 %

＜教室についての質問＞

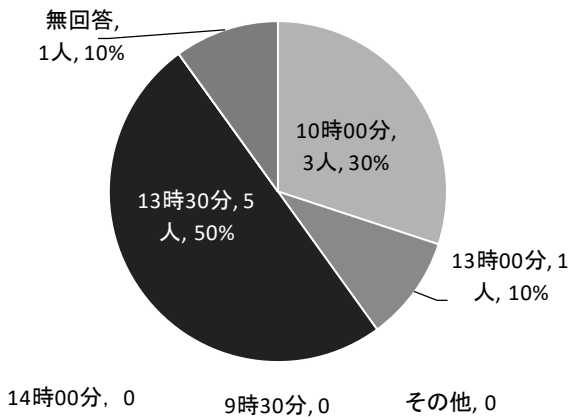
1.今回の催しを何で知りましたか(複数回答可)



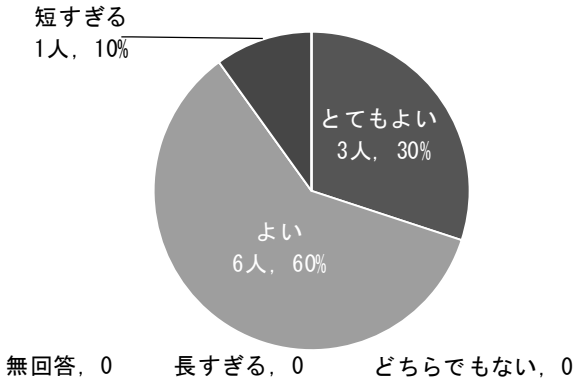
2.日程は何曜日がよいですか



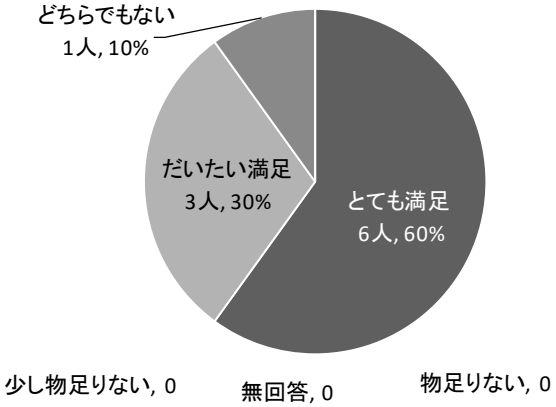
3.開始時間は何時からがよいですか



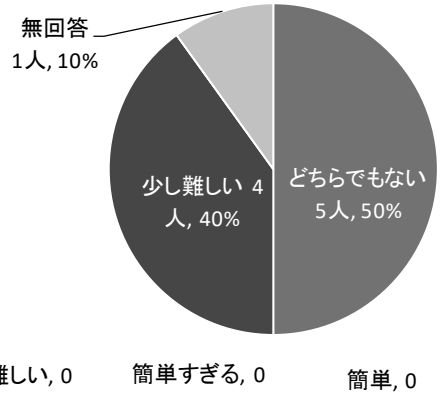
4.開催時間の長さはいかがでしたか

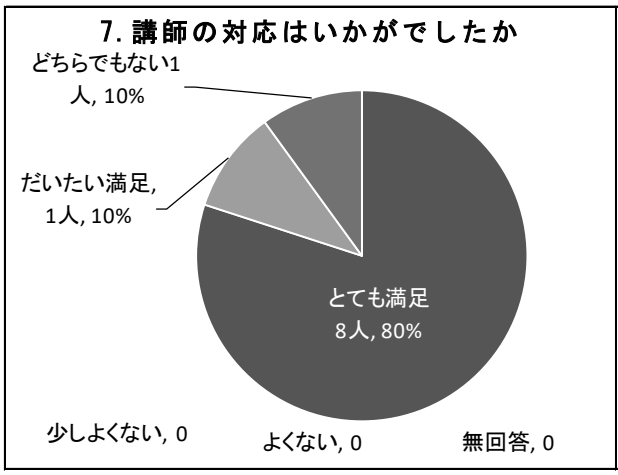


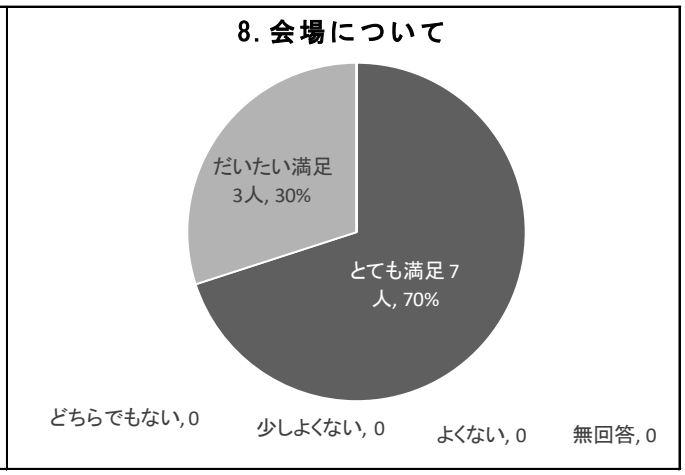
5.内容・プログラムはいかがでしたか



6.内容の難しさはいかがでしたか







ご意見、ご感想

今回は初めての参加でしたが、少しレベルアップした講座を受けてみたいです。	1　件
この次のクラス（レベルアップ）はあるのか知りたいです。	1　件
進め方がゆっくりでわかりやすかったです。	1　件
いつも色々お世話になっております。ありがとうございます。	1　件

今後行って欲しい企画

パソコン初級、中級のようなレベル別の講座を開催してほしいです。	1　件
タブレット教室	1　件
吹矢	1　件
テニス	1　件

＜考　察＞

今年度も、初参加の方とリピーターの方、両方から申込、参加がありました。今年度から講師が変更になりましたが、内容・プログラム・講師対応について「とても満足」・「だいたい満足」が多数となり、高評価でした。

ふれあいの家のパソコン教室は、はじめての方向けの教室を開催することにより、社会参加の機会を提供する役割を担うという目的のため、初心者向けの内容となっています。そのため、リピーターの方からは、レベルアップした内容を受講したいとの意見がありました。

今後は、パソコン応用編の講座やスマホ・タブレット短期教室等の開催も検討していきたいと思います。

令和　5　年度

書道 アンケート実施報告

令和5年11月22日

【受講者数、等】

（定員　12　人）（ 全　18　回）

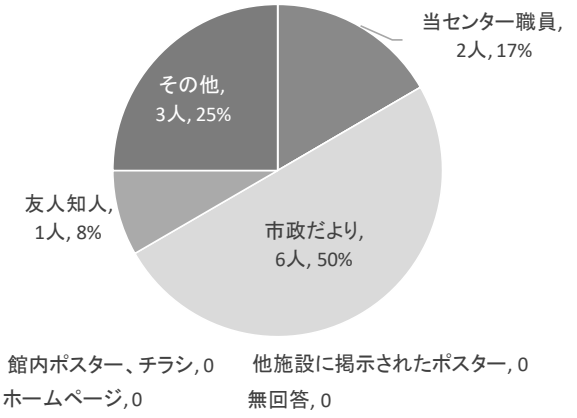
応募者数	12	人	利用者数（応募者-A-B））			12	人
A.補欠、落選者数	0	人	定員充足率	100	%	全回出席者数	2 人
B.途中キャンセル者数	0	人	平均出席者／回	10	人	平均出席率／回	86 %

【アンケート】

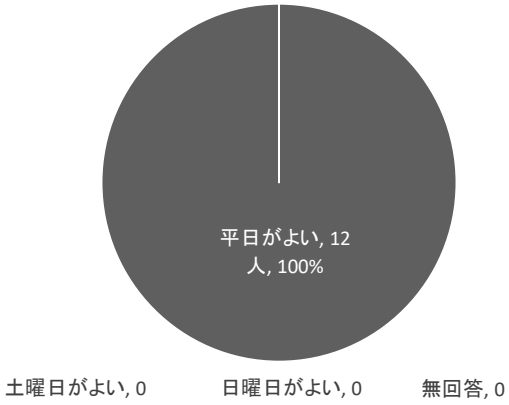
アンケート配布枚数	12 枚	アンケート回答者数	12 枚	回答率	100 %

＜教室についての質問＞

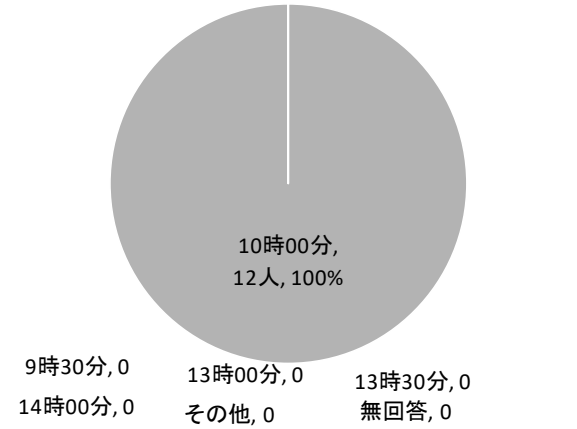
1.今回の催しを何で知りましたか(複数回答可)



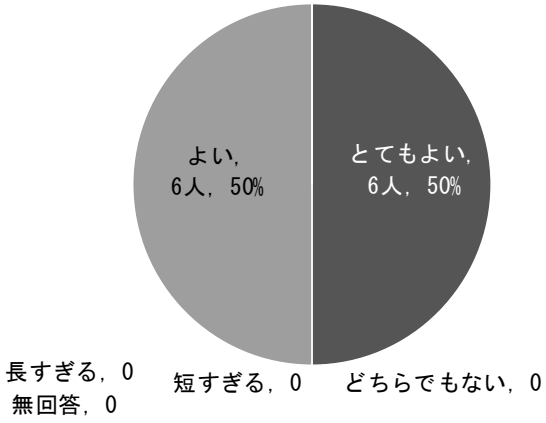
2.日程は何曜日がよいですか



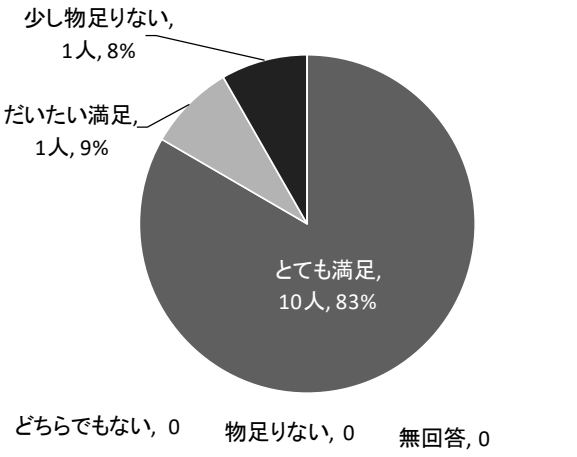
3.開始時間は何時からがよいですか



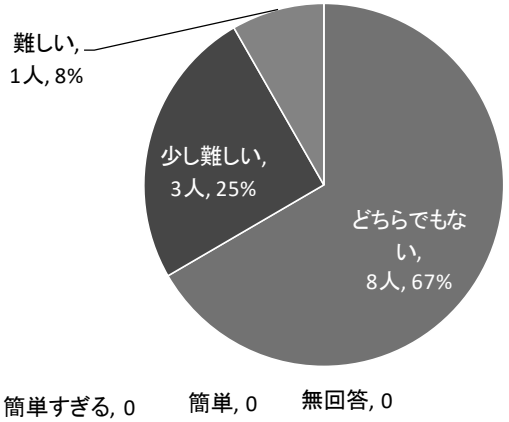
4.開催時間の長さはいかがでしたか

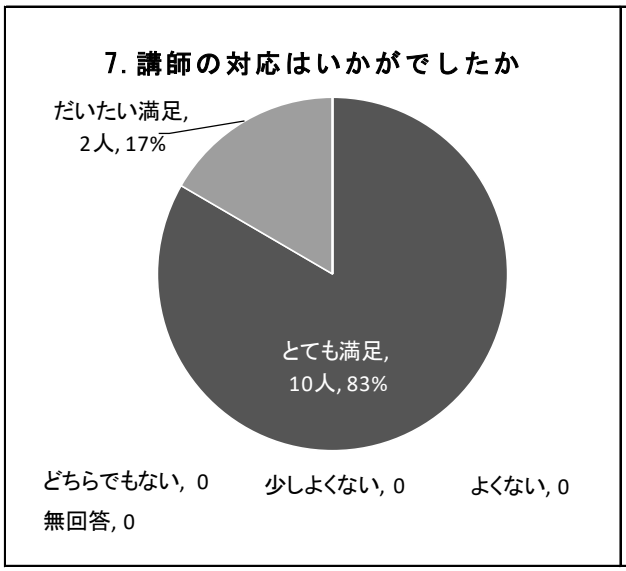


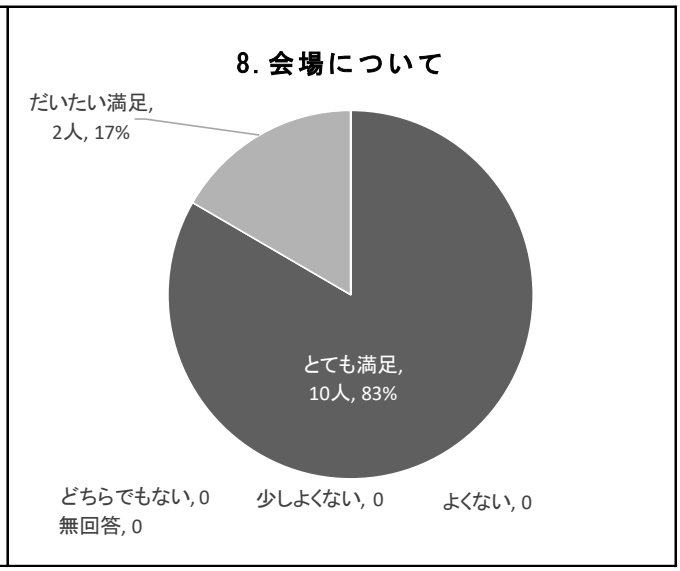
5.内容・プログラムはいかがでしたか



6.内容の難しさはいかがでしたか







ご意見、ご感想

・自分の力量に合わせて進められるので大変助かります。	1　件
・毎回抽選でひやひやします。希望者全員が受講出来る様に配慮をお願いします。	1　件
・楽しく参加させてもらっています。	1　件
・日々慌ただしく過ごしている中、書道に集中し、私には貴重な時間です。	1　件
・楽しく通っています。	1　件
・いつもありがとうございます。来年もよろしくお願いします。	1　件

今後行って欲しい企画

・ペン習字、健康マージャン	1　件
・マージャン	1　件
・障害者のみでなく、健常者と交流できる競技。ボッチャ、モルックを短期で。	1　件
・ウクレレ	1　件

＜考　察＞

当教室を知った経緯は、「市政だより」が半分、次に「当センター職員」、「友人・知人」と続き、「その他」もあることから、教室の周知が効果的にバランス良く行われていると感じます。

内容の難しさという問いについて、「少し難しい」3人、「難しい」1人と感じた方がいました。これは、受講者12人中、初めての方が4人おり、その中には視覚障害者1人が含まれていることも関係していると思われます。

指導にあたっては、利用者の障害特性や習熟度に合わせたきめ細やかな配慮が求められ、今後はこの点についても事前に講師と十分な打ち合わせを行っていきたいと思います。

令和　5　年度

組紐　アンケート実施報告

令和5年11月25日

【受講者数、等】

（定員　12　人）（ 全　18　回）

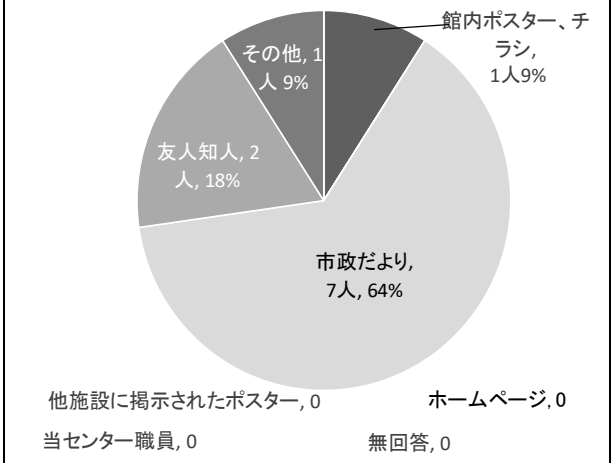
応募者数	12	人	利用者数（応募者-A-B））			10	人
A.補欠、落選者数	0	人	定員充足率	100	%	全回出席者数	3 人
B.途中キャンセル者数	2	人	平均出席者／回	8.7	人	平均出席率／回	73 %

【アンケート】

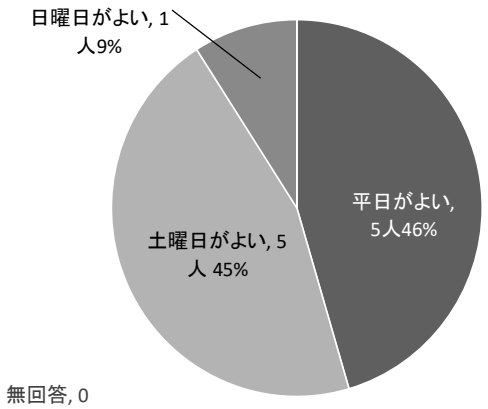
アンケート配布枚数	11 枚	アンケート回答者数	11 枚	回答率	100 %

＜教室についての質問＞

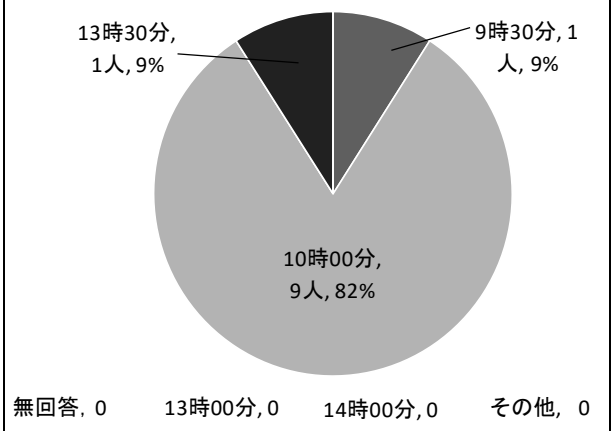
1.今回の催しを何で知りましたか(複数回答可)



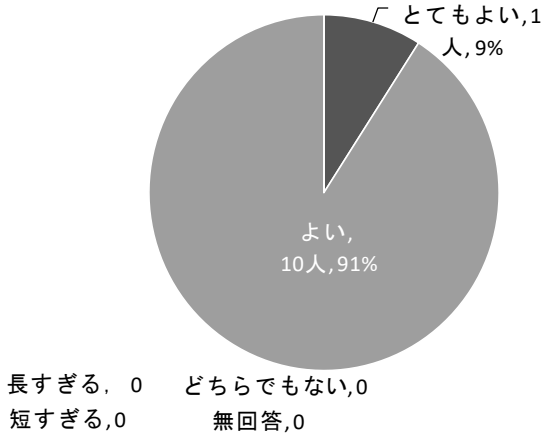
2.日程は何曜日がよいですか



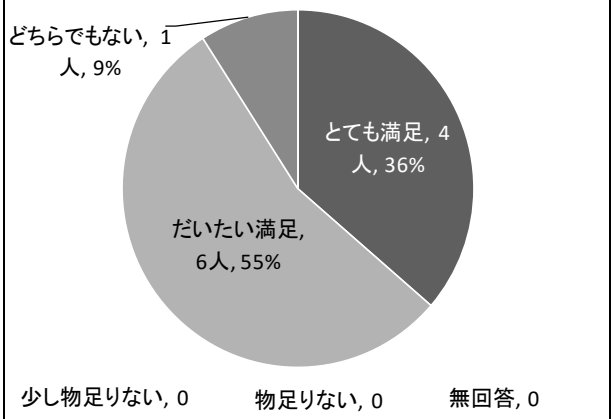
3.開始時間は何時からがよいですか



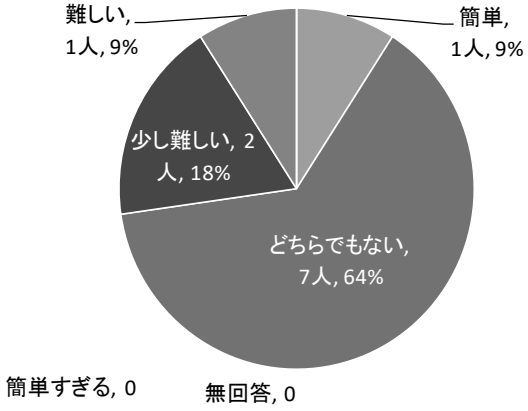
4.開催時間の長さはいかがでしたか



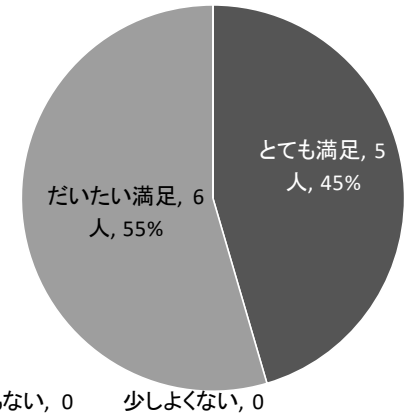
5.内容・プログラムはいかがでしたか



6.内容の難しさはいかがでしたか

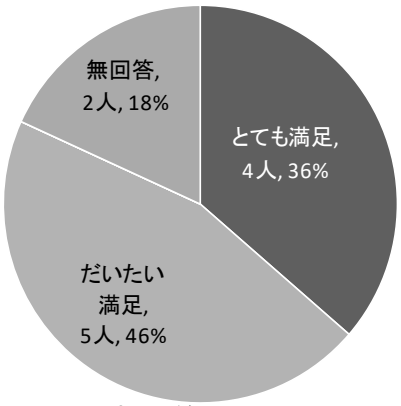


7. 講師の対応はいかがでしたか



どちらでもない, 0　少しよくない, 0
よくない, 0　無回答, 0

8. 会場について



どちらでもない, 0　少しよくない, 0　よくない, 0

ご意見、ご感想

作る物を自由にしていただき良かったです。	1　件
金具の取り付けを自分でやりたいので、やり方を知りたいです。	1　件
組紐は初めてやったので良いきっかけになりました。作品が色々作れて嬉しかったです。	1　件
料金設定不確定が気になりました。事前に、紐代や仕上げ代それぞれいくらと知らせてほしかったです。	1　件
ありがとうございました。	1　件

今後行って欲しい企画

麻雀	1　件
レクリエーション(体を動かすもの)	1　件
目が不自由でもできるものがやりたいです。	1　件
つまみ細工、洋裁	1　件

＜考　察＞

組紐教室では、講師と助手が各席に回りながら一人一人自分に合った作品を作る形で進み、皆さん思い思いの作品を作製していました。

受講者数も、参加者の方の都合で途中キャンセルが2人いたものの、12人の応募があり、充足率100%と、多くの皆様にご参加いただけました。又、この催しを知った理由欄の館内ポスターが1人という結果だったので来年度以降のポスター掲示に工夫が必要だと気づけたいい結果でした。

教室内容として「少し物足りない」と感じた方はいなかったが「少し難しい」・「難しい」と考えた方が3人いました。職員もフォローに入り適度な難易度に感じてもらえたらよかったと感じました。

感想欄では、自由に作品を作れる形の教室運営が良かったと意見がありました。しかし、自由にしたことにより、材料費が不確定となってしまったことが気になったと意見がありました。今後の対応策として、糸の金額等ご理解いただけるよう充分に説明していく必要性を感じました。

令和　5　年度　　アートDEふれあい　アンケート実施報告　　令和5年11月21日

【受講者数、等】　（定員　12　人）（全　18 回）

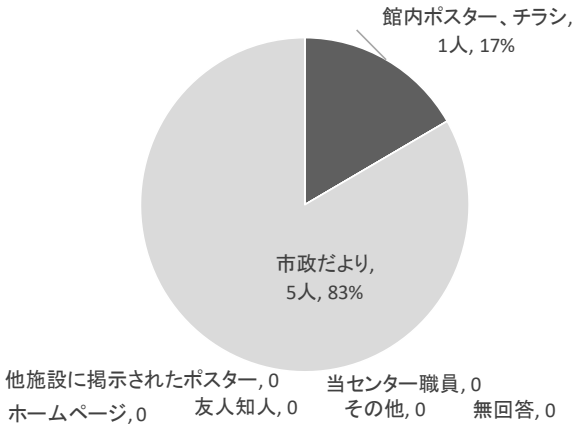
応募者数	6	人	利用者数（応募者-A-B））				6	人
A.補欠、落選者数	0	人	定員充足率	50	%	全回出席者数	1	人
B.途中キャンセル者数	1	人	平均出席者／回	4.3	人	平均出席率／回	72	%

【アンケート】

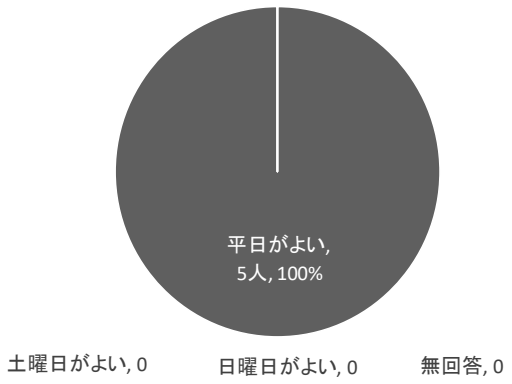
アンケート配布枚数	5	枚	アンケート回答者数	5	枚	回答率	100 %

＜教室についての質問＞

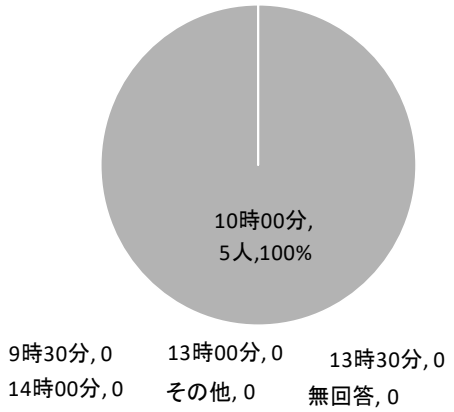
1.今回の催しを何で知りましたか(複数回答可)



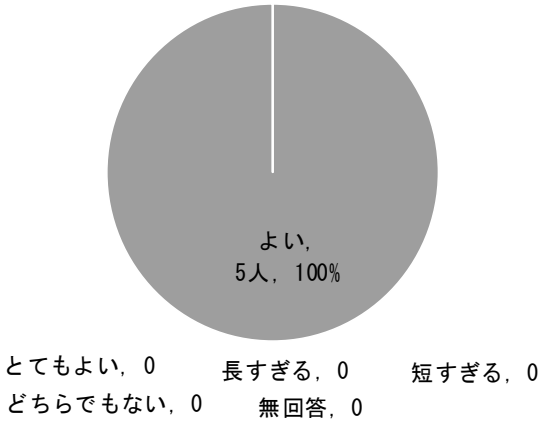
2.日程は何曜日がよいですか



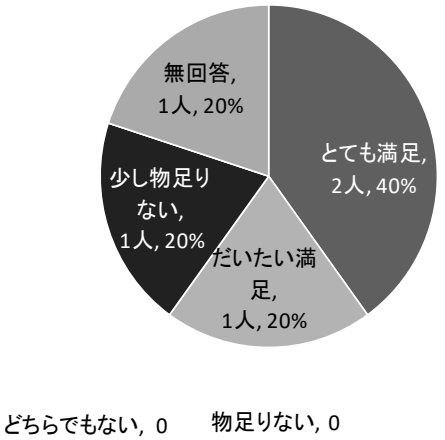
3.開始時間は何時からがよいですか



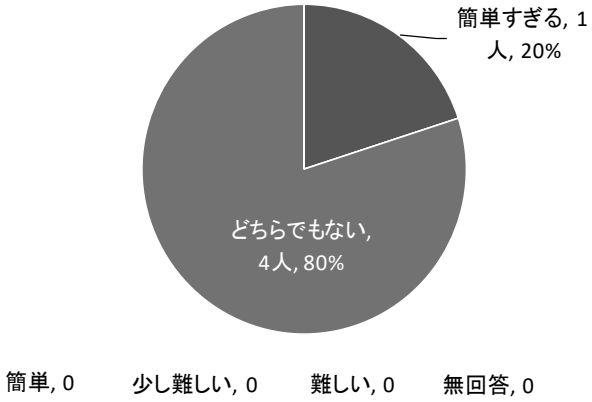
4.開催時間の長さはいかがでしたか



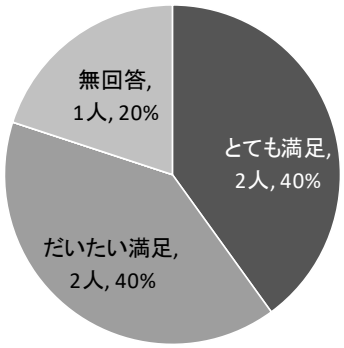
5.内容・プログラムはいかがでしたか



6.内容の難しさはいかがでしたか

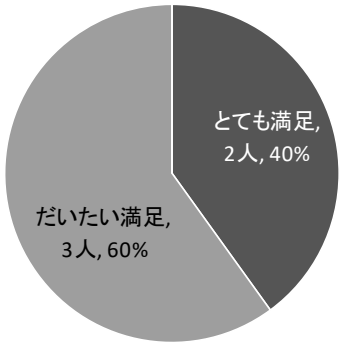


7. 講師の対応はいかがでしたか



どちらでもない, 0　少しよくない, 0　よくない, 0

8. 会場について



どちらでもない, 0　少しよくない, 0　よくない, 0　無回答, 0

ご意見、ご感想

・ステキな作品が出来ました。	1　件
・ステキな作品が出来ました。来年も干支の葉書講習会お願いします。	1　件

今後行って欲しい企画

	0　件

＜考　察＞

　この教室は、様々な分野の講師を招いて、創作的な作品作りや幅広い教養を深めて日常生活に潤いをもたらしてくれる内容となっており、毎回素晴らしい作品が出来上がっています。
　しかしながら、定員に対する応募者数の比率を示す定員充足率は50%で、１回あたりの平均出席率は約７割となっています。
　講師の対応については8割の方が「とても満足」及び「だいたい満足」と答えていますが、内容については2割の方が「少し物足りない」と感じています。
　現在、内容の見直しを含めて事業者側と再検討しており、今後は、より多くの方にこれまで以上の興味を抱いてもらえる内容で応募者を増やしていきたいと思います。

令和　5　年度　　**ふれあいレク　アンケート実施報告**　　令和5年11月9日

【受講者数、等】

(定員　20　人）（ 全　18　回）

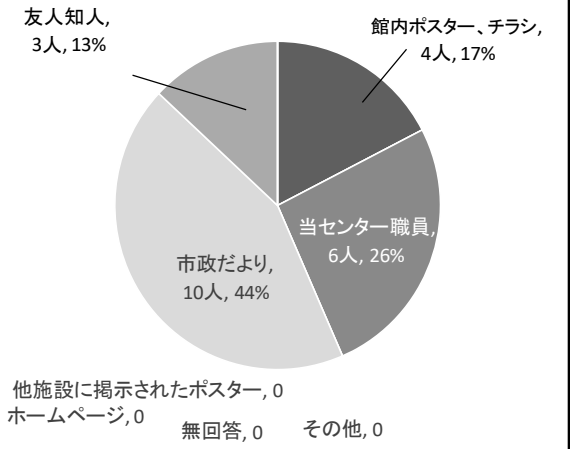
応募者数	20	人	利用者数（応募者-A-B））			19	人
A.補欠、落選者数	0	人	定員充足率	100	%	全回出席者数	5 人
B.途中キャンセル者数	1	人	平均出席者／回	15.9	人	平均出席率／回	80 %

【アンケート】

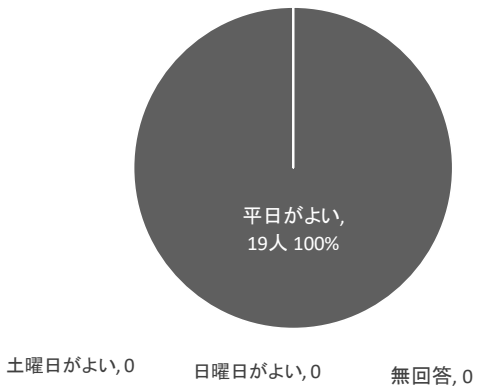
アンケート配布枚数	19 枚	アンケート回答者数	19 枚	回答率	100 %

＜教室についての質問＞

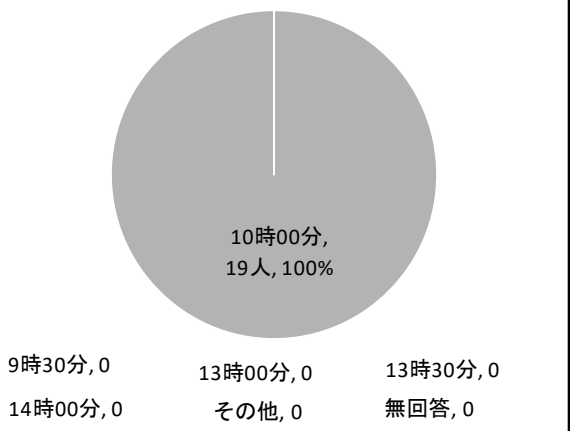
1.今回の催しを何で知りましたか(複数回答可)



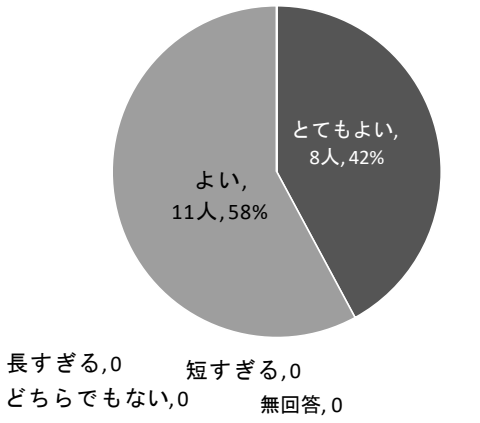
2.日程は何曜日がよいですか



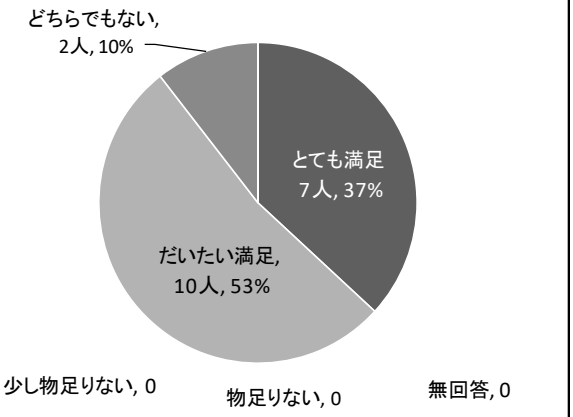
3.開始時間は何時からがよいですか



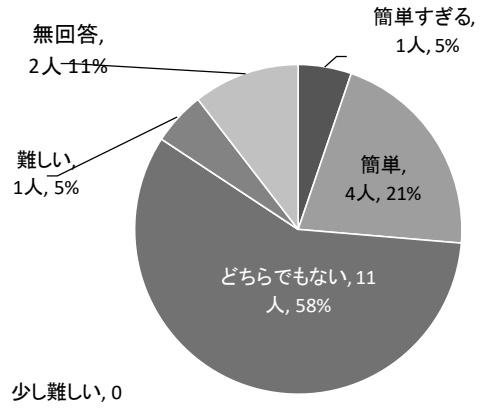
4.開催時間の長さはいかがでしたか



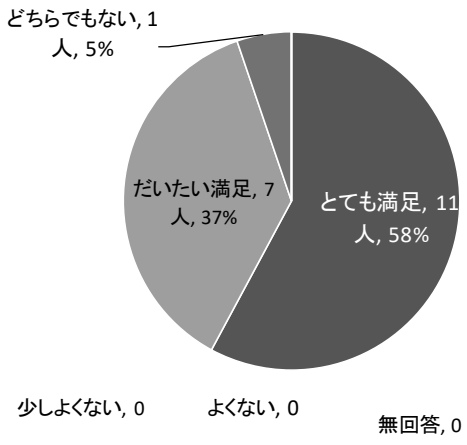
5.内容・プログラムはいかがでしたか



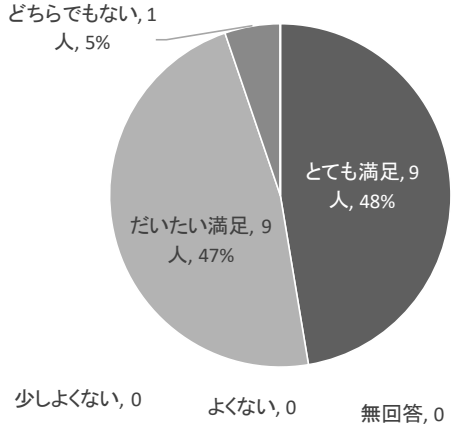
6.内容の難しさはいかがでしたか



7.講師の対応はいかがでしたか



8.会場について



ご意見、ご感想

いつも楽しいです。ありがとうございます。	4　件
ここ(療育センター体育室)で続けられることを願っています。	1　件
今年になって教室が明るくなり、人間関係もよくなりつつあって嬉しいです。	1　件
他の予定と日にちが重なっているので、休む時があって残念です。	1　件
先生の指導がとても良いです。	1　件

今後行って欲しい企画

	0　件

＜考　察＞

今年度から新規の講師を招いての開催でした。
日程や開始時間、開催時間について皆様より「とてもよい」「よい」という意見が多数でした。
教室の内容については「だいたい満足」の回答が多くみられましたが、難しさについては「簡単」「難しい」「どちらでもない」に意見が分かれました。
フライングディスクを使った的あてを行いましたが、席を円形に配置した状態から中心にある的に向けて投げる形だったため、的や席の位置、身体状況によって難易度が変わるのではと感じました。
講師の対応については「とても満足」の回答が半数以上を占めました。
教室を運営していく中で新しい講師に昨年度までの教室を参考にしつつ、風船バレーの取り組み方や内容全般について相談する等、丁寧に接してもらった結果だと感じました。
受講者からは「先生の指導がとても良い」など好意的な感想がありました。
次年度もまた講師の方と相談をしながら、より良い教室になるように努めます。

令和　5　年度

卓球　アンケート実施報告

令和5年11月22日

【受講者数、等】

（定員　20　人）（ 全　18　回）

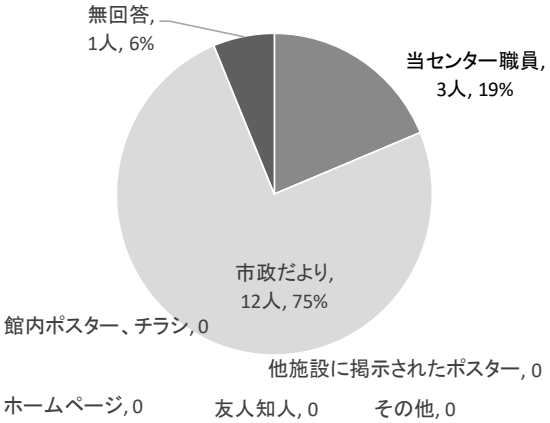
応募者数	18	人	利用者数（応募者-A-B））				17	人
A.補欠、落選者数	0	人	定員充足率	90	%	全回出席者数	3	人
B.途中キャンセル者数	1	人	平均出席者／回	13.3	人	平均出席率／回	74	%

【アンケート】

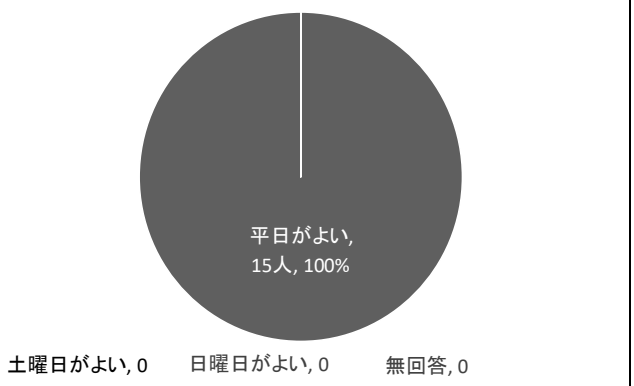
アンケート配布枚数	15	枚	アンケート回答者数	15	枚	回答率	100 %

＜教室についての質問＞

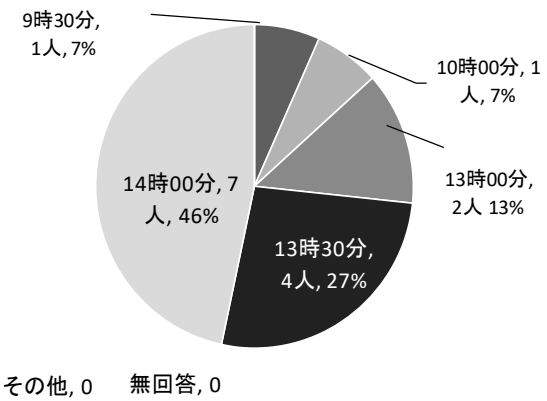
1.今回の催しを何で知りましたか(複数回答可)



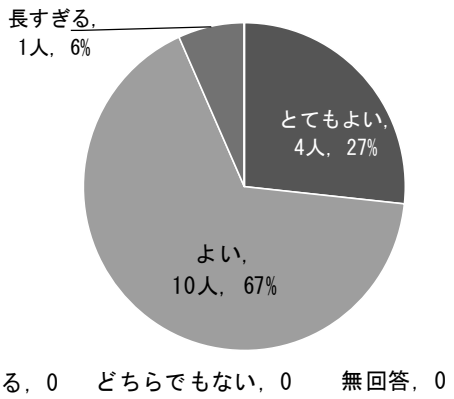
2.日程は何曜日がよいですか



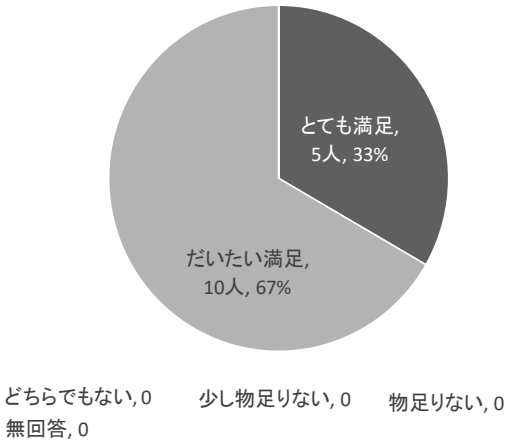
3.開始時間は何時からがよいですか



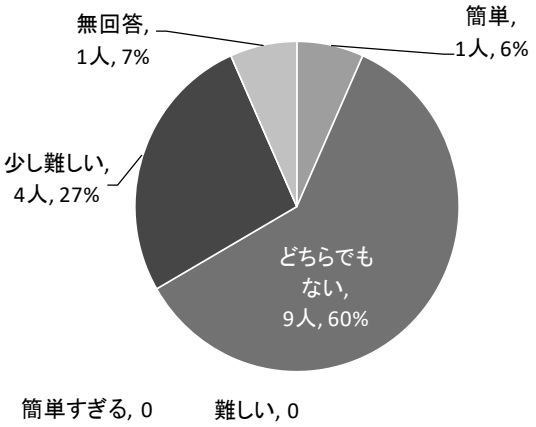
4.開催時間の長さはいかがでしたか



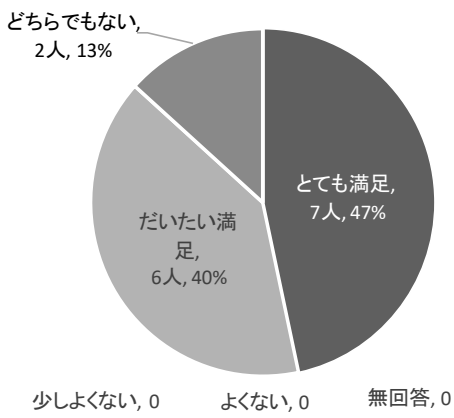
5.内容・プログラムはいかがでしたか



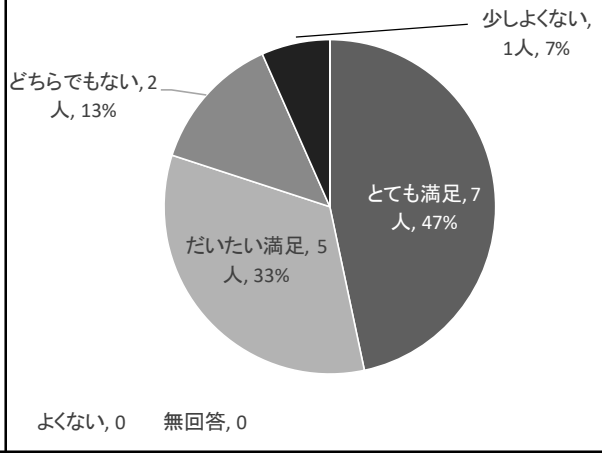
6.内容の難しさはいかがでしたか



7. 講師の対応はいかがでしたか



8. 会場について



ご意見、ご感想

・今後も参加して続けていけれたらと思っています。回数をもっと増やしてほしい。	1　件
・いつも色々とお世話いただきありがとうございます。	1　件
・いつも楽しく参加させていただいています。これからも続けたい。	1　件
・外に出る機会の少なくなりがちな障害者に良い機会を提供してくださり感謝の気持ちで一杯。	1　件
・楽しくさせていただいています。	1　件
・来年どうなるんでしょうか？	1　件

今後行って欲しい企画

・ストレッチ体操	2　件
・モルック	2　件
・健康マージャン	1　件
・バドミントン	1　件
・ヨガ、モリスタ（棒倒しのようなもの）	1　件
・ヨガビリー	1　件

＜考　察＞

昨年度からのリピーターの方だけでなく、新規の方も含めての開催でした。

内容の難しさについて「簡単」「どちらでもない」「少し難しい」と回答にばらつきがありました。今年度も卓球台を並べて時間ごとにローテーションする形をとりましたが、講師の進行に対して理解に時間がかかる方がいる等、昨年度までの経験者と新規の方で差が生じているのではないかと感じました。

開催時間の中に「長すぎる」というご意見がありました。特に夏場は休憩時間を多めにとる等、受講者の体調への配慮を今後も行っていくべきだと感じました。

また来年度の開催について懸念されている方の意見がありました。こちらについては今後、来年度の開催場所に合わせた内容を講師と職員で検討していきます。

令和　5　年度　　**ボッチャ アンケート実施報告**　　令和5年12月7日

【受講者数、等】　（定員　18　人）（ 全　10 回）

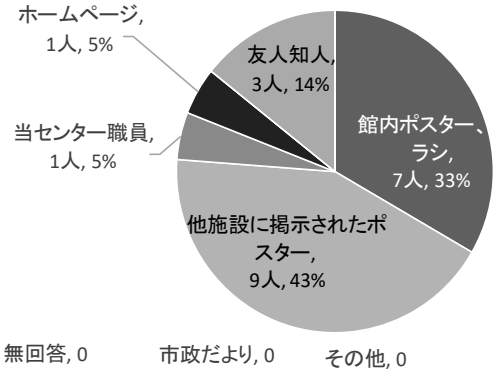
応募者数	18	人	利用者数（応募者-A-B）			18	人
A.補欠、落選者数	0	人	定員充足率	100	%	全回出席者数	7 人
B.途中キャンセル者数	0	人	平均出席者／回	16	人	平均出席率／回	87 %

【アンケート】

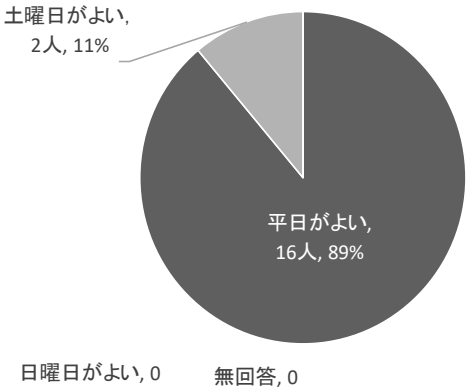
アンケート配布枚数	18 枚	アンケート回答者数	18 枚	回答率	100 %

＜教室についての質問＞

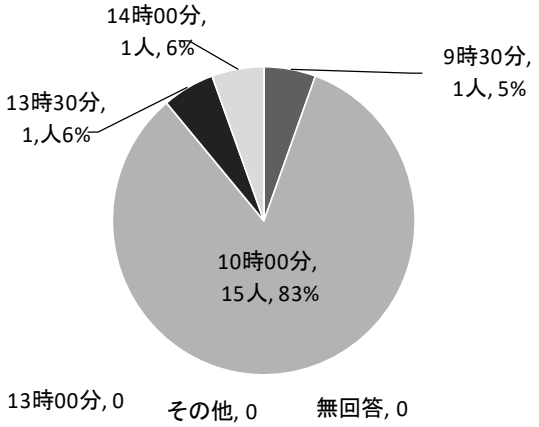
1.今回の催しを何で知りましたか(複数回答可)



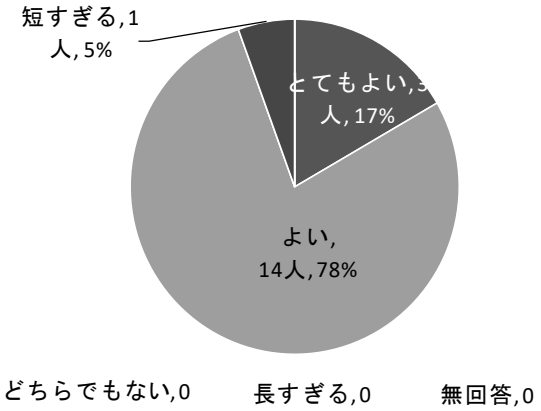
2.日程は何曜日がよいですか



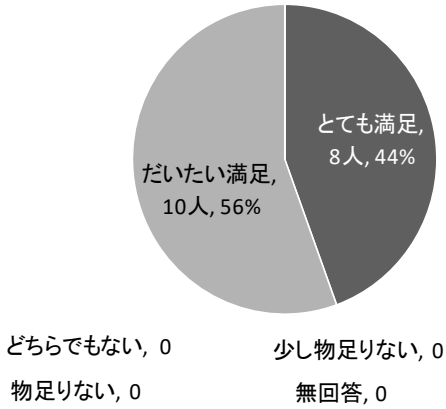
3.開始時間は何時からがよいですか



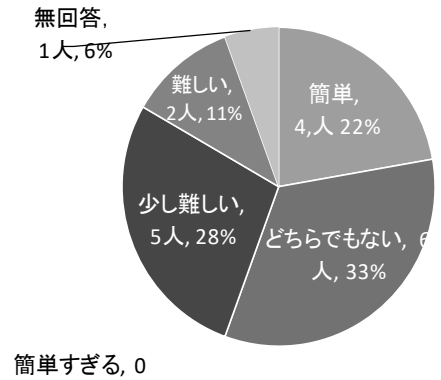
4.開催時間の長さはいかがでしたか

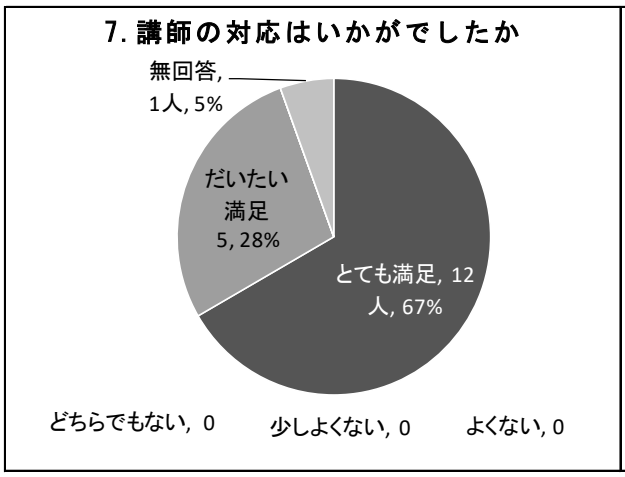


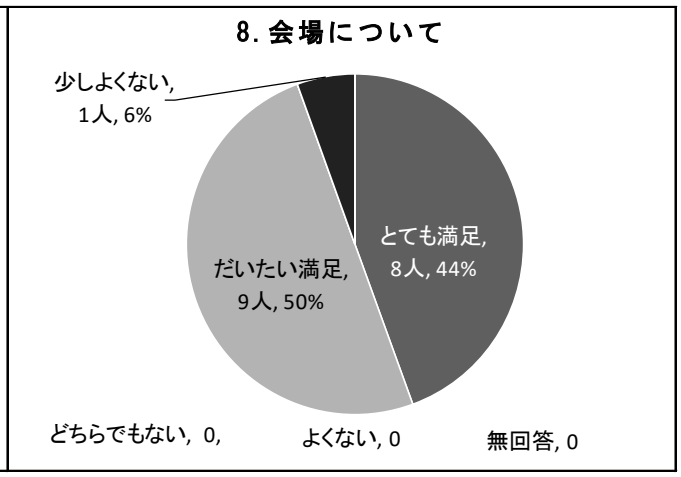
5.内容・プログラムはいかがでしたか



6.内容の難しさはいかがでしたか







ご意見、ご感想

毎回とても楽しみです。	3　件
いつも笑顔と優しさをありがとうございます。	2　件
来年も続けてほしいです。	1　件
会場が広くて明るい。	1　件
月1回の教室が楽しみです。仲間も出来て、本人にも家族にも良い影響を与えてくれています。	1　件
ボッチャをやってみたいと思っていたので体験出来て良かったです。	1　件

今後行って欲しい企画

フライングディスク	1　件
ふれあいレクを増やしてほしい	1　件
ヨガビリー	1　件

＜考　察＞

定員に対する応募者数の比率を示す定員充足率は100%で、１回あたりの平均出席率は90%近くを維持しています。

さらに内容について、全員が「とても満足」又は「だいたい満足」のいずれかで、講師の対応に対しては「とても満足」及び「だいたい満足」で90%以上を占めており、受講にあたっての満足度が非常に高く、とても人気の高い教室であることがわかります。

内容の難しさに対する問いについては、約4割の方が「難しい」及び「少し難しい」と回答しています。ボッチャというスポーツ自体の奥深さもあるでしょうが、それをいかに、よりわかりやすく伝えていくかを講師と話し合っていきたいと思います。

令和　5　年度　　ＳＴＴ　アンケート実施報告　　令和5年11月24日

【受講者数、等】

（定員　12　人）（ 全　10　回）

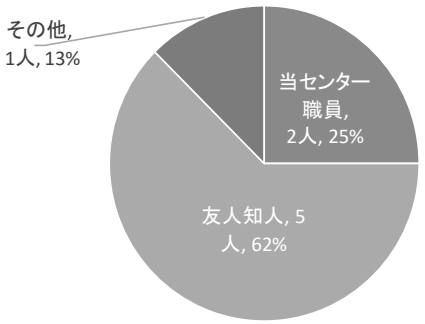
応募者数	8	人	利用者数（応募者-A-B））			8	人
A.補欠、落選者数	0	人	定員充足率	66.7	%	全回出席者数	2 人
B.途中キャンセル者数	0	人	平均出席者／回	6.0	人	平均出席率／回	75 %

【アンケート】

アンケート配布枚数	8 枚	アンケート回答者数	8 枚	回答率	100 %

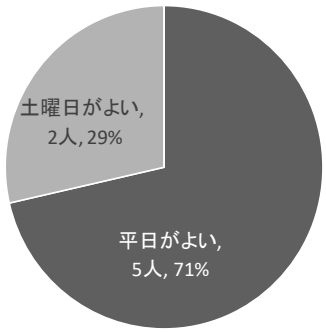
＜教室についての質問＞

1.今回の催しを何で知りましたか(複数回答可)



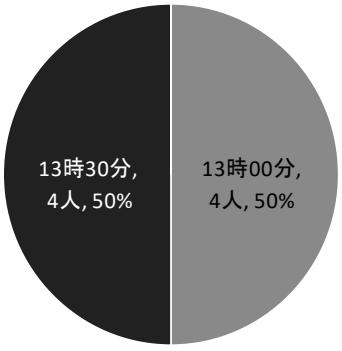
館内ポスター、チラシ,0　他施設に掲示されたポスター,0
ホームページ,0　市政だより,0　無回答,0

2.日程は何曜日がよいですか



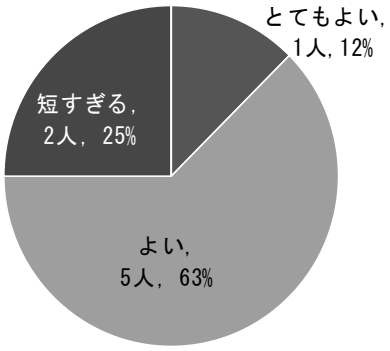
日曜日がよい,0　無回答,0

3.開始時間は何時からがよいですか



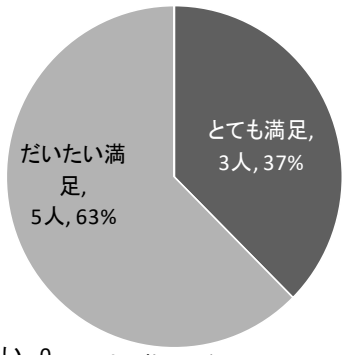
9時30分,0　10時00分,0　14時00分,0
その他,0　無回答,0

4.開催時間の長さはいかがでしたか



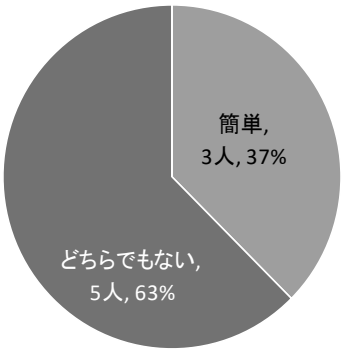
長すぎる，0　どちらでもない，0　無回答，0

5.内容・プログラムはいかがでしたか



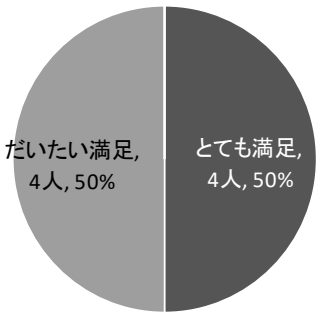
どちらでもない，0　少し物足りない，0　物足りない，0
無回答,0

6.内容の難しさはいかがでしたか



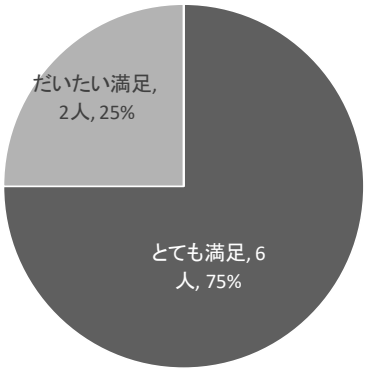
簡単すぎる,0　少し難しい,0　難しい,0　無回答,0

7. 講師の対応はいかがでしたか



どちらでもない, 0　少しよくない, 0　よくない, 0
無回答, 0

8. 会場について



どちらでもない, 0　少しよくない, 0　よくない, 0　無回答, 0

ご意見、ご感想

・土日に開催してもらいたい。時間を長くしてもらいたい。	1　件
・飲料自販機に点字表記希望（現在は商品番号のみなので、商品名も希望）。県スポレクセンターはそのようになっている。	1　件
・バス旅行の際に千葉駅でも乗降できるようにしてほしい（以前のように）。又は、稲毛駅等でボランティアと合流してからふれあいの家に行けるようにしてほしい。	1　件
・他のSTT団体との交流がしたい。	1　件
・定員オーバーしていなければ、年間の途中でも入りたい人がいたら参加させてあげると良い。	1　件
・講師の教え方に満足している。	1　件

今後行って欲しい企画

・視覚障害者向けの教室を増やしてほしい。	1　件
・ヨガビリー	1　件
・他のSTT団体との交流会	1　件
・視覚障害者向けの体操（STTと同じ日が良い。来所が大変なので）。	1　件
・ゴルフ（教えてもらえなくても、目が見えないため連れて行ってもらえるだけでうれしい）。	1　件
・グランドゴルフ、フライングディスク	1　件

＜考　察＞

STT教室は、視覚障害者のみを対象にした唯一の通年教室です。
「開催時間の長さ」という問いについて、「短すぎる」との方が1/4いましたが、他の教室とのバランスもあり、現在の2時間を超えることは困難です。
しかしながら、現在月1回開催を2回に増やすことが出来るかについて検討は必要と感じます。
申し込み者が定員を下回っている点について、周知方法を工夫していきたいと思います。
さらに、自由記述欄に「視覚障害者向けの教室を増やしてほしい」との意見が寄せられており、日頃、視覚障害者にとって社会参加活動が少ないことを考え、短期講座等で視覚障害者の方が参加できるような企画を考えていきたいと思います。

イ　短期教室

令和　5　年度　　**写真講評会**　　**アンケート実施報告**　　令和5年6月1日

【受講者数、等】　　（定員　10 人）（全　1　回）

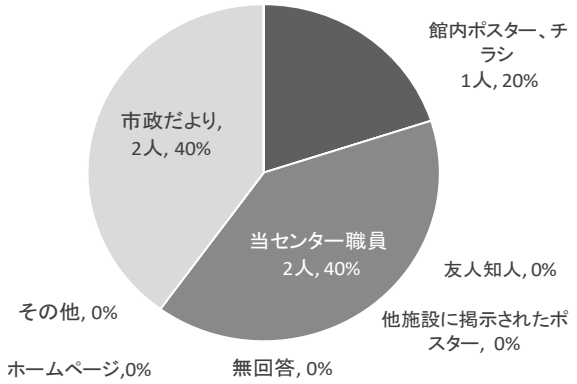
応募者数	6	人	利用者数（応募者-A-B）※当日欠席者を含む				6	人
A. 補欠、落選者数	0	人	定員充足率	60	%			
B. 途中キャンセル者数	0	人	出席者／回	4	人	出席率／回	67	%

【アンケート】

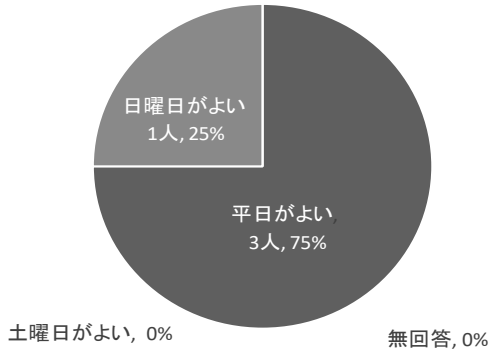
アンケート配布枚数	4 枚	アンケート回答者数	4 枚	回答率	100	%

＜教室についての質問＞

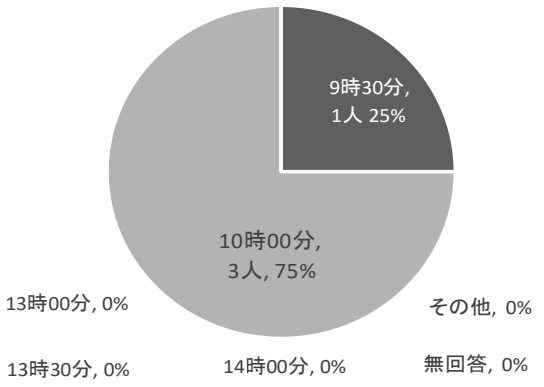
1. 今回の催しを何で知りましたか（複数回答可）



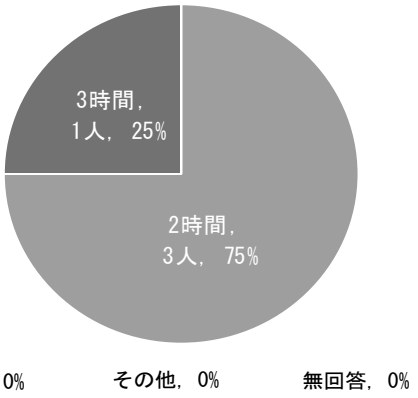
2. 日程は何曜日がよいですか



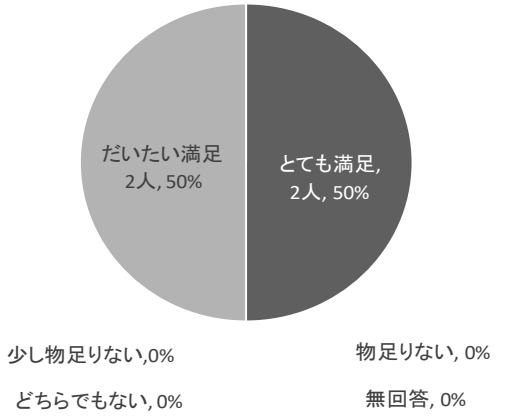
3. 開始時刻は何時からがよいですか



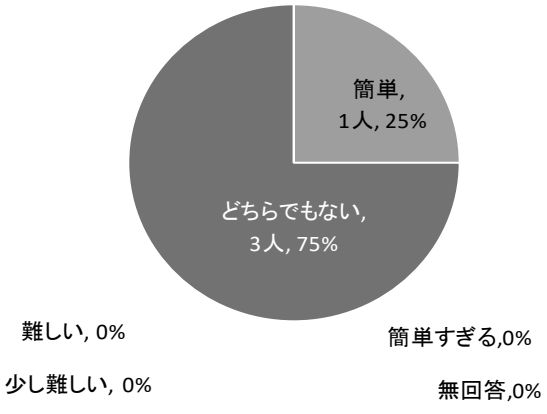
4. 開催時間の長さはどれくらいがよいですか？

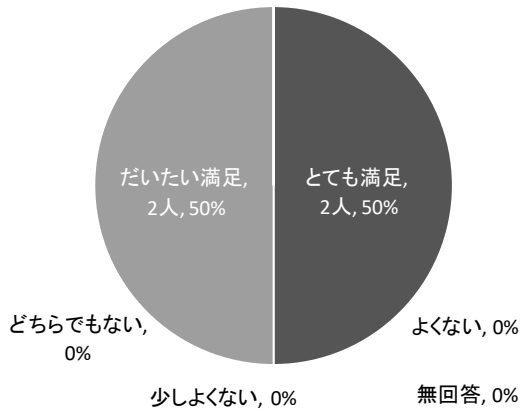
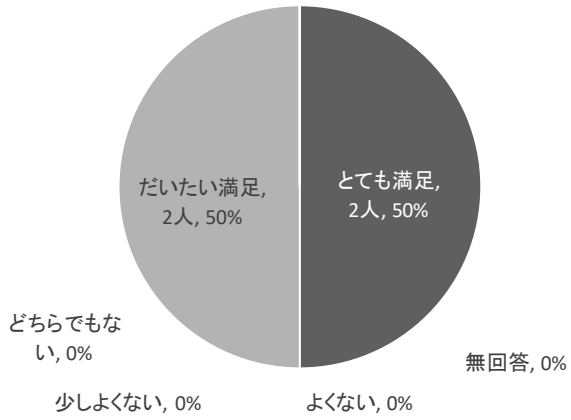


5. 内容・プログラムはいかがでしたか



6. 内容の難しさはいかがでしたか



7. 講師の対応はいかがでしたか	8. 会場について
	

ご意見、ご感想

車イスを準備して頂き助かりました。先生のカメラとスマホの写真ではレベルが違いすぎます。スマホで撮る写真のアドバイスを初めに教えて頂いてから写真を取りたいです。	1　件
写真の取り方、大変勉強になりました。	1　件
またお願いします。	1　件

今後行って欲しい企画

美術館	1　件
チョークアート	1　件
写真ならセロファンやラップ等小道具を使った面白い写真をとる講座等	1　件

＜考　察＞

今回の写真講評会は、5/12（金）に東京都江東区『夢の島熱帯植物館』で撮影した写真を元に行いました。講評会の開始時間や実施時間の長さについては、今回と同じ時間帯が最も多くあがりました。当日のプログラム内容も余裕をもって行うことができました。ただ当日の作業として、参加者の方の写真データをPCにコピーするという作業が急遽必要となりました。
次回実施する際には実際の開催時間だけでなく、事前準備の時間も考慮する必要があると感じました。
プログラムの内容については「とても満足」と「大体満足」を合わせて100%となりました。人数が少ない中での実施で、写真一枚一枚に対し、先生が丁寧に解説やアドバイスをしてくれたことが良かったと思われます。参加人数が少なく、講評会全体として写真の枚数が少なかったため、参加人数によって多めに写真データを提出してもらうようにすることで、より充実した講評会になると感じました。
内容の難しさについては「どちらでもない」が多く寄せられました。
ご意見にもある通り、撮影会が始まる前に先生からアドバイスや面白い手法を教えてもらう機会を設けることで、撮影の際の工夫の幅が広がると感じます。
今回は約一年半ぶりの開催となりましたが、事前準備の過程を見直すことで改善できる部分が多かったように感じます。今回の反省点を踏まえて、秋の開催時にはより充実した内容になるように取り組んでいきたいと思います。

令和　5　年度　　おしゃべりサロン　　アンケート実施報告　　令和5年6月16日

【受講者数、等】　（定員　6 人）（全　1　回）

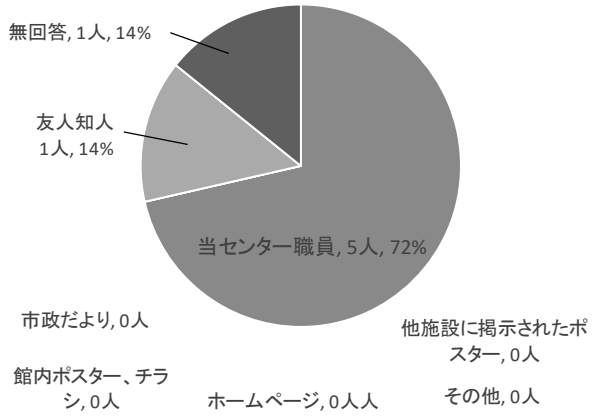
応募者数	6	人	利用者数（応募者-A-B）※当日欠席者を含む				6	人
A.補欠、落選者数	0	人	定員充足率	100	%			
B.途中キャンセル者数	0	人	出席者／回	6	人	出席率／回	100	%

【アンケート】

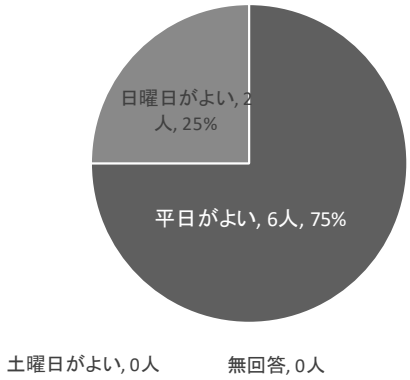
アンケート配布枚数	6 枚	アンケート回答者数	6 枚	回答率	100 %

＜教室についての質問＞

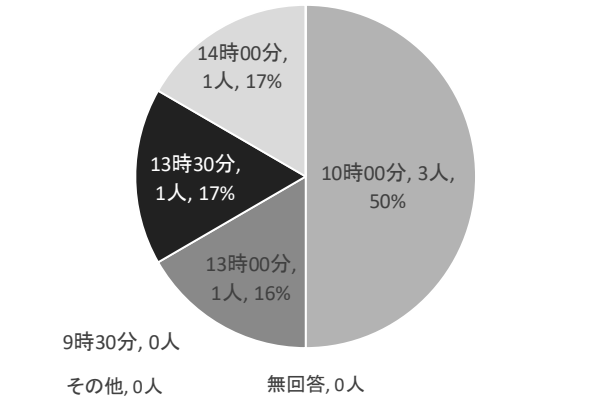
1.今回の催しを何で知りましたか(複数回答可)



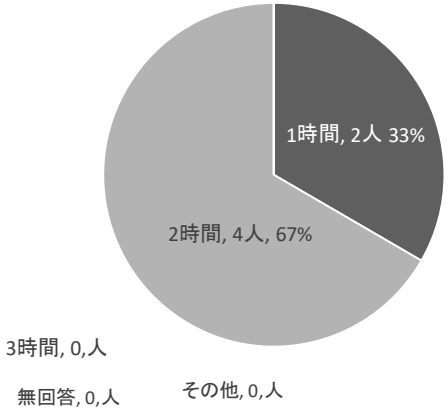
2.日程は何曜日がよいですか



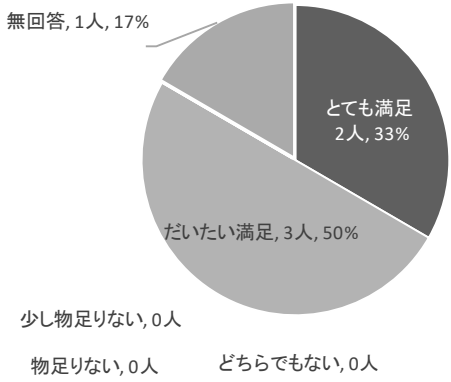
3.開始時刻は何時からがよいですか



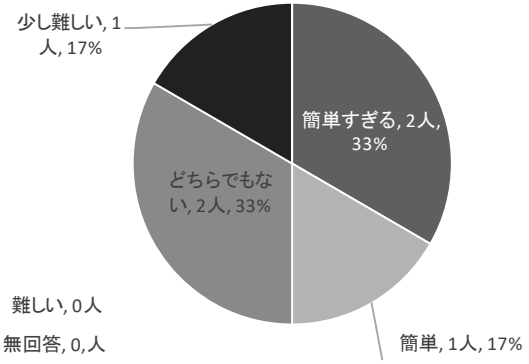
4.開催時間の長さはどれくらいがよいですか？



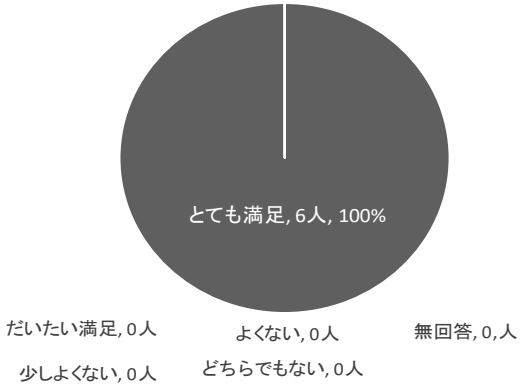
5.内容・プログラムはいかがでしたか



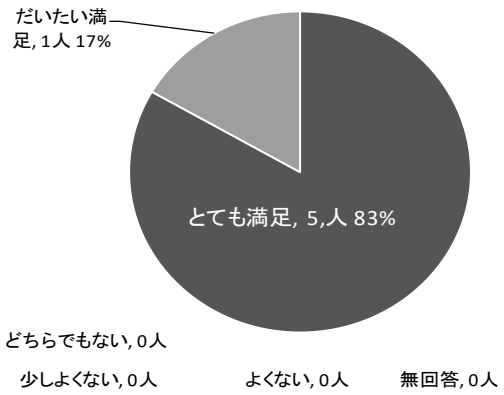
6.内容の難しさはいかがでしたか



7. 講師の対応はいかがでしたか



8. 会場について



9. ご意見、ご感想

楽しく参加しています。	1　件
自己紹介など楽したかった。	1　件
楽しかった、また参加したいです。よろしくお願いします。	1　件

10. 今後行ってほしい企画はありますか

ゲーム	1　件
カラオケ大会	1　件

＜考　察＞

今回は『おしゃべりサロン』午前コースを6/16に10:30～12:00に開催しました。昨年は定員が４人でしたが、今年は６人に増員し、開催時間も1時間から1時間半に拡大しました。ゆったりとくつろぎながらおしゃべりするという目的で各自好きな飲み物を持参して頂き、水分補給をしながらおしゃべりサロンに参加して頂きました。

アンケートでは開催時間は67%の方が、「2時間」が良いと回答されていたので今後は2時間行うことも検討したいと思います。内容では自己紹介をするために事前に用紙に記入してきてもらい発言しやすいよう工夫しました。当日は隣同士で質問しあう事も行い、当事者同士が交流するきっかけ作りにしました。休憩時間に当事者同士が自由におしゃべりする場面もあり自然な会話があり、和やかな雰囲気で行えました。プログラムの内容は、「とても満足」、「だいたい満足」で８３％が満足という回答でした。

ゲームで、『千葉県150周年すごろく』を行い、開催日が県民の日の次の日でしたので、興味を持って行えたようでした。駒を進めるのは職員が行いましたが、当事者が大きいサイコロを振って数字を読んだりマスごとの課題で発話する機会になり楽しく行えたようです。しかしゴールするまでに予定よりも時間がかかってしまったので、次回はマス目を少なくしたり、課題を調節する等工夫が必要だと考えられます。

今回も家族同士で話す時間を設けたので、失語症を持つ家族同士が知り合えるきっかけになったと思います。次回は午後コースで行い、家族同士が情報交換し当事者がくつろげる会にしていきたいと思います。

令和　5　年度　　モルック交流会 **アンケート実施報告**　　令和5年7月30日

【受講者数、等】　（定員　18　人）（全　1　回）

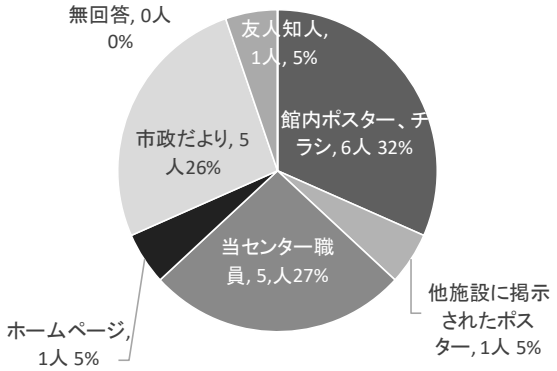
応募者数	23	人	利用者数（応募者-A-B）※当日欠席者を含む				18	人
A. 補欠、落選者数	2	人	定員充足率	128	%			
B. 途中キャンセル者数	3	人	出席者／回	18	人	出席率／回	100	%

【アンケート】

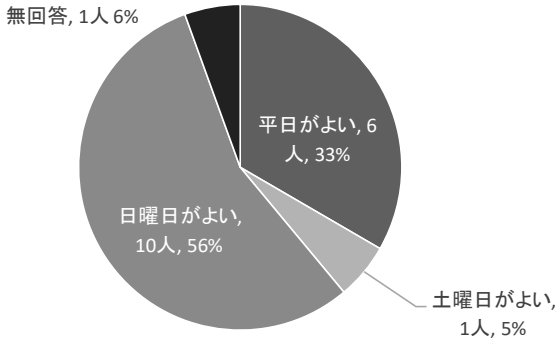
アンケート配布枚数	18	枚	アンケート回答者数	18	枚	回答率	100 %

＜教室についての質問＞

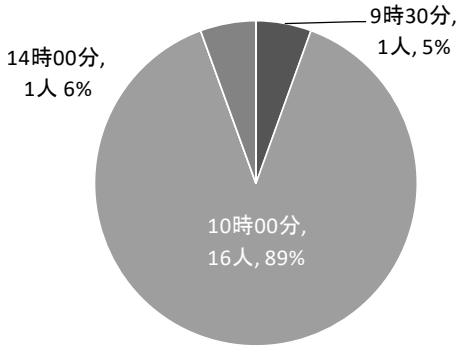
1. 今回の催しを何で知りましたか（複数回答可）



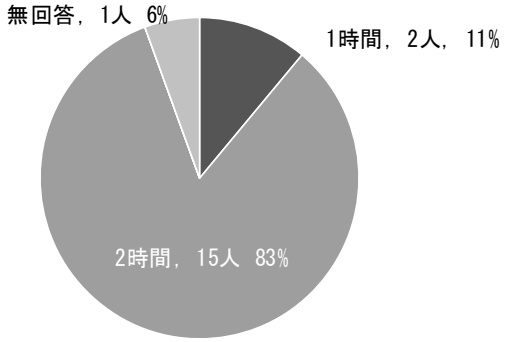
2. 日程は何曜日がよいですか



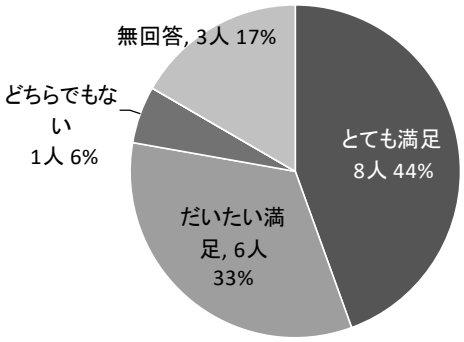
3. 開始時刻は何時からがよいですか



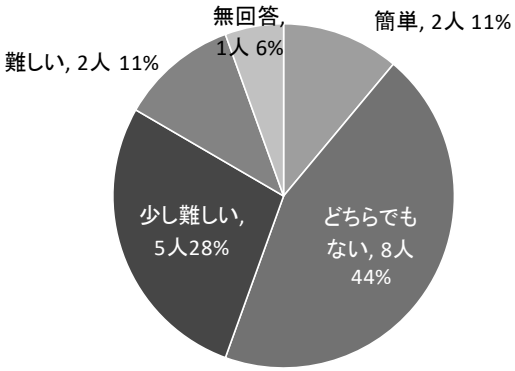
4. 開催時間の長さはどれくらいがよいですか？

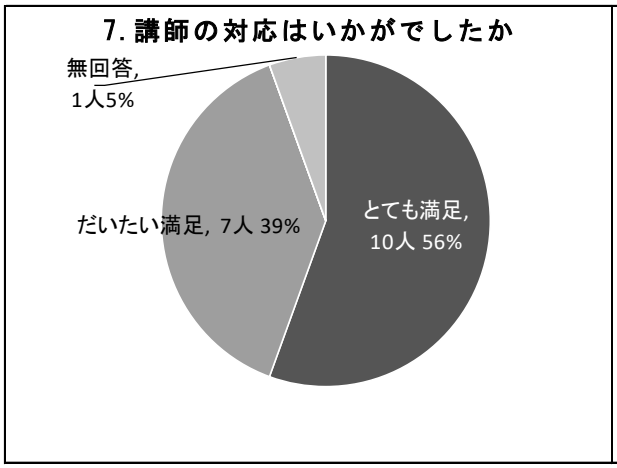


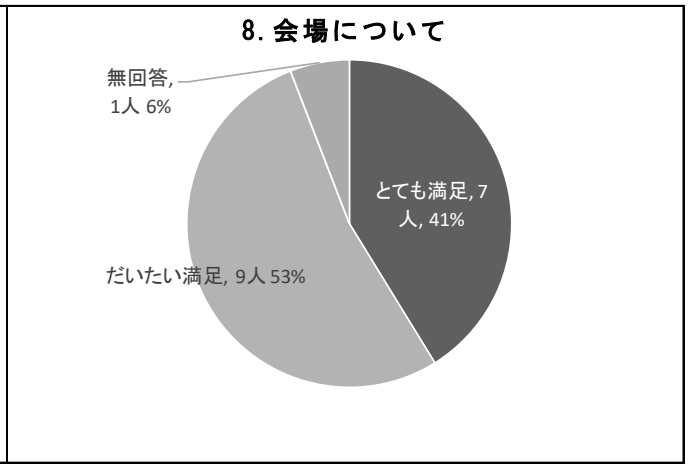
5. 内容・プログラムはいかがでしたか



6. 内容の難しさはいかがでしたか







ご意見、ご感想

楽しくできました。ありがとうございました。	4　件
椅子に名前のシールが貼られていることの説明が欲しかった。しかし、その後、椅子を移動したときには、目印になって良いとは思った。	1　件
ペア表の文字が小さくて見にくい。せめて太字にして欲しい。点数表の数字が小さかった。また、職員の方はもう少しルールを把握してほしい。	1　件
また、参加したいです。	1　件
交流会という名目の企画は、意義深い行事ですね。一般の方と障害者の交流場が持てたことに感謝の限りです。	1　件
「先に～点とる」という目標があるので、それに頑張っていくのがとても楽しいと思いました。	1　件

今後行って欲しい企画

調理	1　件
フラワーアレンジメント	1　件
吹き矢	2　件
モルボ（モルック+ボッチャ）も良いですね	1　件

＜考　察＞

身体障害者の方の社会参加、市民の方との交流を目的に、今年度は「モルック交流会」を企画し、実施しました。募集人数は身体障害者手帳を持っている方9人、障害者手帳を持っていない方9人を定員とし、23人の方にお申込みいただきました。定員充足率は128%で、出席率、100%でした。また、プログラムに『だいたい満足』『とても満足』が合わせて77%と高い満足度が伺えました。内容の難しさは、『少し難しい』『難しい』あわせて、39%となりました。モルックでは、得点の計算や51点超えた後のルール等考えながらプレーしなければならない為、難しいと感じるところがあったと思いました。そのため、ルールなどがひと目でわかるものあると良かったと感じました。

感想では『ペア表の文字が小さくて見にくい。せめて太字にして欲しい。点数表の数字が小さかった。また、職員の方はもう少しルールを把握してほしい。』と回答があり、準備不足を痛感しました、今後は、参加者が分かりやすい掲示物、関わる職員のルール等の把握を徹底して、身体障害者の方と市民の方が交流しながら楽しめる事業の企画・運営に努めてまいります。

令和　5　年度　　ビームライフル教室　　アンケート実施報告　　令和5年8月22日

【受講者数、等】　（定員　6　人）（全　3　回）

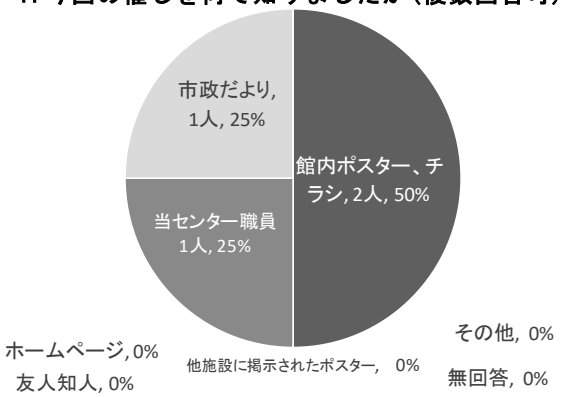
応募者数	6	人	利用者数（応募者-A-B）※当日欠席者を含む				6	人
A. 補欠、落選者数	0	人	定員充足率	100	%			
B. 途中キャンセル者数	0	人	出席者／回	4	人	出席率／回	72	%

【アンケート】

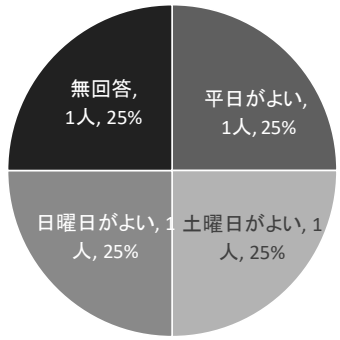
アンケート配布枚数	5	枚	アンケート回答者数	4	枚	回答率	80 %

＜教室についての質問＞

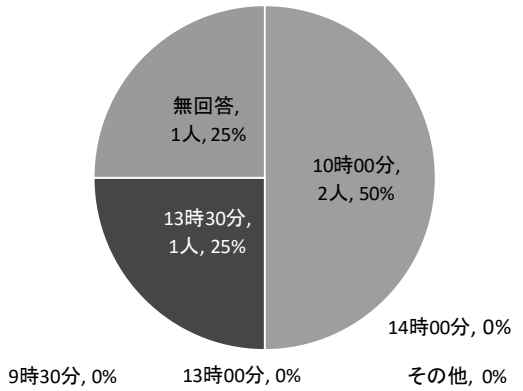
1. 今回の催しを何で知りましたか（複数回答可）



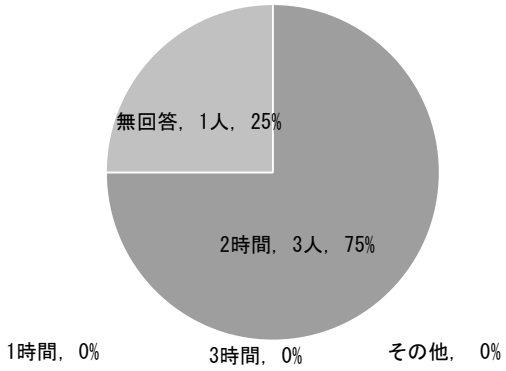
2. 日程は何曜日がよいですか



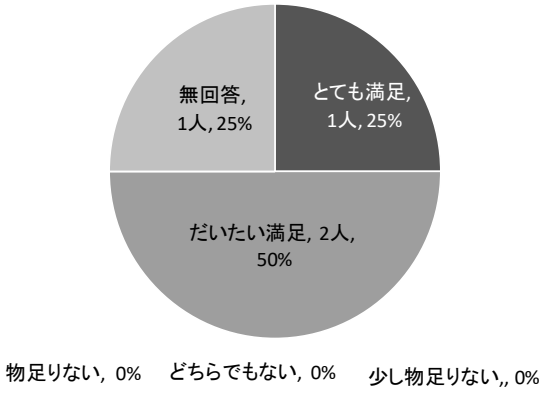
3. 開始時刻は何時からがよいですか



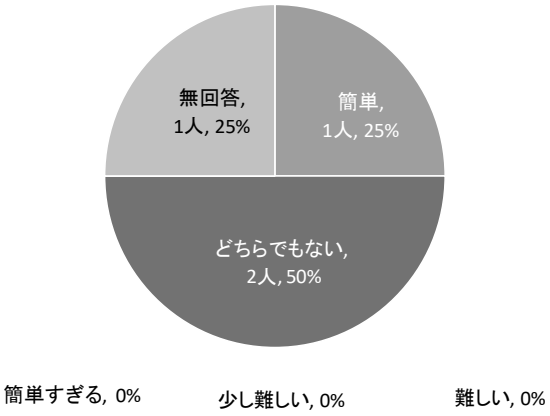
4. 開催時間の長さはどれくらいがよいですか？

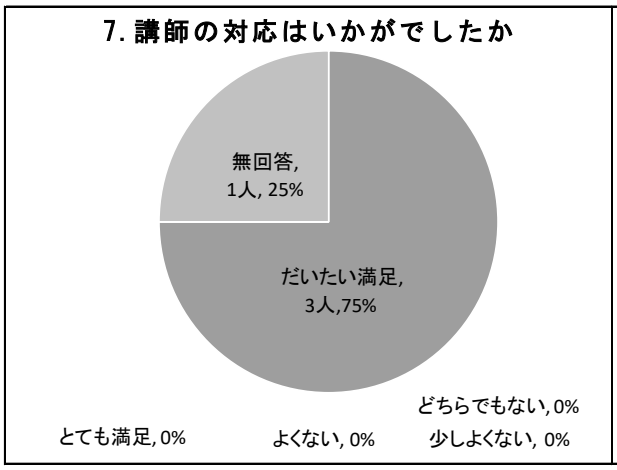


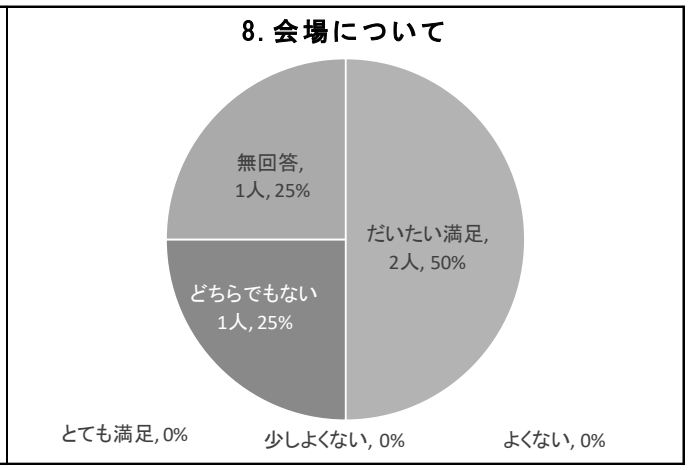
5. 内容・プログラムはいかがでしたか



6. 内容の難しさはいかがでしたか







ご意見、ご感想

準備が大変ですがよろしく！	1　件

今後行って欲しい企画

つまみ細工教室	1　件
モルックの短期講座	1　件
洋裁教室	1　件

＜考　察＞

定員6人のところ、6人の申込があり、定員充足率100%、出席率72%となりました。　6/3、7/1、8/5の全3回コースで実施し、1・2回目はライフルに慣れることを目的とし、標的を定め、撃つ練習をしました。3回目では記録をとり、3回目の最後に、講師から個々に記録証明書が授与され、参加者も達成感を感じていた様子が伺えました。

また、内容・プログラムについて、「だいたい満足」「とても満足」があわせて75%、講師の対応についても、「だいたい満足」が75%でした。個別に講師からの助言を受けながら出来たため、高評価だったと感じました。

今回の催しを知った理由の、75%が「館内ポスター、チラシ」と「当センター職員」だった為、今後は普段ふれあいの家を利用していない方にも参加してもらえるように、近隣施設でのポスター掲示等広報にも力を入れて開催します。

令和　5　年度　　字幕付与　　アンケート実施報告　　令和6年3月22日

【受講者数、等】

（定員　6 人）（全　1　回）

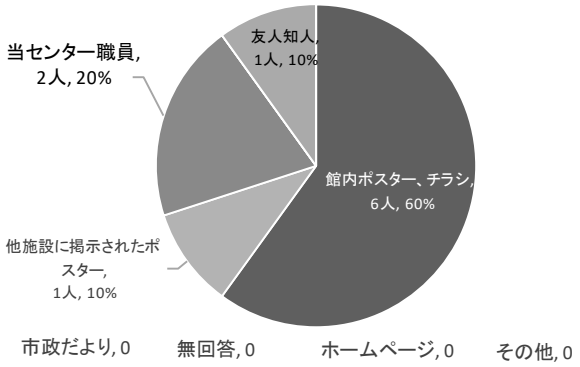
応募者数	14	人	利用者数（応募者-A-B）※当日欠席者を含む				11	人
A.補欠、落選者数	0	人	定員充足率	47	%	出席者数	10	人
B.途中キャンセル者数	3	人	出席者／回	10	人	出席率／回	91	%

【アンケート】

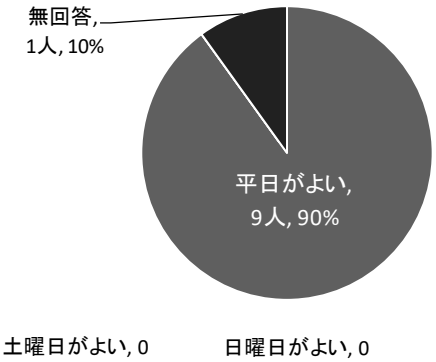
アンケート配布枚数	10 枚	アンケート回答者数	10 枚	回答率	100 %

＜教室についての質問＞

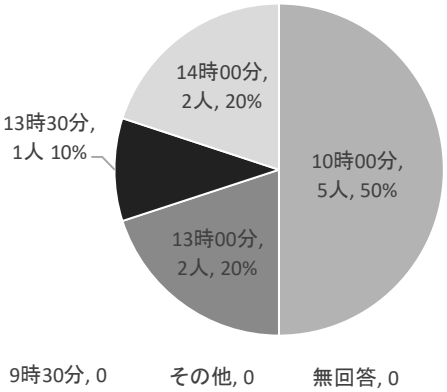
1.今回の催しを何で知りましたか(複数回答可)



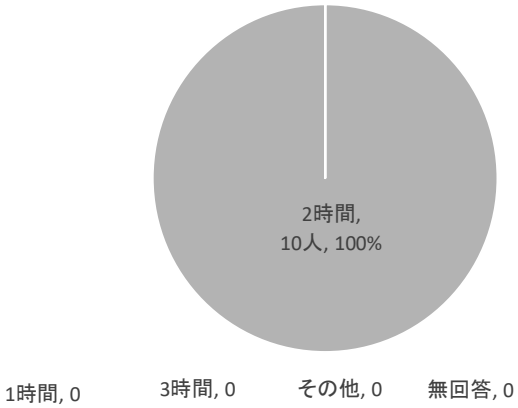
2.日程は何曜日がよいですか



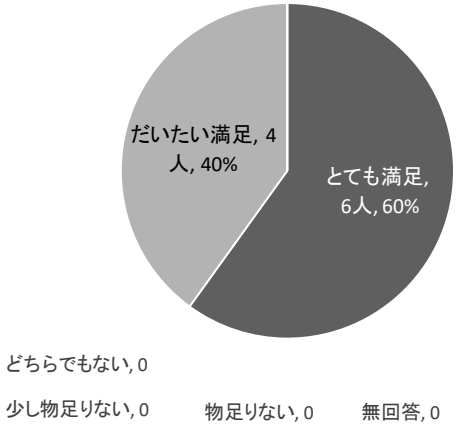
3.開始時刻は何時からがよいですか



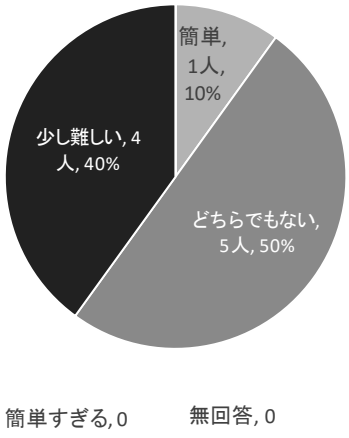
4.開催時間の長さはどれくらいがよいですか？



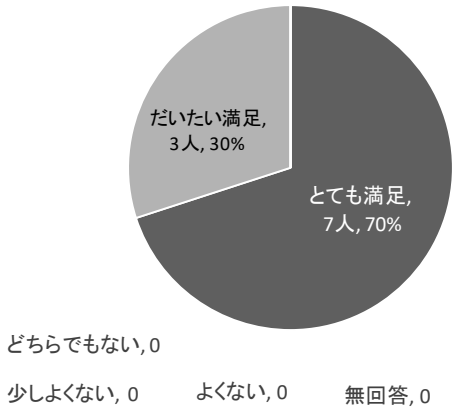
5.内容・プログラムはいかがでしたか



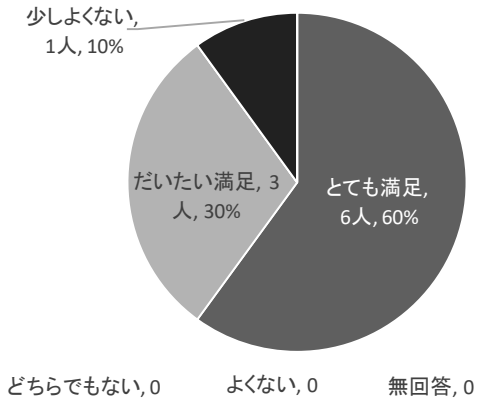
6.内容の難しさはいかがでしたか



7. 講師の対応はいかがでしたか



8. 会場について



ご意見、ご感想

とても勉強になりました。	3　件
会場が少し寒かった。	2　件
ハーモニープラザでのデモンストレーションを見てもっと詳しく知りたいと思い参加しました。	1　件
思っていた以上に奥が深く驚きました。	1　件
DVDで切り傷の音声なし、字幕なしを見て、何も情報が伝わってこない事実にびっくりしました。聴覚障害者は、いつもこんな不安なのかと感じました。	1　件
知らないことばかりだと痛感しました。	1　件
とてもわかりやすい説明でした。フィモーラ８にも興味がわきました。	1　件
条約の批准がつい最近だと知り、驚きました。	1　件
自分自身聞こえが悪くなってきたので字幕に興味があり受講しました。	1　件

今後行って欲しい企画

字幕と手話(ワープ)を取り入れるノウハウを知りたい。	1　件
白杖を使っての体験	1　件
盲導犬の体験	1　件

＜考　察＞

今年度初めての試みで、ボランティアに特化した短期講座を開催いたしました。定員充足率は47%と数字に表すと低く感じますが、今回は市政だよりへの掲載もなく、館内や他施設へのポスター掲載のみの周知だったため、このような結果になったと推測されます。

内容については「とても満足」及び「だいたい満足」合わせて100%、講師対応についても「とても満足」及び「だいたい満足」合わせて100%となっており、受講にあたっての満足度が非常に高かったことがわかります。会場に関しての意見で、部屋が少し寒かったとの声を頂いたため、今後はより良い環境提供ができるよう、気温や天候を考慮し、空調の調節をしていきたいと思います。

字幕付与短期講座については、来年度2回コースでの実施を予定しています。今後も、字幕付与を推進する会の方々と協力し、より多くの方がボランティア活動へ繋がるような短期講座となるよう努力していきます。

ウ　社会適応訓練

令和 5 年度　聞こえにくくなった方の勉強会アンケート実施報告

令和5年6月27日

【受講者数、等】　（全　10　回）

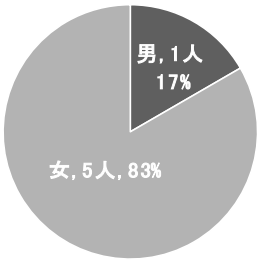
応募者数	10 人	B.途中キャンセル者数			0 人
A.補欠、落選、受講前のキャンセル者数	1 人	C.全回出席者数			2 人
受講者数（応募者-A）	9 人	平均出席者／回	7 人	平均出席率／回	74 %

【アンケート】

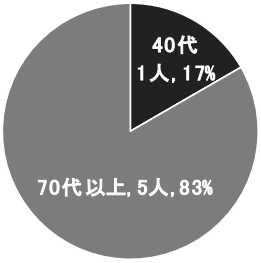
アンケート配布枚数	6 枚	アンケート回答者数	6 枚	回答率	100 %

＜受講者の傾向＞

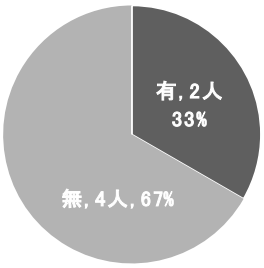
性　別



年　代

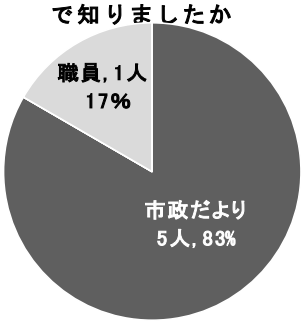


障害者手帳の有無



＜申し込みにあたっての質問＞

1.この勉強会が行われるのを何で知りましたか

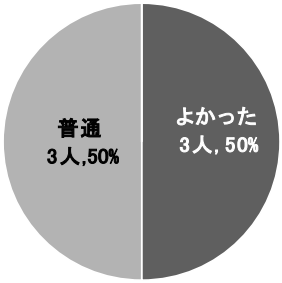


2.参加した動機はなんですか（自由記述）

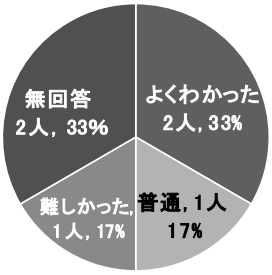
年齢のせいか、2～3年前より聞こえが悪くなったので	1　件
父が聞こえづらくなってきているため	1　件
聴力に支障が出たため	2　件
手話に興味がありました	1　件
数年前から聞こえにくくなって補聴器をしているが、　補聴器も万能ではなくて聞こえづらいことがある。ネガティブな自分を前向きにしたいという思いで参加した。	1　件

＜勉強会についての質問＞

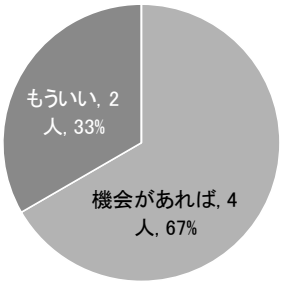
1.参加しての質問



2.難しさについての質問

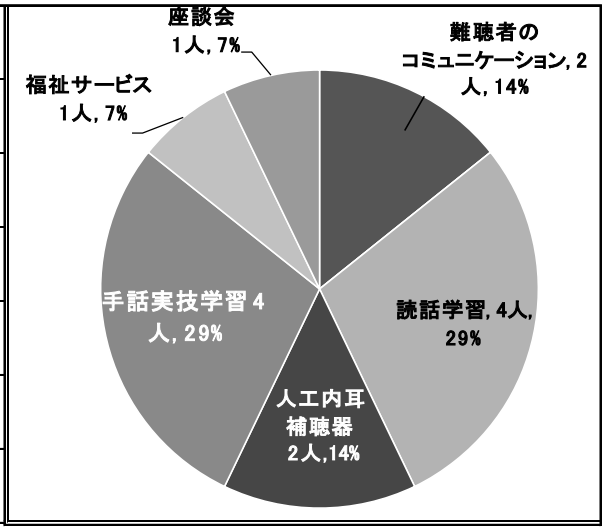


3.また参加したいかの質問



＜印象に残った講演について＞

難聴者のコミュニケーション(5/9)	2 件
補聴器を使いこなすために（5/10）	0 件
読話学習（5/16、5/23）	4 件
人工内耳、補聴器について（6/14）	2 件
手話実技学習（5/30、6/6、6/13）	4 件
聴覚障害者が利用出来る福祉サービス（6/27）	1 件
座談会（6/27）	1 件



＜勉強会に対しての感想・希望＞

初めての参加でしたが、読話や手話など楽しく学べました	1　件
料理講習会	1　件
読話や手話は聞こえにくくなってからの習得は難しいので、もう少し早い段階で知ることが出来る機会があると良いと思います。	1　件
講師のご努力に敬意を表したい。しかし、プログラム内容をもう一度検討される事をおすすめしたい（以下口頭での聞き取り：福祉サービスの説明は最初の方がいいのではないか、　また情報保障もOHPは古いのでは思った。今はパソコン文字の通訳もあるので取り入れた方が良いと思った）	1　件

＜考　察＞

定員１０人のところ、１０人の方の申し込みがありました。開講前に１人の方が辞退しましたが、昨年に比べ多くの方に受講してもらえました。出席率も昨年度よりも良く、出席率は74%でした。

また、難しさについては、「よくわかった」2人、「普通」1人、「難しかった」1人と意見が分かれました。理解度に大きな偏りが出ないように、職員もサポートに入るべきだったと感じました。

感想として、「講師のご努力に敬意を表したい。しかし、プログラム内容をもう一度検討される事をおすすめしたい（以下口頭での聞き取り：福祉サービスの説明は最初の方がいいのではないか、また情報保障もOHPは古いのでは思った。今はパソコン文字の通訳もあるので取り入れた方が良いと思った）」との意見がありました、千葉聴覚障害者センターと相談し、今後に活かしたいと思います。

聞こえづらくなり、日常生活に不安を抱えている方達にとって必要な情報を提供し、有意義となる講座を今後も企画・運営、広報に努めてまいります。

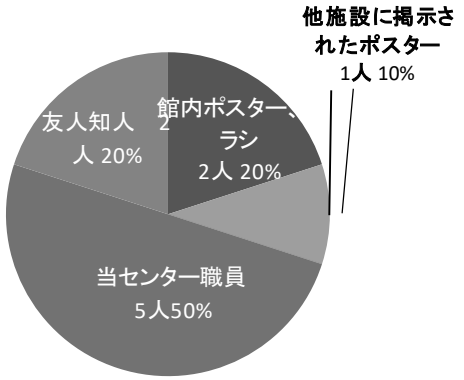
令和5年度　　介護技術勉強会①② アンケート実施報告　　令和5年

【参加者、アンケート】

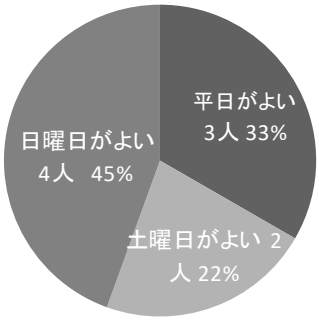
参加者	9 人	アンケート配布枚数	9 枚	アンケート回答者数	9 枚	回答率	100 %

＜勉強会についての質問＞

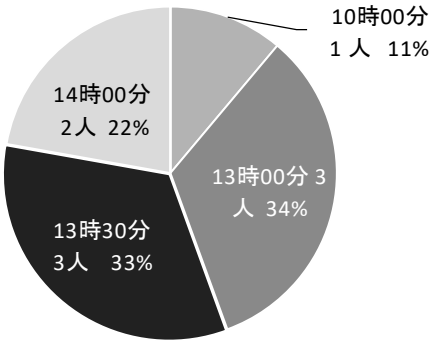
1. 今回の催しを何で知りましたか（複数回答可）



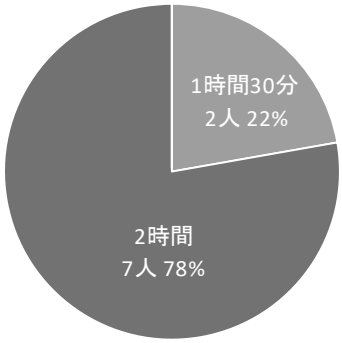
2. 日程は何曜日がよいですか



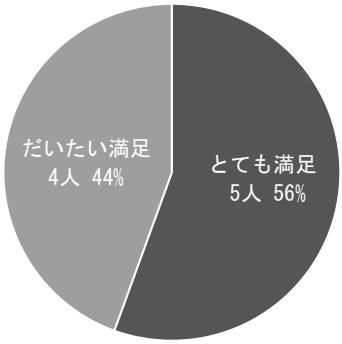
3. 開始時刻は何時からがよいですか



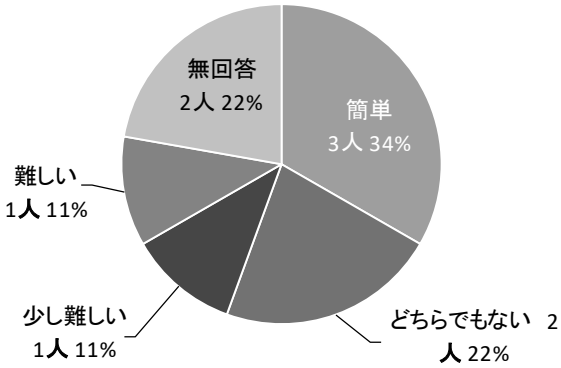
4. 開催時間の長さはどのくらいがよいですか

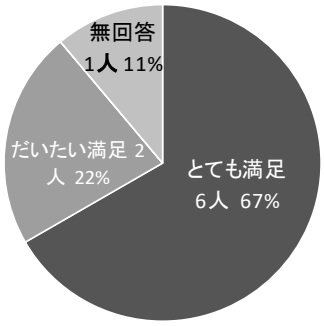
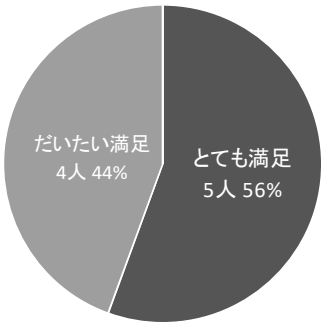


5. 内容・プログラムはいかがでしたか



6. 内容の難しさはいかがでしたか



7. 講師の対応はいかがでしたか	8. 会場について
	

ご意見、ご感想

説明、実技、すごくわかりやすかったです。	1　件
これからの実生活の中で今日の学習を活かせたらと思います。	1　件
何回、お世話になっても良いですか？またよろしくお願いいたします。	1　件
指導員等の方々が親切だった。	1　件
運動神経が悪く恥ずかしかったですが、温かく見守ってくださり感謝です。	1　件
体験が出来て良かったです。車椅子を利用する方の目線を体感できて、これからどこかで携わることがあった時、この経験を活かしたいです。	1　件
初任者研修で教わった事を見事に忘れていたので、もう一度、勉強ができて良かったです。狭い場所の車椅子は難しかったです。	1　件

今後行って欲しい企画

認知症の話	1　件
ヨガ体操	1　件
吹き矢	1　件
また、介護についての学習会をお願いいたします。実技が貴重でした	1　件
車椅子以外の介護の勉強会もあれば良いなと思います。（介護ベッドの使い方等）	1　件
少し難しかったです。	1　件

＜考　察＞

今年度の介護技術勉強会は、同一内容で２日間（９／１５、１０／６）実施しました。

「今回の催しを何で知りましたか」の回答では、「当センター職員」５０％、「館内ポスター、チラシ」２０％となり、日頃から当施設を利用している方の参加が多く、「他施設に掲示されたポスター」の方は１０％（１人）と少ない結果となりました。当勉強会の対象は１８歳以上の千葉市在住・在勤の方のため、当施設の既利用者の方だけでなく、幅広い方に参加してもらうため、外部への広報に力を入れる必要があると感じました。

「内容・プログラム」では、「とても満足」、「だいたい満足」合わせて１００％と高評価となり、ご意見、ご感想においても「説明、実技、すごくわかりやすかったです」、「初任者研修で教わった事を見事に忘れていたので、もう一度、勉強ができて良かったです」等の意見が寄せられました。

また、ご意見、ご感想として「これからの実生活の中で今日の学習を活かせたらと思います」、「体験が出来て良かったです。車椅子を利用する方の目線を体感できて、これからどこかで携わることがあった時、この経験を活かしたいです」との回答もみられました。

今後も上記の意見のように感じてもらい、実際の生活の中でも活かしてもらえるような充実した勉強会となるよう、企画・検討していきたいと思います。

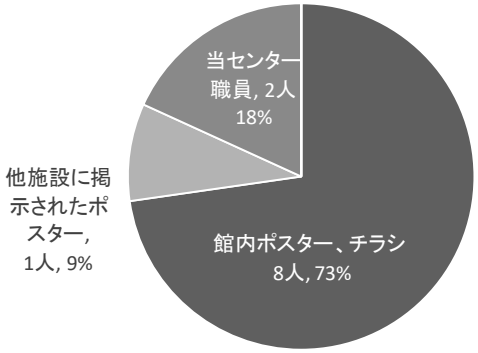
令和　5　年度　　介護予防勉強会①②　アンケート実施報告　　令和5年

【参加者、アンケート】

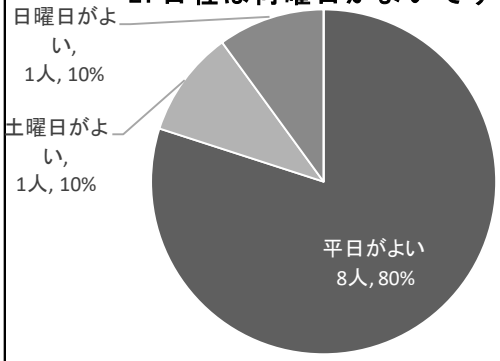
参加者	10 人	アンケート配布枚数	10 枚	アンケート回答者数	10 枚	回答率	100 %

＜勉強会についての質問＞

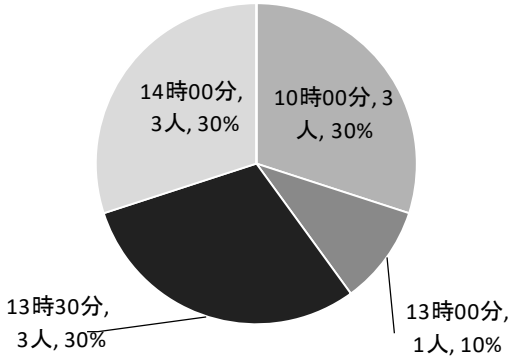
1. 今回の催しを何で知りましたか（複数回答可）



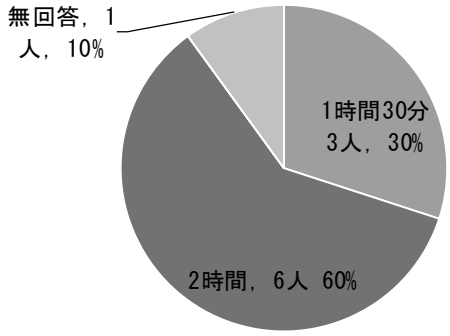
2. 日程は何曜日がよいですか



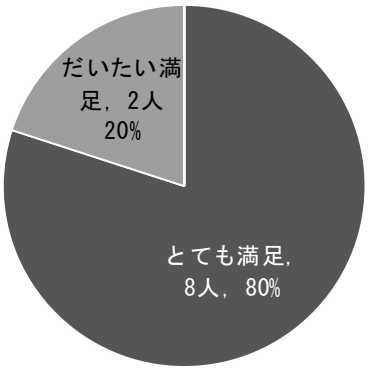
3. 開始時刻は何時からがよいですか



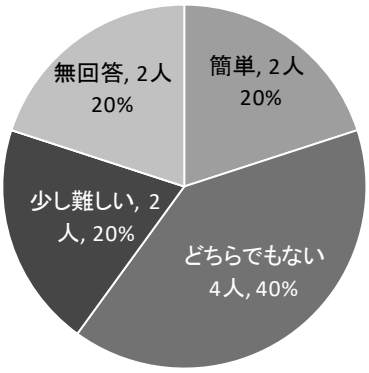
4. 開催時間の長さはどのくらいがよいですか

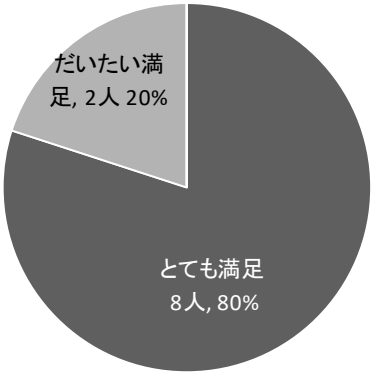
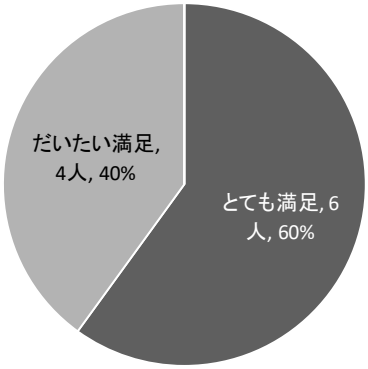


5. 内容・プログラムはいかがでしたか



6. 内容の難しさはいかがでしたか



7. 講師の対応はいかがでしたか	8. 会場について
	

ご意見、ご感想

日々の運動が大切だと改めて感じました。	1　件
とても参考になりました。	1　件
日常に取り入れてみようと思う運動、色々な動作を行うときの意識の置き方など参考になりました。 ありがとうございました。	1　件
何時もいろいろと教えて頂き、感謝しています。	2　件
運動不足でしたので毎日少しずつ運動したいと思いました。	1　件
自分が足の病を持っていますので体験からよく理解できました。一つ一つ大変為になり、これからも今日の勉強会を糧にして少しでも健康体に近づいた生活をしたいと思います。充実した講習会でした。ありがとうございました。	1　件
健康の基礎の部分で体が楽になりました。	1　件

今後行って欲しい企画

日々のストレッチ、筋トレの実践	1　件
ストレッチ体操	1　件
健康に関してのことに参加したいです。	1　件
体調管理講座、介護も良いです。	1　件
この種類（今回の講座）に似たのものを	1　件

考察

今年度は７月７日・２０日に２日とも同一内容で実施しました。

日程については、開催日と同様「平日がよい」が８０％と最も多く、参加された方の希望に合った開催日となったと思われます。しかし、「土曜日がよい」、「日曜日がよい」と回答した方もおり、また開始時間の回答にもばらつきがありました。これは、個々によって生活状況が異なるため、希望する日時に違いがでたものと考えられます。

内容・プログラム、講師の対応は共に、「とても満足」、「だいたい満足」を合わせて１００％となり、また、ご意見、ご感想欄も好印象の回答をもらい、勉強会自体は高評価であったと思われます。しかし、内容の難しさでは、「簡単」２０％、「少し難しい」２０％と相反する回答がありました。参加された方の身体状況にばらつきがあるためと思われますが、参加者全員に合わせた内容を提供することの難しさを感じました。

今後もより多くの方が参加でき、内容にも満足してもらえるような企画を検討していきたいと思います。

エ　ボランティア講座

令和　5 年度　要約筆記講習会アンケート実施報告

令和5年7月13日

【受講者数、等】

（全　10　回）

応募者数	4	人	C. 全回出席者数	1	人
A. 補欠、落選、受講前のキャンセル者数	0	人	D. 修了証書対象者数	3	人
受講者数（応募者-A－B）	3	人	平均出席者／回	2.7	人
B. 途中キャンセル者数	1	人	平均出席率／回	90	%

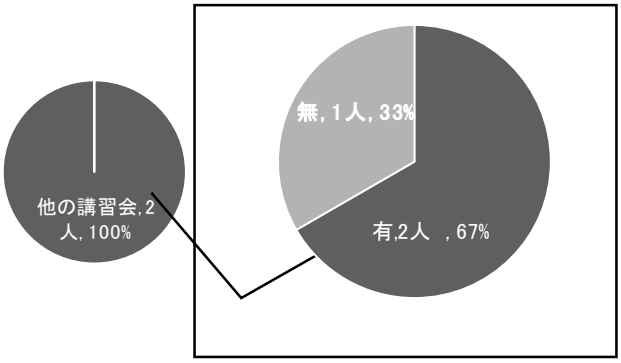
【アンケート】

アンケート配布枚数	3 枚	アンケート回答者数	3 枚	回答率	100 %

＜申し込みにあたっての質問＞

1. この講習会が行われるのを何で知りましたか

2. この講習会に参加する前の知識は

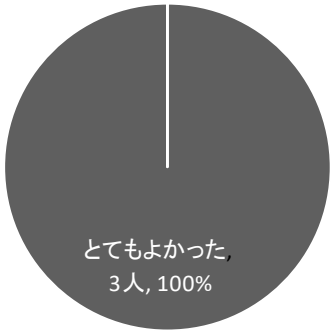


3. 参加した動機はなんですか（自由記述）

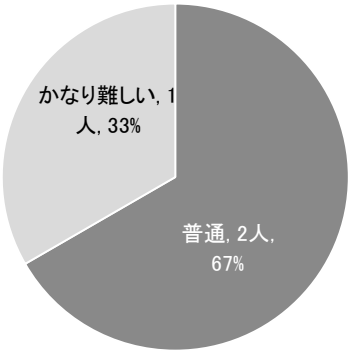
人に対して端的に内容を正しく伝えることをマスターしたい	1	件
父が聞こえにくくなってきているので、必要になると思ったから	1	件
もっと知識をつけたい	1	件

＜講習会についての質問＞

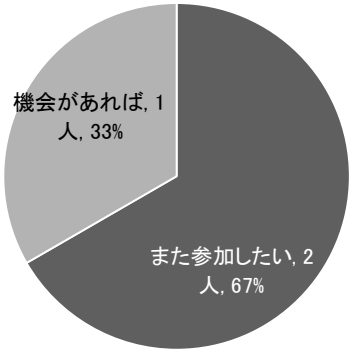
1. 参加しての質問



2. 難しさについての質問



3. また参加したいかの質問



1.講習会を受けて感じたこと、印象に残ったこと	同意見
聞きながらの要約はとても難しかったです。また字を見やすく書くこともなかなかできなかったのでこれから練習します。	1　件
聞いた内容を要約して書いて伝えること	1　件
丁寧に教えてくれました	1　件

2.講習会に対しての希望	同意見
要約筆記の要約前と要約後の例文があるといいと思います	1　件
参加する人が少ない	1　件

3.講習会終了後、どのような活動をされますか	同意見
要約筆記者養成講座（前期）を受講予定	1　件
中途失聴者の方々のお役に立ちたい	1　件
もっと勉強をする	1　件

考　察

今年度は4人の方が申込し、1人が途中で辞退したため、修了証発行は3人でした。
昨年度受講した方や、中途失聴の方の役に立ちたい等、意欲的に参加していました。
受講者数が3人であったため、1人1人丁寧に教えてもらったと感じます。そのため、受講した方全員から「参加してとても良かった」と回答があり、「丁寧に教えてくれた」との意見がありました。
また、「また参加したいか」の項目でも「また参加したい」、「機会があれば」合わせて100%となり、講習会の満足度の高さが伺えます。今後の活動について、「要約筆記者養成講座（前期）を受講予定」「中途失聴者の方々のお役に立ちたい」「もっと勉強をする」と回答があり、受講した方は意欲が高いと感じます。
今後は、より多くの要約筆記に意欲的な方を増やしていくために、広報にも力を入れ、受講者数の増加を目指したいと思います。

令和　5 年度　手話講習会（初級）（木曜日）アンケート実施報告

令和5年11月30日

（全　12　回）

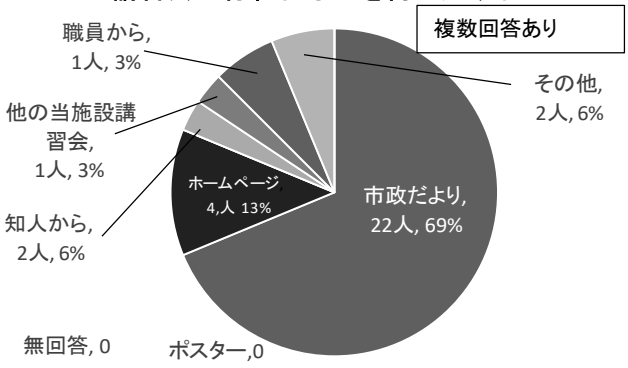
【受講者数、等】	木Ａ	木Ｂ	計
応募者数	23 人	23 人	46 人
A. 補欠、落選、受講前のキャンセル者数	3 人	3 人	6 人
受講者数（応募者-A－B）	18 人	19 人	37 人
B. 途中キャンセル者数	2 人	1 人	3 人
C. 全回出席者数	8 人	8 人	16 人
D. 修了証書対象者数	17 人	17 人	34 人

	木Ａ	木Ｂ	全体平均
平均出席者／回	18 人	17.33 人	35.2　人
平均出席率／回	89%	87%	88%

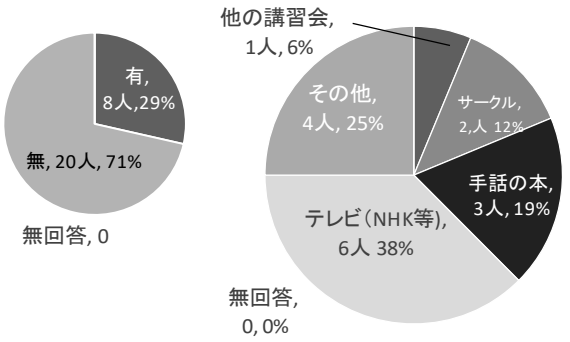
【アンケート】			
アンケート配布枚数	36 枚		
アンケート回答者数	31 枚	回答率	86　%

＜申し込みにあたっての質問＞

1. この講習会が行われるのを何で知りましたか

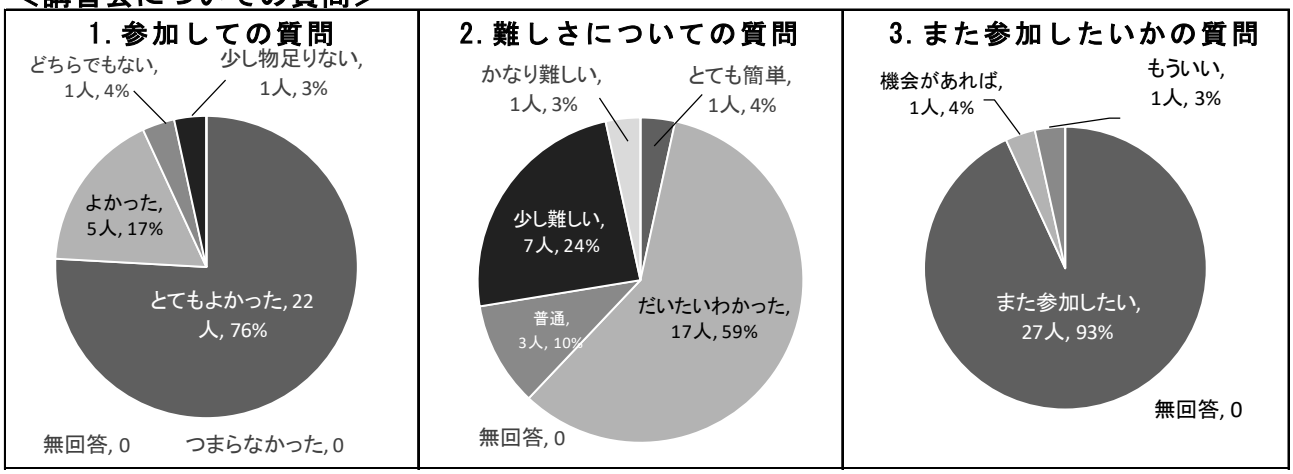


2. この講習会に参加する前の知識は



3. 講習会に参加した動機は何ですか	同意見
手話の必要性を感じていたから。	10　件
手話に興味があった。	9　件
手話通訳士を目指したいから。	1　件
空き時間に何か身につけたかったから。	1　件
福祉に興味があったから。	1　件
聴覚障害者の方と交流したかった。	1　件
手話を練習したかったから。	1　件
色々な経験をするために参加した。	1　件
障害のある方の役に立ちたかった。	1　件
自分が難病により聴力の低下を感じたため、聞こえなくなる前に手話を獲得したかった。	1　件
医療との橋渡しができたらいいと思ったから。	1　件

＜講習会についての質問＞



1.講習会を受けて感じたこと、印象に残ったこと	同意見
毎週楽しく参加することができた。	5　件
聴覚障害者の歴史的な背景や活躍の場が与えられなかったことを知った。	2　件
他の受講者が熱心で良い刺激をもらった。	2　件
少しでも手話ができるようになったことが嬉しい	2　件
メモがとれないのがもどかしかった。	1　件
日常会話が目標だったが先が長いなと思った。	1　件
介護や障害者に関わりのある受講者が多く、興味本位での参加だと肩身が狭かった。	1　件
もう少しゆっくりすすめてもらいたかった。	1　件
国や地域で表し方が違うことを知った。	1　件
基本的なことが理解できた。	1　件
人前に立って手話をするのが緊張した。	1　件
受講して新鮮だった。	1　件
手話は生きた言語だということ。	1　件
自分でも勉強した。	1　件
ジェスチャーでも伝わることが分かったので今後も恐れず学びたい。	1　件
障害者が暮らしやすい環境にするための協力の必要性を感じた。	1　件
フェイスシールドは不要だと思った。	1　件

2.講習会に対しての希望	同意見
特になし。	4　件
内容が多く、覚えきらないこともあった。	1　件
障害者のための講習会ではなく、皆で覚えようというものだったら知人にも勧められた。	1　件
中級終了後のコースのことを知りたい。	1　件
ゆっくり進行してほしい。	1　件
振替をしてほしい。	1　件
個人情報を言わないでいいように講習会を進めてほしい。	1　件
本の販売をしてほしい。	1　件
テキストに手話がもっと載っているといいと思った。	1　件
中級に進むのにクラス替えないほうが励まし合えると思った。	1　件
メモをとりたかった。	1　件
子どもと参加できると嬉しい。	1　件

3.講習会終了後、どのような活動をされますか	同意見
中級に申込済み。	20　件
サークルに入会。	4　件

考　察
今年度は37人の方が手話初級木曜コースを受講しました。出席率も、全体出席率88%と良く「毎回楽しみだった。」「他の受講者が熱心で良い刺激をもらった。」等高評価でした。 また、今年度は、日頃から仕事等で手話の必要性を強く感じている方の受講や、手話の認知度が年々上がっていることも一つの要因になっているのか、例年よりも受講する方のレベルが高い様子が伺えました。そのような中で、全くの初心者は少し肩身の狭い思いをした方が若干名いたようです。しかし、ジェスチャーでも聾者の方に伝えることが出来ること、伝えるという気持ちが大切ということを講習会の中で講師から学び、大多数の方が、中級コースへの進級やサークルへの入会に繋げることができました。 来年はデフリンピックの開催もありますので、より多くの方に手話が広まるよう、来年度も千葉市聴覚障害者協会と協力し、より良い講習会となるよう努めます。

令和　5 年度　手話講習会（初級）（土曜日）アンケート実施報告

令和5年11月25日

（全　12　回）

【受講者数、等】

	土Ａ	土Ｂ	計
応募者数	22 人	22 人	44 人
A. 補欠、落選、受講前のキャンセル者数	2 人	2 人	4 人
受講者数（応募者-A－B）	18 人	20 人	38 人
B. 途中キャンセル者数	2 人	0 人	2 人
C. 全回出席者数	7 人	4 人	11 人
D. 修了証書対象者数	12 人	17 人	29 人

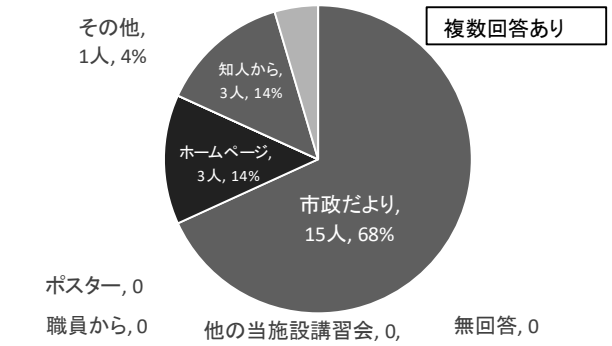
	土Ａ	土Ｂ	全体平均
平均出席者／回	17 人	16.83 人	33.9 人
平均出席率／回	85%	84%	85%

【アンケート】

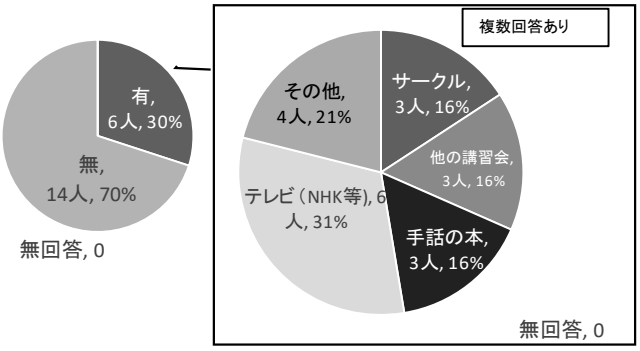
アンケート配布枚数	25 枚		
アンケート回答者数	23 枚	回答率	92 %

＜申し込みにあたっての質問＞

1. この講習会が行われるのを何で知りましたか



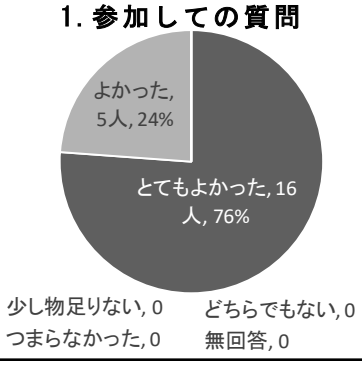
2. この講習会に参加する前の知識は



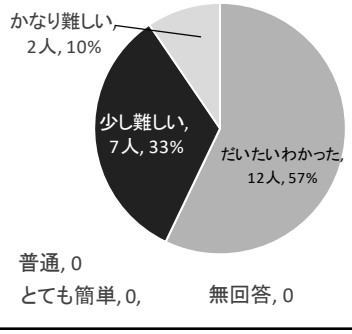
3. 講習会に参加した動機は何ですか	同意見
手話に興味があったから。	7　件
手話を勉強したいと思ったから。	5　件
仕事に役立てたかった。	3　件
聞こえない人とコミュニケーションをとりたい。	3　件
自分にできるボランティアとして手話ができるようになりたいと思ったから。	2　件
自分が難聴になり、少しでも知識を取り込もうと思ったから。	1　件
出来るようになったら自分の世界が広がると思った。	1　件
テレビで手話通訳をみることがあり、少しでも理解し、使えたらいいなと思ったから。	1　件

＜講習会についての質問＞

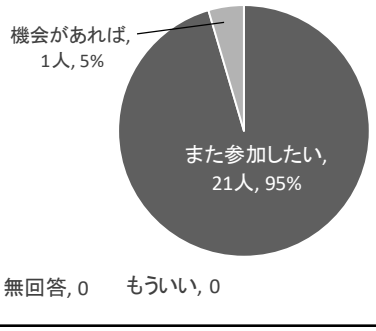
1. 参加しての質問



2. 難しさについての質問



3. また参加したいかの質問



1.講習会を受けて感じたこと、印象に残ったこと	同意見
講習会を受けて毎週楽しみだった。	4 件
学ぶのが楽しい。良く理解できた。もっと学びたい。	3 件
表情や印象、伝えたい気持ちが大切だということが良くわかった。	3 件
覚えるのが大変だった。	2 件
全くの初心者にはついていくのが大変で、落ちこぼれ感を持ってしまったが、家で練習している。	1 件
聾者に対しての向かい方、良い話を聞いた。	1 件
日常の中で手話を使う機会を増やしたい。	1 件
聾の方と接するのが初めてで、言葉を覚える大変さを知った。	1 件
最初は不安だった。	1 件
単語はなんとか覚えられたが、会話だと単語を繋げるだけでは成り立たないので難しかった。	1 件
「手話の使い手」と「手話会通訳者」とは異なるということ。	1 件
表現が難しい。	1 件
手話を学ぶ男性が少ないと思った。	1 件

2.講習会に対しての希望	同意見
手話のテレビ番組の紹介をしてほしい。	1 件
手話を間違えた時に、注意が少しきついなと思う場面があった。	1 件
休んだ時のフォローがあるといいなと思った。	1 件
人数が多く、名前が覚えられなかった。	1 件
ペースが早いと思った。	1 件
春頃にも講習会があるといいなと思った。	1 件
クラスを増やして、1クラスの人数を減らし、ディスカッションを増やすといいと思う。	1 件
テキストを使わない今のままの形がいい。	1 件
講義の時の手話通訳が聞き取りづらかった。	1 件
子どもも参加出来たらいい。メモする時間がほしかった。	1 件
マウスシールドだけでいいと感じた。	1 件

3.講習会終了後、どのような活動をされますか	同意見
中級へ進級。	14 件
サークルへ入会。	3 件
会社で手話部を作る。	1 件

考　察
今年度は40人定員と、昨年度より10人定員数を増やしての開催となりましたが、申し込み数44人と定員を上回り、多くの方が講習会を受講することができました。 土曜コースでは、全体平均出席率85%と休まずに受講する方が多く、参加して「とても良かった」「良かった」合わせて100%と高評価をいただきました。 講習会を受けて感じたこととして、「表情や印象、伝えたい気持ちが大切だということが良くわかった。」という感想が複数あり、手話以外の表現で聾者と通じる事が出来る事を受講生が学ぶ良い機会になったと考えます。 また、講習会に対しての希望に、「マウスシールドだけでいいと感じた。」という意見があり、講習会中にもフェイスシールドとマウスシールドの必要性について複数の声があがりました。感染症対策も緩和されてきているため、次年度については、フェイスシールドやマウスシールドの使用を検討していきたいと思います。 今後も千葉市聴覚障害者協会と協力し、より良い講習会を提供できるよう努めます。

令和　5 年度　　音訳講習会アンケート実施報告

令和5年12月5日

【受講者数、等】

（全　12　回）

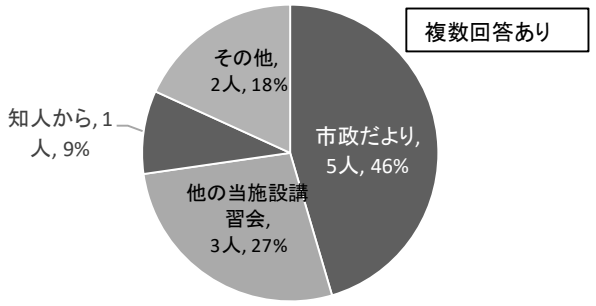
応募者数	13	人	C. 全回出席者数	5	人
A. 補欠、落選、受講前のキャンセル者数	0	人	D. 修了証書対象者数	12	人
受講者数（応募者-A－B）	12	人	平均出席者／回	10	人
B. 途中キャンセル者数	1	人	平均出席率／回	87	%

【アンケート】

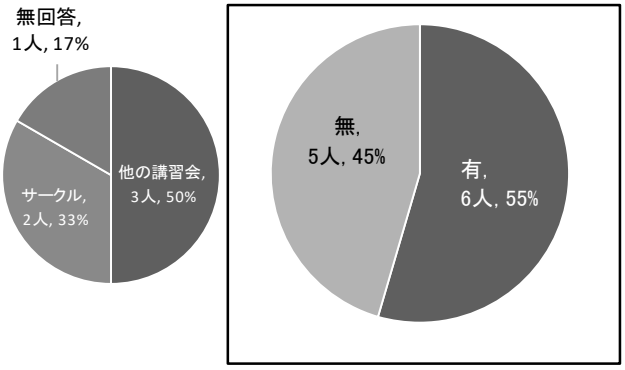
アンケート配布枚数	12	枚	アンケート回答者数	11	枚	回答率	92	%

＜申し込みにあたっての質問＞

1. この講習会が行われるのを何で知りましたか



2. この講習会に参加する前の知識は

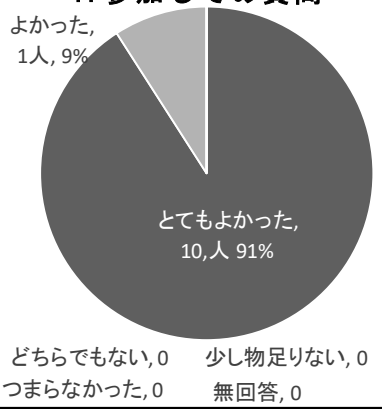


3. 参加した動機はなんですか（自由記述）

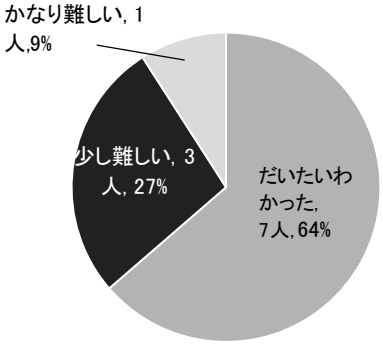
音訳をやってみたかった。市政だよりの音訳に携わってみたかった。	3	件
ボランティアや朗読に関心があった。ボランティア活動に携わりたいと思っていた。	3	件
声を出して読むのが好き。声を使って何かやりたいと思ったから。	2	件
千葉点字図書館の講習会後、さらに勉強したいと思ったから。	1	件
音訳サークルの先輩に勧められ、技術向上に繋げたかったから。	1	件
音訳について詳しく知りたかった。	1	件

＜講習会についての質問＞

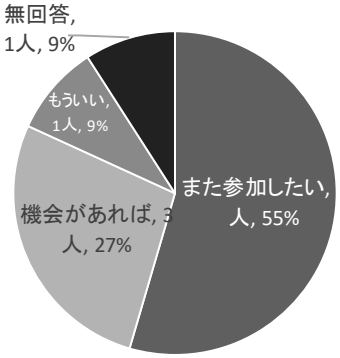
1. 参加しての質問



2. 難しさについての質問



3. また参加したいかの質問



1.講習会を受けて感じたこと、印象に残ったこと	同意見
音訳が一般の方々に知られていない、自分も音訳という言葉を知らなかった。	2 件
音訳も奥が深く、考えが甘かった。参加出来て良かった。楽しく学べた。	2 件
写真を言葉で伝えることが難しく、自分が当たり前だと思っていたことが視覚障害者にとってはそうではないことを知った。	1 件
録音操作など参考になった。滑舌を良くする練習の必要性を感じた。	1 件
講師のボランティア活動に対する熱意、知識の深さに感動した。	1 件
参加者が熱心で、良い刺激を受けた。	1 件
各講師にもっと教えてもらいたかった。時間が足りないと感じた。大勢のボランティアが携わっていることを知った。これほどの労力全てがボランティア頼みであることに多少の疑問を抱いた。	1 件
同期の方がいるのが嬉しかった。素晴らしい講習会だった。	1 件

2.講習会に対しての希望	同意見
このまま続けたい。	2 件
充実した内容で満足している。	2 件
欠席した時のフォロー体制があるといいと思った。（アーカイブ視聴やオンライン参加など。）	1 件
終わりの時間がもっと早いとよかった。	1 件

3.講習会終了後、どのような活動をされますか	同意見
声の市政だより協力会。	3 件
サークル入会済み。	2 件
サークルに関心がある。	1 件

考　察

今年度は12人の方が受講し、出席率は87％でした。また、今回の受講者には、すでに音訳サークルに入会している方も数人いましたが、音訳経験者、未経験者それぞれから受講して良かったとの高評価をもらいました。

高評価に繋がった理由としては、各講師による受講内容の中で、受講者の視覚障害者への理解が深まったことと、音訳の奥深さに触れたことが記述1の回答からみても考察できます。

また、「少し難しい」「かなり難しい」と回答があった理由については、音訳は1枚の写真を視覚障害者に説明するだけでも高度な技術を要する為、見えていることが当たり前の健常者にとっては、一つ一つの伝え方が難しいと感じたようでした。

声の市政だよりは、視覚に障害を持つ方にとって、とても必要な情報源なので、声の市政だより協力会に一人でも多くの方が入会し、活動できるよう、来年度も声の市政だより協力会と協力しながら講習会を運営していきたいと考えます。

令和　5 年度　　点字講習会アンケート実施報告

令和6年3月26日

【受講者数、等】

（全　10　回）

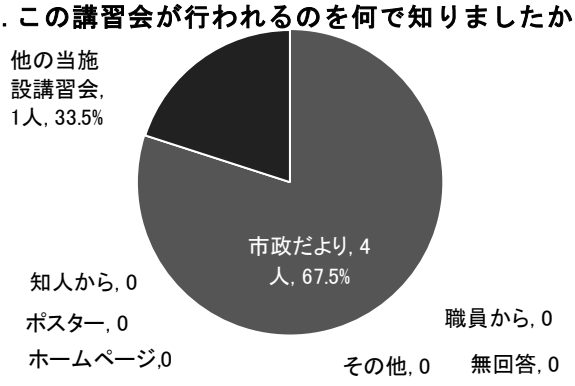
応募者数	6	人	C. 全回出席者数	2	人
A. 補欠、落選、受講前のキャンセル者数	0	人	D. 修了証書対象者数	6	人
受講者数（応募者-A－B）	6	人	平均出席者／回	4.5	人
B. 途中キャンセル者数	0	人	平均出席率／回	90	%

【アンケート】

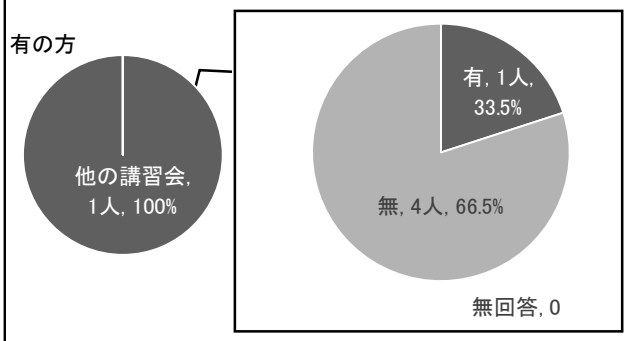
アンケート配布枚数	6 枚	アンケート回答者数	5 枚	回答率	83 %

＜申し込みにあたっての質問＞

1. この講習会が行われるのを何で知りましたか



2. この講習会に参加する前の知識は

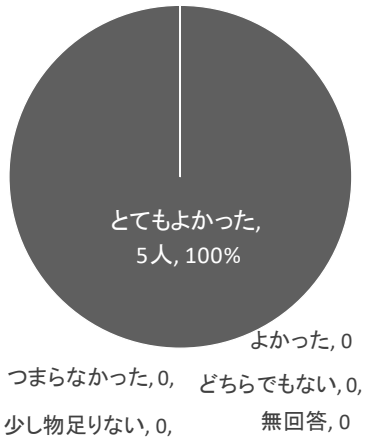


3. 参加した動機はなんですか（自由記述）

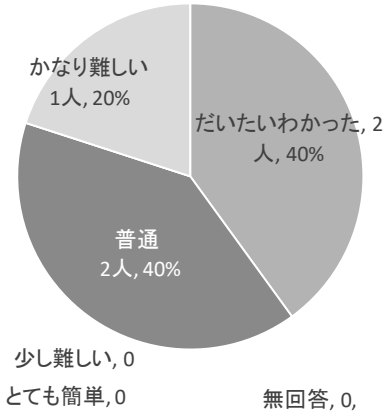
点字に興味があった	2	件
以前、他県で受講したが、改めてもう一度勉強したかった	1	件
職場に視覚障害者が来るので（覚えることで）会話ができると良いと考えた。	1	件
憲法の前文を点訳してみたいと考えています	1	件

＜講習会についての質問＞

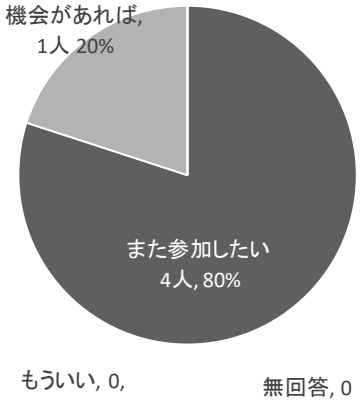
1. 参加しての質問



2. 難しさについての質問



3. また参加したいかの質問



1.講習会を受けて感じたこと、印象に残ったこと	同意見
講師の指導が分かりやすい、分からないこともすぐに聞けた。	1 件
毎年、進歩していることを感じます。	1 件
打つ方と読む方の2種類があることに驚いた。	1 件
日常生活にある点字が読めるようになった。	1 件
課題があるのが良かった。	1 件
受講者が6名だったので、講師が身近に感じた。 講師が勉強以外に生活のことも話してくれるのが良かった。	1 件
普段、漢字や日本語の組立てを適当にしていたことが良く分かった。	1 件

2.講習会に対しての希望	同意見
もう少し回数が多くても良い。	1 件
質問タイム、もしくは講師の方と話す時間がもっと欲しかった。	1 件
今のままでいい。	1 件
仕事をしながらだと難しいスケジュールだった。退職後など、時間がある程度ない人でないと厳しい。もう少し気軽に、忙しくても参加できるようなボランティア環境があると良いと思った。点訳ボランティア養成講座にも同じことを思った。	1 件
講習を受けた後、どのような道があるか、もっと知りたかった。	1 件

3.講習会終了後、どのような活動をされますか	同意見
点訳ボランティア（四街道）に申込み済	1 件
検討中、練習は続ける	1 件
点字講習会の受講（四街道）を検討中	1 件

考　察

今年度点字講習会は6人の方が受講でした。。平均出席率は90%。全回出席者が2人でした。参加した方全員から参加して「とても良かった」と回答があり、満足度の高さが伺えました。

難易度については「だいたいわかった」40%、「普通」40%、「かなり難しかった」20%でした。また、希望として、「質問タイム、もしくは講師の方と話す時間がもっと欲しかった。」とあったため、次年度は、難しいと思ったところを質問して、解決できるよう講師と調整します。

また、「受講者が6名だったので、講師が身近に感じた。講師が勉強以外に生活のことも話してくれるのが良かった。」との意見や講習会終了後に、講師に質問や雑談、ボランティアについて話している場面が見られ、とても意欲的に参加してもらえたと感じました。

視覚障害者総合支援センターちばや千葉視覚障害者協会と協力しながら講習会を運営しました。今回のアンケート結果を活かし、今後も皆様に有意義な講習会を受講していただけるように努めてまいります。

令和　5 年度　　手話講習会（中級）（木曜日）アンケート実施報告

令和6年2月29日

（全　12　回）

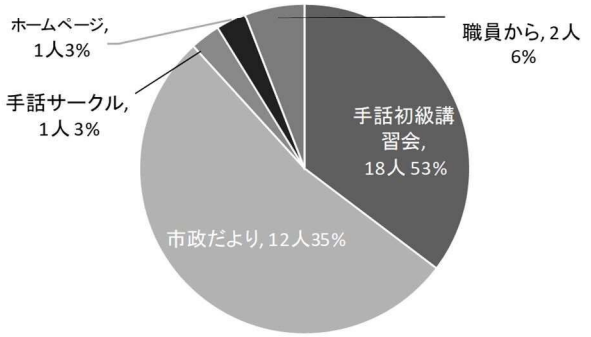
【受講者数、等】	木Ａ	木Ｂ	計
応募者数	17 人	16 人	33 人
A. 補欠、落選、受講前のキャンセル者数	1 人	0 人	1 人
受講者数（応募者-A－B）	15 人	16 人	31 人
B. 途中キャンセル者数	1 人	0 人	1 人
C. 全回出席者数	6 人	5 人	11 人
D. 修了証書対象者数	13 人	14 人	27 人

	木Ａ	木Ｂ	全体平均
平均出席者／回	13 人	14.17 人	28 人
平均出席率／回	84%	89%	86%

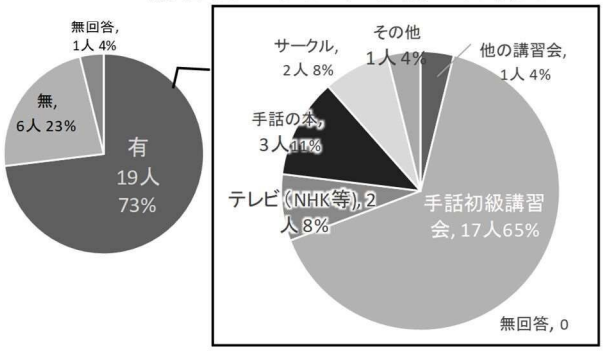
【アンケート】			
アンケート配布枚数	32 枚		
アンケート回答者数	26 枚	回答率	81 %

＜申し込みにあたっての質問＞

1. この講習会が行われるのを何で知りましたか



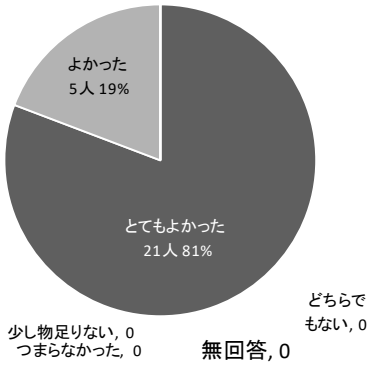
2. この講習会に参加する前の知識は



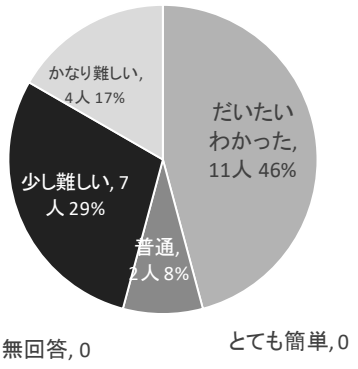
3. 講習会に参加した動機は何ですか	同意見
手話をもっと知りたいと思ったから。	4　件
以前から興味があった。	3　件
仕事に活かしたい。	2　件
社会貢献の機会を持つため。	2　件
ドラマを見て興味を持った。	2　件
聴覚障害者と知り合い、もっと話したいと思ったから。	1　件
手話通訳士になりたい。	1　件
何かを学びたいと思ったから。	1　件
聞こえにくくなった方への勉強会を受講して手話に興味がわいた。	1　件
難聴になってきたため。	1　件

＜講習会についての質問＞

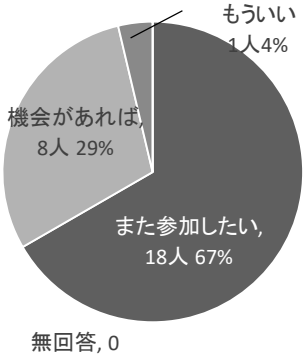
1. 参加しての質問



2. 難しさについての質問



3. また参加したいかの質問



1.講習会を受けて感じたこと、印象に残ったこと	同意見
楽しく学べ、手話を話せるようになって良かった。	6 件
ろうの方について知る機会になった。	5 件
他の受講者含め予習復習をして意欲的に取り組めた。	4 件
席決めがくじ引きだった事でいろいろな方と学べたのは良かった。	2 件
講師がやさしく丁寧だった。	2 件
指文字しりとりや手話ソング等楽しく学べた。	1 件
覚えたつもりが忘れてしまうので、継続の機会を模索中。	1 件
手話の勉強を継続していきたい。	1 件
初級で学んでいないことも多かったので、健聴の先生の声付きでの指導が欲しい。	1 件
DVDでの読み取り練習が良かった。	1 件
復習から入れて良かった。	1 件
ろうあ運動の歴史を知れた。	1 件
積極的に話すことが大事だと感じた。	1 件

2.講習会に対しての希望	同意見
A.Bクラスでの進捗や教え方が違い統一感が無く感じた。	2 件
中級受講後応用編が三日しか無いのでもう少し増やして欲しい。	1 件
ろうの文化についてもっと知りたかった。	1 件
広く浅くという印象だったので、もう少し深く勉強をしたい。	1 件
次回も継続したくなるような方向づけが欲しい。	1 件
1回の時間が3時間ほど欲しい。	1 件
クラス替えは無くても良かった。	1 件
近くにもあると良い。	1 件
県名をもっと長く教えて欲しかった。	1 件

3.講習会終了後、どのような活動をされますか	同意見
応用編受講	7　件
手話サークル入会	1　件
養成講座受講	1　件
既に入っているサークルで活かす。	1　件
応用編受講後は、サークル等で学び、ボランティアをしたい。	1 件

考　察

今年度の手話講習会中級講座では、感染症として、フェイスシールドとマウスシールドの着用をお願いしての開催となりました。

出席状況は、平均出席率86％と高く、修了証対象者も31人中27人となり、受講者の方々に意欲的に参加してもらえたと感じます。

休憩中や講習会終了後など、参加者同士で手話の練習や講義内容の確認、予習復習をされていました。参加者同士で、手話のレベルを高めあいながら、交流も深めながら手話を学んでいる姿も見られました。

ご意見として、中級受講後の応用編の受講期間の延長や1回の時間の延長等出ましたが、ふれあいの家の手話講習会としては、手話や聴覚障害について興味を持ち、基本から学ぶという目的であるため、手話を継続して学びたいという方へは、サークルへの入会等を紹介出来たらと思います。

参加して『よかった』『とても良かった』が合わせて100％と高評価でした。また、ご意見としても『楽しく学べ、手話を話せるようになって良かった。』が6件、『他の受講者含め予習復習をして意欲的に取り組めた。』4件などの回答があり、受講者にとって充実した講習会となったと思われます。

次年度も聴覚障害者への理解と手話に対する興味をを広げていけるように、千葉市聴覚障害者協会と協力して、企画・運営していきます。

令和　5 年度　手話講習会（中級）（土曜日）アンケート実施報告

令和6年2月24日

（全　12　回）

【受講者数、等】	土Ａ	土Ｂ	計
応募者数	20 人	20 人	40 人
A. 補欠、落選、受講前のキャンセル者数	0 人	0 人	0 人
受講者数（応募者-A－B）	19 人	19 人	38 人
B. 途中キャンセル者数	1 人	1 人	2 人
C. 全回出席者数	8 人	5 人	13 人
D. 修了証書対象者数	16 人	14 人	30 人

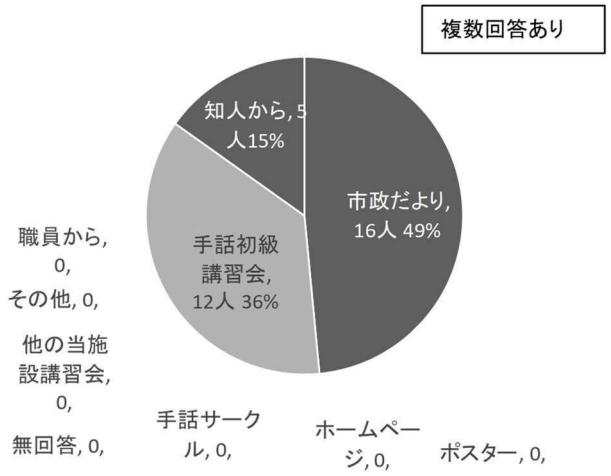
	土Ａ	土Ｂ	全体平均
平均出席者／回	17　人	16　人	33　人
平均出席率／回	83%	80%	81%

【アンケート】

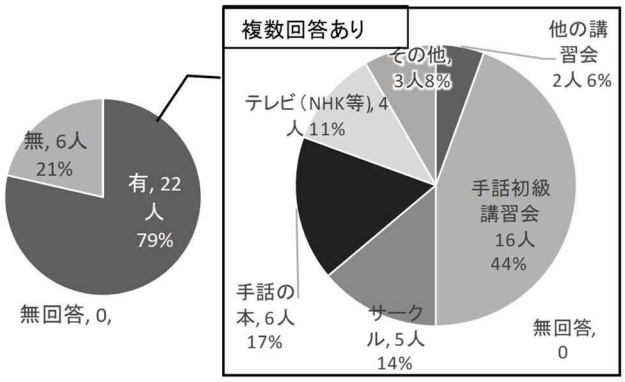
アンケート配布枚数	40 枚		
アンケート回答者数	29 枚	回答率	73　%

＜申し込みにあたっての質問＞

1. この講習会が行われるのを何で知りましたか



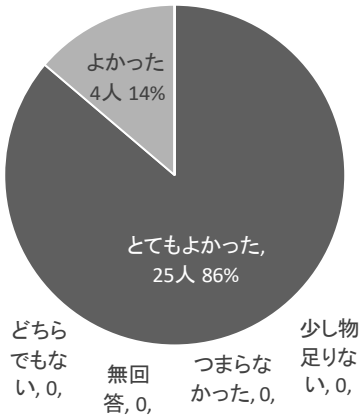
2. この講習会に参加する前の知識は



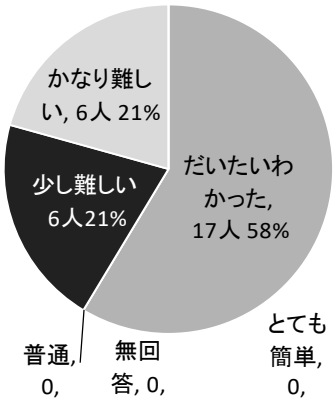
3. 講習会に参加した動機は何ですか	同意見
知り合いのろう者とコミュニケーションを図りたい。	6　件
手話に興味があった。	4　件
以前から興味があった。	4　件
手話学習継続の為	3　件
仕事に活かしたい。	2　件
テレビで手話を見て興味を持った。	1　件
養成講座に進むため。	1　件
新しく講座を受けたくなり。	1　件
世界を広く持ちたい。	1　件
デフリンピックなどある為	1　件

＜講習会についての質問＞

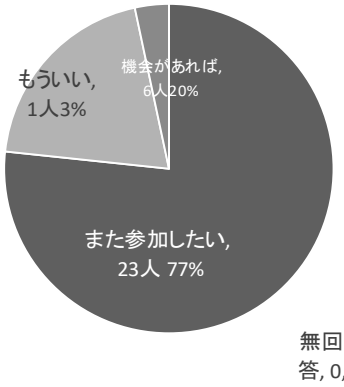
1. 参加しての質問



2. 難しさについての質問



3. また参加したいかの質問



1.講習会を受けて感じたこと、印象に残ったこと	同意見
先生方が丁寧で楽しく学べた。	11　件
伝えたい、通じたいという気持ちが大切だと感じた。	3　件
ろうの方について知る機会になった。	2　件
手話の勉強を継続していきたい。	1　件
読み取る力が付いた。	1　件
予習復習をして意欲的に取り組めた。	1　件
手話のちょっとした違いを覚えるのが難しかった。	1　件
中級の後6ヶ月の上級編の様な講座が欲しい。	1　件
独学(本など)では学べないことを聞けた。	1　件
雀の学校形式では、他の受講者の手話が見えない	1　件
体系的に学べた。	1　件

2.講習会に対しての希望	同意見
フェイスシールドとマウスシールドの強制は不要。感染症予防になっていない。	1　件
もっと長い時間が良い。	1　件
中級の後6ヶ月の上級編の様な講座が欲しい。	1　件
U字の座席が良い。	1　件
各クラス開催日に案内があると良い。	1　件
都道府県をもっと詳しく知りたかった。	1　件
曜日を跨いだ振替日が欲しい。	1　件
フェイスシールドとマウスシールドの両方必要か。(手話がしづらい為)	1　件

3.講習会終了後、どのような活動をされますか	同意見
応用編受講	11　件
手話サークル入会	5　件
養成講座受講	1　件
手話検定受験	1　件

考　察

今年度の手話講習会中級講座では、感染症として、フェイスシールドとマウスシールドの着用をお願いしての開催となりました。

出席状況としては、平均出席率81％、38人受講し、修了証対象者が30人と皆さん意欲的に参加していました。

休憩中や講習会終了後など、参加者同士で手話の練習や講義内容の確認、予習復習をしていました。また、参加者同士で、サークル参加者の話を聞いたり、交流も深めながら手話を学んでいる姿も見られました。

また、『もっと長い時間が良い』『中級の後6ヶ月の上級編の様な講座が欲しい。』『曜日を跨いだ振替日が欲しい。』などの意見があがり、受講者の方のもっと手話を学びたいという気持ちが伝わってきました。

参加して『よかった』『とても良かった』が合わせて100％となり、ご意見でも『先生方が丁寧で楽しく学べた』という回答が12件あり、受講者の方の満足度の高さが伺えます。

次年度も聴覚障害者への理解と手話に対する興味をを広げていけるように、千葉市聴覚障害者協会と協力して、企画・運営していきます。

令和　5　年度　　手話講習会(応用)（木曜日）アンケート実施報告

令和6年3月21日

（全　3　回）

【受講者数、等】

	木Ａ	木Ｂ	計
応募者数	12 人	12　人	24 人
A.補欠、落選、受講前のキャンセル者数	0 人	0　人	0 人
受講者数（応募者-A－B）	12 人	12　人	24 人
B.途中キャンセル者数	0 人	0　人	0 人
C.全回出席者数	10 人	8　人	18 人
D.修了証書対象者数	0 人	0　人	0 人

	木Ａ	木Ｂ	全体平均
平均出席者／回	11.3　人	9.3　人	20.7　人
平均出席率／回	94%	78%	86%

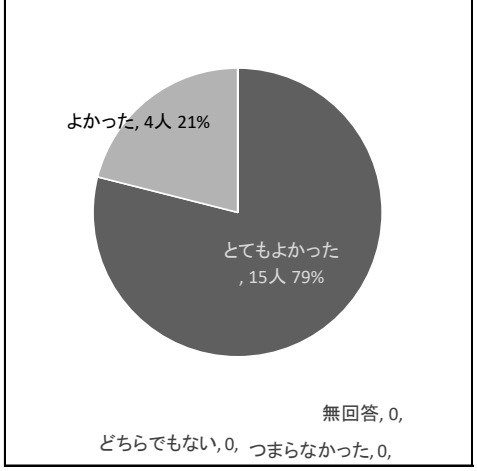
【アンケート】

アンケート配布枚数	22 枚		
アンケート回答者数	20 枚	回答率	91　%

講習会に参加した動機は何ですか	同意見
手話をもう少し学んでみたかった。	3　件
養成講座を受講予定のため	3　件
手話を習得し、ろう者の方とコミュニケーションを取りたい。	2　件
手話技能検定3級を受験予定	2　件
中級を受けたため	2　件
家族が障害者になったことで、介護をするうちに、色々な方とつながりたいと思った。	1　件
仕事でろう者を担当しているので、手話を覚えたかった。	1　件
何か学びたいと思った。	1　件
ボランティア	1　件
最近、聴力が落ちてきたため	1　件
ろう者の方に乳がんを予防することの大切さを伝えたいから	1　件
ヘレンケラーの映画を観た時から興味があった	1　件

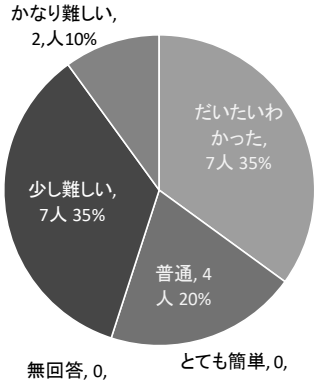
＜講習会についての質問＞

1.参加しての質問



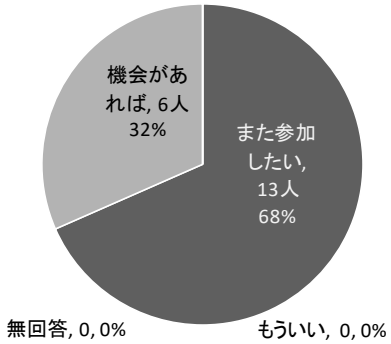
	同意見
講師が良かった。	3　件
楽しかった。	3　件
実際に目で見てその場で一緒に表現するので復習で教材を見ても思い出しやすい	1　件
独学ではなかなか頭に入らないが先生から意味等を説明していただき少しずつ覚えられた。	1　件
実際にろう者へ伝えるためにはどうしたら良いか教えていただけた。	1　件
応用編では、手話を使って会話をすることができた。	1　件
友達がたくさんできた。	1　件

2. 難しさについての質問



読み取りが難しかった。	4 件
先生の教え方が丁寧なので、だいたいわかった。	2 件
指文字を覚えられない。	2 件
理解できるまで時間がかかる。	1 件
習っていない表現などは、教材の図や絵だけでは難しい。	1 件

3. また参加したいかの質問



手話を使う為に参加したい	7 件
楽しかったのでこれで終わってしまうのはもったいない	3 件
初級からもう一度受けたい	1 件
仕事の都合をつけやすい単発があれば参加したい	1 件
グループで学べるのでまた参加したい	2 件
学びなおしたい	1 件
3回では、物足りなかった	1 件
たくさんの表現を知りたい	1 件
近くにサークルがないため	1 件

4.講習会を受けて感じたこと、印象に残ったこと	同意見
継続していきたい	3 件
手だけでなく表情や体の動き含めて伝える事が大切だと分かった	2 件
楽しかった	2 件
もっと手話を覚えたい	1 件
感情表現が難しかった	1 件
指文字しりとりが楽しかった。	1 件
手話がろうの方に伝わった時とてもうれしかった。	1 件
ろう者について知ることが出来た	1 件
先生方が根気強く教えてくれた	1 件
手話まつりなど催しがある時は知りたい	1 件
手話文化を知れた	1 件
聞こえない人はこんなにも目を酷使しているのかと思った	1 件
県名をもっとしっかり習いたかった	1 件

5.講習会に対しての希望	同意見
期間を延長して欲しい	3　件
時間が足りなかった	2　件
この講習会を通して手話に携わる人が少しでも増えると良い	1　件
講演会のアンケートは提出自由にして欲しい。	1　件
部屋が寒かった	1　件

6.講習会終了後、どのような活動をされますか	同意見
養成講座受講予定	8　件
手話サークル	7　件
手話検定	4　件

考　察

今年度の手話講習会応用講座では、24人が参加、平均出席率86%でした。参加して、「良かった」「とても良かった」があわせて、100%でした。また、「実際に目で見てその場で一緒に表現するので復習で教材を見ても思い出しやすい」と意見があったことや休憩中や講習会終了後など、参加者同士で手話の練習や講義内容の確認、予習復習している姿を見た事から意欲的に取り組んでもらえたと感じました。

希望として、「時間が足りなかった」「期間を延長して欲しい」とありましたが、ふれあいの家の手話講習会としては、手話や聴覚障害について興味を持ち、基本から学ぶという目的であるため、手話を継続して学びたいという方へは、サークルへの入会等を紹介出来たらと思います。

講習会終了後、どのような活動をされますかには、「養成講座受講予定」が8件とこの講習会で基本から学び、手話や聴覚障害について理解を深めて頂けたと感じました。

次年度も聴覚障害者への理解と手話に対する興味をを広げていけるように、千葉市聴覚障害者協会と協力して、企画・運営していきます。

令和　5　年度　　手話講習会(応用)（土曜日）アンケート実施報告

令和6年3月23日

（全　3　回）

【受講者数、等】	土A	土B	計
応募者数	14 人	14 人	28 人
A.補欠、落選、受講前のキャンセル者数	0 人	0 人	0 人
受講者数（応募者-A－B）	14 人	14 人	28 人
B.途中キャンセル者数	0 人	0 人	0 人
C.全回出席者数	13 人	10 人	23 人

	土A	土B	全体平均
平均出席者／回	13.7 人	13.0 人	26.7 人
平均出席率／回	98%	93%	95%

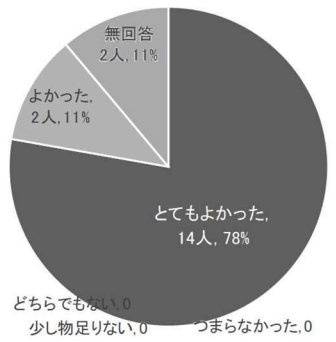
【アンケート】			
アンケート配布枚数	28 枚		
アンケート回答者数	18 枚	回答率	64 %

講習会に参加した動機は何ですか

もっと手話を勉強したいため	6 件
養成講座を受講したい	4 件
職場のろう者とコミュニケーションをとれるようになりたい。	2 件
雀の学校形式ではなく、実践的なロールプレイ中心だと聞いたから	1 件
中級からのステップアップ	1 件
20年前に他県で手話講座を受け、再度勉強したく受講。職場で手話ができるようにしたい。養成講座や手話検定も検討中。	1 件
中級だけで終わってしまうのはもったいないと思った。次は未定。	1 件
ろう者との会話をスムーズにするため	1 件
日常生活に生かしたい	1 件
言葉が出なかったり手が震えて筆談がままならなくなってくる時に、手話は意思を素早く伝えやすい手段だと思ったので	1 件

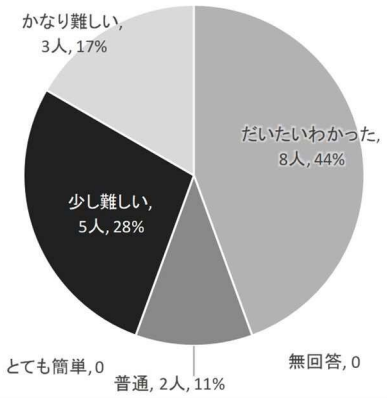
＜講習会についての質問＞

1.参加しての質問

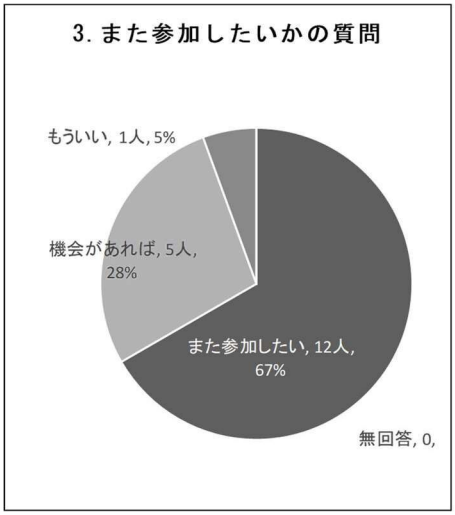


	同意見
楽しく手話を学ぶことができました。	2 件
ロールプレイや発表など一方的な勉強でなく、対面会話の練習が良かった。	1 件
少しずつだが手話を読み取れるようになってきたと感じられた	1 件
2回しか参加できなかったが手話で話すことが多くて、とても勉強になった。	1 件
昨年は中級から持ち上がりのクラスでした。今年は半々のメンバーでしたが、色々な方と勉強してよかったです。	1 件
話すのが禁止で手話や身振りだけでどう表現するのか、より考えられた	1 件
講師がろう者なので、実際に日常で使っている手話なのが良い。本だけでは学べない生きた手話を学べた。	1 件

2.難しさについての質問



内容は易しいものだったとは思うが、実際に講師の通訳無しだと会話の流れが分からず読み取るのが非常に難しく、理解するのに時間がかかった。	3 件
習ってもすぐ忘れてしまう。	1 件
指文字が読み取りにくい。普段「あ、い、う」と順番に練習するので、とっさの変化に追いつかない。	1 件
ろう講師が分かるようにゆっくり表現してくれる上、健聴講師の説明がとても分かりやすい	1 件
知らない単語が出てくると、前後を繋ぎ合わせて頭の中で何を伝えようとしているのかを考えるが、所々分からない。	1 件
本を参考に覚えようとしても、毎回（手話を）見たり接していないと、混同したり忘れたりで難しいなと思った。	1 件



練習など継続していける場なので、次も参加したい。	2 件
もう少し期間が長くてもいいです。もっと単語を学びたい。	1 件
養成講座が受講できなかった時、忘れないために受講したい。	1 件
参加したいがシフト制勤務なので2か月前くらいには情報が欲しい	1 件
なかなか覚えられなかったので、また勉強したいです。	1 件
繰り返しの受講が迷惑でなければまた参加したい。	1 件
3回しかないのは物足りない。	1 件
私用でバタバタしていたのでもう一度落ち着いて受講したい	1 件
参加したいが、都合がつくか分からない	1 件

4.講習会を受けて感じたこと、印象に残ったこと	同意見
講師の指導が丁寧でよかった。短期間でしたがお疲れ様です、ありがとうございました。	2 件
手話講習会を通じて、一緒に学ぶ仲間が出来た。	1 件
読み取りが難しい、なかなか上手く表現が出来ず伝わらなかった。	1 件
同じ教室で目標を持っている人とつながることが出来て嬉しかった。	1 件
レベルの高い人、中程度の人と色々な方がいて良い。	1 件
伝える事、伝えようとする事が大切	1 件
皆様、本当にまじめだと思いました。資格をとりたい、と興味を持つ人が目についたため。	1 件
中級コースまでと比べて実践的なトーキング練習が多く、はるかに楽しい。手話表現では単語を習得することはとても重要だが、すぐに忘れてしまい、なかなか修得は難しい。	1 件
表情や口話も大事にする事、左右で表現する事、文法等、もっと勉強したい。沢山話ができるようになりたい。	1 件
中級で覚えて忘れていた単語もきちんと教えて頂いた。ゲームも楽しかったです。	1 件
講師に質問しやすく、楽しく受講できた。「少しずつ覚えて出来るようになれば良い」という言葉に勇気を頂いた。	1 件
難しいと考えずに、楽しみながら覚えていきたい。少しずつ成長でもいいので長く勉強していきたい。	1 件
私達の話し方がそれぞれ違う様に、手話の話し方も皆違うことに驚いた。受講生間でも手話がそれぞれ違って勉強になった。	1 件
講師の記憶力に驚いた。以前、少しお会いしただけなのに顔を覚えていて嬉しかった。	1 件
発表で緊張して大変だったが、楽しかった。	1 件
間違った手話表現のまま応用編まで進まれている人が多くみられた。受講生の数が多く、1人1人への対応が難しいのではないかと感じた。	1 件

5.講習会に対しての希望	同意見
このままでいいと思います	1　件
様々な会話場面ごとのロールプレイングを積み重ねる講習会にしてほしい。 今回の応用編の3回目のような授業の形が良いと考えます。	1　件
希望者は出来る限り受け入れてほしい。勉強したい気持ちがある時に継続して受講できたらいいと思う。	1　件
手話講座（初級、中級）を長期間やってほしいです。	1　件
休む時の振り替えができると嬉しい（土→木　など）	1　件
3回は短い気がする。もう少し長くてもいいかと思う。（5回くらい）	1　件
もう少し復習できる時間が欲しかった。専門職の養成窓口だと感じた。	1　件
ろう者とお話する機会があと2～3回あったら嬉しいです。（グループワーク的な）	1　件
開講前にお知らせを頂けると助かります。	1　件
養成講座への優先枠を設けてほしい。抽選は仕方がないとはいえ、外れるのは悔しい。	1　件
平日の夜に開催してほしい	1　件

考　察
応用編では初級、中級編までの内容を基にした会話練習や、レストランや避難所などの実際の場面を想定したロールプレイを行いました。 受講者からは「とても良かった」が78%「良かった」が11%となり、高い満足度となりました。 内容の難しさについては「少し難しい」が17%、「かなり難しい」が28%となり、難しさを感じた方が4割強いました。意見の中で「とっさの変化に追いつけない」「読み取りが難しい」とあったように、内容が健聴講師の通訳に頼らず手話のみで会話することが多かったため、会話の流れを読み取ることが難しかったためと思われます。 受講生からの希望として「ロールプレイを積み重ねる講習会にしてほしい」「3回は短い気がする。もう少し長くてもいいかと思う。（5回くらい）」など、実際にろう者と会話をする機会を増やしてほしいといった希望の意見が寄せられました。 今後も千葉市聴覚障害者協会と連絡を取りながら、よりよい講習会になるように努めていきます。

オ　ふれあい作品展

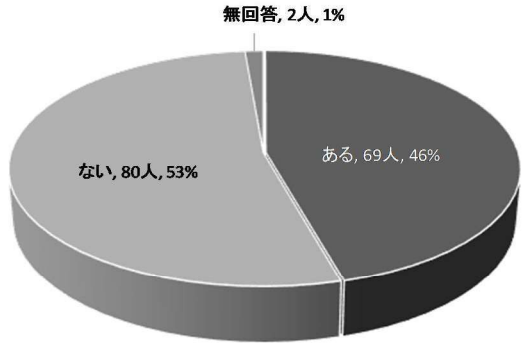
令和5年度　ふれあい作品展アンケート

日時：令和 6年 2月 1日（木）～ 2月 29日（木）　場所：千葉市療育センター分館　はまのわ

アンケート回答人数　　152　人

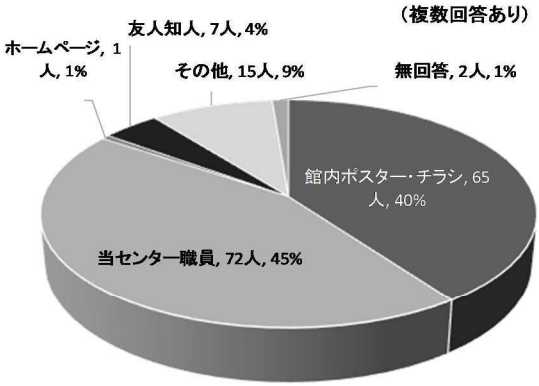
集計結果

1.障害者手帳はお持ちですか



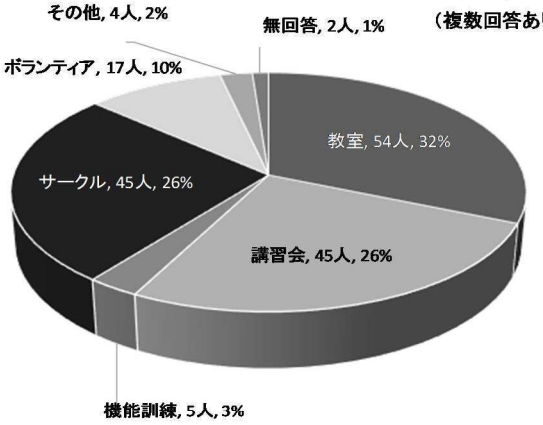
2. 今回の催しを何で知りましたか

（複数回答あり）

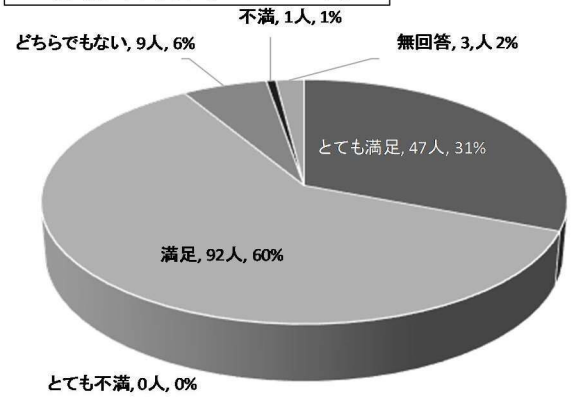


3. 当施設をどのように利用されていますか

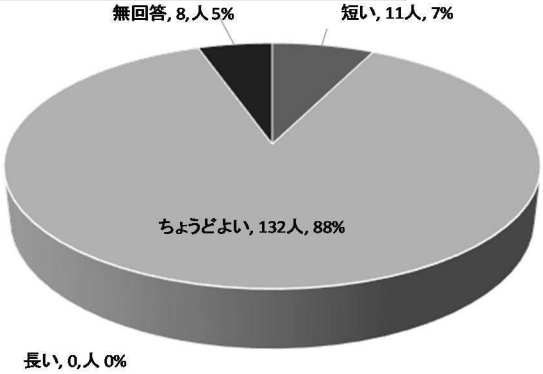
（複数回答あり）



4. 作品の内容はいかがですか



5. 開催期間の長さはいかがですか



ご意見・ご感想	同様の意見
色々な障害を持ちながらも、作品は素晴らしく感動しました。	1 件
皆さん頑張った作品の数々、感動しました。次回も楽しみです。	1 件
色々作品を見て、多くの方達が活動されていることを知れました。どの作品にも目を奪われました。	1 件
以前も拝見させて頂きましたが、どの作品も皆さんの一生懸命さ、丁寧さが伝わるものばかりです。私も何か始めたくなりました。	1 件
皆さん楽しく作品を作られたのでしょう。いい作品ばかりでした。	1 件
皆さんの作品素敵でした。どこに何の作品があるか分かると良かったです。	1 件
丁寧に時間をかけて作られたのが分かります。	1 件
とてもすてきな作品で見てよかった。	1 件
それぞれの不自由があるのにみんな立派な作品で驚きました。頑張れ。	1 件
みなさん作品が上手でした。きれいに飾られています。	1 件
毎回開催して頂き感謝しています。これからもよろしくお願い申し上げます。	1 件
普段、作品展を見る機会がほとんどないので、色々な作品を見るきっかけになりました。	1 件
教室に参加されている方々の作品がとても素晴らしいと思います。	1 件
また、丁寧な展示方法など職員の方々の工夫もありとても良かったです。	1 件
作品の一点一点に、製作なさった方の息遣いが感じられるようで感動しました	1 件
素晴らしい出来栄えにご本人も達成感に溢れていらっしゃると思います。ありがとうございます。	1 件
親切にご指導いただきありがとうございました。	1 件
今までやってきた教室はそのまま続けて欲しいです。	1 件
皆様、すごくよくできていて驚きました。	1 件
絵手紙など、もらいたいくらいでした。編み物素晴らしいです。ワークホームゆきの絵が素敵。	1 件
きめこみボード、フクロウがいい。スニップアート恐竜が可愛い。アクリルたわし汚れが落ちそう。	1 件
組紐、豪華です。	1 件
素晴らしい絵、工芸です。レベル高いと思いました。	1 件
辰年にちなんで、書道が展示されており、様々な書体の「辰」を拝見させていただきました。	1 件
絵手紙も楽しく観賞させていただきました。	1 件
出品されている方々の根気と丁寧さに感服いたしました。	1 件
皆様の日頃の努力がにじみ出ています。教室の廊下が明るくなります。長く飾ってください。	1 件
作品も展示の仕方も良いと思いました。	1 件
組紐などの作品が素晴らしいと思いました。	1 件
障害のある方の作品とは思えない作品でした。	1 件
カラフルで素敵な作品が多く、観ていて楽しかったです。	1 件

作品の一つ一つがとても良く出来ていて、素晴らしいと思いました。	1 件
細かい作業を必要とするものが多く、皆様素晴らしい作品ばかりでした。	1 件
教室風景など、プライバシーも考えて見せて欲しい。	1 件
皆様、素晴らしい作品が多く、いつも感心しています。	1 件
素晴らしい作品を拝見し、楽しませていただきました。絵手紙は素敵でやりたくなりました。	1 件
皆様、年々お上手になれらて素晴らしいと思います。ありがとうございました。	1 件
皆様の素晴らしい作品に脱帽です。たくさんの方々に見ていただきたいですね。	1 件
皆様が作った作品を観られて、心が和みました。自分も作品展に飾られている様々な作品を作ってみたいと思いました。	1 件
廊下に展示されている作品は、教室へ移動中に見られるので良い様に感じました。	1 件
バス停から遠いので、駅から近いと良いと思いました。	1 件
家族がここに通っていて、今回初めて来てみました。飾り付けがちょっとシンプルかなと思った。	1 件
もう少し、本人がその作品を作った感想などがあったらいいのに。	1 件
作品展を知らない人が多いので、せっかく建物内に入ることができるので、宣伝等をして、作品をたくさんの方に見ていただきたいです。	1 件
作品を綺麗に飾り付けして、丁寧に飾ってくれて、とても嬉しかったです。	1 件
作品展があると、目標になって良いと思います。こんなに綺麗に飾り付けしてくれると思わなかったので嬉しかったです。	1 件
指導してくださる先生が2名なので、少し分からないときに聞こうと待つ時間が多い。指導してもらうまでに時間がかかる。	1 件
水墨画やりたいと思って関心を持ちました。素晴らしい作品でした。広くPRして、一人でも多くの方にみてもらいたい。	1 件
皆さん頑張っています。日頃の成果が出ていると思います。どれも素晴らしいです。今後も期待しています。	1 件
ひとつひとつ丁寧に作られていて、どれもが心動かされるものでした。素敵な作品でした。	1 件
色々な活動、すごいと思います。	1 件
展示も大変良いと思います。落ち着いてみられました。	1 件
皆様の力が発揮されていますね。私も頑張ろう。	1 件
週1でしか来ないので、全部は見られなかったですが、絵手紙は素敵だなと感じました。	1 件
全ては見ていないが、素晴らしい作品達でした。「すごい」、「訓練中かな？」とか「頑張っているな」等、楽しめました。	1 件
素晴らしい作品ばかりで、すごいなと思いました。	1 件
作品の題名があれば書いてほしいです。	1 件
皆さんの手作り、感動です。	1 件
とても綺麗に飾れていました。上手な作品ばかりでした。	1 件
色々な作品が見られて良かったです。	1 件
皆さん日頃の活動、努力の成果かどれもとても良くできていて、素敵でした。引き続き頑張ってください。私も頑張ります。	1 件
いつもありがとうございます。感謝しております。今後ともよろしくお願いいたします。	1 件

とても素敵な作品ばかりで感動しました。特に目をひいたのは、視覚障害者の方の作品で、見えていても難しいであろうものをとても綺麗に仕上げられていて、素晴らしいと思いました。	1 件
皆様とても素敵に上手に作品を仕上げていてすごいと思いました。きめこみボードのキティちゃん、完璧なバランスでした。すごい！お雛様も可愛かったです。	1 件
作品はどれも素晴らしい！タイやタコは動き出しそうだし、キティちゃんは可愛い。水墨画も水彩も生き生きしている。楽しく作品を創ることが一番だと感じました。	1 件
同行させていただきました。楽しかったです。ありがとうございました。	1 件
展示作品はなんとも力作でした。	1 件
皆様の作品、展示もとても素晴らしかったです。	1 件
絵手紙では、心の内を素晴らしく表現された作品が多く見られました。	1 件
組紐がとても綺麗でした。絵手紙も趣き深かったです。	1 件
次回(次の年)まで展示しても良いと思います。	1 件
素晴らしい作品ばかり。皆さん頑張っていると思い、自分も励みになる。	1 件
大変素晴らしい作品なので、びっくりしました。	1 件
展示スペースも、作品数もちょうど良かったです。	1 件
素晴らしい作品ばかりで、自分も作りたい。	1 件
最初の期間は、陶芸教室に来る日に間に合わなかったのですが、期間延長してくれたことで、また、見ることができました。2月の初めに家族で来ましたが、何度も見たかったので良かったです。 家族で見に来たのですが、母が一言書き忘れたそうなので、ここに書きます。 「とても良かったです。こんなに綺麗に飾ってくれてありがとうございました。」と言っていました。 私は、初めて陶芸教室に通って、全てが初めてなのですが、教室以外でも、フェスティバルや旅行に参加させていただけて、とても楽しい1年間でした。陶芸も毎回楽しいですが、陶芸教室に通ったおかげで、この学校に関われて、自分にも居場所ができたことが何より嬉しいです。どのスタッフの方々も、とても親切で、出逢えたことにとても感謝しています。これからもよろしくお願いいたします。	1 件
皆さんとても上手です。	1 件
絵手紙、編み物、とても素敵でした。	1 件
展示品が少なく、寂しい感じがしました。	1 件
いつもお世話になっております。これからもよろしくお願いします。	1 件

考察

利用者の方々の作品を見て、多くの感動の声が聞かれました。

当初、展示期間は、2/1～2/18までの予定でしたが、素晴らしい作品を、より多くの方に見ていただけるように、2月末まで延長しました。もっと長く飾ってほしいというご意見もいただいたので、展示期間を延長して良かったと思います。見学された方は、教室や講習会、サークル、ボランティアでふれあいの家を利用される方が94%でした。

91%の方が満足、またはとても満足しており、多くの方に喜んでいただける結果となりました。

ふれあい作品展で、取り組んでいる活動の成果を発表することは、製作者も見学者も双方に目標・励みとなり、感動を与える良い機会となります。今後も、多くの方に出品していただけるように、声掛けし、また、展示の方法や飾り付け等も工夫していきたいと思います。

カ　サークル発表会

令和　5　年度　　**サークル発表会**　　**アンケート実施報告**　　令和5年10月1日

【受講者数、等】　　（全　1　回）

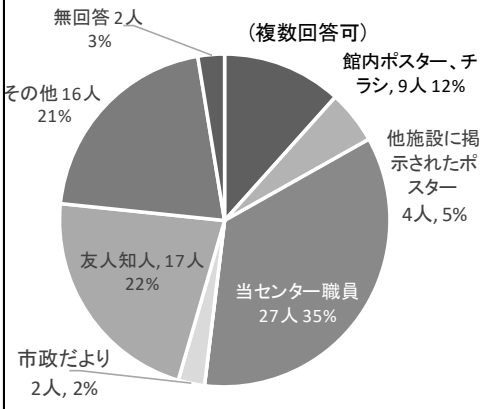
参加者数	185	人	A. サークル発表者数	130	人
	0	人	B. 一般観覧者数	50	人

【アンケート】

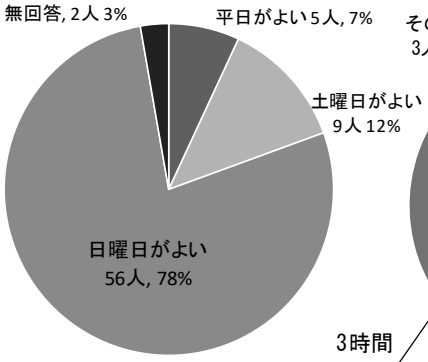
アンケート配布枚数	185	枚	アンケート回答者数	66	枚	回答率	36	%

＜教室についての質問＞

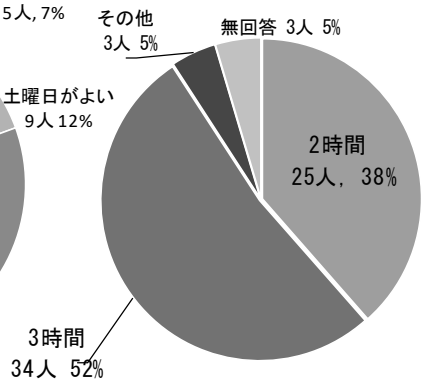
1. 今回の催しを何で知りましたか



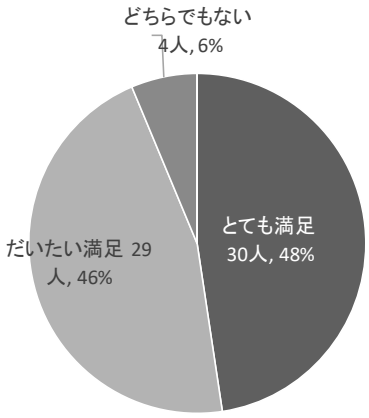
2. 日程は何曜日がよいですか



3.開催時間の長さはどれくらいがよいですか？



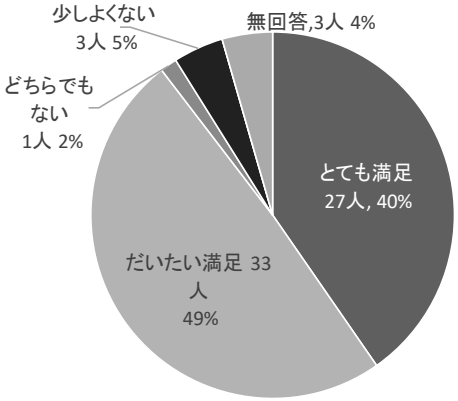
4. 内容・プログラムはいかがでしたか



※少し物足りない・物足りないという方の理由

できるだけ多くのサークルの参加を希望

5. 会場について



※少しよくない・よくないという方の理由

・冷房が効きすぎて寒い
・椅子を列ごとにずらして置くと見やすい
・音響や照明の改善を。雑音が入る。
・舞台の照明が少々暗い。

6.ご意見、ご感想

楽しかったです。	10　件
一生懸命、発表している方々の熱意に感激する場面が多かった。	3　件
色々なグループの方が活動していて楽しかった。	3　件
素敵なサークル発表会でした。	3　件
発表だけではなく、販売や何かコーナーみたいな物もあると良い。	1　件
朗読関係はマイクが遠く、近づけてほしかった。	1　件
着替え室に折り畳み椅子を数脚用意してほしい。	1　件
手話の絵が、最初の2～3枚目が何が描かれているかわからなかった。	1　件
朗読の時、観客席の外側にいる人達のお話声で朗読が聞こえなかった。始まる前に注意事項をもっとハッキリ伝えてほしかった。	1　件
客席と一緒に体操するパフォーマンスもあり、一体感がとても良かった。	1　件
出演者はマスクを外しても良かったのではと思う。	1　件
日頃の成果が発表できる場があることは、大変良いことだと思います。ぜひ続けてください。	1　件
職員、一般の人を入れてのステージもあると良い。	1　件
広い体育館での参加でやりやすかったです。	1　件
手拍子とかスタッフが率先してやった方が盛り上がると思った。	1　件
手話に興味があるので、手話ダンスが良かったです。	1　件
体育室の為、やむを得ないと思いますが、音響関係を改善していただきたいです。	1　件
以前のように教室内で披露された方が、出演者と近く感じられると思います。	1　件
手話ダンスと手話コーラスが良かったです。	1　件
Beeファミリーが楽しかった。	1　件
ふれあいの家のサークルを知ることができて良かったです。	1　件

10. 今後行ってほしい企画はありますか

手品	1　件
ハンドベル	1　件
太鼓演奏	1　件
吹奏楽	1　件

＜考　察＞

コロナ禍後初めてのサークル発表でした。開催の日時について、最も多いのは「日曜日がよい」７８％、続いて「土曜日」１２％でした。また、開催時間ですが、「３時間」５２％、「２時間」３８％でした。

また、内容・プログラムについては「とても満足」「だいたい満足」合わせて９４％でした。多くの方に楽しんでいただけたようです。「どちらでもない」が６％です。少し物足りない、物足りないという方の理由で、「できるだけ多くのサークルの参加を希望」とご意見をいただきました。今回は合唱や演奏、朗読といった活動内容の団体に参加を募ったので、次回は活動内容を精査し、声掛けをする団体の範囲を広げて、より多くの団体に募集できるようにしたいと思います。

会場について、「とても満足」「だいたい満足」が８９％、「どちらでもない」２％、「少しよくない」５％でした。少し良くない、よくないという方の理由として、「冷房が効きすぎて寒い」「椅子を列ごとにずらして置くと見やすい」「舞台の照明が少々暗い。」といった意見をいただきました。冷房や照明といったハード面の部分はすぐに対応することは難しいですが、上着を持ってきてもらうように周知していければと思います。また、椅子については次回開催の参考にさせて頂きます。

その他、全体のご意見として、「朗読関係はマイクが遠く、近づけてほしかった。」「着替え室に折り畳み椅子を数脚用意して欲しい。」といったご意見をいただきました。次年度は頂いたご意見を参考により良い発表会になるように運営します。また、「一生懸命、発表している方々の熱意に感激する場面が多かった。」「いろいろなグループの方が活動していて楽しかった。」といったご意見をいただきました。次回も楽しんでいただけるように企画していきたいと思います。

カ　ふれあいフェスティバル

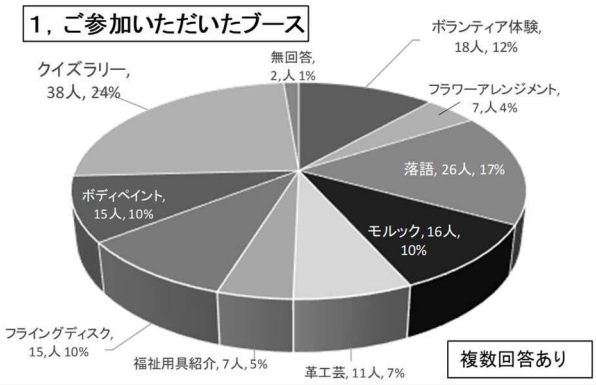
第14回　ふれあいフェスティバルアンケート

日時：令和6年　2月 18日（日）　場所：千葉市療育センター分館　はまのわ

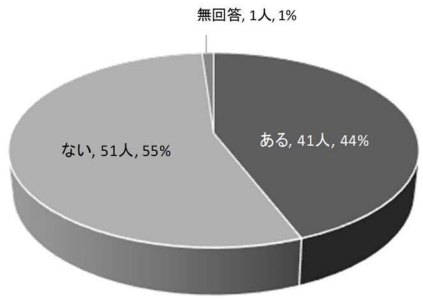
アンケート回答人数　　92　人

集計結果

1，ご参加いただいたブース

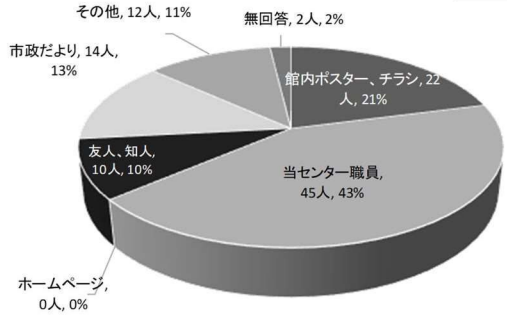


2．障害者手帳はお持ちですか



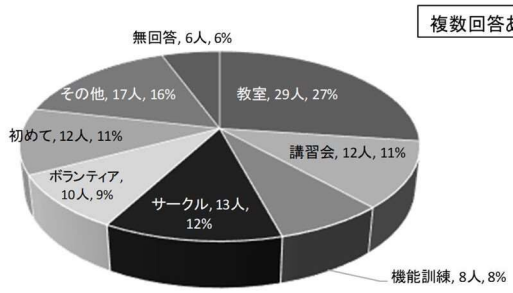
3.今回の催しを何で知りましたか

複数回答あり

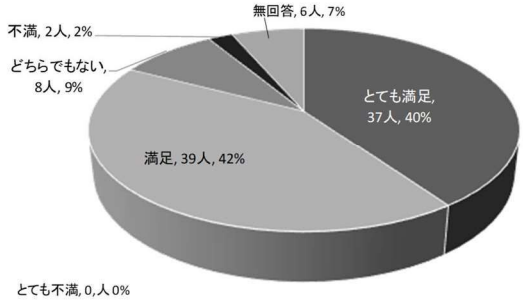


4．当施設をどのように利用されていますか

複数回答あり

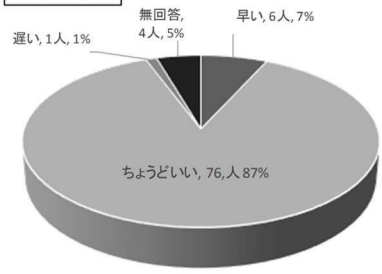


5．本日参加したイベントの内容はいかがでしたか

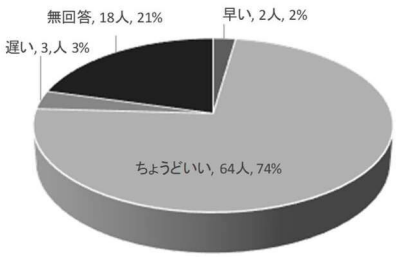


7．開催時間はいかがでしたか

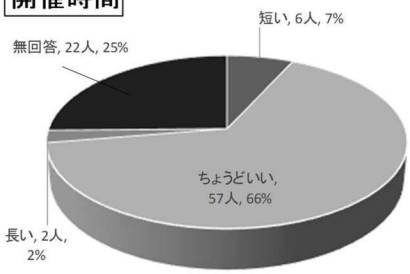
開始時刻



終了時刻



開催時間



5、参加したイベント不満以下の理由	同様の意見
【ボランティア体験】体験時間が足りなかった。	1

6、参加したブースのご意見・ご感想	同様の意見
【落語】とても楽しかったです。	6
【落語】和やかで楽しめました。次もよろしくお願いします。	3
【フラワーアレンジメント】楽しかったです。	3
【ボランティア体験】とても楽しかったのですが、時間が短く、全体的に慌ただしい感じでした。深く知るには、各講習やサークルなどに参加する必要があると思いました。	2
【福祉用具紹介】クオリティが高く、かつ短時間でできるので、気軽に楽しめました。	2
【フラワーアレンジメント】先生の説明がわかりやすくて、良かったです。	2
【モルック】大変楽しかった。	2
【ボランティア体験】一生懸命さがよく伝わった。	1
【クイズラリー】楽しかったです。	1
【フライングディスク】楽しかったです。	1
【フラワーアレンジメント】初めてでしたが、わかりやすく楽しかったです。	1
【ボランティア体験】親切に一生懸命、教えてくださり、そしてみなさんとても優しく、凛とされており素敵で憧れと尊敬の気持ちになりました。	1
【ボランティア体験】自分が今まで体験したことのない世界だったので、とても興味深く面白かったです。素敵な人達ばかりで心打たれました。また、参加したいと思いました。若者にもっとこういう活動が広まったらいいと思います。	1
【福祉用具紹介】もっと参加したいと思った。内容をよく聞いてまた参加したい。	1
【フラワーアレンジメント、革工芸】丁寧で優しく何回聞いても良かった。本当に良いシステムだと思った。	1
【ボディペイント】初めてで楽しかった。スラスラと素早く書き上げて素晴らしい。	1
【ボランティア体験】初めて参加したところもあり、難しいところもありましたが、楽しかったです。	1
【落語】ワークショップでの小道具の説明が、「なるほど」と思えました。落語の申込に対し丁寧な対応に感謝しております。	1
【福祉用具紹介】久々に声を出して笑えた。	1
【フライングディスク】最初は的になかなか入らなかったのですが、やっていくうちに、コツが掴めて楽しかった。	1
【フライングディスク】普段なかなかできないので、貴重な体験でした。	1
【ボランティア体験】初めてで知ることも多く、とても貴重な体験でした。	1
【モルック】初めての体験でしたが、初心者にもわかりやすく説明をしていただいて楽しく参加させていただきました。	1
【モルック】想像以上に楽しいモルックでした。度々モルック大会をお願いします。	1

【ボディペイント】蝶々を書いてもらいました。嬉しかったです。	1
【落語】初めて見た。楽しかった。予約なしでも見られるといいなと思った。扇子をくれたので記念になった。	1
【革工芸】値段がもう少し安いともっと嬉しい。今度は小銭が入る財布になるキーホルダー作りとかやってもらえると嬉しい。すごく楽しかった。ぜひ来年も参加したい。難しいかもしれませんが、教室に革工芸があると嬉しい。	1
【ボランティア体験】障害を知ってもらう、関心を寄せてもらう良い機会ですね。	1
【フライングディスク】難しかった。	1

8、ふれあいフェスティバルのご意見・ご感想	同様の意見
体験ブースの方も、本日参加されている方も、楽しそうで、生き生きされており、とても素敵なフェスティバルでした。障害のある方もない方も楽しめそうな企画がたくさんありました。	2
様々なブースがあり、楽しめました。開催ありがとうございました。	2
もっと展示があった方が良い。	2
パンやおにぎりを買う場所が狭く、動くのが大変だったので、次回はもっと広い場所で売ってほしい。味はとても美味しかったです	2
ボランティア体験は良い勉強になったけど、帰ったら忘れそうなので、特に手話、プリントか何か復習する事ができると良いな。	1
毎年、楽しみなので、これからも続けてください。	1
もう少し、幅広い市民の自由な参加が欲しかったと思います。今回は申込無しの参加者が来られて嬉しかったです。	1
スタッフの方々も説明がわかりやすく、親切、丁寧でした。	1
それぞれのコーナーが時間に余裕を持って参加できたことがとても良かったです。	1
多くの方が利用できるようにどんどんアピールをしていけると良いですね。	1
障害者以外の多くの方が訪問してくださるともっと盛り上がると思います。	1
廊下に作品が飾られていて、素晴らしかった。	1
作品展、期間を延ばしてくれてありがとうございました。頑張ったので、たくさんの人に見てもらいたいです。初めて、ふれあいフェスティバルに参加しました。障害者になるまでこのイベントを知りませんでした。スタッフの皆さん、とても親切で、色々話して下さるので嬉しいです。	1
初めてのブースがあり楽しめました。	1
もっと広報した方が良いです。せっかくの良い企画なので。駐車場を利用して食べ物や野菜の販売をすると集客になるのでは。	1
落語は、午前と午後の二回開催して欲しかった。	1
長くてちょっと疲れた。	1
参加された方に喜んでもらえたのならいいです。	1
展示品が少ない。	1

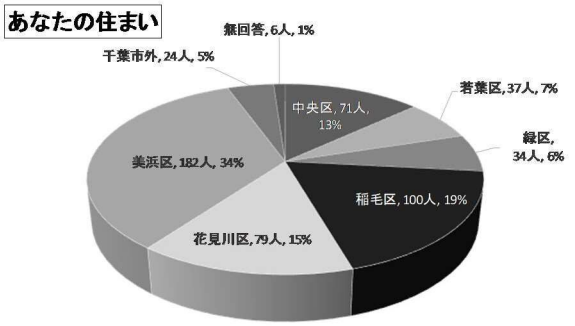
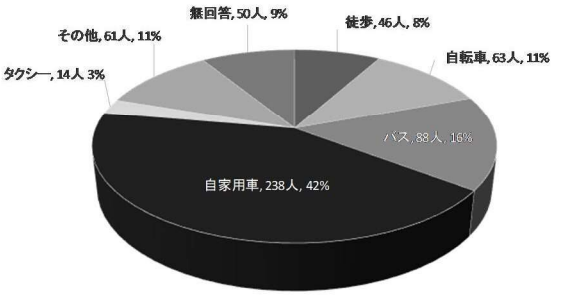
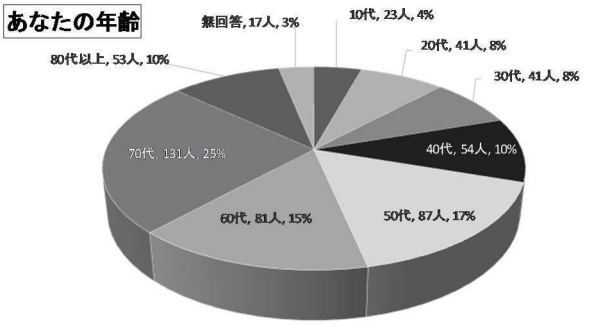
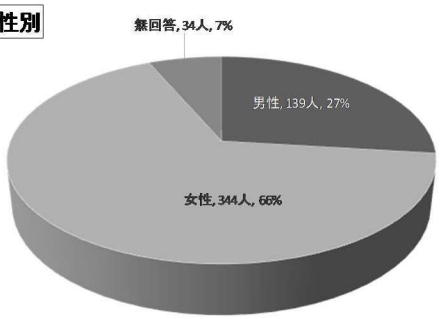
キ　利用者満足度アンケート

令和5年度　ふれあいの家利用者満足度アンケート集計結果報告

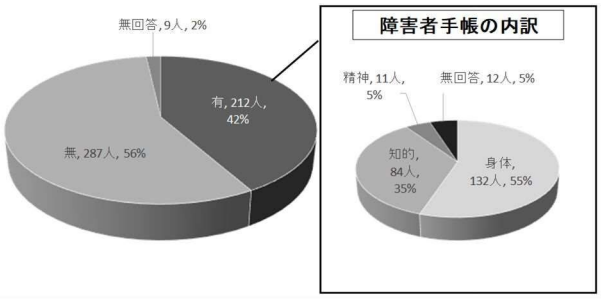
1. 目　　的 ： 当施設の利用状況及びニーズの把握をする事により、
施設サービスの向上を目指すため。
2. 実施期間 ： 令和 5年 11月24日（金）～ 12月 24日（日）
3. 対　　象 ： 当施設の全利用者（家族・ボランティアを含む）

配布枚数：　590 件

回答件数 ： 537 件 （回答率：　91 %）

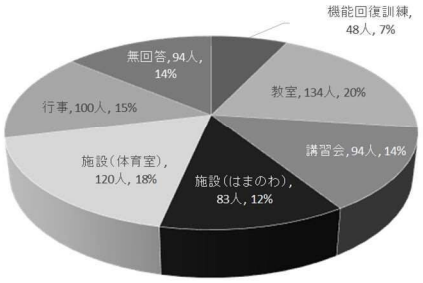
集計結果	考　　察
あなたの住まい  	「住所」構成は、前年度と比較して、美浜区以外の方々の利用が、少しずつ増加傾向にあることがわかります。 今後も、多くの広報媒体を活用し、利用者増加に努めます。
来所方法　その他：電車54人、同乗2人、モノレール2人、福祉タクシー2人（複数回答あり）　（複数回答可）  	前年度と比較し、割合はほぼ変動ありません。 ボランティア活動で当施設をご利用いただいている方には、公共交通機関での来所をお願いしていますが、感染症が落ち着いた今でも、自家用車を利用する方が定着しているように思います。今後も、ボランティア講習会等で来所する方については、公共交通機関での来所を促していきます。
あなたの年齢  	近年40代、50代の利用者がそれぞれ増加傾向にあります。 平日は仕事をしている方も多く、例年20代、30代の世代の利用が少ないのが課題となっておりますが、引き続き若年層の方にもご利用いただけるような、企画、運営に努めます。
あなたの性別  	前年度と比較し、男性利用者の割合が3%増加しました。 当施設は、例年女性利用者の割合が高くなっておりますが、今後も男女問わず、利用しやすい施設を目指します。

あなたは障害者手帳を持っていますか



障害者手帳の有無に関しては、前年度とほぼ変動はありません。
今年度は、感染防止対策緩和により、食事有のバス旅行や交流会、サークル発表会等を実施しました。徐々に以前のような制限のない活動ができているので、今後も障害のある方の社会参加、生きがいづくりを支援すると同時に、ボランティア養成、地域住民との交流など、幅広い方々に地域資源として活用していただけるよう努めます。

ご利用いただいている事業は何ですか　（複数回答可）

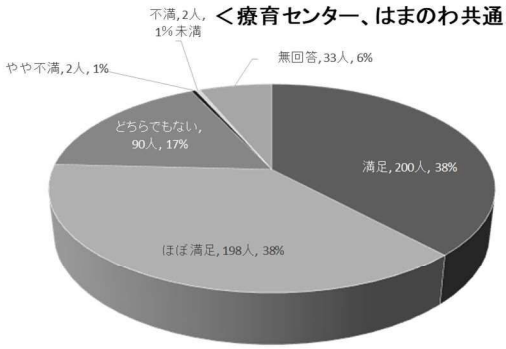


主催事業(機能回復訓練・教室・講習会・行事)が57%、貸出など施設利用が30%となり、それぞれの割合は前年度とほぼ同じです。
来年度は、9月以降にある大規模改修の影響を受け、貸し出しなどによる施設利用の割合が大幅に変動することが予想されます。

◆ご利用になってみての満足度◆

1. 館内掲示・広報紙等により情報が適切に行き届いている

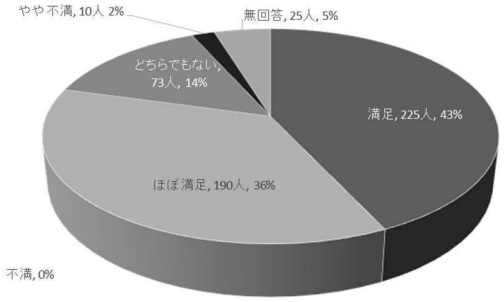
＜療育センター、はまのわ共通＞



「満足」「ほぼ満足」の割合は前年度とほぼ変動はありません。
今後も事業案内、利用案内を適切な方法、適切な場所、適切な時期に多くの方へ周知できるよう努めます。

2. 都合のよい時間に利用できている

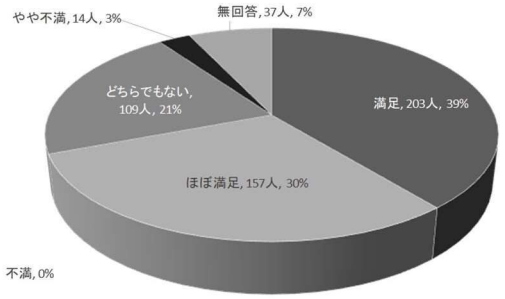
＜療育センター、はまのわ共通＞



「満足」「ほぼ満足」の割合が79%と、8割近い方に満足していただけました。また「やや不満」の割合が2%と前年度に比べて割合が高い結果となりました。今後も満足度が上がるよう努めます。

3. 利用にあたっての手続きが簡単である

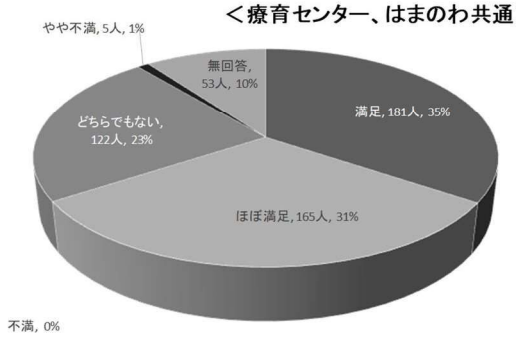
＜療育センター、はまのわ共通＞



「満足・ほぼ満足」の割合は前年度と同じでしたが「やや不満」の割合が増えるという結果になりました。
手続きについては、問い合わせ等も度々あるので、都度丁寧な説明と、ご理解いただける対応を心掛けてまいります。

4. 利用したいと思う事業（教室・行事など）が行われている

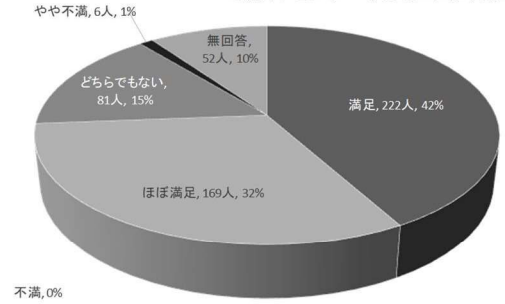
＜療育センター、はまのわ共通＞



「満足・ほぼ満足」の割合は前年度とほぼ変動はありません。
事業ごとにアンケートを実施しておりますので、いただいたご意見等を反映しながら、利用する皆様に魅力的な事業を開催し、より満足度が上がるよう努めます。

5. 利用している事業（訓練・教室など）により成果を得ている

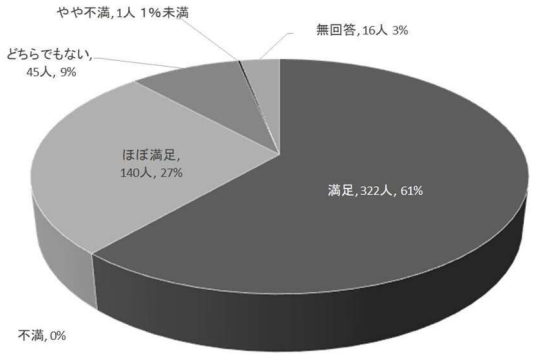
＜療育センター、はまのわ共通＞



「満足」「ほぼ満足」の割合は前年度とほぼ変動はありません。
前年度0%だったのに対して、今年度は1%(6名)の方から「やや不満」のご意見をいただきました。今後は、より成果を感じていただけるような内容を考え、充実した時間を過ごせるよう努めます。

6. 職員の印象がよい

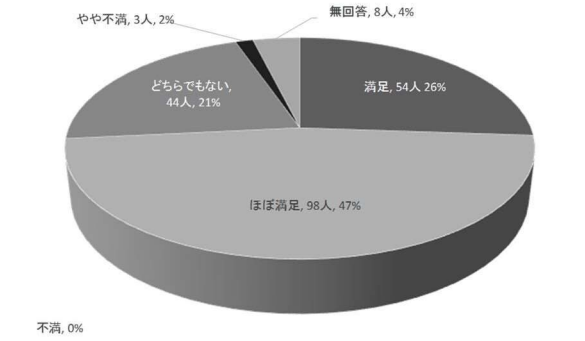
＜療育センター、はまのわ共通＞



「満足」「ほぼ満足」が88%と高水準でした。しかし、前年度と比べると3%の減少でした。
満足の割合が増えるよう、日々の窓口対応や相談対応、その他日頃からの皆様とのコミュニケーションを大切にし、真摯に向き合い対応していきます。

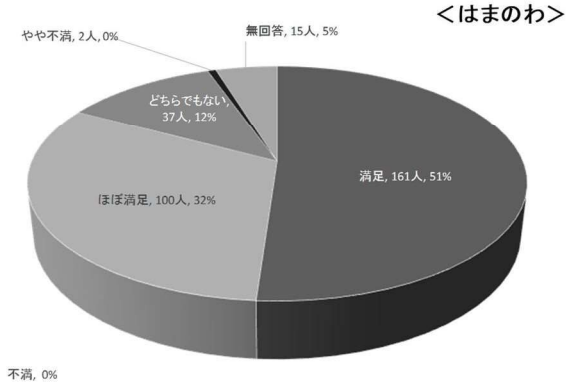
7. 設備や備品が充実している

＜療育センター＞



体育室に関しては、73%の方々から「満足」「ほぼ満足」の回答をいただきました。
引き続き対応していきます。

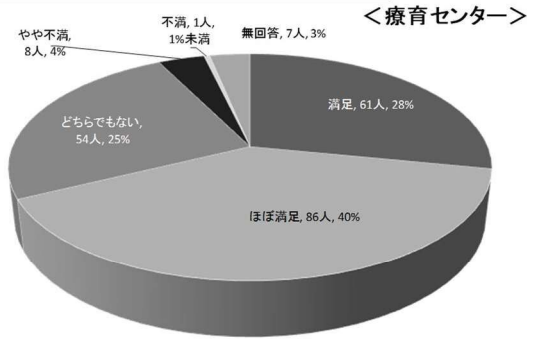
＜はまのわ＞



はまのわでは83%の方々から「満足」「ほぼ満足」の回答をいただきました。
引き続き対応していきます。

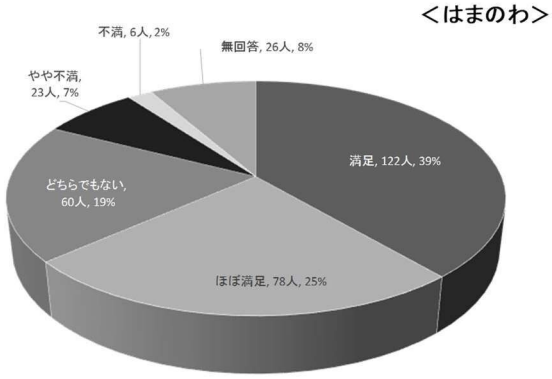
8. 公共交通機関や車での来館が便利である

＜療育センター＞



体育館では「満足・ほぼ満足」の割合は前年度とほぼ同じでした。
交通の便や駐車場の利用については今後もご理解いただけるように丁寧に説明していきます。

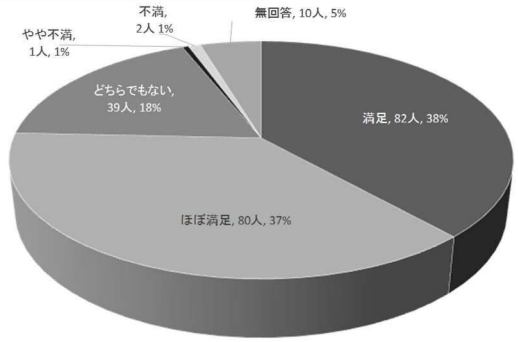
＜はまのわ＞



はまのわでは「満足・ほぼ満足」の割合は64%となりました。
徒歩や公共交通機関の利用者にとっては、駅からの遠さやバスの本数など不便を感じる方もいらっしゃるかと思いますが、今後もご理解いただけるよう丁寧に説明をしていきます。

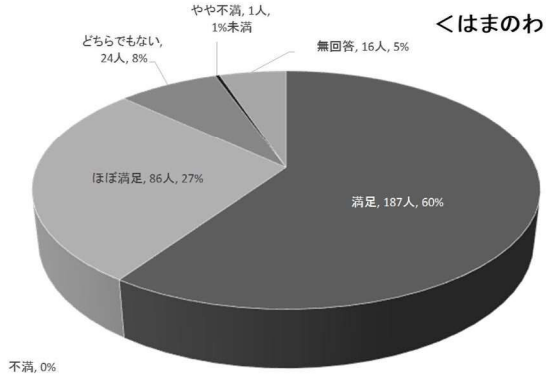
9. 安全管理が行き届いている

＜療育センター＞



体育館では「満足」の割合が前年度より11％減少しました。
今年度は例年よりも雨漏りが多く発生したことが要因と思われます。来年度以降の大規模改修で雨漏りも解消すると思いますが、それ以外にも引き続き皆様に安心してご利用していただけるよう努めます。

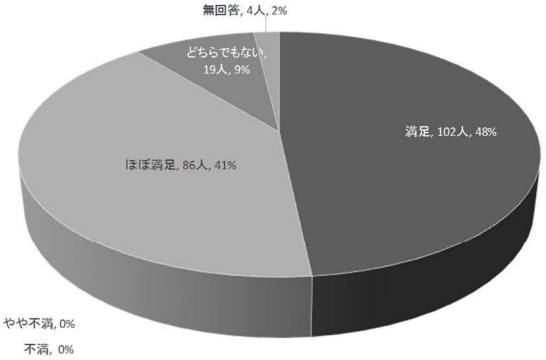
＜はまのわ＞



はまのわでは「満足・ほぼ満足」の割合が87％と前年度より3％減少という結果になりました。
館内では、複数個所見える位置にヘルメットを設置し、年2回の防災訓練をしておりますが、防災訓練を重ねるごとに、常に最善の防災対策を考え共有し、改善するべきところは都度更新していきたいと思います。今後も、皆様が安心して当施設をご利用頂けるよう、引き続き防災・防犯管理体制に努めます。

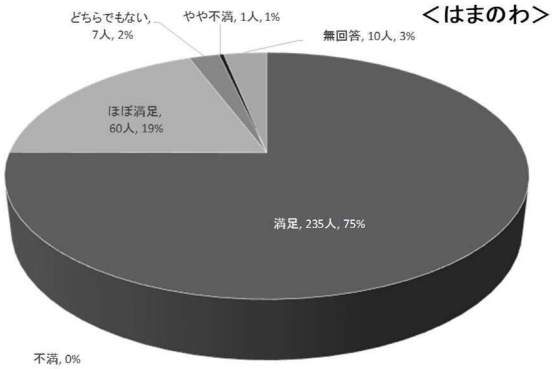
10. 清掃が行き届いている

＜療育センター＞

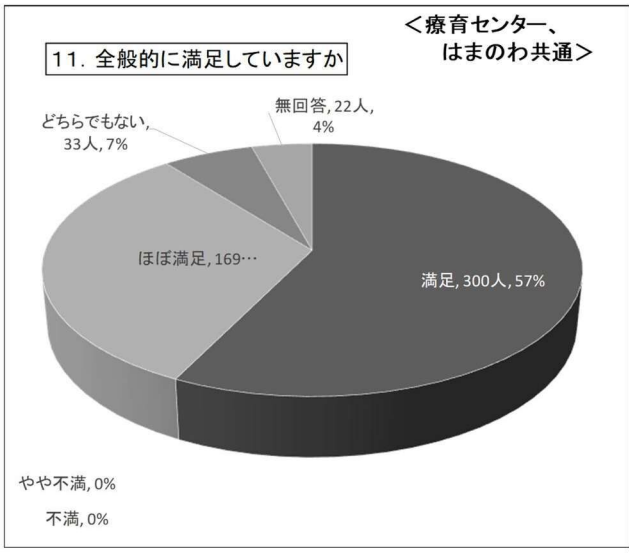


療育センターでは「満足・ほぼ満足」の割合は前年度より3％減少しました。
日々、清掃員が徹底して清掃を実施していますが、引き続き細部にも気を配り、皆様に気持ちよくご利用いただけるよう努めます。

＜はまのわ＞



はまのわでは「満足・ほぼ満足」の割合は94％で昨年より2％減少という結果になりました。
日々、清掃員が徹底して清掃を実施していますが、引き続き細部にも気を配り、皆様に気持ちよくご利用いただけるよう努めます。



「満足・ほぼ満足」の割合が89%と、前年度より5%下がるという結果になりました。
今回アンケートでいただいたご意見を生かし、今後の施設運営に反映させ、100%を目指していきたいと思います。
　来年度は本館大規模改修の影響で皆様にはご不便をおかけすることもあるかと思いますが、その中でも、今までコロナ渦でできなかった料理教室や新しい形の短期教室等を事業に組み込み、皆様にご満足いただけるよう、職員一同、最善を尽くしていきたいと思います。

満足またはやや満足（5～4点）に印をつけた項目について、具体的に思うこと

施設についての意見	同様の意見
館内が綺麗に清掃されている。（トイレ、通路、階段、教室内等）（※体育室も含む）	31
トイレのごみ箱がいつも空になっている。いつも清掃ありがとうございます。	3
助かっています	1
部屋が明るくて使いやすい。	1
メール等での情報発信、満足している。	1
とても満足している、この施設が無くならないでほしい。	1
案内が分かりやすい。	1
自分の都合のいい時に利用できてとても嬉しく思う。	1
部屋が広くて良い。	1
清掃の方を見かけますが、丁寧に行っていました。	1
近いので通いやすい。	1
駐車場が多くて良い。	1
案内表示が分かりやすい。	1
いつも都合のいい時間に利用が出来てありがたいです。	1
輪投げなどをお借りしました、ありがとうございました。	1
子供目線で対応が良い。	1
用具の保管をお願い出来て、とても感謝している。	1
子が2～6歳まですぎのこルームを利用させて頂いて、子も通うのが大好きでした。とても良い思い出です。	1
これだけの施設を使わせて頂けるのは大変ありがたいです	1
市民の憩いの施設として利用を継続していきたいと思います。	1

大規模修繕が無事に早く終了することを祈っています。	1
設備、備品の充実がとてもいい。	1
〈施設についての意見〉 ⇒皆様に当施設を気持ちよく安全にご利用いただけるよう、引き続き綺麗で明るい施設づくりを目指していきます。	

事業についての意見	同様の意見
講習会の申し込みがメールでできるのがよい。	2
手話講習会を分かりやすく楽しく受講できました。講師や職員の感じが良かったです	2
初めて利用したが職員が優しく接して頂いたので、楽しく安心して講習を受けることが出来ました。学べる講習会がある時の声掛けがとても助かっているのでこれからも教えて頂けると助かります。	1
講習会の進度がとても速いがほぼ満足している。	1
利用したい事業がたくさんあるので勉強したいです。	1
引っ越しして組み紐ができるし、先生が柔軟に対応してくれる。 身体が動きにくくなっても作品が作れて満足。	1
バス旅行に参加させて頂き、とても楽しい一日でした。満足でした。	1
初めて参加したのですが、行事に対してとても好感を持ちました。	1
〈事業についての意見〉 ⇒今後も皆様にとって、楽しく充実した時間となるような事業を企画、運営していきます。	

訓練についての意見	同様の意見
PTの回数がもう1～3回あれば良いと思っています。	1
作業療法を受けられて本当にありがたいです。何度も相談に乗って下さり、ありがとうございました。	1
〈訓練についての意見〉 ⇒訓練士との充分な連携を図り、今後も皆様一人一人に合った訓練内容の充実を目指します。	

職員についての意見	同様の意見
職員の印象、対応が良い。話しやすい。（※体育室も含む）	33
不明な点を理解しやすく教えて頂ける。（※体育室も含む）	8
職員の挨拶が良い、子供も挨拶しています。（※体育室も含む）	4
講習会時の案内、開始と終了時の説明等が丁寧。	1
手話で習ったことを職員が帰りだけにやって下さり、手話が身近に感じました。	1
障害者に気配りがよく親切です。	1
安全で衛生面に気を付けてくれている。	1
〈職員についての意見〉 ⇒皆様とのコミュニケーションを大切にし、何事にも意思疎通しやすい環境づくりに努めます。	

その他の意見	同様の意見
いつもありがとうございます。	3
有意義な講習会をありがとうございます。	3
今後も講習会でお世話になります。よろしくお願いします。	1
娘が、体調が良い時は必ず行くと言い、楽しい時間を過ごさせて頂いている結果だと思います	1
同伴する私にも、とても親切で安堵します。	1
自動販売機の入替時に、わざわざ個別に連絡を頂きお心遣いありがとうございます。	1
いつもボランティアで利用しています。	1
（体育室を）お借りできてありがたいです。	1
〈その他の意見〉 ⇒引き続き当施設をよろしくお願い致します。	

不満またはやや不満（2～1点）に印をつけた項目について、具体的に思うこと

施設についての意見	同様の意見
交通の便が悪い。バスだと駅から乗り継いで歩くが、帰りのバスの便が少ない。（※体育室も含む）	7
公共機関だととても遠い。車でないと不便。（※体育室も含む）	3
公衆電話も必要だと思います。	1
最寄りの駅から送迎バスを出してください。有料で構いません。	1
スケジュールなどに大きな支障はないが、建物の老朽化が否めない。スポレクセンターが来年改修に入るので、こちらも早くきれいにできると良い。	1
知的障害がある息子の、余暇として楽しめる機会が少なく何とかしたいが手立てがなく、ふれあいの家がもっと近くにあればいいと感じております。	1
（はまのわの）自動販売機は2階にあればいいと思う。	1
自分達は健脚ですが、駅から離れていると利用者の方が大変かと思います。	1
⇒ご不便おかけして申し訳ございません。	
自動販売機で交通系ICカードが使えるようになってほしい。	1
⇒交通系ICカード（Suica）がご使用できますので、是非ご利用ください。	
ちょっとしたゴミを捨てる時に、ゴミ箱の場所が分からず、見あたらないことがあった。	1
⇒ゴミ箱の設置図や目立つポップの作成を検討していきます。	
9時に施設利用する時に、10分前には入れるとありがたいなと思います。	1
⇒申し訳ございません。現状、清掃時間等の関係で難しくなっております。	

館内は綺麗なのですが、入口階段にゴミやクモの巣が張っていたりするので綺麗にしてほしい。	1
エレベーターの中の臭いが気になる。	1
⇒ご意見ありがとうございます。皆様に気持ちよく施設を利用していただけるよう、細部にも気を配るよう努めます。	
パソコンのWi-Fiが繋がっていないので、ウイルスバスター等を更新する時に活用できれば家に持ち帰らなくてすむと思います。	1
⇒ご不便おかけし申し訳ございません。フリーWi-Fiの接続機能がございませんのでご了承ください。	
ここにくるまでこの施設を知らなかった。	1
⇒当施設をより多くの方に知って頂けるよう、周知方法を検討していきます。	
（体育室の）暖房が少し暑いように思う。温度設定を下げた方がいいと思う。	1
⇒ご意見ありがとうございます。その都度対応いたしますのでお声かけ下さい。	

事業についての意見	同様の意見
手話中級を卒業後、通訳士を目指す講座もあるとうれしいです。	2
⇒当施設の目的として、聴覚障害者の方への理解を深め、手話の基礎知識を学ぶというところに重点をおいております 。更なるレベルアップを臨む方へは、千葉市主催の手話通訳者養成講座や手話サークルの情報等を提供しております。是非お問合せ下さいませ。	
講習会のマウスシールドはつけてもいいが、フェイスシールドはもうつけなくてもいいのではと思う。	2
⇒ご意見ありがとうございます。講師と検討していきたいと思います。	
講座の数をもっと増やしてほしい。	2
⇒皆様に充実した時間を過ごしていただけるよう、来年度は短期講座も複数実施予定ですので是非ご参加下さい。	
運動系の教室なので当たり前だと思うが、雑談がないのが少し物足りない。	1
⇒ご意見ありがとうございます。更なる充実した内容、運営について、講師と検討していきます。	
土日開催の講座が増えるとうれしいです。	1
⇒より多くの方が参加出来るよう、曜日にも着目し、事業を考案していきます。	
体育室の水漏れ（雨漏り）の対策として缶が置いてあるのが危ない	1
⇒ご意見ありがとうございます。雨漏り対策だけではなく、安全でわかりやすい対応を行っていきます。	
（通年教室の）回数がもっと増えると良いです。	1
⇒ふれあいの事業全体を踏まえて計画をしています。今後は講師とも相談し、検討していきます。	

職員についての意見	同様の意見
なし。	

施設貸出、予約についての意見	同様の意見
外の光が入ってしまうため、映画上映の時は暗幕が欲しい。	2
⇒暗幕の購入を検討していきます。	
教室取りが困難(場所・時間)	2
⇒ご不便おかけし申し訳ございません。	
同じ日に楽器を使った活動がある日は、そちらの音にかき消されてしまい、自分達の声や演奏が聞きづらい。もう少し音の調節をしてもらいたい。	1
カラオケの音量をもう少し上げて頂くとありがたいです。	1
⇒各部屋の活動状況を把握し、都度対応していきます。	
今後(R6年度9月以降)の使用についてどうなるか、不安がある	1
⇒内容が決まり次第、早急に皆様へご説明する機会を設けます。	

ご意見・ご要望

事業についての意見	同様の意見
手話講座を受講しています。ふれあいの家でもサークル等ができるようになってくれたら通いやすい。	1
⇒ふれあいの家主催ではございませんが、ふれあいの家で活動しているサークルの中で、手話講習会をきっかけに立ち上がったサークルもございますので、是非お問い合わせください。	
あくまで「案」ですが、ハーモニープラザでも手話講座をやって頂けたらよかったです。	1
⇒ご意見ありがとうございます。	
そば打ちなど、コロナで休んでいた料理の教室が始まってほしい。	1
⇒来年度は短期教室にて、料理の教室も検討しておりますので、是非ご参加下さい。	
バドミントン教室が復活してほしい。	1
⇒ご意見ありがとうございます。検討していきます。	

その他の意見	同様の意見
昼食を食べるのに気軽に自由に使える場所が欲しい。職場から直接講習会に来るので時間のある時は公園で簡単に済ませていたが、冬場は寒いので飲食できる場所を提供して頂きたいです。	1
⇒周知不足で申し訳ございません。療育センター本館、ふれあいの家共に食事できる場所を設けておりますので、是非ご活用下さい。	
マスク利用は本人次第にいつごろなるか。	1
⇒周知不足で申し訳ございません。当施設もマスクの利用は、ご本人様次第となっております。	
ホワイトボード用のマグネットがもう少しあると良い。	1
⇒マグネットの購入を検討していきます。	
卓球のボランティアをしていますが、ボランティアの募集について「何も出ないが、いかがですか？」とは（他の方に対して）誘いにくいです。千葉風太waowのポイント等がつけばいいか？ポイントは寄付します。	1
⇒日頃から当施設のボランティアについてご尽力をいただきありがとうございます。現段階でのポイントの付与等は難しくなっております。申し訳ございません。	
もしできたら開館時間（9時）の5分前に1Fロビーへの入館を許可して頂ければ幸いです。	1
⇒周知不足で申し訳ございません。当施設は8：50より開錠しておりますので、8：50からご利用時間までロビーでお待ちいただけます。	
昨年度、シッティングバレーの団体で体育室利用の申し込みを出しましたが、利用条件（健常者と障害者の割合）が満たしておらず不可になりました。なかなか練習場所が確保できない現状があるので、利用条件を少しでも緩和して頂き、利用させてもらえればと思います。（以前よりも障害者の名簿は増えていますが…）	1
⇒千葉市の公共施設及び身体障害者福祉センターという施設の特性上、団体登録には団体構成人数、障害者手帳保持者の割合、千葉市内在住または在勤の割合、それぞれを満たす必要があることをご了承下さい。	

5　管理経費の縮減

基本的な考え方

療育センターの管理運営実績に基づき、可能な限り経費を縮減し最小限の経費でより効果的・効率的な施設運営を実践し、市民に対し良質なサービスを提供しました。

（１）水道光熱費

水道光熱費の価格高騰に対応し、契約内容の見直しや節電等を徹底し、水道光熱費を節約しました。なお差額は修繕や人件費が高騰した給食業務や運転管理業務委託、減額されている情報保障（手話通訳費用）等に充てました。

（２）人件費

令和５年度も引き続き、事務局職員の負担軽減のため、当法人の負担で派遣職員を１人配置し、指定管理料からの時間外手当の支出を削減しました。【法人負担　4,384,169 円】また、指定管理料の人件費の余剰は基本協定に基づき千葉市に返還しました。

（３）業務委託費

令和５年度は、ウクライナ情勢に起因する物価高騰や労働人口の減少による各種費用が増加傾向にありましたが、掃設備業務委託について、サービスに影響のない程度に仕様を見直し、経費の削減を図りました。

6　自主事業

ふれあいの家利用者の求めに応じて、カラーコピー機による複写サービス及び公衆電話による通話サービスを提供し、料金を徴収しました。

単位：円

自主事業名	徴収した料金
コピー機による複写サービス	33,510
公衆電話による通話サービス	300

7　年度の総括（評価）

（１）療育相談所

令和５年度は、新型コロナウイルス感染症５類移行に伴い徐々に制限を緩和し、７月以降は窓のない部屋の使用制限も撤廃し、従前どおりの対応に戻りました。利用者対応時のみ職員のマスクの着用を継続しています。

各職種別の実績は、相談員の業務については、初回問い合わせから初回診察（受理面接含む）が行えるまでの期間は平均５か月～６か月となり、令和４年度の平均８か月と比較し、２～３か月短縮することができました。小児科だけでなく精神科においても年長児を優先して診察する、体調不良などでキャンセルが出た場合、可能な限り他の利用者に案内する等、初診枠の調整に努めたことが要因と思われます。新規患者数（新規相談及び受理面接）はそれぞれ８９５件（令和４年度１，００５件）、６６８件（令和４年度５５４件）でした。また、受理面接とは別枠で来所相談を４件実施しました。

心理判定員の業務については、令和５年度も障害児通所支援の支給決定に係る意見書発行業務を継続しました。意見書発行は、相談員が行った来所相談４件の内３件実施しました。心理評価については、職員の休職等人員が不足する状況もありましたが、他施設からの派遣協力等により、平均すると昨年度同様２か月程度の待機期間で実施することができました。

言語聴覚士の業務は、職員１人の休職が続いていますが、令和４年度の評価までの待機期間３か月に対し、令和５年度は平均１か月～２か月で実施することができました。また、言語聴覚士の配置のない施設に職員を派遣し、言語評価や施設職員への助言等の協力を行いました。

作業療法士の業務については、継続的な指導と共に、日常生活の中で必要な動作や体幹の使い方等をより分かり易く保護者と利用者に寄り添った指導、支援を実施してきました。また、他施設の職員育成のための指導の協力を行いました。

理学療法士の業務については、対象児が減少傾向にありましたが、日常生活に必要な動作の獲得をすることや、療育へのニードが高い保護者に対して、ニードに応じた頻度で令和４年度同様個別指導を行うことが出来ました。

令和６年度については、更に初診の増加が見込まれますが、再診枠を確保しながら初診枠を増やす、初診枠をこまめに調整する、初回相談体制の見直しなどにより、引き続き可能な限り待機期間を短縮できるよう努めていきます。

（２）すぎのこルーム

令和５年度も、新型コロナウイルス感染症防止対策を実施しながら、医療型児童発達支援センターと児童発達支援事業の療育及び保護者支援の充実に努めました。

新型コロナウイルス感染症が５類に移行したことにより、人数制限などを撤廃し利用児並びに保護者の安全を配慮しながら、日々の療育や行事等を見直し実施しました。特に行事（運動会や家族参観等）においては、保護者から要望が上がっていた兄弟や両親揃っての参加が出来たことで、「利用児の楽しんでいる様子や成長している様子が兄弟にもわかり良かった」と、保護者から評価をいただきました。

医療型児童発達支援センターの保護者支援では、保護者勉強会を６回開催しました。主な内容として、千葉県歯科医師会障害福祉保健委員会の委員を講師に招き、年３回開催し、講

演の他、食事場面での継続的な指導など、直接講師から摂食へのアドバイスを頂けたことで保護者からは理解が深まったと好評でした。

また就学支援として、特別支援学校や地域の支援級に進まれた卒園児の保護者の協力により、学校の概要や放課後等デイサービスについて詳しく知る機会を設けました。

福祉サービスについての勉強会では、多くの保護者が参加し、関心の高さが伺えました。

療育内容については、専門機関ならではのニーズに沿った支援（保育内容、専門職の指導、個別保育、行事等）の充実を図ってきました。その結果、保護者アンケートの満足度は、前期（事業所評価・公表）９１％、（事業所アンケート）９９％、後期（事業所評価・公表）８９．１％、（事業所アンケート）９６．５％となりました。

医療型児童発達支援センターの実績では、契約数は２７人（令和４年度２８人）で、１日定員１０人に対し、利用児は１日平均５．３人（令和４年度５．１人）と微増しました。

要因として、すぎのこルームのみの契約児が週２～３日と登園率が高かったことが挙げられます。また、課題としては併行通園児の利用日数が少ない（月２日程度）、契約はしたが家庭の状況（共働きや出産など）のため利用できない、利用児が長期入院したなどがあり、契約はしているが利用日数が上がらないことです。

見学者は９人おり、そのうち５人が新規契約となりました。契約に結び付かなかった理由として自宅から遠いため、交通手段が難しい（自宅まで迎えに来て欲しい）、働いているので親子通園が難しい等の理由でした。

また今年度の欠席理由としては、家庭の都合（４０．５％）、体調不良（２３．２％）、通院（１５．６％）母親や兄弟の体調不良（１４．５％）等の順になっています。

令和６年度の取り組みとしては、引き続き契約人数増を図るため、各関係機関の病院や各区保健福祉センターの相談窓口担当者と連携を図り、医療的ケア児も含め、療育を希望されている全ての方を受入れていきたいと思います。また親子通園ならではの療育施設として、他職種と連携しながら保護者ニーズに沿った療育の充実に努めていきたいと思います。

児童発達支援事業の契約人数は、５２人（令和４年度６３人）、見学者は２８人（令和４年度４１人）でした。

減少要因としては、

① 見学者数の減少。

② 見学者の中でも共働き、核家族の方が多く、預かり型児童発達支援事業へ希望する家庭が多く、契約に結びつかなかった。

以上があげられます。地域の中で預かり型児童発達支援事業が増えている中、今後も契約人数の増加は厳しい状況ではありますが、親子通園ならではの療育の充実と保護者ニーズに沿った特色ある療育に努めていきたいと思います。

今年度の主な保護者支援については、午前グループ対象児に、歯科検診を実施しました。

また、３～５歳児グループを対象に歯科医師による摂食指導の勉強会（全３回）を開催し、児の摂食についての悩みや相談会を行い、好評をいただきました。

就学支援では、５歳児の保護者対象に特別支援学校、支援学級、普通級に進学された卒園児の保護者を講師に招き、それぞれ学校の概要について理解を深めていただきました。

保護者アンケートの満足度は、前期（事業所評価・公表）９３％、（事業所アンケート）９５％、後期（事業所評価・公表）９４％、（事業所アンケート）９４％でした。

また、知能の発達はノーマル域にある発達障害児を対象にしている発達グループでの満足度は、前期（事業所評価・公表）７８％、（事業所アンケート）１００％、後期（事業所評価・用公表）９１．３％、（事業所アンケート）１００％の評価でした。

令和６年度も、保護者ニーズに沿った満足度の高い療育支援に努めていきたいと思います。

（３）やまびこルーム

令和５年度は、職員１人欠員、非常勤職員も含め、７人中５人の職員が経験３年目未満（１人は新規採用）という状況でのスタートでした。契約人数や指導頻度を増やすことは厳しい状況でしたが、日々の療育の中での育成に加えて、研修にも積極的に参加するなどして職員の育成、資質の向上をはかり、できる限り保護者のニーズに沿えるように療育の質の向上を図りました。

療育の質の向上という点においては、利用者アンケートの「職員の配置数や専門性は適切だと思いますか」の項目において、令和４年度後期６４％から８０％へ、利用者満足度はから８４％から８９％と回復しつつあり、利用者のニーズに応えた療育内容を提供することができ始めたと評価されたと思います。

令和５年度のやまびこルームの主な取り組みは、以下のとおりです。

① 保護者支援として、日々の指導の中での取り組みの他に、保護者を対象とした保護者セミナーを実施しました。前年度保護者から好評であった卒園児保護者の就学や小学校生活の体験談を聞くお話会や小学校の難聴学級の担当教員を招いての勉強会、補聴器メーカー、人工内耳メーカーの担当者を招いての勉強会に加え、大学生や若い社会人の難聴当事者のお話会、大学における聴覚保障の実際の取り組みのお話し会など、令和５年は前年度の１１回の約２倍以上となる２５回の保護者セミナー等を実施し、延べ１９０人の保護者が参加しました。

② 家族支援の一環として、ご家族が参加できる行事（音楽会、お楽しみ会）を実施しました。昨年度に引き続き、クリスマス会は異年齢のお子さん、保護者同士の交流も目的とした異年齢グループで実施しました。また、音楽を楽しみながら、聴く力を育てることをねらいとした音楽グループ（音楽隊）を異年齢グループで４回実施しました。

③ 利用児が併行通園している地域の幼稚園、保育園、児童発達支援事業所などへの訪問、電話等の連携を、昨年度の１０４回を上回る延べ１３６回実施し、利用児が地域で生活していくための助言を行いました。今後も引き続き連携を図り、地域において難聴児が暮らしやすい環境の整備を行っていきます。

④ 公開療育を利用児の併行通園先の幼稚園・保育園、居住する千葉市および県内の各市町の発達支援センター、相談支援事業所、併行利用している児童発達支援事業所などを対象に、オンライン配信にて実施し、やまびこルームの療育を紹介し、地域集団の中での難聴への配慮について助言を行いました。１８施設１９人の参加がありました。

⑤ 指導日を曜日、時間固定ではなく、担当者と日程調整したり、いくつかの候補日から選べるように変更したり、やむ負えない理由で指導を欠席した場合は、指導の振替を実施するようにしたり、保護者セミナーを平日昼間は参加できない保護者のために、後日動画配信したりと、保護者のニーズに応じて、より療育に参加しやすくなるような取り組みを行いました。

今後も、市内のみならず、市外からも通って来てくださる利用者のため、保護者の様々なニーズに応え、直接の療育内容のみならず、地域でよりよく集団活動に参加し、家族と共に暮らしていけるよう、やまびこルーム全体の機能の充実を図っていきます。そのためにも安定した職員体制と職員の資質向上に引きつづき取り組んでいきます。

（４）相談支援事業所ぱれっと

令和５年度の目標も、相談支援を必要とする新規利用者の受け入れと利用者一人ひとりに適切な支援ができる職員の専門性の向上ときめ細かい対応でした。

取り組みとしては、①専門性の向上に向けオンライン研修など参加可能な研修の受講に努めました。また昨年度に続き２人が強度行動障害支援者研修の基礎、実践を１年で受講し新たに支援者の資格を取得しました。医療的ケア児等支援コーディネーター研修は今年度の開催はなかったため、受講できませんでした。②相談支援を必要とする新規利用者の受け入れとして、入り口支援に当たる未就学児を対象とした電話受付を継続し可能な限り受け入れを行ないました。また、兄弟姉妹及び基幹相談支援センター等から相談があった困難ケースの受け入れを行ないました。③相談支援事業所間の連携では、基幹相談支援センター主催の各区の意見交換会に出席し、研修参加と情報交換・事例検討等を行いました。ぱれっとからも事例を３ケース報告しました。④ぱれっとの利用者以外の方や、関係機関からの相談や情報提供にも応じました。⑤各区の基幹相談支援センターと連携を取りながら多問題家族等の困難事例に対応しました。

成果としては、引き続き新規利用者の電話受付を実施したことで、乳幼児の保護者への入り口の相談支援の強化につながりました。また、訪問や担当者会議を通しての事業所間連携の強化や、各区基幹相談支援センターとの困難ケースの協働により、他機関からもより一層ぱれっとの役割が認識されることになり、職員の専門性の向上にもつながっています。

課題としては、①令和６年度の新規利用者の受け入れ体制について、②異動に伴う相談員間の業務負担の軽減、③異動職員への教育体制の整備が挙げられます。①については令和５年度に続き職員の異動により、新規を受け入れられる職員が限定されるため、月ごとに定員を決め受け入れを行ない、無理のない範囲で実績を残していけるよう努めます。②については業務負担の偏りを是正しつつ、引き続き一人一人の業務の効率化を進めて行きます。③については新任職員についてはサポート職員を定め、きめ細かい指導で異動による心身の負担の軽減を図るとともにスムーズに業務に就けるようにしていきます。また、全職員がオンライン研修などを活用し、積極的に研修に参加する機会を作り専門性の向上に努めていきます。

（５）いずみの家

令和５年度も受注作業として箱折り、手提げ袋作り、保冷剤の箱詰め、ハンガーの組み立てを柱に行なってきました。

今年度はコロナ禍により低迷した市場経済活動が緩やかに回復基調となり、菓子箱需要や大相撲バスタオル加工などの受注が微増しました。その他保冷剤関連作業やハンガー作業についても受注量に回復の兆しが見えてきました。

作業収入は約１，７６２万円（令和４年度約１，８７２万円、令和４年度比約１１０万円減）、材料費や諸費用の必要経費支出については約９４５万円（令和４年度約１，０００万円、

令和４年度比約５５万円減)、その差を工賃として約８１７万円（令和４年度約８７２万円、令和４年度比約５５万円減）を支給しました。作業収入が減少した大きな理由として、令和４年度は数年に一度受注している大口の外注加工作業収入がありましたが、令和５年度には受注がなかったことが挙げられます。それに伴い必要経費（外注費）も減額となりました。

就労継続支援Ｂ型事業のご利用者１人あたりの月平均額工賃額は２６，８７９円でした（令和６年度障害福祉サービス報酬改定に伴い平均工賃額の算出方法が変わりました。旧来の算出方法で比較すると、令和４年度２３，９４３円に対し令和５年度は２３，９７６円でほぼ横ばいでした)。就労継続支援Ｂ型施設の令和４年度の全国の平均工賃額は約１７，０３１円、千葉県の平均工賃額は約１５，３７１円で、いずれも大きく上回りました。引き続き既存の取引業者との信頼関係を継続していくとともに新規作業開拓にも取り組み、就労系施設の最優先課題である工賃向上を目指します。

就労移行支援事業について、年度当初１人いた利用者が５月末に自己都合で退所されて以降利用はありませんでした。

就労継続Ｂ型支援事業について、利用定員３４人に対する充足率は月平均約２８人となり、定員の８３％でした。日中一時支援事業は、各特別支援学校へ広報することで産業現場実習生をはじめ、夏休みなどの休暇期間に利用する方が多くいました。

産業現場実習生の受入れは特別支援学校の新卒予定者が進路や適性を考える重要な機会となっており、新規利用者の獲得に繋がっています。令和６年４月には産業現場実習を経験した５人の新卒者が入所予定です。今後も近隣特別支援学校や関連機関と連携を図り、事業内容を広報することで新規利用者の獲得や事業の広報を行っていきます。

利用者の高齢化について、徐々に糖尿病や高血圧など生活習慣病と診断される方が増えてきました。生活習慣に課題がある利用者には家族面談で課題を共有するとともに、体重推移表を提示して健康管理を促す取り組みを行うことで改善を試みました。また視力低下や関節症など身体機能の低下がみられた利用者には、個々の状況に合わせた支援を実施し対応しました。利用者の高齢化に対応した支援への取り組みとして、今後は設備・備品の整備や医療・栄養に関する専門職との連携に加えて、職員側が身体介護や口腔衛生の方法など高齢者支援のノウハウを取り入れていく必要があります。

家族の高齢化に伴い、十分な支援が受けられないケースが増加しています。利用者の将来の生活を見据えた支援として、家庭を離れ地域で生活できるようグループホーム等の福祉サービスの紹介に努めました。随時相談を行うことで、家族の入院を機にグループホームを利用される方や将来を見据えて体験される方が増えました。現在グループホームから通所する利用者は５人となり、安定した生活を継続しています。いずみの家の利用者にとって、グループホームは親亡き後の生活の基盤となる重要な福祉サービスであると考え、相談支援事業所やグループホーム等との連携を一層強化し、利用者・家族が安心できる支援を進めていきます。

今後も利用者の加齢や特性に合わせた支援の提供を継続し、地域で安心した生活が送れるように社会参加の機会を設け、地域生活の支援を行うとした当施設の基本理念に則って取り組んでいきます。

（６）ふれあいの家

令和５年度は、幅広い利用者に合わせた事業運営と地域交流の充実を課題として行ってきました。また、必要な感染拡大防止の対策を図りながら、カラオケや歌唱を再開するなど制限を緩和して運営しました。

通年教室では、開催した１１教室中８教室が定員を満たしての開催となりました。陶芸、絵手紙、パソコンでは定員を超える応募があり抽選となりました。各教室の出席率も概ね７割を超え、利用者の方に積極的に参加してもらうことができました。

短期教室は、令和４年度に引き続きビームライフル(計３回)、ヨガビリー(計６回)を開催し、新たに言語聴覚士による失語症の方対象の「おしゃべりサロン」(計２回)、字幕付与(１回)を実施しました。年間４種１２回の開催となり、年度目標の４教室以上を実施することができました。

社会適応訓練事業では、バス旅行を後期から昼食も含めた１日の日程で実施し、視覚障害者対象(令和４年度１６人から令和５年度２２人に増加)、肢体・聴覚・内部障害者対象(令和４年度１６人から令和５年度２９人に増加)共に令和４年度よりも参加人数が増加しました。また、聞こえにくくなった方の勉強会では、耳鼻咽喉科医師の講演を取り入れ、勉強会参加者の方以外も受講できるようにし実施しました。

ボランティア養成講習会は、開催した全講習会で出席率が８０％以上(８１～９５％)となり、受講生の意欲の高さが伺えました。令和４年度に引き続き、要約筆記、点字は定員を満たすことができませんでした。令和６年度からは障害者の方への合理的配慮が義務化されることもあり、情報保障の重要性は高まると思われます。人気の手話だけでなく、より多くの方に要約筆記や点字などの情報保障について知ってもらい、興味を持ってもらえるようにすることが課題であると感じています。

レクリエーション事業では、モルックによる地域交流会、一般市民の方も参加できるふれあいフェスティバル、ふれあいの家利用サークルの活動発表の機会となるサークル発表会を開催しました。サークル発表会はコロナ禍前にはふれあいフェスティバル内で実施しており、コロナ禍で中止していましたが、令和５年度に単独開催の行事として実施しました。９サークルが発表し、観客含め計１８５人の方が参加しました。アンケート結果から８９％の方が満足と回答し、好評を得ました。

貸出事業では、コロナ禍が落ち着き、障害者の方の活動がコロナ禍前に戻りつつあるようで、施設貸出利用人数、年間の総利用者数はそれぞれ令和４年度２０，１７４人から２２，３７０人(１０．９％増加)、２６，０５３人から２９，３８５人(１２．８％増加)とやや増加しました。

令和６年度は、秋以降の千葉市療育センター本館の大規模改修により、本館体育室の使用休止、別館はまのわの利用可能教室の減少があり、利用者の方がふれあいの家を利用しづらくなり、利用人数が減少することが予想されます。そのような中でも利用者の方に少しでも満足してもらえるような事業運営に努めていきます。

また、今後は更にふれあいの家が地域に根ざし、開かれた施設となるように、行事の告知等ふれあいの家の事業を周知するため、既存の広報だけでなく、近隣の自治会・商店や福祉団体・福祉施設等への広報にも力を入れていきたいと思います。

（７）療育センター大規模改修工事及び工事期間中の移転について

令和６年１０月から令和８年３月末まで、療育センターは大規模改修工事が行われます。期間中は、末広町仮設プレハブ及びはまのわに移転し、事業を継続して行うこととなっています。

当協議会では、千葉市による療育センター大規模改修工事について、令和４年度から工事期間中の事業継続のための移転先に関すること、改修工事や移転に必要な各種調査・調整等に協力し、令和５年度も療育センター改修工事に関すること、改修工事中の移転先に関することについて、指定管理業務を行いつつ、１年間にわたり協力しました。

ア　療育センター改修工事に関すること

設計について	・建築管理課、営繕課、建築設備課と現状の各居室のレイアウトや老朽化について、意見交換を行い、現状の問題点等について提案を行った。 ・建築設計事務所、設備設計事務所と意見交換を行い、現地調査に同行しレイアウトの意見交換を行った。 ・厨房と厨房設備の更新について、営繕課、建築設備課、設計事務所、厨房機器業者と意見交換を行い、厨房設備や設置する厨房機器を確定した。
設備の更新	・建築管理課、営繕課、建築設備課と照明設備、トイレ・給排水設備、空調設備、電話回線、ＬＡＮ回線の更新について意見交換を行い、現状の問題点について提案を行った。 ・建築設計事務所、設備設計事務所と意見交換を行い、現地調査に同行し設備の更新について意見交換を行った。

イ　改修工事期間中の移転先に関すること

末広町 仮設プレハブ	・仮設プレハブの図面について、意見交換を行い、各施設のレイアウトを検討した。 ・事業を行うにあたり必要な空間、設備等を取りまとめ、プレハブの建築以外の必要な経費（電話回線、ＬＡＮ回線）を積算した。 ・療育センター什器類の保管、移転、廃棄等の選定、保管場所の検討を行った。 ・仮設プレハブ建築予定地の確認、同様な仮設プレハブの見学を行う。 ・厨房に設置する厨房機器のレイアウトを検討し経費を積算した。 ・診療所の移転に伴う各種変更手続きの調査を行った。
はまのわ	・現状のはまのわに移転するにあたって、施設の割り振りを検討した。 ・いずみの家の作業に必要なトラックの発着場所、材料等の保管場所、事務所配置等を検討した。 ・現状の設備（電気配線、電話回線、ＬＡＮ回線）では対応できないため、設備の増設を検討し、費用を積算した。

ウ　移転に伴う懸案事項

末広町 仮設プレハブ	・現在の場所から自動車の行程で約１０キロ離れており、利用しづらくなる。 ・美浜区近隣等で採用した非常勤職員・嘱託職員の一部は離職した。 ・災害発生等の緊急時の対応 ・改修工事及び移転による、準備・移転・復旧作業のため、施設によって休館が必要となり、待機期間がさらに伸びる可能性がある。
はまのわ	・いずみの家、相談支援事業所ぱれっと等の移転のため、ふれあいの家の貸出施設（部屋）が大幅に減少する。 ・いずみの家の作業場や在庫の保管倉庫が縮小されるため、受注作業が減少する。 ・いずみの家の昼食が給食から仕出し弁当に変更となり、利用者の費用負担が増加する。

エ　その他

大規模改修工事に伴う各種手続き準備作業、移転後の事業については、当初の指定管理の計画から大きく変更となりますが、千葉市と協力し利用者に迷惑のかからないよう事業運営を進めていきます。

なお大規模改修工事に伴う各種手続き準備作業、移転後の事業に係る人件費、環境整備等の作業、サービスの維持等に必要な経費について不足が生じた場合は、人件費や事業費等を含む指定管理料の余剰の活用により対応しますが、さらに不足となった場合は市との協議により対応していきます。